



HP DesignJet T900 and T1500 プリンタ シ リーズ

ユーザーズガイド

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。



高速 USB 対応



IPv6 対応

商標

Adobe®, Acrobat®, Adobe Photoshop®, および PostScript®は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Corel®は、Corel Corporation または Corel Corporation Limited の商標および登録商標です。

ENERGY STAR および ENERGY STAR マークは、米国における商標です。

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

PANTONE®は、Pantone, Inc.の測色基準の商標です。

目次

1 はじめに	1
安全に関する注意事項	2
HP スタートアップキット	3
このガイドの使用方法	3
プリンタ モデル	4
プリンタの主な機能	6
プリンタの主なコンポーネント	7
フロントパネル	9
プリンタ ソフトウェア	12
モバイル印刷と Web サービス	13
電子メール印刷の有効化	13
プリンタをオン・オフする	13
プリンタの印刷メニュー	14
2 ソフトウェアのインストール	16
ネットワークにプリンタを接続する	17
ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する(Windows の場合)	18
プリンタ ソフトウェアをアンインストールする(Windows の場合)	19
ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する(Mac OS X の場合)	19
プリンタ ソフトウェアをアンインストールする(Mac OS X の場合)	20
3 プリンタを設定する	21
はじめに	22
Web サービスのセットアップ	22
Web サービス手動設定	22
用紙適合性オプション	24
ネスティング機能をオン/オフにする (T1500 シリーズ)	25
使用状況に関する情報をオン/オフにする	26
電子メール通知をオン/オフにする	26
アラートをオン/オフにする	27

プリンタへのアクセスを制御する	28
アカウント ID を要求する (T1500 シリーズ)	29
Windows ドライバの環境設定を設定する	29
4 ネットワーク設定	30
はじめに	31
正しい動作の確認	31
必要に応じてネットワーク設定を事前設定	31
ネットワーク システムへのプリンタの追加	32
トラブルシューティング	32
ネットワーク パラメータをリセットする	34
ネットワーク プロトコルの制御	34
フロントパネルのメニュー項目	35
内蔵サービス	39
サポートされるネットワークプロトコル	40
5 プリンタのカスタマイズ	42
フロントパネルの表示の言語を変更する	43
HP Utility へのアクセス	43
内蔵 Web サーバにアクセスする	43
HP Utility の言語を変更する	44
内蔵 Web サーバの言語を変更する	44
スリープ モード設定を変更する	44
自動オフ設定を変更する	44
スピーカ音量の変更	45
フロントパネルの表示の明るさを変更する	45
測定単位を変更する	45
ネットワーク設定を構成する	45
グラフィック言語の設定を変更する	46
プリンタ セキュリティを管理する	47
プリンタの電子メール アドレスを変更する	47
6 用紙の取り扱い	48
一般的なヒント	49
ロールをスピンドルに取り付ける	50
ロールをプリンタに取り付ける	52
ロール紙を取り外す	55
カット紙を取り付ける	57
スタッカ	58

バスケット	61
用紙に関する情報を表示する	61
用紙プリセット	62
用紙情報の印刷	62
用紙の移動	63
用紙を保守する	63
乾燥時間を変更する	63
取り出し時間の変更	64
自動カッターのオン/オフを切り替える	64
用紙を給紙してカットする	64
7 2 本のロール紙を使用する (T1500 シリーズ)	65
マルチロール プリンタの使用	65
プリンタによるロール紙へのジョブの割り当て方法	65
8 印刷時	67
はじめに	68
USB フラッシュ ドライブから印刷する	68
内蔵 Web サーバまたは HP Utility を使用してコンピュータから印刷する (T1500 シリーズ)	69
プリンタ ドライバを使用したコンピュータからの印刷	71
詳細印刷設定	71
AirPrint を使用した iOS からの印刷	84
9 モバイル印刷	86
OS 内から印刷 (内部オペレーティングシステム)	86
電子メールで印刷 (HP ePrint)	87
モバイルの仕様	87
10 ジョブキューの管理 (T920 PS、T930、T930 PS、T1500 シリーズ)	88
はじめに	89
フロントパネルのジョブキュー (T920 PS および T1500 シリーズ)	89
内蔵 Web サーバまたは HP Utility のジョブ キュー (T1500 シリーズ)	92
11 カラーマネジメント	96
はじめに	97
色が表される仕組み	97
カラーマネジメント プロセスの概要	97
カラー キャリブレーション	97
プリンタ ドライバからのカラーマネジメント	99

プリンタドライバからのカラーマネジメント (PostScript プリンタ)	102
内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント (T1500 シリーズ)	105
フロントパネルからのカラーマネジメント	106
12 実際の印刷の例	108
Adobe Acrobat からの印刷	109
Autodesk AutoCAD からの印刷	111
Adobe Photoshop からの印刷	116
Microsoft Office からの印刷および拡大縮小	118
13 プリンタの使用状況に関する情報を取得する	125
プリンタのアカウントリング情報	126
使用状況に関する情報を確認する	126
ジョブの使用状況に関する情報を確認する	127
電子メールによるアカウントリングデータの要求	127
14 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い	129
インクカートリッジについて	130
インクカートリッジのステータスを確認する	130
インクカートリッジを取り外す	130
インクカートリッジを挿入する	132
セーフモード	133
プリントヘッドについて	133
プリントヘッドのステータスを確認する	133
プリントヘッドを取り外す	134
プリントヘッドを挿入する	137
匿名の使用状況に関する情報の格納	141
15 プリンタを保守する	142
プリンタ ステータスを確認する	143
プリンタ外観のクリーニング	143
インクカートリッジをメンテナンスする	143
プリンタを移動または保管する	143
ファームウェアをアップデートする	144
ソフトウェアをアップデートする	146
プリンタ保守キット	146
安全なファイル消去	146
ディスク拭取り	147

16 サプライ品とアクセサリ	148
サプライ品およびアクセサリ	149
アクセサリ	150
17 用紙に関するトラブルシューティング	151
用紙が正しく取り付けられない	152
用紙の種類が一覧に含まれていない	153
プリンタが間違った用紙の種類に印刷した	154
「一時停止しています」というメッセージが表示される	155
用紙が印刷プラテンに詰まっている	156
用紙がスタックに詰まっている	160
プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される	160
印刷物がバスケットにきちんと排出されない	161
印刷が完了した後も印刷物がプリンタに残る	161
カッターで正しくカットされない	161
ロール紙がスピンドルでたるむ	161
18 印刷品質に関するトラブルシューティング	162
一般的なヒント	164
印刷品質のトラブルシューティング ウィザード	164
用紙送りのキャリブレーションを行う	165
イメージに横線 (バンディング) が見られる	167
描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない	168
線画が段状またはギザギザに表示される	168
線画が二重または間違った色で印刷される	169
線が不連続になる	169
線がぼやけている	170
線の長さが不正確	170
イメージ全体がぼやけているかざらついている	171
用紙が平らになっていない	172
印刷が擦り切れる、または傷がつく	172
用紙にインクが残る	172
印刷部に触れると黒インクが擦れる	173
オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない	174
オブジェクトの端が予期したよりも暗い	174
カット紙の端に横線が印刷される	174
異なる色の縦線が印刷される	174
印刷物に白色の点がある	175
色が正確に再現されない	175

カラーの色あせ	176
イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)	176
イメージの一部が印刷されない	176
一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない	177
PDF ファイルの一部やオブジェクトが印刷されない	178
イメージ診断の印刷	178
問題が解決されない場合	181
19 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング	182
インクカートリッジを挿入できない	183
インクカートリッジのステータス メッセージ	183
プリントヘッドを取り付けられない	183
フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される	183
プリントヘッドをクリーニングする	184
プリントヘッドの軸合わせ	184
プリントヘッドのステータス メッセージ	185
20 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング	186
プリンタが起動しない	187
プリンタで印刷ができない	187
プリンタの印刷が遅い	188
プリンタがビジー状態である	188
コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある	188
HP Utility にアクセスできない	189
内蔵 Web サーバにアクセスできない	189
インターネットに接続できない	190
モバイル印刷のトラブルシューティング	190
ファイルシステムの自動確認	191
アラート	191
21 フロントパネルエラー メッセージ	193
システムエラー ログ	196
22 HP カスタマー ・ ケア	197
はじめに	198
HP プロフェッショナル サービス	198
HP プロアクティブ サポート	199
カスタマー セルフ リペア	200

HP のサポートに問い合わせる	200
23 プリンタの仕様	202
機能の仕様	203
モバイル印刷の仕様	205
物理的仕様	205
メモリの仕様	206
電源の仕様	206
動作環境の仕様	206
動作音に関する仕様	206
用語集	207
索引	210

1 はじめに

- [安全に関する注意事項](#)
- [HP スタートアップキット](#)
- [このガイドの使用方法](#)
- [プリンタ モデル](#)
- [プリンタの主な機能](#)
- [プリンタの主なコンポーネント](#)
- [フロントパネル](#)
- [プリンタ ソフトウェア](#)
- [モバイル印刷と Web サービス](#)
- [電子メール印刷の有効化](#)
- [プリンタをオン・オフする](#)
- [プリンタの印刷メニュー](#)

安全に関する注意事項

常に以下の注意事項と警告に従って、プリンタを安全に使用してください。このドキュメントで説明されていない操作または手順を実行しないでください。実行すると、死亡、深刻な傷害、または火災の原因となる可能性があります。

メイン接続

- ラベルに示された電源電圧を使用してください。プリンタの電源コンセントに複数のデバイスを接続して、過負荷をかけないようにしてください。過負荷がかかった場合、火災や感電の危険が発生する可能性があります。
- 必ずプリンタを接地してください。プリンタを接地しないと、感電、発火、電磁妨害の影響を受ける可能性があります。
- プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。電源コードの破損、切断、修理は避けてください。破損した電源コードは、発火や感電の原因となる可能性があります。破損した電源コードは HP 純正の電源コードと交換してください。
- 壁のコンセントとプリンタのソケットに、電源コードをしっかりと奥まで差し込みます。誤って接続すると、火災や感電の危険が発生する可能性があります。
- 濡れた手で電源コードを触らないでください。感電の危険が発生する可能性があります。
- プリンタに記載されているすべての警告と指示を守ってください。

プリンタの操作

- 金属または液体 (HP クリーニング キットで使用するものを除く) がプリンタの内部部品に触れないようにしてください。発火、感電、またはその他の重大な事故の原因となる可能性があります。
- 印刷中は、プリンタに手を入れないでください。プリンタ内部の部品を動かすとけがをする可能性があります。
- 印刷時は室内を換気してください。
- クリーニングする前に、壁からプリンタのコンセントを抜いてください。

プリンタの保守

- プリンタ内部には、オペレータが操作可能な部品はありません。保守作業は、資格を有するサービス担当者に依頼してください。最寄りの HP サポート ([200 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照) に連絡してください。
- プリンタを分解または修理しないでください。プリンタ内部には危険な電圧がかかっているため、火災や感電の危険が発生する可能性があります。
- 内部のファン ブレードは動く部品で危険です。保守の前にプリンタの接続を解除してください。

注意

次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから電源コードを抜いてください。

- プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする場合
- プリンタが通常の動作中には発生しない異常なノイズを発生する場合

- 金属や液体 (クリーニングおよび保守手順の一部ではなく) がプリンタの内部部品に触れた場合
- 雷雨時
- 停電時
- 電源コードまたはプラグが損傷した場合
- プリンタを落とした場合
- プリンタが正常に動作しない場合

HP スタートアップキット

HP スタートアップキットは、プリンタに同梱されている DVD です。プリンタのソフトウェアとマニュアルが含まれています。

このガイドの使用方法

このガイドは、HP サポート センターからダウンロードできます ([198 ページの HP サポート センター](#) を参照)。

はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

使用方法と保守

これらの章では、通常のプリンタ操作手順を説明します。以下の項目が含まれます。

- [16 ページの「ソフトウェアのインストール」](#)
- [21 ページの「プリンタを設定する」](#)
- [30 ページの「ネットワーク設定」](#)
- [42 ページの「プリンタのカスタマイズ」](#)
- [48 ページの「用紙の取り扱い」](#)
- [65 ページの「2 本のロール紙を使用する \(T1500 シリーズ\)」](#)
- [67 ページの「印刷時」](#)
- [86 ページの「モバイル印刷」](#)
- [88 ページの「ジョブ キューの管理 \(T920 PS、T930、T930 PS、T1500 シリーズ\)」](#)
- [96 ページの「カラーマネジメント」](#)
- [108 ページの「実際の印刷の例」](#)
- [125 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」](#)

- [129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)
- [142 ページの「プリンタを保守する」](#)

トラブルシューティング

これらの章では、印刷中に発生する可能性のある問題の解決策を説明しています。以下の項目が含まれます。

- [151 ページの「用紙に関するトラブルシューティング」](#)
- [162 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)
- [182 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング」](#)
- [186 ページの「一般的なプリンタに関するトラブルシューティング」](#)
- [193 ページの「フロントパネルエラー メッセージ」](#)

アクセサリ、サポート、および仕様

[148 ページの「サプライ品とアクセサリ」](#)、[197 ページの「HP カスタマー・ケア」](#)、および[202 ページの「プリンタの仕様」](#)の各章では、カスタマー・ケア、プリンタの仕様、および各種用紙、インク サプライ品、アクセサリの製品番号などに関する参考情報を参照できます。

用語集

[207 ページの用語集](#)には、このマニュアルで使用する印刷および HP 用語の定義が記載されています。

索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用して破損を防ぐために、以下の記号が使用されています。これらの記号の付いた指示に従ってください。

⚠ 警告！ この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。

⚠ 注意： この記号の付いたガイドラインに従わない場合、軽度の人身事故またはプリンタの破損につながる恐れがあります。

プリンタ モデル

このガイドでは、次のプリンタ モデルについて説明しています。通常は、それらのモデルを略して短縮名称で呼びます。

正式名称	短縮名称
HP DesignJet T920 プリンタ	T920
HP DesignJet T920 PostScript プリンタ	T920 PS

正式名称	短縮名称
HP DesignJet T930 プリンタ	T930
HP DesignJet T930 PostScript プリンタ	T930 PS
HP DesignJet T1510 プリンタ	T1510
HP DesignJet T1510 PostScript プリンタ	T1510 PS
HP DesignJet T1530 プリンタ	T1530
HP DesignJet T1530 PostScript プリンタ	T1530 PS

プリンタの主な機能

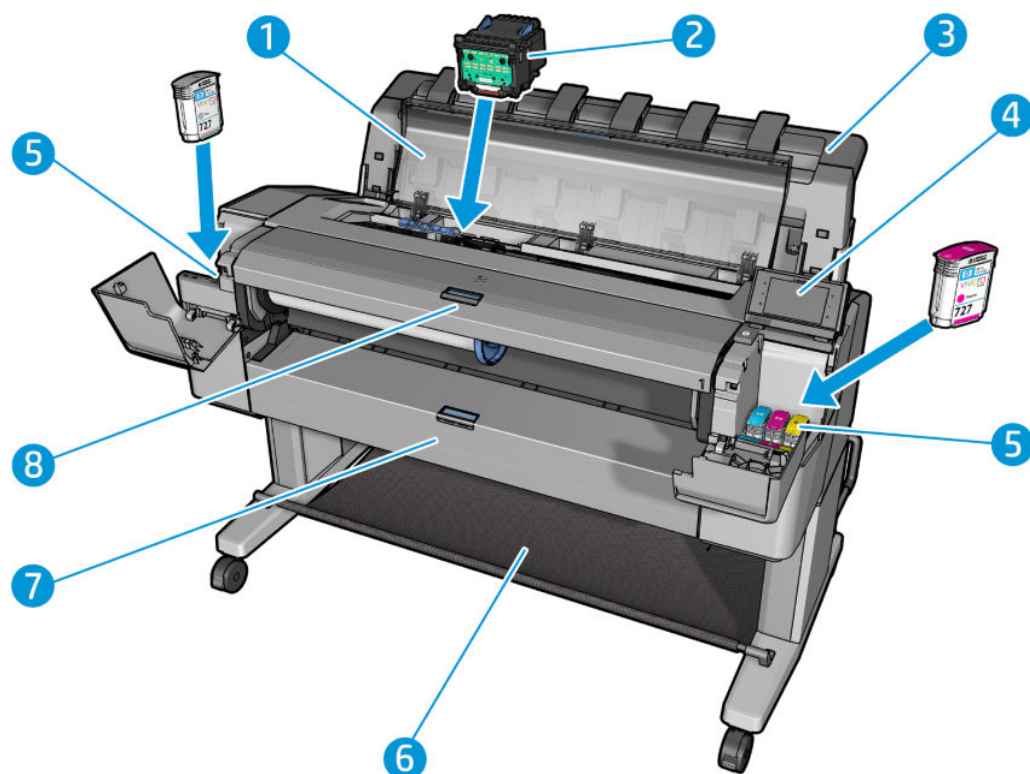
このプリンタは、最大幅 914mm の用紙に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラー インクジェット プリンタです。主な機能を以下に示します。

- A4/A 縦から A0/E まで (それぞれ最大 50 A1/D サイズに対応) の用紙サイズに合った内蔵スタッカ
- プリンタ前面からのロールおよび用紙のセット
- 自動切り替え対応の 2 本のロール。長時間の自動印刷が可能 (T1500 シリーズのみ)
- 6 色インク システム
- 9/8 インチ幅の一体化プリントヘッド。2 重ブラック ノズルにより速度と品質が向上
- 直観的なグラフィカル ユーザ インタフェースを備えた、カラーのタッチセンサー式フロントパネル
- 印刷解像度は最大 2400 x 1200 に最適化された dpi (1200 x 1200dpi 入力)
- 節約して印刷するためのエコノモード
- 内蔵 Web サーバまたは HP Utility を使用して、内蔵フロントパネルまたはリモート コンピュータから製品を管理可能
- 自動ファームウェア更新、HP ePrint、Web コネクテッド機能に対応したモバイル印刷などの Web コネクテッド機能を含む
- AirPrint を使用した、ドライバなしの印刷
- 用紙の適応性と簡単な自動給紙機能 ([48 ページの「用紙の取り扱い」](#)を参照)。情報およびプリセットは、フロントパネルから利用可能
- 自動カラーキャリブレーションによる、正確で一貫したカラー再現
- カラー エミュレーション ([100 ページのプリンタ エミュレーション](#)を参照)
- 手動スタッカーを使用した手動印刷により、フォト用紙での特殊なジョブの処理能力が向上
- ジョブのプレビュー、ネスティングなど、プリンタの内蔵 Web サーバを使用した高生産性を実現する機能 (T1500 シリーズのみ)
- インクと用紙の使用状況を、内蔵 Web サーバから確認可能 ([43 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)
- オンライン サポートへのアクセス
- オプションとして使用可能な 3 mm のマージン
- 高度な印刷機能 (PIN 印刷など)

プリンタの主なコンポーネント

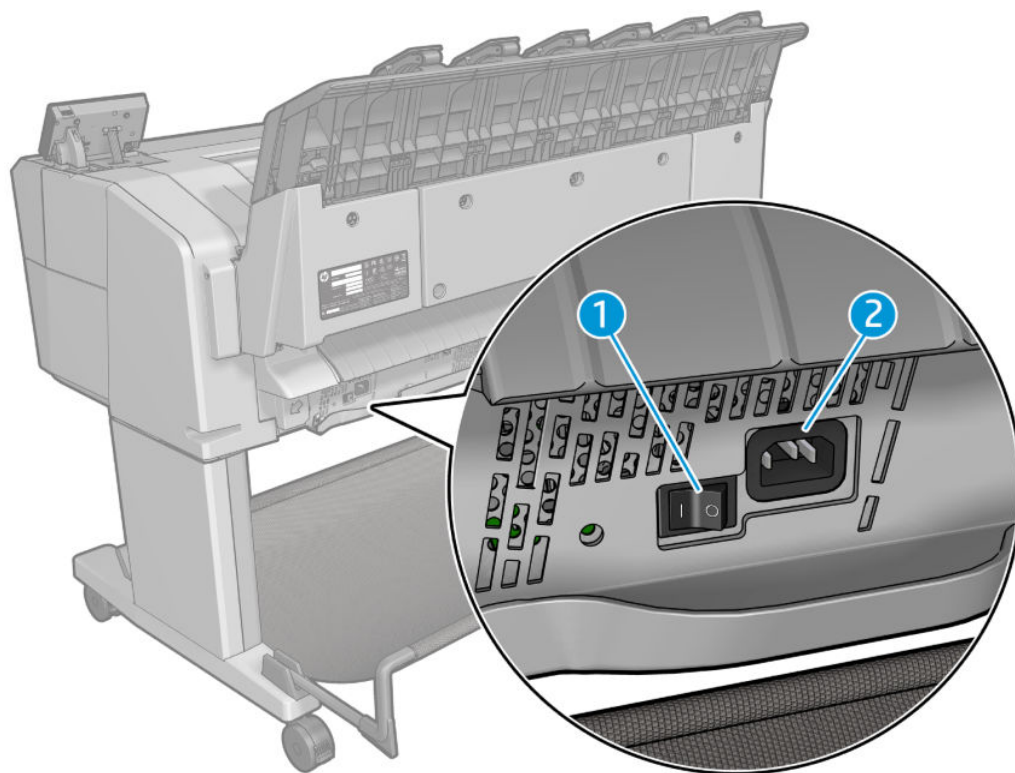
以下のプリンタ前面図および背面図は主なコンポーネントを示します。

前面図



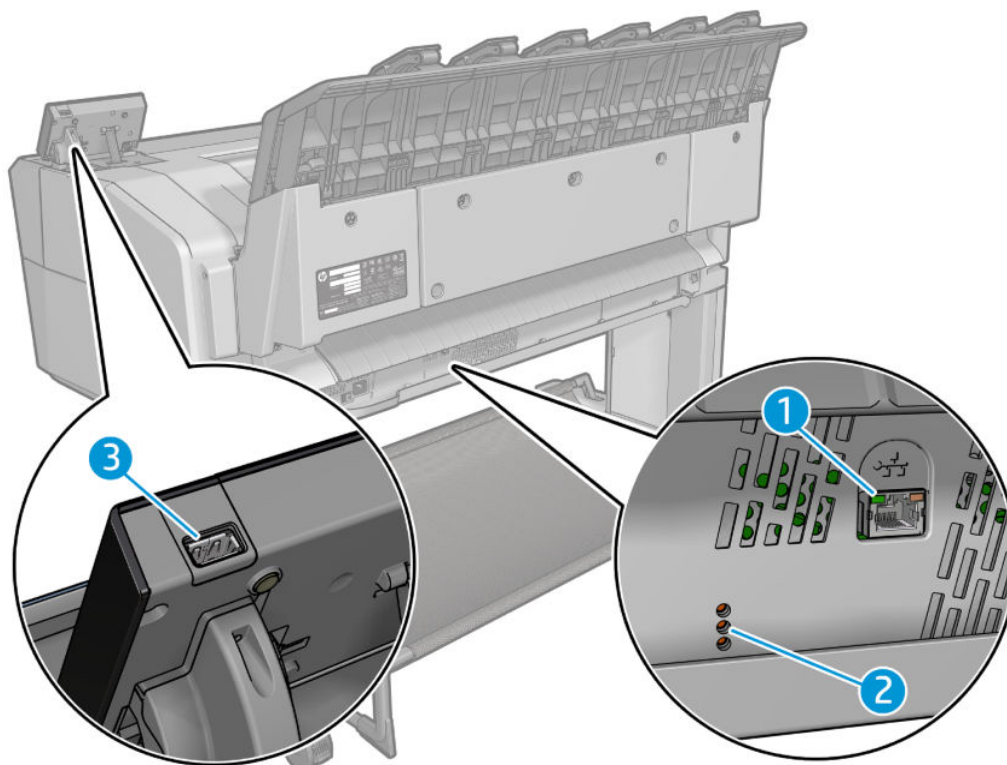
- 1. ウィンドウ
- 2. プリントヘッド
- 3. スタッカ
- 4. フロントパネル
- 5. インクカートリッジ
- 6. バスケット
- 7. 下側ロールカバー (T1500 シリーズ)
- 8. 上側ロールカバー

背面図



- 1. 電源スイッチ
- 2. 電源ソケット

通信ポート

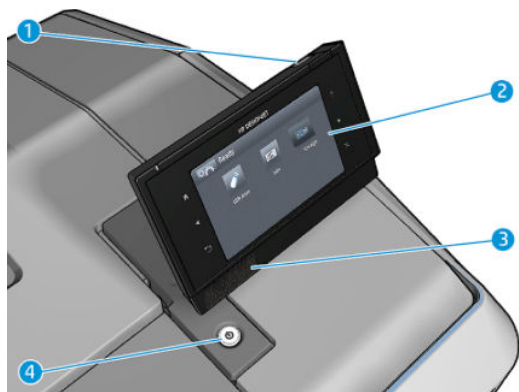


1. ギガビットイーサネットポート (ネットワーク接続用)
2. 診断 LED (サービス エンジニアが使用)
3. 高速 USB ホスト ポート (USB フラッシュ ドライブ接続用)

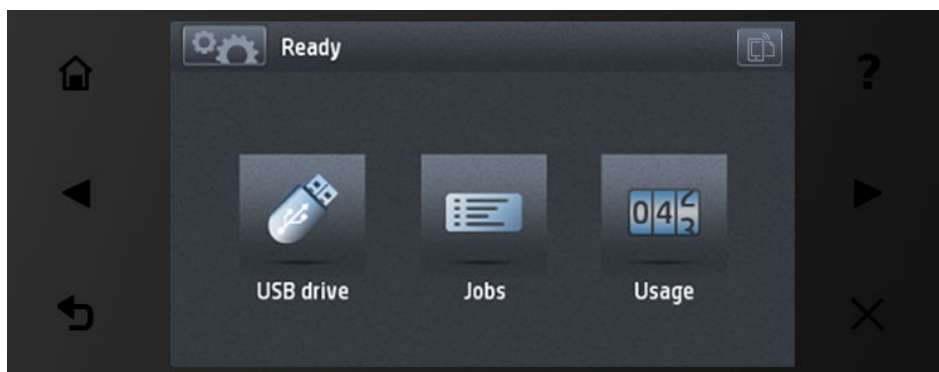
フロントパネル



フロントパネルは、プリンタ前面の右側にあります。フロントパネルでは、プリンタを完全に管理することが可能で、フロントパネルから、印刷、プリンタに関する情報の表示、プリンタ設定の変更、キャリブレーションおよびテストの実行などを行えます。必要に応じてフロントパネルには、アラート (警告およびエラー メッセージ) も表示されます。フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。



1. 高速 USB ホスト ポート (印刷対象のファイルが格納された USB フラッシュ ドライブの接続用)。USB フラッシュ ドライブが挿入されると、USB アイコン  がフロントパネルのホーム画面に表示されます。
2. フロントパネル自体。グラフィカル ユーザ インタフェースを備えたタッチセンサー式画面。
3. スピーカ。
4. 電源ボタン。プリンタの電源のオンとオフを切り替えることができます。プリンタの電源がオンの場合、ボタンが点灯します。プリンタがスリープモードのときは、点滅します。



フロントパネルには、動的な情報およびアイコンを表示するための大きな中央領域があります。左側および右側にある 6 つの固定アイコンをそれぞれ別々に表示できます。通常は、同時にすべては表示されません。

左右の固定アイコン

-  を押すと、ホーム画面に戻ります。
-  を押すと、現在の画面に関するヘルプが表示されます。
-  を押すと、前の項目に移動します。
-  を押すと、次の項目に移動します。
-  を押すと、前の画面に戻ります。これにより、現在の画面で行った変更が破棄されることはありません。
-  を押すと、現在のプロセスをキャンセルします。
-  を押すと、プリンタの電子メールが表示されます。

ホーム画面の動的なアイコン

以下の項目は、ホーム画面にのみ表示されます。

-  を押すと、情報画面が表示され、プリンタのステータスに関する情報の表示、プリンタ設定の変更、用紙の取り付けやインク サプライ品の交換などの操作の開始を実行できます。
- 上記のボタンの右側には、プリンタのステータスまたは最重要な現在のアラートを表示するメッセージがあります。
-  を押すと、USB フラッシュ ドライブからファイルが印刷されます。 [67 ページの「印刷時」](#) を参照してください。
-  を押すと、ジョブキューを表示および管理します。保留中のジョブがある場合には、小さな警告アイコンが表示されます。 [88 ページの「ジョブキューの管理 \(T920 PS、T930、T930 PS、T1500 シリーズ\)」](#) を参照してください。
-  を押すと、USB フラッシュ ドライブに関する情報を表示します。このアイコンは、USB フラッシュ ドライブが挿入されている場合にのみ表示されます。
-  を押すと、利用可能なアプリケーションにアクセスします。 <http://www.hp.com/go/designjetprinters> を参照してください。このアイコンは、1 つまたは複数のアプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。

情報画面

ホーム画面の  を押すと、情報画面が表示されます。



情報画面の動的なアイコン

-  を押すと、用紙のステータスが表示されます。
-  を押すと、インクカートリッジのステータスが表示されます。
-  を押すと、プリントヘッドのステータスが表示されます。
-  を押すと、ネットワークのステータスが表示されます。

-  を押すと、アラートの一覧が表示されます。
-  を押すと、プリンタに関する情報が表示されます。
-  を押すと、プリンタ設定を表示および変更することができます。

スリープモード

スリープモードでは、操作のない状態が一定時間続いた後プリンタが省電力状態になり、フロントパネルディスプレイが消えるため、節電状態になります。プリンタの機能はこのモードになっても有効です。プリンタのネットワーク接続は維持され、必要に応じて復帰します。**電源** ボタンを押す、印刷ジョブを送信する、またはウィンドウを開いて、ロールカバー、スタッカーカバーを開くと、プリンタをスリープモードから復帰できます。プリンタは数秒で復帰します。完全に電源をオフにした場合より早く復帰できます。スリープモードになっていると、**電源** ボタンは点滅します。

スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[フロントパネルオプション]-[スリープモード待ち時間]** を選択します。1 ~ 240 分に設定できます。デフォルトの時間は 30 分です。

プリンタの監視 (印刷スプーラを使用) とリモートプリンタの管理 (HP Utility と Web JetAdmin を使用) は、スリープモード時でも使用できます。一部のリモート管理タスクには、タスクを実行する必要がある場合にプリンタをリモートで復帰するオプションが用意されています。

プリンタソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- プリンタドライバ
- 内蔵 Web サーバおよび (または) HP Utility を使用して、以下を実行できます。
 - リモートコンピュータからのプリンタの管理 (この場合、内蔵 Web サーバの使用が推奨されます)
 - インクカートリッジ、プリントヘッド、および用紙のステータスの表示
 - プリンタのファームウェアのアップデート ([144 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照)
 - キャリブレーションおよびトラブルシューティングの実行
 - 印刷ジョブの提示
 - ジョブキューの管理 ([88 ページの「ジョブキューの管理 \(T920 PS、T930、T930 PS、T1500 シリーズ\)」](#)を参照)
 - アカウンティング情報の表示 ([125 ページの「プリンタの使用状況に関する情報を取得する」](#)を参照)
 - さまざまなプリンタ設定の変更
 - 電子メール通知の管理
 - アクセス許可とセキュリティ設定の変更

[43 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)および[43 ページの HP Utility へのアクセス](#)を参照してください。

 **注記** : Mac OS X 用の HP Utility と Windows 用の HP DesignJet Utility は機能が似ており、このガイドではまとめて HP Utility と呼ぶことがあります。

 **注記** : 新しいバージョンのすべてのプリンタ ソフトウェアは、随時サポートされる予定です。場合によっては、プリンタを受け取った時点で、以降のバージョンの一部のプリンタ ソフトウェアを HP の Web サイトから入手できる場合があります。

モバイル印刷と Web サービス

モバイル印刷

HP モバイル印刷ソリューションを使用すると、どこにいてもスマートフォンやタブレットから少しの手順で直接印刷することができます。その際、モバイル デバイスの OS を使用するか、電子メールに PDF を添付してプリンタに送信します。

- iOS Apple 印刷は、Airprint を通じて可能になります。
- Android 印刷の場合、Google Play から <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.hp.android.printservice&hl=en> HP 印刷サービス アプリをインストールしてください (モバイル デバイスにまだインストールされていない場合)。
- 電子メールにより印刷するには、HP ePrint に移動し、サービスを有効にして、プリンタの電子メールアドレスを取得します。

電子メール印刷の有効化

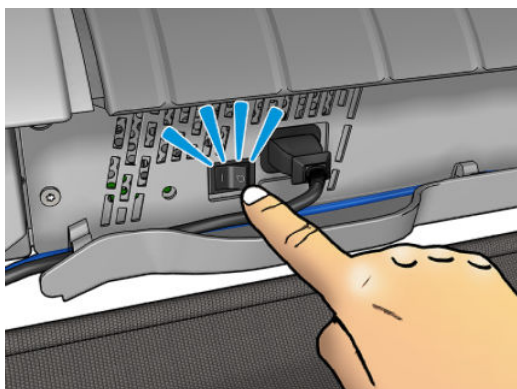
1. プリンタがインターネットに正しく接続されていることを確認します。
2. プリンタの初期セットアップ中に Web サービスを有効にします。または、ホーム画面の  をタッチして、フロントパネルの指示に従って後で行うこともできます。ファームウェアがアップデートされたら、再起動する必要がある場合があります。
3. この手順は省略してもかまいません。電子メールで送信されるアクティビ化リンクをクリックすることで、アカウントをアクティビ化します。メッセージが表示されない場合、迷惑メールフォルダを確認してください。
4. この手順は省略してもかまいません。プリンタ管理者の場合、HP Connected (<http://www.hpconnected.com>) にログインし、プリンタの電子メールアドレスをカスタマイズするか、プリンタのリモート印刷のセキュリティを管理します。

おめでとうございます。Web サービスの設定が完了しました。HP ePrint を使用できます。HP Connected の最新情報、サポート、および使用条件については、<http://www.hpconnected.com> を参照してください。このセットアップを行った後は、自動ファームウェア アップデートを利用できます。

プリンタをオン・オフする

プリンタの電源をオンまたはオフにしたり、プリンタをリセットする場合は、通常はフロントパネルの電源ボタンを使用することを推奨します。

ただし、プリンタを長期間保管する場合、または電源ボタンが動作しない場合は、背面の電源スイッチで電源を切ることを推奨します。



電源を入れ直すには、背面の電源スイッチを使用します。

プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約3分間かかります。プリントヘッドの準備には、約1分15秒かかります。ただし、プリンタを2週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大7分かかることがあります。プリンタの復元が必要な場合はさらに13分かかることがあります。

「[12 ページのスリープモード](#)」および「[44 ページの自動オフ設定を変更する](#)」も参照してください。

プリンタの印刷メニュー

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、プリンタと用紙の印刷準備ができていることを確認します。

- 幅が A3 横置き (420mm) 以上の用紙を使用してください。それより小さい用紙では、イメージの一部が印刷されないことがあります。
- フロントパネルには、「印刷可能です」というメッセージが表示されている必要があります。

印刷メニューを印刷するには、 を押し、次に  を押して、**[印刷メニュー]** にスクロールしてそれをクリックし、必要な印刷メニューを選択します。以下の印刷メニューを使用できます。

- デモ印刷ではプリンタの機能の一部を表示します
 - 描画デモ印刷
 - レンダリング デモ印刷
 - GIS マップ印刷
- ユーザ情報の印刷

- 使用状況レポートの印刷では、印刷の合計数、用紙の種類別の印刷部数、印刷品質オプション別の印刷部数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します(これらの推定値の正確性については保証されていません)(T1500 シリーズのみ)。
- HP-GL/2 パレットの印刷では、現在選択しているカラーパレットのカラー/グレースケール定義を表示します。
- PostScript フォントでは、使用可能な PostScript フォントを表示します (PostScript プリンタのみ)。
- サービス情報の印刷
 - ステータス情報の印刷
 - プリンタ使用状況の印刷
 - イベントログの印刷
 - キャリブレーション状況の印刷
 - 接続設定の印刷
 - すべてのページの印刷(上記のすべてのレポートが印刷されます)

2 ソフトウェアのインストール

- [ネットワークにプリンタを接続する](#)
- [ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する\(Windows の場合\)](#)
- [プリンタソフトウェアをアンインストールする\(Windows の場合\)](#)
- [ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する\(Mac OS X の場合\)](#)
- [プリンタソフトウェアをアンインストールする\(Mac OS X の場合\)](#)

ネットワークにプリンタを接続する

プリンタは、同一ネットワークのすべてのコンピュータと同様の方法で、ほとんどのネットワークに対して自動的に設定されます。ネットワークに初めて接続する場合は、この処理に数分かかる場合があります。

プリンタに動作しているネットワーク設定がある場合は、フロントパネルからネットワークアドレスを確認できます。 を押し、次に  を押します。

ネットワーク設定

現在のネットワーク設定の詳細については、フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、**[接続]-[ネットワーク接続]-[ギガビットイーサネット]-[設定の変更]** を選択します。ここでは、通常は必要ありませんが、設定を手動で変更することができます。これは、内蔵 Web サーバを使用してリモートで行うこともできます。

 **ヒント：** 完全なプリンタのネットワーク設定を紙に印刷しておいた方が役立つ場合があります。これはフロントパネルから行うことができます。 を押し、次に  を押して、**[内部印刷]-[サービス情報の印刷]-[接続設定の印刷]** を選択します。完全なネットワーク設定を印刷しない場合は、プリンタの IP アドレスおよびネットワーク名をメモしておいてください。

プリンタのネットワーク設定が間違っている場合、フロントパネルからネットワーク設定を工場出荷時の値に戻すことができます。 を押し、次に  を押して、**[接続]-[ネットワーク接続]-[詳細設定]-[工場出荷時の設定に戻す]** を選択します。次に、プリンタを再起動する必要があります。これにより、ほとんどのネットワークに対して動作するネットワーク設定が自動的に提供されます。プリンタの他の設定は変わりません。

IPv6 を使用する

このプリンタは、IPv4 と同様に、IPv6 を使用したほとんどすべてのネットワーク接続機能をサポートしています。IPv6 を十分に活用するには、IPv6 ルータおよびサーバがある IPv6 ネットワークに、プリンタを接続する必要があります。

ほとんどの IPv6 ネットワークでは、プリンタは次のように自動的に設定され、ユーザが設定する必要はありません。

1. プリンタは自分自身にリンク ローカル IPv6 アドレス（「fe80::」で開始する）を割り当てます。
2. プリンタは自分自身に、ネットワーク上の IPv6 ルータによって示される、ステートレス IPv6 アドレスを割り当てます。
3. ステートレス IPv6 アドレスを割り当てられない場合、プリンタは DHCPv6 を使用して IPv6 アドレスを取得しようとします。ルータがそれを行うように指示する場合にも、それを行います。

ステートレスおよび DHCPv6 IPv6 アドレスは、プリンタにアクセスするために使用することができ、ほとんどの IPv6 ネットワークにこれは適しています。

リンクローカル IPv6 アドレスは、ローカルサブネットでのみ動作します。このアドレスを使用してプリンタにアクセスできますが、推奨されません。

フロントパネルまたは内蔵 Web サーバを使用して、プリンタに手動で IPv6 アドレスを割り当てることができます。また、プリンタで IPv6 を完全に無効にすることもできます。ただし、プリンタで IPv4 を無効にすることはできませんので、IPv6 専用としてプリンタを設定することはできません。

 **注記：**通常の IPv6 の使用では、プリンタに複数の IPv6 アドレスを設定できますが、IPv4 アドレスは 1 つしか設定できません。

 **ヒント：**プリンタには、名前を付けることを推奨します。これは、フロントパネルから実行でき、内蔵 Web サーバからでは、より簡単に実行することができます。

ヒント：一般的に、特に IPv6 を使用する必要性がない場合は、IPv4 を使用する方が簡単です。

Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows Server 2008、それ以降のバージョンの Windows、および新しい HP イメージング&プリンティング デバイスでは、IPv6 がデフォルトで有効になっています。IPv6 の詳細については、<http://h20000.www2.hp.com/bc/docs/support/SupportManual/c00840100/c00840100.pdf> を参照してください。このドキュメントでは、デュアルスタック切り替え方法における名前解決の基本的な役割について説明しています。Windows の名前解決アルゴリズムを使用して、このドキュメントではさまざまなネットワーク環境を調べ、ルーティング可能な IPv6 アドレスの導入がネットワーク アプリケーションにどのような影響を及ぼすかについて説明しています。また、DHCPv6、SLAAC および DNS への影響についても説明し、いくつかの推奨方法も示しています。

IPSec を使用する

このプリンタは IPSec をサポートしています。

ただし、正しい IPSec 設定には、高度なネットワークに関する専門知識が必要で、それはこのドキュメントの範囲を超えています。IPSec が動作するためには、プリンタの IPSec 設定が、ネットワークの他のデバイスの設定と正確に一致する必要があります。矛盾がある場合は、設定が修正されるか、IPSec が無効になるまで、プリンタと通信できません。IPSec の設定についての詳細は、<http://www.hp.com/go/T920/manuals> または <http://www.hp.com/go/T1500/manuals> から **IPsec_Admin_Guide.pdf** をダウンロードしてください。

ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する (Windows の場合)

以下の指示は、プリンタ ドライバを使用して、ソフトウェア アプリケーションから印刷する場合に該当します。別の印刷方法については、[67 ページの「印刷時」](#)を参照してください。

手順を実行する前に、以下のことを確認します。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネットスイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に動作している。
- プリンタとコンピュータがネットワークに接続されている([17 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照)。

上記を確認したら、プリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタに接続できます。

プリンタ ソフトウェアをインストールする

1. フロントパネルに表示されるプリンタの IP アドレスをメモしておいてください ([43 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。
2. コンピュータに HP スタートアップキット DVD を挿入します。DVD が自動的に起動しない場合は、DVD のルート フォルダ内の **setup.exe** を実行します。
3. **【ソフトウェアインストール】** ボタンに移動して、それを押します。

4. **【ソフトウェアのインストール】** ボタンを押し、表示されたネットワーク プリンタの一覧からプリンタを選択します (必要に応じて IP アドレスで識別します)。

コンピュータがネットワーク上でプリンタを検出できない場合は、**【プリンタが見つかりません】** ウィンドウが表示されます。このウィンドウでプリンタの検出を再試行できます。ファイアウォールが有効になっている場合、プリンタを検出するために、ファイアウォールを一時的に無効にする必要があることがあります。プリンタのホスト名、IP アドレス、または MAC アドレスによってプリンタを検出するオプションもあります。

プリンタがコンピュータと同じサブネットにない場合には、プリンタの IP アドレスを指定することが唯一の方法であることがあります。

5. 画面の指示に従って、プリンタ ドライバと、HP DesignJet Utility などの他の HP ソフトウェアをインストールします。

プリンタ ソフトウェアをアンインストールする(Windows の場合)

1. DVD ドライブに HP スタートアップキット DVD を挿入します。DVD が自動的に起動しない場合は、DVD のルートフォルダ内の **setup.exe** を実行します。
2. **【ソフトウェア インストール】** ボタンに移動して、それを押します。
3. **【ソフトウェアのインストール】** ボタンを押し、画面の指示に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

ネットワーク経由でプリンタにコンピュータを接続する(Mac OS X の場合)

Mac OS X 環境でプリンタをネットワークに接続する場合、以下の方法を使用できます。

- Bonjour
- TCP/IP

★ **ヒント:** ローカル ネットワークでは Bonjour が推奨されます。その他のネットワークでは TCP/IP が推奨されます。

以下の指示は、プリンタ ドライバを使用して、ソフトウェア アプリケーションから印刷する場合に該当します。別の印刷方法については、[67 ページの「印刷時」](#)を参照してください。

手順を実行する前に、以下のことを確認します。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット スイッチまたはルータの電源が入っていて、正常に動作している。
- プリンタとコンピュータが (有線またはワイヤレス) ネットワークに接続されている。
[17 ページのネットワークにプリンタを接続する](#)を参照してください。

上記を確認したら、プリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタに接続できます。

1. フロントパネルで、 を押し、 を押します。プリンタの mDNS サービス名をメモします。
2. DVD ドライブに HP スタートアップキット DVD を挿入します。
3. デスクトップの DVD アイコンを開きます。
4. お使いの Web ブラウザが開き、その他のソフトウェアのインストール手順が表示されます。**OS X インストーラのダウンロード**をクリックする必要があります。ダウンロードしたら、インストールソフトウェアを開いて、必要なコンポーネントをすべてシステムにインストールします。
5. プリンタドライバがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。
6. [プリンタの選択] 画面が表示されたら、[プリンタ名] 列にあるプリンタの mDNS サービス名 (手順 1 でメモした名前) を検索します。
 - 正しい名前を検出した場合、必要に応じて横方向にスクロールして[接続方法]列を表示し、それが **Bonjour** を示していることを確認します。次に、その行をハイライトします。それ以外の場合は、リストの下方向への検索を続けます。
 - プリンタ名が見つからない場合は、**[続行]**をクリックし、後でシステム環境設定で手動でセットアップを行います。

[続行]をクリックします。

7. 画面の指示に従って続行します。
8. HP Utility セットアップ アシスタントが終了したら、DVD ドライブから DVD を取り出します。

プリンタドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントを DVD からいつでも起動することができます。

プリンタ ソフトウェアをアンインストールする(Mac OS X の場合)

1. DVD ドライブに HP スタートアップキット DVD を挿入します。
2. デスクトップの DVD アイコンを開きます。
3. **[Mac OS X HP DesignJet アンインストーラ]**を開き、画面の指示に従ってプリンタ ソフトウェアをアンインストールします。

印刷キューを削除するには、システム環境設定から、**[プリンタとファクス]**ダイアログ ボックスを選択します。プリンタ名を選択して、**[-]** ボタンをクリックします。

3 プリンタを設定する

- [はじめに](#)
- [Web サービスのセットアップ](#)
- [Web サービス手動設定](#)
- [用紙適合性オプション](#)
- [ネスティング機能をオン/オフにする \(T1500 シリーズ\)](#)
- [使用状況に関する情報をオン/オフにする](#)
- [電子メール通知をオン/オフにする](#)
- [アラートをオン/オフにする](#)
- [プリンタへのアクセスを制御する](#)
- [アカウント ID を要求する \(T1500 シリーズ\)](#)
- [Windows ドライバの環境設定を設定する](#)

はじめに

この章では、プリンタの組み立てが完了し、使用可能になり次第、プリンタの管理者が制御できるさまざまなプリンタ設定について説明します。

Web サービスのセットアップ

インターネットに接続すると、さまざまな Web サービスを活用することができます ([13 ページのモバイル印刷と Web サービス](#)も参照)。

- 自動ファームウェアアップデート
- HP ePrint を使用して電子メールにより印刷する

プリンタを Web サービスから設定するには、以下で詳しく説明する手順に従います。

1. プリンタがインターネットに正しく接続されていることを確認します。
2. 接続ウィザードを実行します。フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、**[接続]-[接続ウィザード]** を選択します。

 **注記：** この処理中にファームウェアがアップデートされた場合、必要に応じてプリンタを再起動する必要があります。

 **ヒント：** ウィザードにプリンタ コードが表示された場合、メモしておくことをお勧めします。プリンタの電子メールアドレス、使用方法、プリンタのセキュリティを管理する方法について記載されたページが自動的に印刷されます。

おめでとうございます。Web サービスの設定が完了しました。HP ePrint を使用できます。

HP Connected の最新情報、サポート、および使用条件については、次の Web サイトを参照してください：<http://www.hpconnected.com> (お客様の地域でご利用可能かどうかを確認してください)。

Web サービス手動設定

Web サービスを設定するには、通常接続ウィザード ([22 ページの Web サービスのセットアップ](#)を参照) で十分ですが、必要に応じて手動設定機能も用意されています。

プリンタのインターネット接続の設定

内蔵 Web サーバまたはフロントパネルからプリンタのインターネット接続を設定できます。

 **注記：** 管理者パスワードが設定されている場合は、以下の設定を変更する必要があります。したがって、管理者は必要に応じてプリンタがインターネットに接続されないようにすることができます。

- **内蔵 Web サーバの場合：** **[セットアップ]-[インターネット接続]** を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合：**  を押し、次に  を押して、**[接続]-[インターネット接続]** を選択します。

以下の設定があります。

- **【インターネット接続】**：デフォルト値は、**【はい】**です。
- **【プロキシ】-【プロキシの有効化】**：プロキシサーバを有効または無効にします。
- **【プロキシ】-【プロキシアドレス】**：プロキシアドレスを入力します。デフォルトは空です。
- **【プロキシ】-【プロキシポート】**：プロキシポート番号を入力します。デフォルトはゼロです。
- **【プロキシ】-【プロキシ認証】**：認証を有効または無効にします。
- **【プロキシ】-【工場出荷時の設定に戻す】**：初期のデフォルト設定に戻します。

インターネット接続で問題がある場合は、[190 ページのインターネットに接続できない](#)を参照してください。

ファームウェアのアップデートを設定する

内蔵 Web サーバまたはフロントパネルから、ファームウェアのアップデートをダウンロードするかどうかとその方法を選択できます。

 **注記**：管理者パスワードが設定されている場合は、以下の設定を変更する必要があります。

- **内蔵 Web サーバの場合**：**【セットアップ】**>**【ファームウェアのアップデート】**を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**： を押し、次に  を押して、**【アップデート】-【ファームウェアのアップデート】**を選択します。

以下の設定から選択できます。

- **【確認】**：**【自動】**(デフォルト設定)を選択した場合、プリンタは毎週(または、プリンタが先に 7 回再起動した場合はこの後に)自動的に新しいファームウェアが入手可能かどうかを確認します。**【手動】**を選択した場合、プリンタは自動的に確認しません。いつでも手動で確認できます。
- **【ダウンロード】**：**【自動】**(デフォルト設定)を選択した場合、プリンタは新しいファームウェアが利用可能になると自動的にダウンロードします。**【手動】**を選択した場合、ダウンロードのたびに承認が求められます。

 **注記**：ファームウェアをダウンロードしても、プリンタにインストールされるわけではありません。新しいファームウェアをインストールするには、インストールを手動で確認する必要があります。

- **【ファームウェア アップデート情報】**：現在インストールされているファームウェアに関する情報
- **【ファームウェアのアップデート履歴】**：プリンタにインストールされた過去のファームウェアバージョンの一覧です。現在のバージョンに問題がある場合は、現在インストールされているバージョンの直前のバージョンを再インストールすることが通常可能です。

リモート印刷の環境設定

フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、**【セットアップ】-【クラウドからの印刷設定】**を選択し、リモートの場所からプリンタに送信されたジョブのデフォルトプロパティを定義します。

- **【プリンタのマージン】**：**【コンテンツからクリップ】**と**【コンテンツに追加】**のいずれかを選択します。
- **【カラー】**：**【カラー】**、**【グレースケール】**、**【モノクロ】**の各印刷方法の中から選択します。

- **[印刷品質]:** **[高品質]**、**[標準]**、および**[高速]**のいずれかを選択します。
- **[ロール]:** **[ロール 1]**、**[ロール 2]**、および**[用紙の節約]** (印刷内容がぴったり合う、最も幅の狭いロールが自動的に選択されます) のいずれかを選択します。
- **[HP ePrint Center のジョブ]:** **[保留]** および **[ダイレクト印刷]** のいずれかを選択します。デフォルトでは、クラウドのジョブは**[保留]**です。**[ダイレクト印刷]**を選択した場合、フロントパネルには許可を求めるメッセージが表示されません。

用紙適合性オプション

用紙が一致しない場合の動作

現在プリンタに取り付けている用紙が特定のジョブに適していない場合、プリンタは、適合する用紙が取り付けられるまでジョブを保留にするか、その問題を無視して、適合しない用紙にジョブを印刷します。取り付けられた用紙を不適合と見なす方法は次のとおりです。

- 用紙の種類がジョブに指定したものと異なる
- ジョブに対して給紙方法 (ロール紙 1、ロール紙 2、カット紙) が指定されていない。
- 用紙のサイズがジョブに指定したものより小さい

このような場合のプリンタの動作はフロントパネルから設定できます。

- このようなジョブを取り付けられている用紙の種類に関係なく印刷するようにする場合は、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[ジョブ管理]-[用紙が一致しない場合の動作]-[そのまま印刷をする]** を選択します。ソフトウェアアプリケーションまたは内蔵 Web サーバから印刷する場合、これがデフォルトです。ただし、USB フラッシュドライブから印刷される場合には無視されます。
- このようなジョブを保留にする場合は、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[ジョブ管理]-[用紙が一致しない場合の動作]-[ジョブを保留にする]** を選択します。ジョブが保留になると、プリンタはアラートを送信します。

用紙が理由でジョブが保留になると、適切な用紙が取り付けられるまでプリンタ キューに入れられます。その後、キューにアクセスして印刷の再開を選択できます。これに対し、別の要件の他のジョブは印刷を続行できます。

ロール紙切替オプション (T1500 シリーズ)

2つのロール紙が取り付けられていて、両方ともジョブに適している場合は、環境設定に従ってロール紙が選択されます。これらは、フロントパネルから設定できます。 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙オプション]-[ロール紙切替オプション]**。

- **[ロール紙の消費を最小化]:** このオプションを選択すると、トリムによって用紙が無駄にならないように、すべての条件を満たす中で最も幅の狭いロール紙が選択されます。これはデフォルトのオプションです。
- **[ロール紙の変更を最小化]:** このオプションを選択すると、ロール紙の切り替えに要する時間を節約するために、現在アクティブなロール紙が選択されます。
- **[用紙の少ないロール紙を使用]:** このオプションを選択すると、最も用紙の少ないロールが選択されます。

 **注記：**このオプションは、**【用紙情報の印刷】**をオンにしている場合にのみ有効です ([62 ページの用紙情報の印刷](#)を参照)。それ以外の場合の効果は、**【ロール紙の消費を最小化】**と同じです。

ネスティング機能をオン/オフにする (T1500 シリーズ)

ネスティングとは、イメージやドキュメントのページを1つずつ連続してではなく、可能であれば、自動的に1枚の用紙に並べて印刷することです。これにより、用紙を節約することができます。
[80 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1500 シリーズ\)](#)を参照してください。

ネスティングをオン/オフするには、まずジョブキューが有効であること ([91 ページのジョブのキューをオフにする](#)または[95 ページのジョブのキューをオフにする](#)を参照) と、印刷の開始が**【処理後】**に設定されていること ([90 ページのキュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する](#)または[93 ページのキュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する](#)を参照)を確認します。そして次のようにします。

- **HP DesignJet Utility (Windows) の場合：** **【管理者】** タブから、**【プリンタ設定】**-**【ジョブ管理】**-**【ネスティング】**を選択します。
- **HP Utility (Mac OS X) の場合：** **【設定】**-**【プリンタ設定】**-**【プリンタ設定の構成】**-**【ジョブ管理】**-**【ネスティング】**を選択します。
- **内蔵 Web サーバの場合：** **【セットアップ】**-**【プリンタ設定】**-**【ジョブ管理】**-**【ネスティング】**を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合：**  を押し、次に  を押して、**【セットアップ】**-**【ジョブ管理】**-**【ネスティングの設定】**-**【ネスティング】**を選択します。

いずれの場合でも、以下のオプションを選択できます。

- **【通常の順序】：** プリンタに送信された順にページがネスティングされます。ネスティングされたページは、以下の3つの条件のうちの1つが満たされると、ただちに印刷されます。
 - 次のページが、ネスティングされたページと同じ行に入らない場合。
 - 指定した待ち時間の間、ページがプリンタに送信されなかった場合。
 - 次のページと、既にネスティングされたページとの互換性がない場合 ([80 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1500 シリーズ\)](#)を参照)。
- **【最適化された順序】：** 必ずしもプリンタに送信された順にページがネスティングされるわけではありません。互換性がないページが送信された場合は保留状態となり、互換性があるページが送信されるまで待つてネスティングを完了します。ネスティングされたページは、以下の3つの条件のうちの1つが満たされると、ただちに印刷されます。
 - 次のページが、ネスティングされたページと同じ行に入らない場合。
 - 指定した待ち時間の間、ページがプリンタに送信されなかった場合。
 - 互換性がないページのキューが満杯の場合。プリンタは互換性のあるページをネスティング中に、互換性のないページを最大6ページまでキューイングできます。プリンタは、互換性がないページを7ページ受信すると、ネスティングされたページをそのまま印刷します。
- **【オフ】：** ネスティングは無効です。これはデフォルトのオプションです。

ネスティングの待ち時間は、フロントパネルで設定できます。 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[ジョブ管理]-[ネスティングの設定]-[待ち時間]** を選択します。

 **ヒント**：**[最適化された順序]** では、最低限の量の用紙が使用されます。ただし、プリンタが互換性のあるページの到着を待機するため、印刷にかかる時間が長くなることがあります。

使用状況に関する情報をオン/オフにする

プリンタは、使用状況に関する情報を電子メールで定期的送信することができます。以下がその手順です。

- **HP DesignJet Utility (Windows) の場合**：**[管理者]** タブから、**[プリンタ設定]>[アカウントिंग]** を選択します。
- **HP Utility (Mac OS X) の場合**：**[設定]-[プリンタ設定]-[プリンタ設定の構成]-[アカウントिंग]** を選択します。
- **内蔵 Web サーバの場合**：**[セットアップ]>[プリンタ設定]>[アカウントिंग]** を選択します。

いずれの場合も、以下のオプションを設定してください。

- **[アカウントिंग ファイルの送信]**：**[オン]** (デフォルトは **[オフ]**)
- **[アカウントिंग ファイルの送信]**：有効な電子メール アドレス
- **[アカウントिंग ファイルの送信頻度]**：日数 (1 ~ 60) または印刷回数 (1 ~ 500) を選択

電子メール サーバが設定されていることも確認してください。内蔵 Web サーバを使用して電子メール サーバを設定するには、**[セットアップ]-[電子メール サーバ]** を選択し、以下のフィールドに入力します。

- **[SMTP サーバ]**：プリンタから送信されるすべての電子メール メッセージを処理する送信メール サーバ (SMTP) の IP アドレス。メール サーバが認証を必要とする場合、電子メール通知は機能しません。
 - **[プリンタのメールアドレス]**：プリンタから送信される各電子メール メッセージには、返信用アドレスを含める必要があります。このアドレスは実際には機能しなくても、固有のアドレスである必要があります。メッセージの受信者が送信元のプリンタを識別できるようにするためです。これは、HP ePrint によって使用される電子メール アドレスと同じものではありません。
 - **[商品名]**
 - **[ポート番号]**
 - **[認証]**：認証を選択した場合は、ユーザ名とパスワードも求められます。

電子メール通知をオン/オフにする

電子メール通知をプリンタから受信するには、電子メール サーバを設定する必要があります ([26 ページの使用状況に関する情報をオン/オフにする](#) を参照)。

通知サービスは常にオンになっていますが、特定の通知はすべてデフォルトでオフになっています。特定の通知をオンまたはオフにするには、内蔵 Web サーバの **[セットアップ]** タブから、**[通知]** を選択します。

アラートをオン/オフにする

プリンタのアラートは、操作を実行することで解決できるプリンタの問題が存在したり、いずれかの印刷ジョブのステータスが変更されたときに警告します。アラートは、プリンタのフロントパネル、HP Utility および内蔵 Web サーバによって表示されます。

アラート設定は、さまざまな方法で変更して、利用可能なアラートのすべてまたは一部を表示したり、まったく表示されないようにすることができます。

Windows でアラート設定にアクセスするには

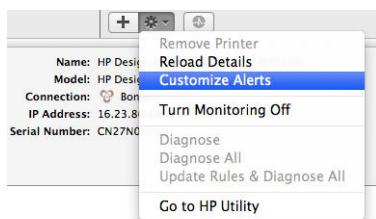
- HP DesignJet Utility の **【ツール】** メニューで、**【アラート設定】** を選択します。
- HP DesignJet Utility により表示されるアラート ページで、**【アラート設定】** を選択します。
- HP DesignJet Utility のシステムトレイアイコンを右クリックし、**【アラート設定】** を選択します。

[アラート設定] ウィンドウで、アラートのスライダーを使用してアラートを完全にオフにすることができます。

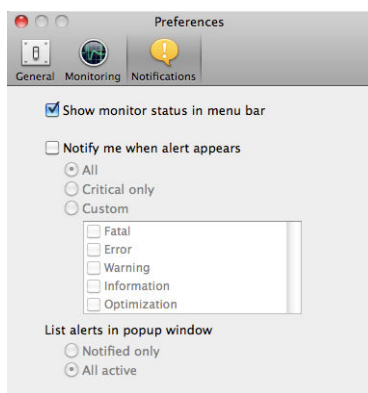
または、重要なアラート、または重要でないアラートを、いつ、どのような場合に表示するかを選択することができます。

Mac OS X でアラート設定にアクセスするには

- HP プリンタ モニタの環境設定を開いてプリンタを選択し、**【アラートのカスタマイズ】** を選択すると、各アラートが特定の場合に特定の間隔で表示されるように設定することができます。



HP プリンタ モニタの環境設定の **【通知】** タブで **【モニタ ステータスをメニューバーに表示する】** ボックスをオフにすることで、アラートを完全にオフにすることができます。このボックスをオンにして **【アラートが表示されたときに通知する】** ボックス (以下を参照) をオフにした場合、HP プリンタ モニタにはアラートが表示されますが、Dock 画面にはポップアップ表示されません。



プリンタへのアクセスを制御する

フロントパネルのセキュリティ設定

フロントパネルから、 を押し、次に  を押して、**【セキュリティ】**を選択すると、プリンタの一部の機能を制御できます。

- **【USB ドライブ】**：USB フラッシュ ドライブの使用を有効または無効にします。
- **【USB からのファームウェア アップデート】**：USB フラッシュ ドライブからのファームウェアのアップデートを有効または無効にします。
- **【インターネット接続】**：インターネット接続を有効または無効にします。

 **注記**：この機能を無効にすると、自動ファームウェア アップデートとリモート印刷も無効になります。

- **【HP Connected を有効にする】**：プリンタに直接接続されたコンピュータで HP DesignJet ePrint の使用を有効または無効にします。
- **【ユーザセッション】**：1 分、3 分、または 5 分後の自動ログアウトを有効または無効にします。
- **【プリンタのアクセスコントロール】**：管理者パスワードの有効化、無効化、または変更を行います。

管理者パスワードが設定されている場合は、以下の操作の実行権限が付与されている必要があります。

- セキュリティ設定を変更する(管理者パスワード自体を含む)
- インターネット接続の設定を変更する
- 自動ファームウェア アップデートの設定を変更する
- 自動ファームウェア アップデートの自動的なダウンロードまたはインストールを有効または無効にする
- 以前のファームウェア バージョンに戻す
- 出荷時デフォルトへのリセット

 **注記**：管理者パスワードは、フロントパネルのオンスクリーン キーボードに存在する文字のみを使用できます。内蔵 Web サーバで新しいパスワードを設定する場合、その制限された文字セットに存在しない文字は拒否されます。

内蔵 Web サーバのセキュリティ設定

内蔵 Web サーバから、**【セキュリティ】**タブを選択すると、さまざまな方法でプリンタへのアクセスをコントロールできます。

- 管理者とゲストに別個のパスワードを指定して、内蔵 Web サーバへのアクセスを制御する
- ハードディスクの一部またはすべてのファイルを安全に消去する
- フロントパネル操作のさまざまなグループを有効または無効にする
- フロントパネルと同じセキュリティ設定を使用する(上記を参照)

 **注記：** 管理者パスワードが必要な場合があります。

 **注記：** 詳細については、内蔵 Web サーバのオンライン ヘルプを参照してください。

HP Connected を無効にする

セキュリティ上の理由で必要な場合は、HP ePrint Center への接続を無効にすることができます。フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、**[接続] - [HP ePrint Center 接続] - [HP ePrint Center 接続]** を選択し、**[無効化]** を選択します。

[無効] を選択すると、リモート印刷機能が保留になります。リモート印刷機能の使用を再開する場合は、同じメニューから再度有効にするだけです。HP Connected でセットアップ手順は必要なくなりました。

リモート印刷を完全に無効にする場合は、**[完全に無効化]** を選択すると、HP Connected アカウントからプリンタが消去されます。リモートをもう一度使用するには、一から設定し直す必要があります ([22 ページの Web サービスのセットアップ](#)を参照)。

 **注記：** 内蔵 Web サーバで管理者パスワードを設定することで (**[セットアップ] - [セキュリティ]**)、管理者以外がこれらのオプションを変更できないようにすることができます。

アカウント ID を要求する (T1500 シリーズ)

ユーザアカウント別にプリンタの使用状況を記録したい場合、それぞれのジョブに対してアカウント ID を要求するようにプリンタを設定することができます。

- **HP DesignJet Utility (Windows) の場合：** **[管理者]** タブから、**[プリンタ設定] > [アカウントティング] > [アカウント ID の要求]** を選択します。
- **HP Utility (Mac OS X) の場合：** **[設定] - [プリンタ設定] - [プリンタ設定の構成] - [アカウントティング] - [アカウント ID の要求]** を選択します。

この設定をオンにした場合、アカウント ID フィールドの入力が必須になります。アカウント ID のないジョブは、アカウントティング保留状態になります。

ジョブの送信時にアカウント ID をプリンタ ドライバに設定することができます。プリンタ側でジョブがアカウントティング保留状態に設定されている場合、内蔵 Web サーバ、HP DesignJet Utility、または HP Utility でジョブキューに移動して保留状態のジョブをクリックして、アカウント ID を通知することができます。ウィンドウに表示されるテキスト ボックスに、アカウント ID を入力することができます。

Windows ドライバの環境設定を設定する

必要に応じてプリンタ ドライバでデフォルトの設定を変更できます。例えば、カラー エミュレーションや用紙の節約に関するオプションなどです。これを行うには、コンピュータの画面の **[スタート]** ボタンを押し、**[プリンタと FAX]** を選択します。**[プリンタと FAX]** ウィンドウで、お使いのプリンタのアイコンを右クリックし、**[印刷設定]** を選択します。**[印刷設定]** ウィンドウで変更した設定は、デフォルト値として保存されます。

4 ネットワーク設定

- [はじめに](#)
- [正しい動作の確認](#)
- [必要に応じてネットワーク設定を事前設定](#)
- [ネットワーク システムへのプリンタの追加](#)
- [トラブルシューティング](#)
- [ネットワーク パラメータをリセットする](#)
- [ネットワーク プロトコルの制御](#)
- [フロントパネルのメニュー項目](#)
- [内蔵サービス](#)
- [サポートされるネットワークプロトコル](#)

はじめに

プリンタには、UTP ネットワーク ケーブルを使用したネットワーク接続用の RJ-45 コネクタ ポートが 1 つ付いています。

内蔵 Jetdirect プリント サーバでは、IEEE 802.3 10Base-T Ethernet、IEEE 802.3u 100Base-TX Fast Ethernet および 802.3ab 1000Base-T Gigabit Ethernet 準拠ネットワークへの接続がサポートされます。プリンタを接続して電源をオンにすると、ネットワークとのオートネゴシエーションが実行され、10、100 または 1000Mbps のリンク速度で動作し、全二重または半二重モードで通信が行われます。ただし、ネットワーク通信の確立後に、プリンタのフロントパネルを使用したり他の設定ツールを使用して、リンクを手動で設定することもできます。

プリンタは、TCP/IPv4 や TCP/IPv6 など、複数のネットワーク通信プロトコルを同時にサポートすることができます。セキュリティ上の理由から、プリンタとの間で IP トラフィックを制御する機能が用意されており、IP Security (IPsec) プロトコルの設定がサポートされます。

正しい動作の確認

1. I/O 設定ページを印刷してステータス メッセージを確認します。
2. I/O 設定ページの上部セクションで、「**I/O カード準備完了**」というステータス メッセージを探します。
3. 「**I/O カード準備完了**」が表示されている場合、プリントサーバが正しく動作しています。次のセクションに進みます。

「**I/O カード準備完了**」以外のメッセージが表示されている場合、以下の手順を試してください。

- a. プリンタの電源を切り、再度電源を入れて、プリントサーバを再度初期化します。
- b. ステータス インジケータ ランプ(LED)に適切なステータスが表示されていることを確認します。



注記：リンクの設定とトラブルシューティング情報については、[32 ページのトラブルシューティング](#)を参照してください。

他のメッセージの説明とトラブルシューティングについては、お使いのプリントサーバモデルの『*HP Jetdirect Print Servers Administrator's Guide*』（HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド）を参照してください。

必要に応じてネットワーク設定を事前設定

ネットワークシステムにプリンタを追加する前に、ネットワーク設定を行う必要がある場合は、ここで行うことができます。

ただし、ほとんどの場合、このセクションはスキップできます。代わりに、次のセクションにそのまま進んで、ネットワーク コンピュータシステムにプリンタをインストールしてください。ネットワーク インストールソフトウェアを使用すると、基本的なネットワーク設定を行って、プリンタをシステム設定に追加できます。

事前設定のツール

次のツールを使って、ネットワーク設定を事前設定することができます。

- フロントパネル
- 内蔵 Web サーバ
- BootP、DHCP、Telnet または arp および ping コマンドなどの高度な設定方法を使用することができます。手順については、お使いのプリントサーバモデルの『*HP Jetdirect Print Servers Administrator's Guide*』（HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド）を参照してください。

プリンタでネットワーク設定が行われると、プリンタの電源をオフにしてからもう一度オンにしても、設定値は保存され、維持されています。

ネットワークシステムへのプリンタの追加

プリンタがネットワークで適切に動作するように設定されたら、印刷ジョブを直接送信する各コンピュータにプリンタを追加できます。システム構成にプリンタを追加するには、システムのネットワークプリンタインストールソフトウェアを使用する必要があります。プリンタに付属している HP スタートアップキット DVD を使用することをお勧めします。

クライアントサーバ印刷

プリンタをセットアップしたら、ネットワーククライアントがアクセスできるように設定する必要があります。手順は、クライアントとネットワークオペレーティングシステムによって異なります。

詳細については、使用しているオペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

UNIX または Linux システム

プリンタでは、ネットワーク経由での UNIX または Linux システムとの連動がサポートされています。システムユーティリティを使用してプリンタをインストールします。詳細は、http://www.hp.com/support/net_printing を参照してください。

トラブルシューティング

I/O 設定ページ

I/O 設定ページには、全体的なプリントサーバステータスが表示されます。これは、特にネットワーク通信が使用できない場合は重要な診断ツールです。I/O 設定ページに表示される可能性のあるメッセージについては、お使いのプリントサーバモデルの『*HP Jetdirect Print Servers Administrator's Guide*』（HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド）を参照してください。

LED

プリンタには、リンクのステータスおよびネットワークアクティビティを示すステータスランプ (LED) があります。

- 緑色のランプが点灯している場合、プリンタは正常にネットワークにリンクされています。
- ランプが黄色に点滅している場合、ネットワーク転送アクティビティがあります。

リンクのトラブルシューティング

プリンタがネットワークに正常に接続されていない場合は、以下ようになります。

- 両方の LED がオフになります。
- I/O 設定ページで、**LAN エラー - キャリアの喪失**と表示されます。

リンクに障害があることが示された場合、次の手順を試してください。

- ドライブケーブルを正しく接続します。
- リンク設定を手動で設定して、ネットワーク ハブまたはスイッチのポート設定と合わせます。手動設定の方法については、[33 ページのリンク設定方法](#)を参照してください。プリンタの電源を切ってから再度電源を入れて、設定を再度初期化します。
- I/O 設定ページを印刷して、リンク設定を確認します。

項目	説明
ポート設定	プリンタが正しくリンクされている場合、この項目の値は以下のいずれかです。 ● 10BASE-T 半二重 : 10Mbps、半二重 ● 10BASE-T 全二重 : 10Mbps、全二重 ● 100TX 半二重 : 100Mbps、半二重 ● 100TX 全二重 : 100Mbps、全二重 ● 1000TX 全二重 プリンタが正しくリンクされていない場合、以下のいずれかのメッセージが表示されます。 ● 不明 : プリンタが初期化状態になっています。 ● 切断 : ネットワーク接続が検出されませんでした。ネットワーク ケーブルを確認します。リンク設定を再設定するか、プリンタを再起動します。
オート ネゴシエーション	リンク設定のオート ネゴシエーションがオンかオフかを示します。 ● オン(デフォルト) : プリンタのネットワーク設定が、適切な速度および通信モードで自動的に試みられます。 ● オフ : フロントパネルを使用してリンク速度と通信モードを手動で設定する必要があります。正しく動作するには、設定がネットワークの設定と一致している必要があります。

リンク設定方法

プリンタでは、全二重または半二重通信モードを使用した 10Mbps、100Mbps、または 1000Mbps のネットワーク リンク速度がサポートされます(1000T 半二重の選択はサポートされません)。デフォルトでは、ネットワークとのリンク動作のオート ネゴシエーションが試みられます。

オート ネゴシエーションがサポートされないネットワーク ハブおよびスイッチに接続されている場合、プリンタは 10Mbps または 100Mbps 半二重動作で設定されます。例えば、ネゴシエーションを行わない 10Mbps ハブに接続されている場合、プリント サーバーは 10Mbps 半二重で動作するように自動的に設定されます。

プリンタがオート ネゴシエーションを介してネットワークに接続できない場合は、次のいずれかの方法を行うことでリンク設定を行うことができます。

- フロントパネル
- 内蔵 Web サーバ
- システムのコマンドプロンプトを使用した Telnet インタフェース
- BootP サーバや DHCP サーバなどからダウンロードされた TFTP (Trivial File Transfer Protocol) 設定ファイル
- HP Web Jetadmin などのネットワーク管理ツール

ネットワークパラメータをリセットする

ネットワークパラメータ (IP アドレスなど) は、コールドリセットによって工場出荷時のデフォルト値にリセットできます。コールドリセットとは、プリンタの電源をいったん切り、電源を入れ直すことです。コールドリセットの後、I/O 設定ページを印刷して工場出荷時の値が割り当てられていることを確認します。

△注意：工場出荷時にインストールされた HP Jetdirect X.509 証明書は、コールドリセットによって工場出荷時のデフォルト値にリセットされた後も保存されます。ネットワーク認証サーバを検証するためにユーザがインストールした証明機関 (CA) 証明書は保存されません。

[188 ページのプリンタがビジー状態である](#)も参照してください。

ネットワークプロトコルの制御

プリンタでは、複数のネットワーク通信プロトコルを同時にサポート可能です。これにより、異なるプロトコルを使用しているネットワークコンピュータが同じプリンタと通信することができます。

プリンタがネットワークで通信するには、プロトコルごとに設定が必要な場合があります。プロトコルによっては、必要なパラメータが自動的に検出されるため、ユーザ指定の設定が必要ありません。しかし、それ以外のプロトコルには多くのパラメータを設定する必要があります。

ネットワークプロトコルを有効または無効にする

ネットワークプロトコルが有効になっている場合、そのプロトコルを使用するコンピュータがネットワーク上に存在しなくても、ネットワーク上で積極的に通信を行う場合があります。これにより、ネットワークトラフィックが増加する可能性があります。不要なトラフィックをなくすには、使用されていないプロトコルを無効にします。使用しないプロトコルを使用不可能にすると、以下のことが可能になります。

- ネットワークの混雑を軽減するために、使用しないプロトコルからのブロードキャストメッセージを排除できます。
- プリンタでジョブを印刷する他のネットワークのユーザを排除することで、そのプリンタで印刷するユーザを適切に制限できます。
- 有効なプロトコルのプロトコル固有のエラー状態のみ表示されます。

デバイスのコントロールパネルメニューから使用されていないプロトコルを無効にするには、[35 ページのフロントパネルのメニュー項目](#)を参照してください。内蔵 Telnet サーバへのシステムコマンドアクセスなど、他のツールについては、お使いのプリントサーバモデルの『*HP Jetdirect Print Server Administrator's Guide*』 (HP Jetdirect プリントサーバ管理者ガイド) を参照してください。

フロントパネルのメニュー項目

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
TCP/IP	ホスト名		デバイスを識別するために使用される、最大 32 文字の英数字です。この名前は、HP Jetdirect 設定ページに表示されます。デフォルトのホスト名は NPIxxxxxx です。ここで、xxxxxx は LAN ハードウェア(MAC)アドレスの末尾 6 桁です。
	IPv4 の設定	設定方法	HP Jetdirect プリントサーバ上で TCP/IPv4 パラメータを設定する方法を指定します。 Bootp : BootP (Bootstrap Protocol)を使用して、BootP サーバから自動設定します。 DHCP (デフォルト) : DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)を使用して、DHCPv4 サーバから自動設定します。これが選択されていて、DHCP リースが存在する場合、DHCP リリースメニューおよび DHCP 更新メニューを使用して DHCP リース オプションを設定できます。 自動 IP : 自動リンク ローカル IPv4 アドレスを使用します。169.254.x.x 形式のアドレスが自動的に割り当てられます。 手動 : 手動設定メニューを使用して TCP/IPv4 パラメータを設定します。
		DHCP リリース	このメニューは、設定方法が DHCP に設定されていて、プリントサーバの DHCP リースが存在する場合に表示されます。 いいえ (デフォルト) : 現在の DHCP リースが保存されます。 はい : 現在の DHCP リースおよびリースされた IP アドレスが解放されます。
		DHCP 更新	このメニューは、設定方法が DHCP に設定されていて、プリントサーバの DHCP リースが存在する場合に表示されます。 いいえ (デフォルト) : プリントサーバが DHCP リースの更新を要求しません。 はい : プリントサーバが現在の DHCP リースの更新を要求します。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
		手動設定	(設定方法が手動に設定されている場合のみ使用可能)プリンタのコントロールパネルから直接パラメータを設定します。 IP アドレス : プリンタの一意の IP アドレス (n.n.n.n)です。 サブネットマスク : プリンタのサブネットマスク (n.n.n.n)です。 Syslog サーバ : syslog メッセージの受信およびログに使用される syslog サーバの IP アドレス (n.n.n.n)です。 デフォルトゲートウェイ : 他のネットワークとの通信に使用されるゲートウェイまたはルータの IP アドレス (n.n.n.n)です。 アイドルタイムアウト : アイドル状態の TCP 印刷データ接続が切断されるまでの時間です(デフォルトは 270 秒、0 にするとタイムアウトは無効になります)。
		デフォルト IP	強制 TCP/IP の再設定時(BootP や DHCP を使用するように手動で設定された場合など)に、プリントサーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合のデフォルトの IP アドレスです。 自動 IP : リンク ローカル IP アドレス 169.254.x.x が設定されます。 既存 : 以前の HP Jetdirect デバイスに合わせて、アドレス 192.0.0.192 が設定されます。
		プライマリ DNS	プライマリ DNS サーバの IP アドレス (n.n.n.n)を指定します。 注記 : この項目は、内蔵 Web サーバから手動設定の優先度が[設定 優先順位]テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。
		セカンダリ DNS	セカンダリ ドメイン ネーム システム(DNS)サーバの IP アドレス (n.n.n.n)を指定します。 注記 : この項目は、内蔵 Web サーバから手動設定の優先度が[設定 優先順位]テーブルの DHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。
	IPv6 の設定	有効化	プリントサーバでの IPv6 の動作を有効または無効にするには、この項目を使用します。 オフ : IPv6 は無効です。 オン (デフォルト) : IPv6 は有効です。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
		アドレス	IPv6 アドレスを手動で設定するには、この項目を使用します。 手動設定：TCP/IPv6 アドレスを有効にして手動で設定するには、手動設定メニューを使用します。 有効化：この項目を選択して、オンを選択すると手動設定は有効になり、オフを選択すると手動設定は無効になります。 アドレス：コロンおよび 16 進数の表記を使用する 32 桁の 16 進数 IPv6 ノードアドレスを入力するには、この項目を使用します。
		DHCPv6 Policy	ルータ指定：プリントサーバで使用されるステートフル自動設定方法が、ルータにより決定されます。ルータは、プリントサーバが自身のアドレス、設定情報、またはその両方を DHCPv6 サーバから取得するかどうかを指定します。 ルータ使用不能：ルータが使用できない場合、プリントサーバは自身のステートフル設定を DHCPv6 サーバから取得しようとします。 常にオン：ルータが使用できるかどうかにかかわらず、プリントサーバは常に自身のステートフル設定を DHCPv6 サーバから取得しようとします。
		プライマリ DNS	プリントサーバが使用するプライマリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。 注記：この項目は、内蔵 Web サーバから手動設定の優先度が[設定の優先順位]テーブルのDHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。
		セカンダリ DNS	プリントサーバが使用するセカンダリ DNS サーバの IPv6 アドレスを指定するには、この項目を使用します。 注記：この項目は、内蔵 Web サーバから手動設定の優先度が[設定の優先順位]テーブルのDHCP より高く設定されている場合にのみ表示されます。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
	プロキシサーバ		デバイスの内蔵アプリケーションにより使用されるプロキシサーバを指定します。一般に、プロキシサーバはインターネットアクセス時に、ネットワーククライアントにより使用されます。プロキシサーバが Web ページをキャッシュするため、クライアントのインターネットセキュリティがある程度高まります。 プロキシサーバを指定するには、IPv4 アドレスまたは完全に記述したドメイン名を入力します。名前は最大 255 オクテットにすることができます。 ネットワークによっては、独立系サービスプロバイダ(ISP)にプロキシサーバアドレスを問い合わせる必要があります。
	プロキシポート		クライアントをサポートするプロキシサーバによって使用されているポート番号を入力します。ポート番号は、ネットワークでのプロキシアクティビティ用に予約されたポートを識別し、使用可能な値は 0 ~ 65535 です。
セキュリティ	セキュリティページの印刷		はい : HP Jetdirect プリントサーバの現在の IPsec セキュリティ設定を含むページを印刷します。 いいえ (デフォルト) : セキュリティ設定ページは印刷されません。
セキュア Web			設定管理の目的で、内蔵 Web サーバで HTTPS (Secure HTTP)を使用した通信のみ許可するか、HTTP および HTTPS の両方を受け入れるかを指定します。 HTTPS 必須 : セキュアな暗号化通信では、HTTPS アクセスのみが許可されます。プリントサーバはセキュアなサイトとして表示されます。 HTTP/HTTPS オプション : HTTP および HTTPS のどちらかを使用したアクセスが許可されます。 注記 : 工場出荷時のデフォルト設定は、プリントサーバのモデルで異なります。
IPSEC			プリントサーバの IPsec またはファイアウォールの状態を指定します。 保持 : IPsec/ファイアウォールの状態が、現在の設定と同じままになります。 無効化 : プリントサーバでの IPsec/ファイアウォールの動作が無効になります。

メニュー項目	サブメニュー項目	サブメニュー項目	値と説明
セキュリティのリセット			プリント サーバの現在のセキュリティ設定を保存するか、工場出荷時のデフォルト値にリセットするかを指定します。 いいえ (デフォルト) : 現在のセキュリティ設定を維持します。 はい : セキュリティ設定が工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。
リンク速度			プリント サーバのリンク速度および通信モードは、ネットワークと一致している必要があります。利用可能な設定は、デバイスおよびインストールされているプリント サーバで異なります。以下のいずれかのリンク設定を選択します。 注意 : リンク設定を変更すると、プリントサーバおよびネットワーク デバイスとのネットワーク通信が失われる可能性があります。 自動 (デフォルト) : プリントサーバは、オートネゴシエーションを使用して、許可される最速のリンク速度と通信モードを自動的に設定します。オートネゴシエーションに失敗した場合、ハブ/スイッチ ポートの検出リンク速度に応じて 100TX HALF または 10TX HALF が設定されます。(1000T 半二重の選択はサポートされていません)。 10T 半二重 : 10Mbps、半二重で動作します。 10T 全二重 : 10Mbps、全二重で動作します。 100TX 半二重 : 100Mbps、半二重で動作します。 100TX 全二重 : 100Mbps、全二重で動作します。 100TX 自動 : オートネゴシエーションでリンク速度を最大 100Mbps に制限します。 1000TX 全二重 : 1000Mbps、全二重で動作します。

内蔵サービス

プリンタに内蔵された主なネットワーク サービスを以下に示します。最新の機能およびサービスについては、<http://www.hp.com/go/jetdirect> を参照してください。

- 設定および管理
 - BootP/DHCP (IPv4 のみ)
 - DHCPv6
 - TFTP (IPv4 のみ)
 - Web プロキシ (自動 / 手動 cURL)
 - LLNMR

- Telnet (IPv4 のみ)
- SNMP (v1、v2c、v3) エージェント
- Bonjour (Mac OS X 用)
- FTP (File Transfer Protocol)
- WS Discovery (Microsoft Web サービス)
- 内蔵 Web サーバ、HTTP (TCP ポート 80)
- 内蔵 Web サーバ、HTTPS (TCP ポート 443)
- IP セキュリティ (IPsec)
- 印刷時
 - Raw IP 印刷 (HP 独自の TCP ポート 9100、9101、9102)
 - LPD 印刷 (TCP ポート 515)
 - IPP 印刷 (TCP ポート 631)
 - FTP 印刷 (TCP ポート 20、21)
 - WS Print (Microsoft Web サービス)
- セキュリティ
 - SNMP v3
 - SSL/TLS
 - 802.1X 認証 : WEP、WPA、WPA2、LEAP、PEAP、EAP-TLS
 - ファイアウォール

サポートされるネットワークプロトコル

サポートされるネットワークプロトコル、およびそれらのプロトコルを使用する一般的なネットワーク印刷環境を次に示します。

サポートされるネットワークプロトコル	一般的なネットワーク印刷環境
TCP/IPv4	(Direct Mode 印刷) Microsoft Windows XP、Windows Server 2003、およびそれ以降の Windows Microsoft Terminal Server および Citrix MetaFrame 環境 UNIX と Linux。たとえば、HP HP-UX、Sun Microsystems Solaris (SPARCsystems のみ)、IBM AIX、HP MPE-iX、RedHat Linux、SuSE Linux など LPR/LPD (Line Printer Daemon、RFC 1179 準拠) システム IPP (Internet Printing Protocol) FTP (File Transfer Protocol) 印刷
TCP/IPv6	Microsoft Windows XP、Windows Server 2003、それ以降の Windows、Direct Mode ポート 9100 印刷 (HP IPv6/IPv4 ポート監視ソフトウェアがシステムで実行されている必要があります) IPv6 クライアントがサポートされる LPR/LPD (Line Printer Daemon、RFC 1179 準拠) システム IPv6 クライアントがサポートされる IPP (Internet Printing Protocol) システム FTP (File Transfer Protocol) 印刷

5 プリンタのカスタマイズ

- [フロントパネルの表示の言語を変更する](#)
- [HP Utility へのアクセス](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスする](#)
- [HP Utility の言語を変更する](#)
- [内蔵 Web サーバの言語を変更する](#)
- [スリープモード設定を変更する](#)
- [自動オフ設定を変更する](#)
- [スピーカ音量の変更](#)
- [フロントパネルの表示の明るさを変更する](#)
- [測定単位を変更する](#)
- [ネットワーク設定を構成する](#)
- [グラフィック言語の設定を変更する](#)
- [プリンタセキュリティを管理する](#)
- [プリンタの電子メールアドレスを変更する](#)

フロントパネルの表示の言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更するには 2 通りの方法があります。

- 現在フロントパネルに表示されている言語が理解できる場合は、 を押し、次に  を押し、**[セットアップ]-[フロントパネル オプション]-[言語]** を選択します。
- 現在フロントパネルに表示されている言語が理解できない場合は、まずプリンタの電源を切ります。**電源** ボタンを押して、電源をオンにします。フロントパネルにアイコンが表示される場合は、 を押し、それから  を押します。この手順を実行すると、フロントパネルでアイコンが素早く点滅します。

どちらの方法でも、フロントパネルの表示に言語選択メニューが表示されます。希望する言語を押します。

HP Utility へのアクセス

HP Utility を使用すると、TCP/IP 接続または Jetdirect 接続を使用してコンピュータからプリンタを管理できます。

- **Windows では**、デスクトップのショートカットから、または**[スタート]-[すべてのプログラム]-[HP]-[HP DesignJet Utility]-[HP DesignJet Utility]** から、HP DesignJet Utility を起動できます。これにより、HP DesignJet Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。HP DesignJet Utility を初めて開くと、機能強化の自動アップデートを促される場合があります。自動アップデートをお勧めします。
- **Mac OS X の場合**、Dock のショートカットから、または**[ハードディスク]-[ライブラリ]-[Printers]-[hp]-[Utilities]-[HP Utility]** の順で選択して HP Utility を起動します。これにより、HP Utility が起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。

左側のパネルでプリンタを選択すると、右側のパネルに表示される内容がすべてそのプリンタ固有のものになります。

この手順に従っても HP Utility にアクセスできない場合は、[189 ページの HP Utility にアクセスできない](#)を参照してください。

内蔵 Web サーバにアクセスする

内蔵 Web サーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザから、プリンタをリモート管理することができます。

内蔵 Web サーバに直接アクセスするには、プリンタの接続方法が TCP/IP である必要があります。

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 7 (Windows XP 以降)
- Safari 3 (Mac OS X 10.5 以降)
- Firefox 3.6 以降
- Google Chrome 7 以降

Adobe Flash プラグイン バージョン 7 以降は、ジョブのプレビューの表示に推奨されます。

コンピュータ上で内蔵 Web サーバにアクセスするには、Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタの IP アドレスは、フロントパネルで、 を押し、次に  を押して表示できます。

HP DesignJet Utility または HP Utility から内蔵 Web サーバにアクセスすることもできます。

この手順に従っても内蔵 Web サーバにアクセスできない場合は、[189 ページの内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)を参照してください。

HP Utility の言語を変更する

HP Utility は次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語 (Windows のみ)、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。

- **Windows の場合**、[ツール]-[言語設定] を選択し、リストから言語を選択します。
- **Mac OS X では**、別のアプリケーションに関しても言語が変更されます。[システム環境設定] で [言語環境] を選択し、アプリケーションを再起動します。

内蔵 Web サーバの言語を変更する

内蔵 Web サーバは次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ポーランド語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。Web ブラウザのオプションで指定された言語がここでは選択されます。内蔵 Web サーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Web ブラウザの [言語の優先順位] 設定を変更してください。たとえば、Internet Explorer を使用している場合は、[ツール] メニューに移動し、[インターネットオプション]-[言語] を選択します。[言語の優先順位] ダイアログ ボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

スリープモード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しない場合、プリンタは電力節約のため自動的にスリープモードへ移行します。プリンタがスリープモードに移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルで 、 を押し、[セットアップ]-[フロントパネルオプション]-[スリープモード待ち時間] を押します。必要な待ち時間を選択し、[OK] ボタンを押します。1 ~ 240 分に設定できます。デフォルトの時間は 30 分です。

自動オフ設定を変更する

エネルギーを節約するため、プリンタは自動オフ (自動電源管理) 機能が有効な状態で出荷され、一定時間操作がない場合にプリンタの電源が自動的にオフになります。ただし、プリンタがネットワークに接続されているときは、ネットワーク ユーザが使えなくなるのを防ぐため、自動オフ機能が自動的に無効になります。

 **注記:** 自動オフ機能はスリープモードとは異なります。プリンタの電源が完全にオフになります。電源を入れ直すには、通常どおり **電源** ボタンを使用します。

フロントパネルから自動オフ機能を設定することができます。操作がない状態が2～12時間続いたらプリンタの電源をオフにするか、自動オフを完全に無効にすることができます。 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[フロントパネル オプション]-[オートオフ]** を選択します。

スピーカ音量の変更

プリンタのスピーカの音量を変更するには、フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[フロントパネル オプション]-[スピーカ音量]** を選択し、**[オフ]**、**[低い]**、または **[High]** (高い) を選択します。

フロントパネルの表示の明るさを変更する

フロントパネルの表示の明るさを変更するには、、 の順に押し、**[セットアップ]-[フロントパネル オプション]-[ディスプレイの明度]** を押して、目的の値を選択します。**[OK]** ボタンを押して、その値を設定します。表示の明るさは 50 に設定されています。

測定単位を変更する

フロントパネルの表示の測定単位を変更するには、、 の順に押し、**[セットアップ]-[フロントパネル オプション]-[単位の選択]** を押して、**[インチ]** または **[メートル]** を選択します。デフォルトでは、単位はメートルに設定されています。

ネットワーク設定を構成する

内蔵 Web サーバ、HP Utility、またはフロントパネルからネットワーク設定を表示および設定できます。

内蔵 Web サーバでこれを行うには、**[ネットワーク]** タブを選択します。

HP DesignJet Utility (Windows) では、**[管理者]** タブを選択し、**[ネットワーク設定]** を選択します。Mac OS X の場合、**[設定]-[ネットワーク設定]** を選択します。

以下の設定から選択できます。

- **IP 設定方法**：IP アドレスを設定する方法を指定します。**[BOOTP]**、**[DHCP]**、**[自動 IP]**、または **[手動]** を選択します。
- **ホスト名**：プリンタの IP 名を指定します。名前は最大 32 ASCII 文字を含むことができます。
- **IP アドレス**：プリンタの IP アドレスを指定します。TCP/IP ネットワークで重複する IP アドレスを指定すると通信エラーになります。

☀ **ヒント**：IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイの組み合わせが有効であることを確認してください。これらの3つのフィールドが一致しない場合、フロントパネルで問題を修正するまで、プリンタに接続できない可能性があります。

ヒント：現在の IP アドレスを変更して **[適用]** をクリックする場合、ブラウザでは古いアドレスを示しているので、ブラウザのプリンタへの現在の接続が失われます。再接続するには、新しい IP アドレスを参照します。

- **サブネットマスク**：サブネットマスクを指定します。サブネットマスクは、ネットワークを指定するビットと、ネットワーク内のノードを一意に指定するビットを決定します。
- **デフォルトゲートウェイ**：他のネットワークまたはサブネットワークへの接続に使用されるルータまたはコンピュータの IP アドレスを指定します。存在しない場合は、コンピュータの IP アドレスまたはプリンタの IP アドレスを使用します。
- **ドメイン名**：プリンタが存在する DNS ドメイン名を指定します (たとえば、support.hp.com)。

 **注記**：ドメイン名はホスト名を含みません。ドメイン名は、printer1.support.hp.com のような完全修飾ドメイン名ではありません。

- **アイドルタイムアウト**：リモートコンピュータがプリンタを待機するときのアイドル状態の接続が継続される時間を指定します。デフォルト値は、280 秒です。0 に設定すると、タイムアウトは無効になり、アイドル状態の接続が継続される時間は無限になります。
- **デフォルト IP**：電源がオンになったとき、または BOOTP または DHCP を使用するように再構成されたときに、プリンタがネットワークから IP アドレスを取得できない場合に使用する IP アドレスを指定します。
- **DHCP 要求の送信**：既存のデフォルト IP アドレスまたはデフォルト自動 IP が割り当てられた場合に、DHCP 要求が転送されるかどうかを指定します。

フロントパネルから同じネットワーク設定を指定するには、 を押し、次に  を押して、**[接続]-[ネットワーク接続]-[ギガビットイーサネット]-[設定の変更]** を選択します。

[接続]-[ネットワーク接続]-[詳細設定] メニューからは、他のさまざまなオプションを使用できます。

- **[SNMP を使用]**：SNMP を許可するかどうかを指定します。
- **[内蔵 Web サーバ]-[内蔵 Web サーバを使用]**：内蔵 Web サーバを有効にするかどうか指定します。
- **[Web サービス]-[HP Utility ソフトウェア]**：HP Utility を有効または無効にします。
- **[Web サービス]-[色と用紙の管理]**：色と用紙の管理の設定を表示します。
- **[工場出荷時の設定に戻す]**：ネットワーク設定の初期のデフォルト値に戻します。

グラフィック言語の設定を変更する

HP Utility から内蔵 Web サーバを起動することでグラフィック言語の設定を変更するには、次の手順に従ってください。

1. **Windows の場合**、**[管理者]** タブを選択し、次に **[プリンタ設定]-[印刷設定]** を選択します。
Mac OS X の場合、**[設定]** を選択し、次に **[プリンタ設定]-[プリンタ設定の構成]-[印刷設定]** を選択します。
2. 以下のオプションの 1 つを選択します。

- **【自動】**を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。これはデフォルトの設定です。この設定は、大半のソフトウェアアプリケーションに適用されます。通常は、デフォルトの設定を変更する必要はありません。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**【HP-GL/2】**を選択します。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**【PDF】**を選択します (PostScript プリンタのみ)。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**【PostScript】**を選択します (PostScript プリンタのみ)。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**【TIFF】**を選択します (PostScript プリンタのみ)。
- プリンタドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、**【JPEG】**を選択します (PostScript プリンタのみ)。

または、フロントパネルからグラフィック言語の設定を変更することもできます。 を押し、次に  を押して、**【セットアップ】-【印刷設定】-【グラフィック言語】**を選択します。必要なオプションを選択します。

 **注記：** 内蔵 Web サーバからグラフィック言語を設定すると、フロントパネルの設定が上書きされます。

プリンタ セキュリティを管理する

Web サービスを設定すると、プリンタがロック解除モードになります。ロック解除モードでは、プリンタの電子メールアドレスを知っていればだれでもファイルを送信するだけで、そのプリンタで印刷することができます。HP ではスパム フィルタリング サービスを提供していますが、そのアドレスに送信された内容がすべてプリンタで印刷されるため、プリンタの電子メールアドレスを口に出すときは注意してください。

プリンタ管理者は、<http://www.hpconnected.com> で HP Connected にアクセスすることにより、プリンタのセキュリティを管理したり、プリンタ ステータスをロック モードに変更したりすることができます。ここでは、プリンタの電子メールアドレスをカスタマイズしたり、印刷ジョブを管理することもできます。最初のアクセス時、HP Connected でアカウントを作成する必要があります。

プリンタの電子メールアドレスを変更する

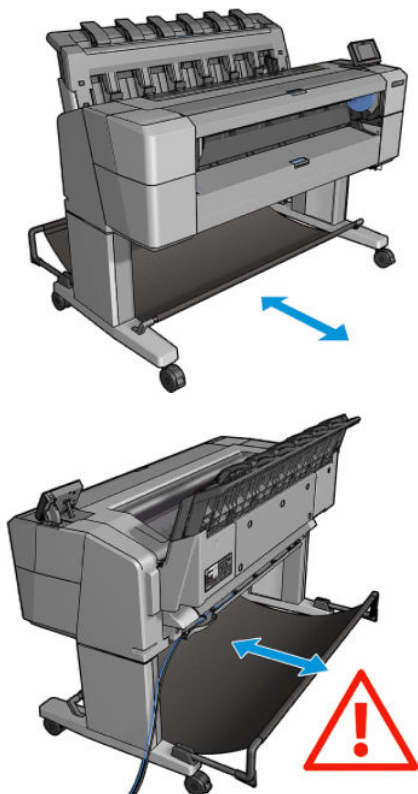
HP Connected でプリンタの電子メールアドレスを変更することができます：
<http://www.hpconnected.com>。

6 用紙の取り扱い

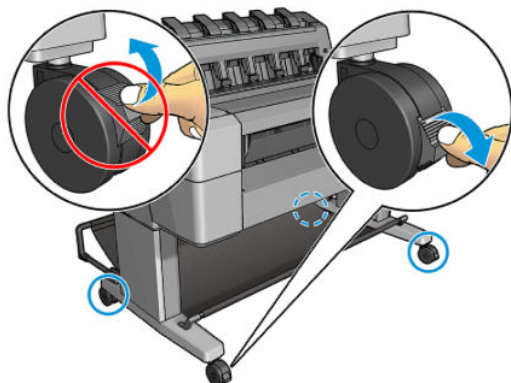
- [一般的なヒント](#)
- [ロールをスピンドルに取り付ける](#)
- [ロールをプリンタに取り付ける](#)
- [ロール紙を取り外す](#)
- [カット紙を取り付ける](#)
- [スタッカ](#)
- [バスケット](#)
- [用紙に関する情報を表示する](#)
- [用紙プリセット](#)
- [用紙情報の印刷](#)
- [用紙の移動](#)
- [用紙を保守する](#)
- [乾燥時間を変更する](#)
- [取り出し時間の変更](#)
- [自動カッターのオン/オフを切り替える](#)
- [用紙を給紙してカットする](#)

一般的なヒント

⚠ 注意：用紙の取り付けを開始する前に、プリンタの周辺（プリンタの前後の両方）に十分な空間があることを確認してください。少なくともプリンタの背面にバスケットを完全に開くことができるスペースが必要です。

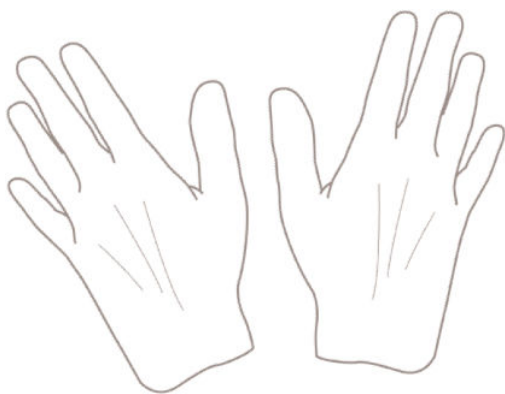


⚠ 注意：プリンタのキャスターがロックされ（ブレーキレバーが押し下げられている状態）、プリンタが動かないようにしていることを確認してください。



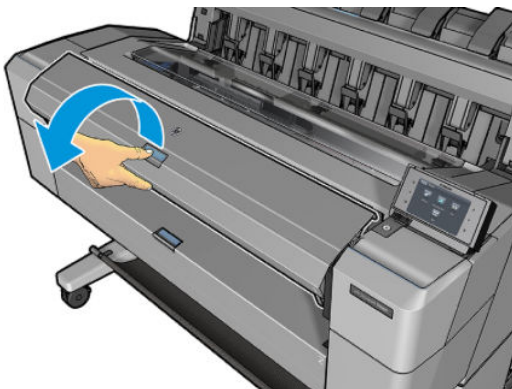
⚠ 注意：すべての用紙は、280mm 以上である必要があります。A4 およびレター用紙は、横置きに取り付けられません。

💡 ヒント：フォト用紙では、用紙に油が付着しないように、綿製の手袋を着用します。



ロールをスピンドルに取り付ける

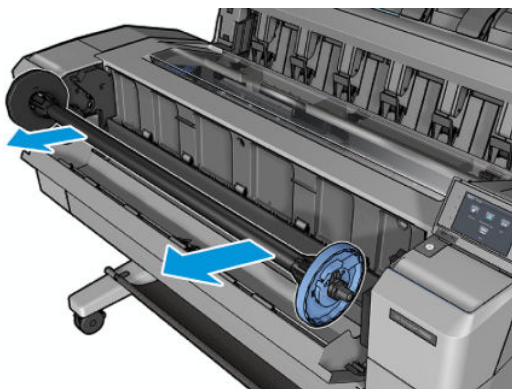
1. ロールカバーを開きます。



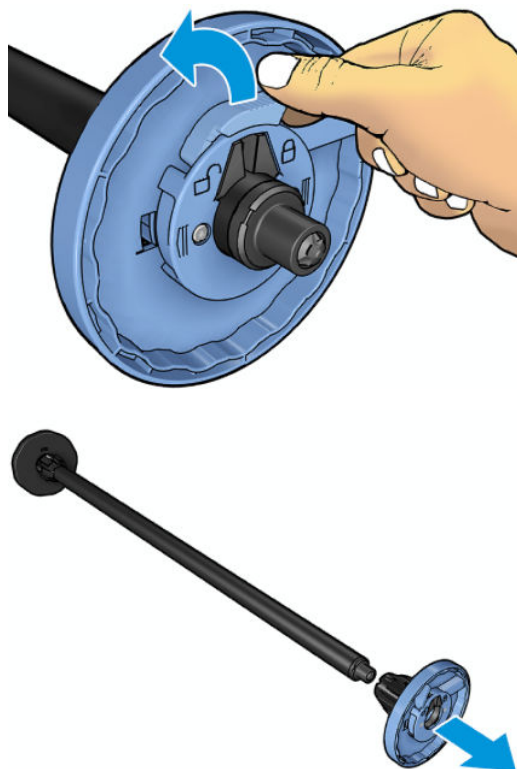
2. プリンタからスピンドルを、黒色側、青色側の順で取り外します。

⚠ **注意** : 必ず黒色側から取り外してください。青色側から取り外すと、黒色側が破損する場合があります。

⚠ **警告** ! 取り外し作業の最中に、スピンドルサポートに指を入れないでください。



3. スピンドルの両端にはストッパがあります。青いストッパはスピンドルに沿って移動でき、所定の位置でロックするためのラッチが付いています。ラッチを開けて、スピンドルの端から青いストッパを取り外します。



4. スピンドルに既にロール紙または芯が乗っている場合は、取り出します。
5. ロール紙が長い場合は、台の上に水平に置いて、スピンドルを取り付けるようにしてください。

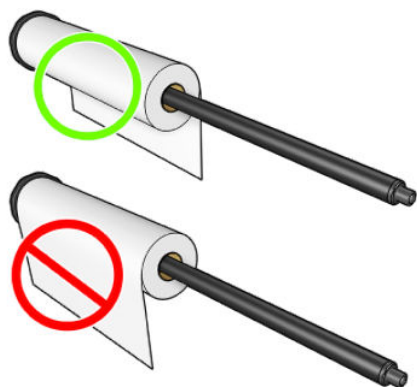


ヒント：大きなロール紙の作業には、2人必要な場合があります。

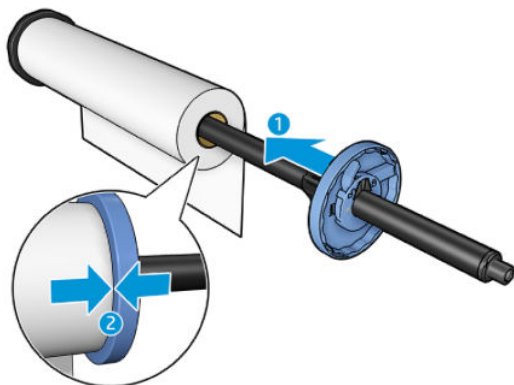
6. 新しいロール紙をスピンドルに取り付けます。用紙の向きは、図のようになるように注意してください。向きを間違えた場合は、ロール紙を外して180度回転し、取り付け直します。スピンドルには、正しい向きを示すラベルが付貼されています。



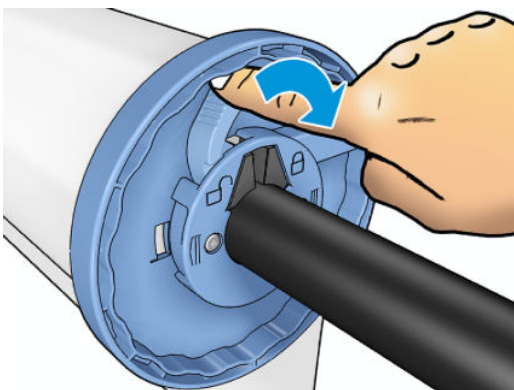
注記：プリンタの背面から、青いストッパを右端のホルダーに差し込みます。



7. スピンドルの空いている端に青いストッパを取り付け、ロール紙の端に向けて押し込みます。



8. 青いストッパができるだけ奥に押し込まれていることを確認します。両端がストッパに向くまで押し込み、ラッチを閉じます。



さまざまな種類の用紙を日常的に使用する場合は、異なる種類の用紙をあらかじめ取り付けたスピンドルを複数準備しておく、ロール紙の交換をすばやく行うことができます。追加のスピンドルは別途購入できます (148 ページの「サプライ品とアクセサリ」を参照)。

ロールをプリンタに取り付ける

この手順を始める前に、ロール紙をスピンドルに取り付けておく必要があります。50 ページのロールをスピンドルに取り付けるを参照してください。

 **ヒント:** T1500 シリーズ プリンタの場合は、両方のロールカバーを同時に開かないでください。問題が発生する場合があります。常に、一方のカバーを閉じてから、他方のカバーを開いてください。

 **注記:** 以下の最初の 2 つの手順はオプションです。手順 3 から開始できます。ただし、この場合はプリンタによりロール紙の長さが記録されず、次回取り外すときにロール紙の上にバーコードが印刷されません。このため、**【用紙情報の印刷】** オプションをオフにした場合を除き、手順 1 からすべての手順に従うことをお勧めします。62 ページの**用紙情報の印刷**を参照してください。

1. フロントパネルで  を押し、まだハイライトされていない場合は次に  を押して、ロール紙アイコン、**【取り付け】** の順に押します。

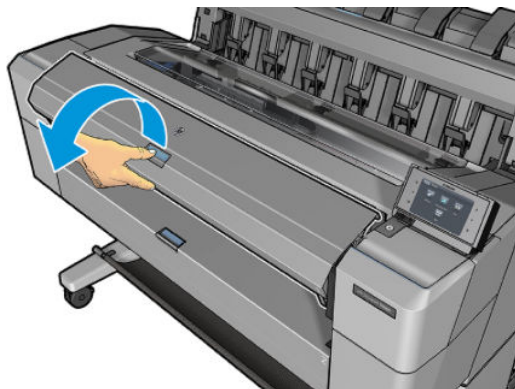
または、 を押し、次に  を押して、**【用紙】-【用紙の取り付け】-【ロール 1 の取り付け】** または **【ロール 2 の取り付け】** を選択します。

選択したロール紙が既に取り付けられている場合、自動的に取り外されるまで待つ必要があります。

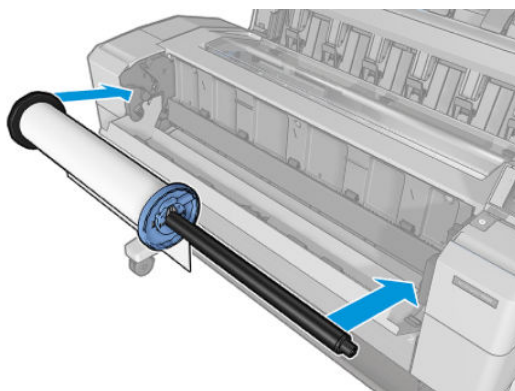
2. T1500 シリーズのみ、ロール紙 2 が既に取り付けられているときにロール紙 1 の取り付けを開始した場合、ロール紙 2 はスタンバイ位置に引き出され、必要な場合は取り付け直さなくても再度印刷できるようになります (その逆も同様です)。

 **注記：** ロール紙が取り付けられているが印刷中でないときにそのロールカバーを開いた場合は、ロール紙が自動的に取り外され、次回そのロール紙に印刷するときに取り付け直す必要があります。

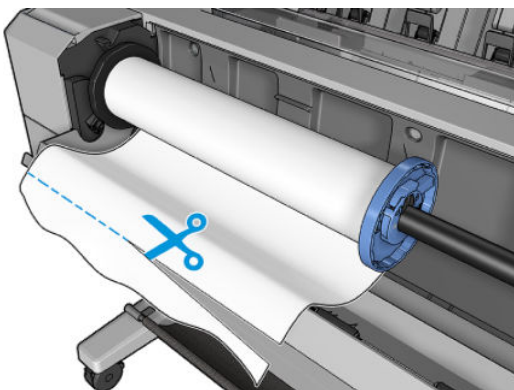
3. ロールカバーを開きます。



4. 青いストッパが右側になるように、スピンドルをプリンタに取り付けます。スピンドルを中央ではなく端に固定し、用紙に触れてマークが付かないようにします。

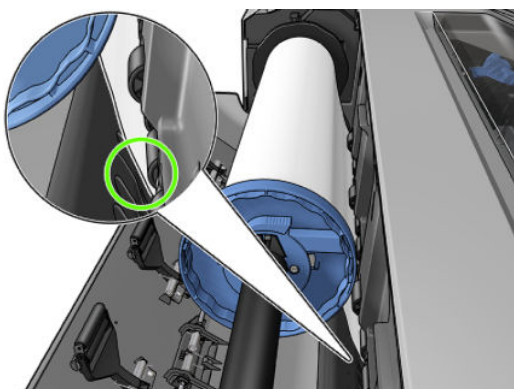
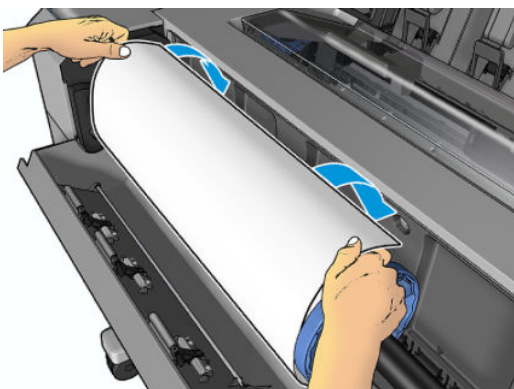


5. ロール紙の端が水平にならない場合 (ロール紙の端を固定するためのテープが原因で起こる場合があります)、用紙を少しだけ送り、端を水平にカットします。

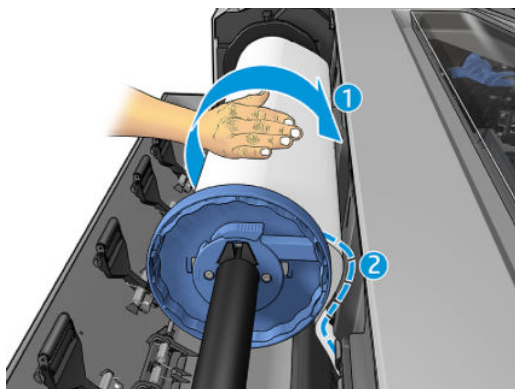


6. 用紙の端をプリンタに差し込みます。

⚠ **警告！** プリンタの用紙経路に指を入れないでください。



7. 用紙がそれ以上入らなくなってわずかに曲がるようになるまで、用紙をプリンタに巻きつけます。プリンタが用紙を検出すると、用紙が自動的に給紙されます。



8. 用紙の先端にバーコードがある場合、プリンタにより読み取られ、バーコードがカットされてバスケットに落ちます。
9. 用紙の先端にバーコードがない場合、フロントパネルに用紙のカテゴリと種類を選択するように要求するメッセージが表示されます。

 **ヒント：**用紙リストにない用紙の種類を取り付けた場合は、[153 ページの用紙の種類が一覧に含まれていない](#)を参照してください。

10. **【用紙情報の印刷】**オプションが有効な場合、フロントパネルにロール紙の長さを指定するように要求するメッセージが表示されます。[62 ページの用紙情報の印刷](#)を参照してください。
11. フロントパネルで要求された場合はロールカバーを閉じます。

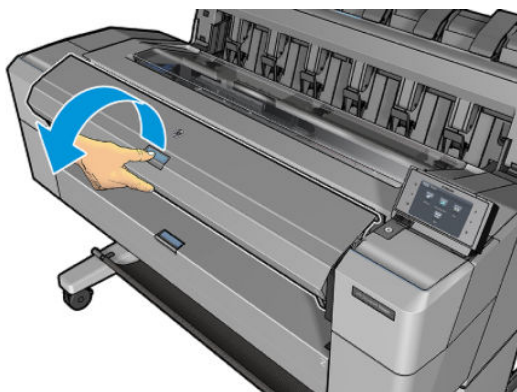
 **注記：**用紙の取り付けのいずれかの段階で予想外の問題が発生したときは、[152 ページの用紙が正しく取り付けられない](#)を参照してください。

ロール紙を取り外す

ロール紙を取り外す前に、ロールに用紙があるかどうか、またはロールの用紙がなくなったかどうかを確認し、以下に説明する適切な手順に従ってください。

ロールに用紙がある場合の簡単な手順

ロールに用紙がある場合、ロールカバーを開くだけでロール紙が自動的に取り外されます。フロントパネルに新しいロール紙またはカット紙を取り付けるように求めるメッセージが表示されます。



注記：この方法でロール紙を取り外すと、ロール紙の上にバーコードが印刷されないため、次回取り付けたときにプリンタがロール紙の長さを認識しません。[62 ページの用紙情報の印刷](#)を参照してください。

注記：カット紙が取り付けられているときにロール紙のカバーを開いた場合、カット紙も取り外されます。

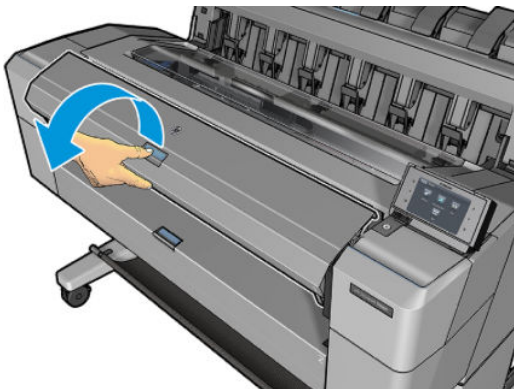
ロールに用紙がある場合のフロントパネルの手順

ロールに用紙があるときは、フロントパネルから用紙を取り外すことができます。

1.  を押し、まだハイライトされていない場合は次に  を押し、次にロール紙アイコン、**[取り外し]** の順に押します。

または、 を押し、次に  を押して、**[用紙]** - **[用紙の取り外し]** - **[ロール 1 の取り外し]** または **[ロール 2 の取り外し]** を選択します。

2. 場合によっては、ロールカバーを開く必要があります。



カット紙を取り付ける

1. T1500 シリーズ プリンタを使用している場合、ロール紙のカバーが閉じていることを確認します。カット紙が取り付けられているときにロールカバーを開いた場合、カット紙はすぐに取り外されます。
2. フロントパネルで  を押し、まだハイライトされていない場合は次に  を押し、カット紙のアイコンを押して、**[取り付け]-[カット紙の取り付け]** を選択します。
または、 を押し、次に  を押して、**[用紙]-[用紙の取り付け]-[カット紙の取り付け]** を選択します。
3. ロール紙が既に取り付けられている場合、自動的に取り外されるまで待つ必要があります。T1500 シリーズでのみ、ロール紙が取り外されずにスタンバイ位置に引き出されるため、カット紙が取り外された後すぐに取り付け直さなくても再度印刷できます。

 **注記：** ロール紙が取り付けられているが印刷中でないときにそのロールカバーを開いた場合は、ロール紙が自動的に取り外され、次回そのロール紙に印刷するときに取り付け直す必要があります。

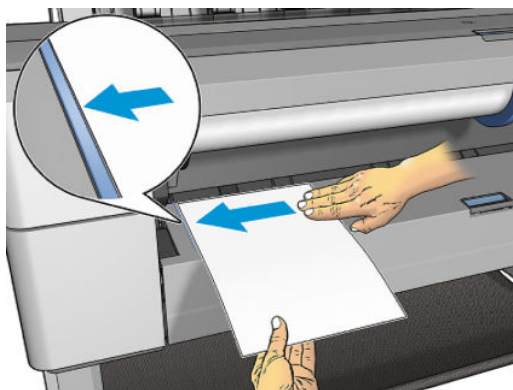
4. 用紙のカテゴリおよび種類を選択します。

 **ヒント：** 用紙リストにない用紙の種類を取り付けた場合は、[153 ページの用紙の種類が一覧に含まれていない](#)を参照してください。

5. フロントパネルに指示が表示されたら、プリンタの前面にカット紙を挿入します。



6. カット紙の左端を、プリンタの左側の青い線に揃えます。



7. それ以上奥に進まなくなるまでカット紙をプリンタに押し込みます。

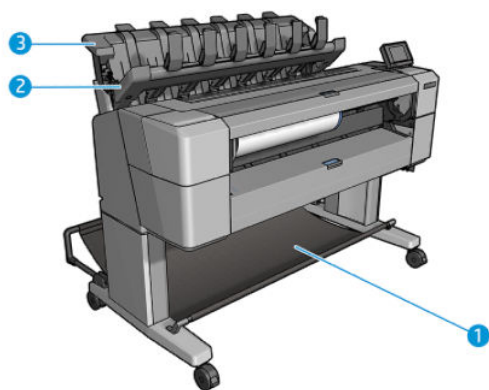


⚠ **警告！** プリンタの用紙経路に指を入れないでください。

8. プリンタのブザーが鳴って用紙が引き込まれるまで、カット紙をプリンタに差し込みます。
9. プリンタによって位置の確認が行われます。
10. 用紙の位置が正しくない場合は排出されるので、もう一度行ってください。

📝 **注記：** 用紙の取り付け作業中に予期しない問題が発生した場合は、[152 ページの用紙が正しく取り付けられない](#)を参照してください。

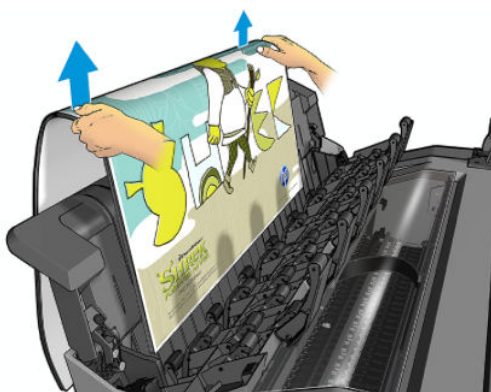
スタッカ



1. バスケット
2. スタッカ回転カバー
3. スタッカ

デフォルトでは、印刷ジョブが終了するたびにプリンタにより紙がカットされます。印刷された用紙は、スタッカにより印刷済みの他のカット紙の上にきれいに積み重ねられます。

スタッカを空にするには、プリンタの前に立ち、印刷されたカット紙の束をスタッカから引き出します。このとき、スタッカカバーが開くことがあります。カット紙を取り出したら閉じていることを確認してください。通常は、伸縮ばねによって自動的に閉じます。



ヒント: 印刷中でもカット紙をスタッカから取り出すことができますが、印刷中でないときにすべての印刷物をまとめて取り出すことをお勧めします。

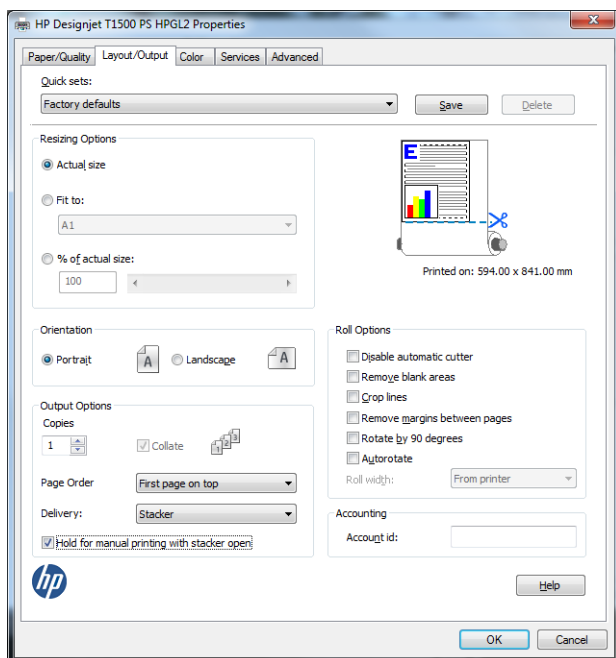
ヒント: スタッカ カバーを開いた状態でロックして、特殊なジョブを取り出すことができます。終わった後は閉じていることを確認してください。

ヒント: 通常印刷モードの印刷でフォト用紙を使用してスタッカに積み重ねる場合は、HP 速乾性フォト用紙を使用することをお勧めします。

スタッカが開いた状態での手動印刷

スタッカの手動印刷モードは、できる限り高品質な印刷をフォト用紙に行う場合に使用することができます、プリンタの前に立って確実に行うことができます。

特定のジョブ (たとえば、プリンタ ドライバからなど) に手動モードを選択するか、フロントパネルからプリンタを手動モードにすることができます。

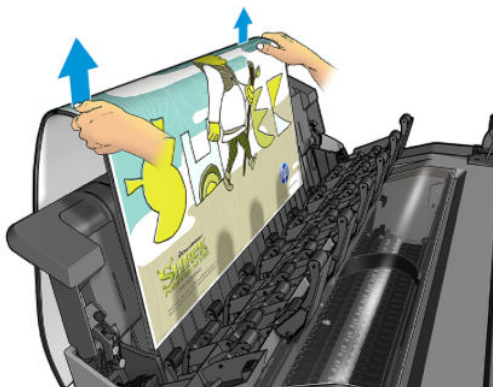
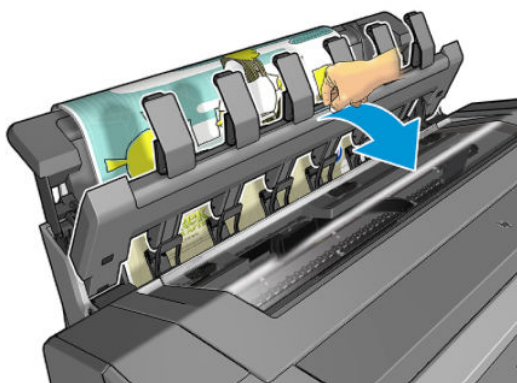


- 手動モードを選択してジョブを送信した場合、ジョブが保留状態になり、フロントパネルからそのジョブの印刷を選択して (フロントパネルにこの手順が表示されます) スタッカ カバーを開くまで、他のジョブが印刷を続行できるようになります。

Print jobs			
	Coast_1page.pdf	Hold for preview	
	Lorem Ipsum.tif	On hold for manual mode	
	Dogsville.pdf	Printed	
	50cm_doc.pcl3	Cancelled	
	50cm_doc.pcl3	Cancelled by user	

- プリンタをフロントパネルから手動モードにした場合は、キュー内のすべてのジョブが手動モードの保留状態になるため、キューから印刷することができます。手動モードを修了すると、キューに残っているすべてのジョブが前のステータスに戻ります。

 **注記：**スタッカカバーが30秒以内に開かれない場合、手動モードは自動的にキャンセルされます。スタッカカバーは開いたままロックすることができます。

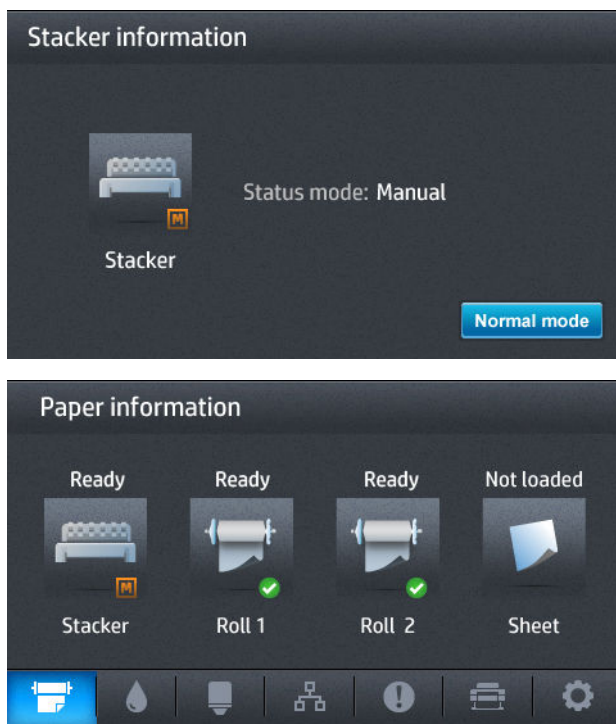


手動モードでは、次のような状態になります。

- 一度に1ページしか印刷できません。フロントパネルから各ページを手動で開始する必要があります。
- スタッカカバーを開いたまま印刷し、プリンタの前に立って印刷物が出てきたときに確認して、汚れが付かないようにします。
- スタッカカバーが開いていると、印刷物が出てきたときに確認しやすくなりますが、印刷物が正しい用紙経路を通ることが保証されないため、破損しないようにしっかり見守る必要があります。

- プリンタがアイドル状態になり、15 分以上手動モードのままの場合、手動モードがキャンセルされ、スタッカを閉じるように勧めるメッセージが表示されます。
- 手動モードは、フロントパネルから終了するか、スタッカを閉じることで終了できます。

手動モードであることは、各種フロントパネル画面に  アイコンで示されます。



バスケット

印刷物を集めるには、通常スタッカが使用されます。スタッカを使用しない場合は、印刷物をバスケットに送ることができます。印刷ジョブごとに用紙をカットしない場合や、スタッカがいっぱいの場合は、バスケットを使用することができます。

バスケットには、A1 用紙または D サイズ普通紙が最大 10 枚入ります。大きい印刷物は、印刷後すぐにバスケットから取り出してください。

 **ヒント:** バスケットに落ちる用紙にぶつからないように、すべてのケーブルが正しく配線されていることを確認します。そうしないと、紙詰まりが生じる可能性があります。

用紙に関する情報を表示する

取り付けられた用紙の情報を確認するには、 を押し、まだハイライトされていない場合は次に  を押して、ロール紙アイコンを押します。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- 選択した用紙の種類
- ロール紙またはカット紙のステータス
- 用紙の幅 (mm) (推定値)

同じ情報は、HP DesignJet Utility (Windows) ([概要] タブ - [サプライ品] タブ) と HP Utility (Mac OS X) (情報グループ - [サプライ品のステータス]) に表示されます。

用紙プリセット

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、最適な印刷品質を実現するために、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細のことを用紙プリセットといいます。用紙プリセットには、用紙の色の特徴を記述する ICC プロファイルが含まれます。また、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。このプリンタの既存の用紙プリセットは、プリンタのソフトウェアにすでにインストールされています。

ただし、プリンタで使用可能なすべての用紙を表示するとスクロールしにくいいため、このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類の用紙プリセットのみが用意されています。プリンタにないプリセットの用紙の種類を使用するときは、フロントパネルの表示からその用紙の種類を選択できません。

新しい用紙の種類にプリセットを割り当てるには 2 つの方法があります。

- フロントパネルまたはプリンタ ドライバで、使用する用紙になるべく近いカテゴリと種類を選択して、既存の HP 工場出荷時用紙プリセットのいずれかを使用します。[153 ページの用紙の種類が一覧に含まれていない](#)を参照してください。

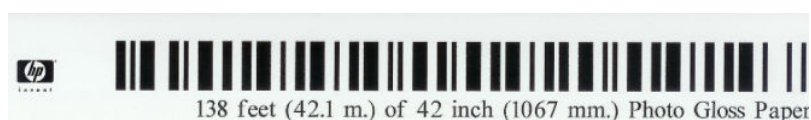
 **注記：** カラーが正確ではない場合があります。この方法は、高品質の印刷には向いていません。

- 使用しているプリンタのモデルに応じて、<http://www.hp.com/go/T920/paperpresets> または <http://www.hp.com/go/T1500/paperpresets>

 **注記：** HP では、HP 用紙の種類に対するプリセットのみを提供しています。必要な用紙プリセットが Web 上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリースノートを参照して、情報を確認してください ([144 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照)。

用紙情報の印刷

プリンタの未使用分のロール紙の推定の長さ、用紙の幅と種類を表示するには、**【用紙情報の印刷】**を有効にします。情報はバーコードとテキストの組み合わせから構成され、用紙をプリンタから取り外すとロールの上端に印刷されています。



 **注記：** 未使用分の長さに関する情報は、ロール紙を取り付けるときの用紙の長さをプリンタに指定した場合のみ使用できます。この情報をプリンタに提供するには、用紙を取り付ける際にロール紙の長さをフロントパネルで指定するか、用紙データバーコードが印刷されているロール紙を取り付けます。

 **注記：**バーコードとテキストは、取り付けと取り外しをフロントパネルの[用紙]メニューから行った場合のみロール紙に印刷されます。

 **注記：**このオプションは、完全に不透明な用紙を使用する場合のみ有効です。透明または半透明な用紙を使用する場合は失敗する可能性があります。

[用紙情報の印刷] オプションを有効にするには、フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-印刷設定-[用紙オプション]-[用紙情報の印刷の有効化]** を選択します。

 **注記：**このオプションを有効にすると、用紙の取り付けと取り外しの手順がわずかに変化します。

用紙の移動

プリンタがアイドル状態 (印刷可能) のときに、フロントパネルから用紙を前または後ろに移動できます。カッターを使用できない場合に、最後に印刷したものと次に印刷するものとの間に余白をとりたいときや、次の印刷物の上部余白を大きくしたいときに行います。

用紙を移動するには、 を押し、次に  を押して、**[用紙]-[用紙を移動]**。

用紙を保守する

用紙の品質を保守するには、以下の推奨事項に従ってください。

- ロール紙を別の紙または布で覆って保管する
- カット紙をカバーで覆って保管し、プリンタに取り付ける前にクリーニングまたはブラッシングする
- 入出力プラテンをクリーニングする
- プリンタのウィンドウを常に閉じておく

 **注記：**フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です ([172 ページの印刷が擦り切れる、または傷がつく](#)を参照)。

乾燥時間を変更する

複数印刷で時間がより重要な場合、取り扱う前にインクが乾燥している必要がある場合など、印刷状況によっては、乾燥時間を変更する必要があります。

 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[検索を印刷]-[乾燥時間]** を選択します。次のオプションを選択できます。

- **[長い]**：インクが完全に乾燥するように、推奨時間より長く設定します。
- **[最適]**：選択した用紙のデフォルト時間 (推奨) に設定します (デフォルト設定)。
- **[短い]**：品質の重要性が低い場合は、推奨時間より短く設定します。
- **[なし]**：乾燥時間を無効にして、印刷が終了するとすぐに印刷された用紙を取り出します。

 **注意：**印刷された用紙が取り出される際にインクが乾燥していない場合は、出力トレイにインクを付いたり、印刷された用紙にインクを残したりすることがあります。

 **注記：**印刷中に乾燥時間をキャンセルすると、同時に実行されているプリントヘッド保守が原因で、プリンタが用紙を正しく排紙/カットできなくなります。乾燥時間がゼロの場合は、プリンタは用紙をカットして、次にプリントヘッド保守を実行します。ただし、乾燥時間がゼロより大きい場合、プリントヘッド保守が終了するまでは、プリンタは用紙をカットしません。

取り出し時間の変更

次のジョブが開始する前に印刷物を取り出すことができるように、乾燥後少し時間を置くことができます。

 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[検索を印刷]-[取り出し時間]** を選択します。

自動カッターのオン/オフを切り替える

プリンタの用紙カッターのオン/オフを切り替えるには、以下の手順に従ってください。

- HP DesignJet Utility (Windows) で、**[管理者]** タブを選択し、**[プリンタ設定]-[詳細設定]** を選択して **[カッター]** オプションを変更します。
- 内蔵 Web サーバで、**[セットアップ]** タブを選択し、**[プリンタ設定]-[詳細設定]** を選択して **[カッター]** オプションを変更します。
- フロントパネルで、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[検索を印刷]-[カッター]** を選択します。

デフォルト設定は、**[オン]** です。

カッターがオフの場合、ジョブ間で用紙がカットされなくなりますが、取り付け、取り外し、ロール紙の交換、およびスタッカとバスケットの切替時には用紙がカットされ続けます。

 **ヒント：**自動カッターが無効になっているときにロール紙をカットするには、[64 ページの用紙を給紙してカットする](#)を参照してください。

用紙を給紙してカットする

フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**[用紙]-[排紙/カット]** を押した場合、プリンタから用紙が排出されて、先端が水平にカットされます。これが行われる理由はいくつかあります。

- 用紙が破れていたりまっすぐでない場合に、用紙の先端をカットするためカットされた切れ端がバスケットに落ちます。
- 自動カッターが無効な場合に、用紙を排紙/カットするため
- プリンタが他のページのネスティングを待機中である場合に、待機時間をキャンセルして印刷可能なページを直ちに印刷するため (T1500 シリーズのみ)

 **注記：**印刷されるたびにプリントヘッドで保守サービスが行われ、この処理が終了するまで用紙がカットできなくなるため、遅くなることがあります。

 **注記：**フォト用紙とコート紙の取り扱いには注意が必要です ([172 ページの印刷が擦り切れる、または傷がつく](#)を参照)。

 **ヒント：**カットせずに用紙を移動するには、[63 ページの用紙の移動](#)を参照してください。

7 2本のロール紙を使用する (T1500 シリーズ)

マルチロール プリンタの使用

マルチロール プリンタは、さまざまな方法で役立ちます。

- 必要に応じて、プリンタで用紙の種類を自動的に切り替えることができます。
- 必要に応じて、プリンタで用紙幅を自動的に切り替えることができます。これにより、小さいイメージを幅の狭い用紙に印刷して用紙を節約することができます。
- 同じ種類のロール紙をプリンタに取り付けると、最初のロール紙を使い切ると自動的に次のロール紙に切り替わるため、長時間の無人での印刷が可能になります。[83 ページの無人印刷/夜間印刷 \(T1500 シリーズ\)](#)を参照してください。

複数のロールを取り扱う場合、**保護されたロール**は、ロール紙番号またはその用紙の種類が具体的に要求されない限り使用されないよう保護されています。[82 ページのロール紙を保護する \(T1500 シリーズ\)](#)を参照してください。

 を押し、まだハイライトされていない場合は次に  を押した場合、両方のロール紙の現在のステータスがフロントパネルに表示されます。

 **注記：** USB フラッシュ ドライブから印刷するか、または HP Direct Print を使用して印刷する場合、マルチロール印刷がかなり簡単に行えます。使用するロールを手動で指定するか、または**【用紙の節約】**を選択できます。どちらの場合も、プリンタは印刷に適する最も幅の狭いロールを選択します。用紙の種類を指定することはできません。

プリンタによるロール紙へのジョブの割り当て方法

内蔵 Web サーバまたはプリンタ ドライバから印刷ジョブを送信するときに、特定の用紙の種類への印刷を指定できます (**【用紙の種類】** または **【用紙の種類】** オプションを使用)。特定のロール紙 (1 または 2) への印刷も指定できます (**【給紙】**、**【給紙方法】**、または **【給紙トレイ】** オプションを使用)。プリンタでは、これらの要件を満たすように試行され、イメージを途切れないように印刷できる十分な大きさのロール紙が検索されます。

- 両方のロール紙がジョブに適している場合は、ロール切替ポリシーに従ってロール紙が選択されます。[24 ページのロール紙切替オプション \(T1500 シリーズ\)](#)を参照してください。
- いずれかのロール紙のみがジョブに適している場合は、そのロール紙に印刷されます。
- どちらのロール紙もジョブに適していない場合は、用紙の不一致操作に応じて、ステータスが「用紙の保留」のジョブキューにジョブが保持されるか、または適していないロール紙に印刷されます。[24 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照してください。

Windows のプリンタドライバでは、現在プリンタに取り付けられている用紙の種類と幅、および印刷先のロール紙が通知されます。

通常の状態で使用される可能性がある設定を以下に示します。

 **注記：**【用紙の種類】および【給紙方法】設定は、プリンタドライバと内蔵 Web サーバにあります。【ロール紙切替ポリシー】は、フロントパネルで設定します。

- さまざまな種類の用紙が取り付けられている場合
 - **【用紙の種類】:** 必要な用紙の種類を選択
 - **【給紙トレイ】:** 自動選択/定義済み
 - **【ロール紙切替ポリシー】:** 無効
- さまざまな幅の用紙が取り付けられている場合
 - **【用紙の種類】:** プリンタ設定の使用
 - **【給紙トレイ】:** 自動選択/定義済み
 - **【ロール紙切替ポリシー】:** 用紙の消費を最小化

 **ヒント：**イメージの回転またはネスティングによって用紙を節約できる場合もあります。[80 ページの用紙を節約する](#)を参照してください。

- 同じロール紙が取り付けられている場合
 - **【用紙の種類】:** プリンタ設定の使用
 - **【給紙トレイ】:** 自動選択/定義済み
 - **【ロール紙切替ポリシー】:** ロールの変更を最小化

8 印刷時

- [はじめに](#)
- [USB フラッシュドライブから印刷する](#)
- [内蔵 Web サーバまたは HP Utility を使用してコンピュータから印刷する \(T1500 シリーズ\)](#)
- [プリンタ ドライバを使用したコンピュータからの印刷](#)
- [詳細印刷設定](#)
- [AirPrint を使用した iOS からの印刷](#)

はじめに

お使いの環境および設定に応じて、印刷に選択可能なさまざまな方法があります。

- USB フラッシュドライブから直接、TIFF、JPEG、HP-GL/2、RTL、PDF または PostScript ファイルを印刷します。[68 ページの USB フラッシュドライブから印刷する](#)を参照してください。
- すでにジョブキューにあるファイルを印刷します。[90 ページのキューからジョブを再印刷する](#)を参照してください。
- 内蔵 Web サーバまたは HP Utility を使用して、プリンタに接続されたコンピュータから直接、TIFF、JPEG、HP-GL/2、RTL、PDF、または PostScript ファイルを印刷します。[69 ページの内蔵 Web サーバまたは HP Utility を使用してコンピュータから印刷する \(T1500 シリーズ\)](#)を参照してください。
- ファイルを開くことができるソフトウェアアプリケーション、およびプリンタ付属のプリンタドライバを使用して、ネットワークでプリンタに接続されているコンピュータからあらゆる種類のファイルを印刷します。[71 ページのプリンタドライバを使用したコンピュータからの印刷](#)を参照してください。
- AirPrint を使用して、サポートされるデバイスから印刷します。[84 ページの AirPrint を使用した iOS からの印刷](#)を参照してください。
- [86 ページの「モバイル印刷」](#)も参照してください。

 **注記：** PDF または PostScript ファイルを印刷するには、PostScript プリンタが必要です。

USB フラッシュドライブから印刷する

1. 1 つ以上の TIFF、JPEG、HP-GL/2、RTL、PDF、または PostScript ファイルを含む USB フラッシュドライブをプリンタの USB ポートに挿入します。

 **注記：** PDF または PostScript ファイルを印刷するには、PostScript プリンタが必要です。

 **注記：** プリンタと USB フラッシュドライブの併用は、管理者によって無効になっている場合があります。[28 ページのプリンタへのアクセスを制御する](#)を参照してください。

2. フロントパネルで、ホーム画面に移動して、 を押します。
3. 印刷するファイルを選択します。印刷できないファイルには、 が付いています。フォルダを押して、その内容を参照します。
4. デフォルト印刷設定が表示されます。変更する場合は、**【設定】**を押します。以下の設定があります。
 - **【サイズ】**では、「元のサイズに対する比率」または「特定の用紙サイズに合わせる」の 2 つの方法で、印刷のサイズを変更できます。デフォルト値は 100%です(元のサイズ)。
 - **【カラー】**では、カラー、グレースケール、または白黒の印刷を選択できます。
 - **【印刷品質】**では、印刷品質を **【高品質】**、**【標準】**、または **【高速】** に設定できます。

- **【ロール紙】**では、ロール紙 1 またはロール紙 2 で印刷を指定するか、または**【用紙の節約】**を選択して、印刷に適する最も幅の狭いロール紙を自動的に選択します (2 つのロール紙が取り付けられている場合)。
- **【手動モード】**では、スタッカを開いた状態で、このジョブの手動印刷を有効にできます (デフォルトでは無効)。
- **【用紙出力】**では、出力をスタッカ (デフォルト) またはバスケットに排出することができます。
- **【丁合い】**では、丁合いをオンまたはオフにすることができます。
- ページ順序では、最初のページが上になるように印刷するか、最後のページが上になるように印刷するかを選択できます。
- **【回転】**では、印刷対象を 90 度ごとに回転させることができます。また、**【自動】**を選択すると、印刷対象を自動的に回転させて、用紙が節約されます。
- **【プリンタのマージン】**では、プリンタのデフォルトのマージンを変更できます。

 **注記：**この方法で、設定を変更する場合、変更された設定は現在のジョブに適用されますが、永久に保存されるわけではありません。デフォルト設定を変更するには、 を押し、次に  を押して、**【USB の詳細設定からの印刷】**を選択します。ただし、**【出力】**設定は変更できません。

5. フロントパネルに印刷されたジョブのプレビューを表示するには、 を押します。

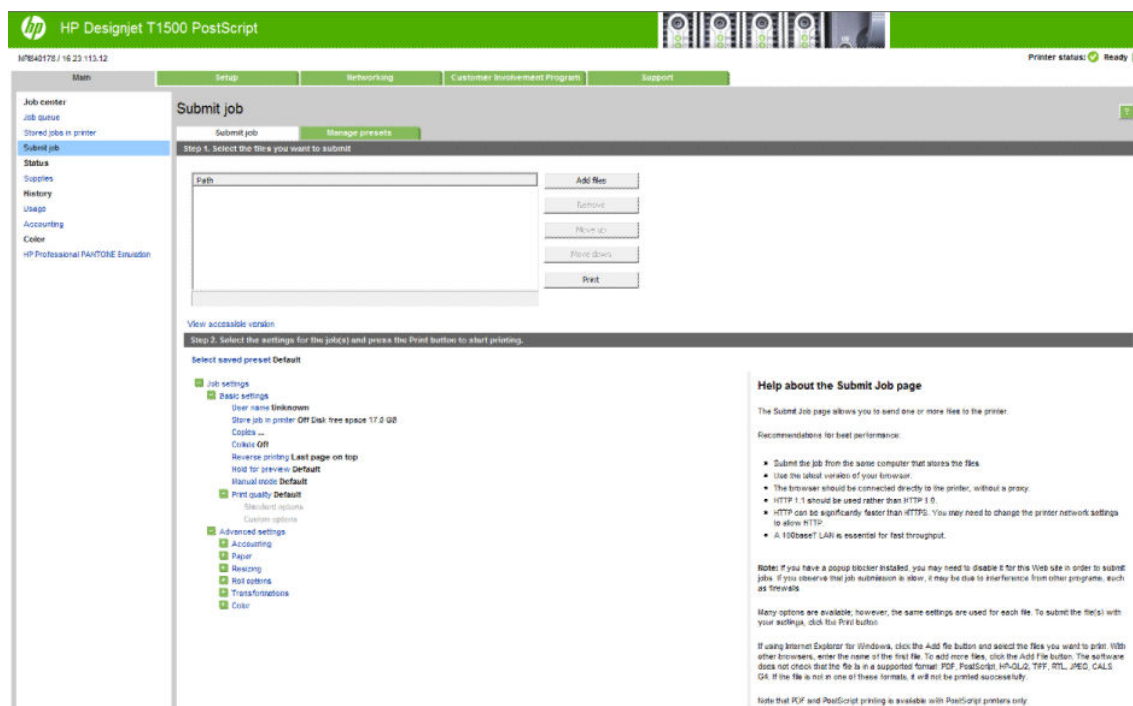
プレビューが表示されたら、それを押して、拡大することができます。もう一度押すと、縮小することができます。

6. 印刷設定に満足している場合は、**【開始】**を押します。
7. 印刷後、別のファイルを印刷するか、またはジョブキューに移動するかを選択できます。ホーム画面に戻らずに直ちに別のファイルを印刷する場合は、前のファイルに使用された一時的な設定が再び使用されます。

内蔵 Web サーバまたは HP Utility を使用してコンピュータから印刷する (T1500 シリーズ)

プリンタの内蔵 Web サーバにアクセスできるコンピュータから、以下の方法でファイルを印刷できます。[43 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照してください。

内蔵 Web サーバで、**【メイン】**タブを選択して**【ジョブの送信】**を選択します。HP Utility で、**【ジョブセンター】**-**【ジョブの送信】**を選択します。以下のウィンドウが表示されます。



【ファイルを追加】ボタンを押して、印刷するコンピュータからファイルを選択します。ファイルは以下のいずれかの形式である必要があります。

- HP-GL/2
- RTL
- TIFF
- JPEG
- PDF (PostScript プリンタのみ)
- PostScript (PostScript プリンタのみ)

 **注記：** ファイルに印刷する場合、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、ファイル名は、**.plt** や **.prn** などの拡張子を持つことができます。

ファイルがこれらの形式のいずれでもない場合、ファイルは正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定 (用紙サイズ、向き、サイズ変更、部数など) で生成された場合、【印刷】ボタンを押すだけでプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する必要がある場合は、【ジョブの設定】セクションに移動し、必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明のテキストがあり、各設定の動作を確認できます。設定を【デフォルト】のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブに何も設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。

いくつかのデフォルト以外の設定を選択していて、今後同じ設定グループを再使用する場合は、【プリセットの管理】タブから単一の名前下にあるすべてを保存し、後でその名前を使用して呼び出すことができます。

プリンタ ドライバを使用したコンピュータからの印刷

これはコンピュータから印刷する従来の方法です。正しいプリンタ ドライバがコンピュータにインストールされる必要があります ([16 ページの「ソフトウェアのインストール」](#)を参照)、またコンピュータはネットワークでプリンタに接続される必要があります。

プリンタ ドライバがインストールされ、コンピュータがプリンタに接続されている場合は、アプリケーション独自の**【印刷】**コマンドを使用し、正しいプリンタを選択して、ソフトウェアアプリケーションから印刷できます。

 **注記：**初回の印刷時、Windows によりプリンタ ドライバが自動的にインターネットで検索されます(コンピュータがインターネットに接続されている場合)。ユーザがドライバを検索する必要はありません。ただし、このプロセスではその他のソフトウェアがインストールされません。そのため、すべてのプリンタソフトウェアがインストールされるように、DVD (または HP の Web サイトからダウンロード可能なインストール パッケージ)を使用してインストールすることを推奨します。

詳細印刷設定

この章の残りの部分では、プリンタ ドライバ、内蔵 Web サーバ、または HP Utility を使用して印刷する場合に使用可能なさまざまな印刷設定について説明します。これらの方法は、すべての要件を満たすために比較的多数の設定を提供しています。

 **ヒント：**要件を満たさないことがわかっている場合を除いて、通常はデフォルト設定を使用することを推奨します。

ヒント：特定の設定グループを繰り返し使用する場合は、独自に選択した名前でこれらの設定を保存し、後で呼び出すことができます。保存された設定グループは、Windows プリンタ ドライバでは「クイック設定」、また、内蔵 Web サーバでは「プリセット」として知られています。

印刷品質を選択する

高品質の印刷では印刷速度が遅くなりますが、高速の印刷では印刷品質が低下するので、プリンタにはさまざまな印刷品質オプションが用意されています。

したがって、標準の印刷品質セレクトはスライダになっており、これを使用して品質と速度間の選択が可能です。用紙の種類によって適切な調整ができます。

その他の方法としては、ユーザ定義オプションの**【高品質】**、**【標準】**、および**【高速】**の中から選択します。**【高速】**を選択した場合、**【Economode】**を選択することもできます。Economode では、より低いレンダリング解像度が使用され、消費するインクが少なくなります。したがって、印刷速度はさらに向上しますが、印刷品質は下がります。**【Economode】**はユーザ定義オプションからのみ選択できます(スライダから選択することはできません)。

印刷品質に影響する 2 つの追加カスタム オプションも提供されています。**【高精細】**および**【パスの拡張】**から選択します。[77 ページの高品質で印刷する](#)を参照してください。

 **注記：**HP DesignJet T920 または T1500 プリンタを使用している場合、カスタム オプションを使用するにはファームウェアをアップグレードする必要があります。

 **注記：**Windows ドライバのダイアログでは、ジョブに対するレンダリング解像度が**【ユーザ定義オプション】**に表示されます(**【ユーザ定義オプション】**を選択して**【設定】**を選択)。

印刷品質オプションは、以下の方法で指定することができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** **[用紙/品質]** タブに移動して **[印刷品質]** セクションを確認します。**[標準オプション]** を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。**ユーザ定義オプション** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：** **[用紙/品質]** パネルに移動して **[品質オプション]** セクションを確認します。**[標準]** 品質オプションを選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。**カスタム** 品質オプションを選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1500 シリーズ)：** **[基本設定] - [印刷品質]** を選択します。次に **[標準オプション]** を選択すると、**[速度]** および **[品質]** 間の選択が可能です。**ユーザ定義オプション** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **フロントパネルを使用する場合：**  を押し、次に  を押して、**[セットアップ] - [印刷設定] - [印刷品質]**。

 **注記：** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

 **注記：** プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

用紙サイズの選択

用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。

 **注記：** ここでは、文書が作成された用紙サイズを指定する必要があります。印刷するために文書を拡大縮小できます。[75 ページの印刷を拡大縮小する](#)を参照してください。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** **[用紙/品質]** タブを選択し、**[文書サイズ]** リストで用紙サイズを選択します。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：** プリンタを選択し、**[用紙サイズ]** リストで用紙サイズを選択します。

 **注記：** アプリケーションに **[ページ設定]** ダイアログがない場合は、**[印刷]** ダイアログを使用してください。

- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1500 シリーズ)：** **[詳細設定] - [用紙] - [ページサイズ] - [標準]** を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合：**  を押し、次に  を押して、**[セットアップ] - [印刷設定] - [用紙オプション] - [用紙サイズ]** を選択します。

 **注記：** コンピュータで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

カスタム用紙サイズ

標準の用紙サイズ一覧にない用紙サイズを選択する場合は、さまざまな方法で指定できます。

Windows のプリンタ ドライバを使用する

1. **【用紙/品質】** タブを選択します。
2. **【カスタム】** ボタンを押します。
3. 新しい用紙サイズの名前と寸法を入力します。
4. **【OK】** を押します。新しい用紙サイズが自動的に選択されます。

この方法で作成されるカスタム用紙サイズには次の特徴があります。

- 用紙サイズは不変です。ドライバが閉じているか、コンピュータの電源がオフの場合、用紙サイズは表示されません。
- 用紙サイズは、プリンタ キューに対してローカルです。用紙サイズは、同じコンピュータの他のプリンタ キューから参照されません。
- Domain サーバ ネットワークでは、用紙サイズは、コンピュータに対してローカルです。用紙サイズは、プリンタ キューを共有する他のコンピュータから参照されません。
- Workgroup ネットワークでは、用紙サイズは、プリント キューを共有するすべてのコンピュータ間で共有されます。
- プリンタ キューが削除されると、用紙サイズも削除されます。

Windows の用紙を使用する

1. **【スタート】** メニューまたは **【コントロール パネル】** から、**【プリンタと FAX】** を選択します。
2. **【ファイル】** メニューから、**【サーバのプロパティ】** を選択します。
3. **【用紙】** タブで、**【新しい用紙を作成する】** ボックスをオンにします。
4. 新しい用紙サイズの名前と寸法を入力します。マージンは 0.00 のままにします。
5. **【用紙の保存】** ボタンをクリックします。
6. プリンタ ドライバに移動し、**【用紙/品質】** タブを選択します。
7. 用紙サイズのプルダウン メニューから **【詳細…】** を選択します。
8. カスタム サイズのグループから新しい用紙サイズを選択します。

この方法で作成されるカスタム用紙サイズには次の特徴があります。

- 用紙サイズは不変です。ドライバが閉じているか、コンピュータの電源がオフの場合、用紙サイズは表示されません。
- 制限されたユーザは新しい用紙を作成できません。Windows Active Directory の「ドキュメントの管理」ロールが最小限必要です。
- 用紙サイズは、コンピュータに対してローカルです。用紙サイズは、コンピュータで作成されたすべてのプリンタ キューまたはそのサイズの用紙をサポートするすべてのプリンタ キューで表示されます。
- プリンタ キューが共有される場合、この用紙サイズは、すべてのクライアント コンピュータで表示されます。

- プリンタ キューが別のコンピュータから共有される場合、この用紙サイズは、ドライバの文書サイズ一覧では表示されません。共有されるキュー内の Windows 用紙は、サーバで作成される必要があります。
- プリンタ キューが削除されても、用紙サイズは削除されません。

Mac OS X のプリンタ ドライバを使用する

1. **【ページ設定】** ダイアログに移動します。

 **注記：** アプリケーションに **【ページ設定】** ダイアログがない場合は、**【印刷】** ダイアログを使用してください。

2. **【用紙サイズ】-【カスタム サイズを管理】** を選択します。

内蔵 Web サーバを使用する (T1500 シリーズのみ)

1. **【ジョブの送信】** ページに移動します。
2. **【詳細設定】-【用紙】-【ページサイズ】-【カスタム】** を選択します。

マージン オプションを選択する

デフォルトでは、イメージの端と用紙の端の間には 5mm マージンがあります (カット紙の下端では 17mm まで広がります)。ただし、いくつかの方法でこの動作を変更できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** **【用紙/品質】** タブを選択し、**【マージン/レイアウト】** ボタンをクリックします。
- **Mac OS X の【プリント】ダイアログの場合：** **【マージン/レイアウト】** パネルを選択します。
- **内蔵 Web サーバの【ジョブの送信】ページの場合 (T1500 シリーズ)：** **【詳細設定】-【用紙】-【レイアウト/マージン】** を選択します。

以下のオプションのいくつかが表示されます。

 **注記：** Mac OS X では、使用できるマージン オプションは選択した用紙サイズによって異なります。たとえば、フチ無し印刷では、「マージンなし」が含まれている用紙サイズ名を選択する必要があります。

- **【標準】：** イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。イメージは、マージン部分より小さいサイズにする必要があります。
- **【オーバーサイズ】：** イメージは、選択したサイズより若干大きいページに印刷されます。マージンを切り落とす場合は、イメージの端と用紙の端の間にマージンを入れずに、選択したサイズのページを保持します。
- **【内容をマージンでクリップ】：** イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に狭いマージンが取られます。このオプションでは、イメージがページと同じサイズの場合、プリンタでイメージの両端が白または重要でないと判断され、印刷の必要がないと見なされます。これは、イメージにフチがある場合に役に立ちます。
- **【フチ無し】 (T1500 シリーズのみ)：** イメージは、選択したサイズのページにマージンなしで印刷されます。イメージは、イメージの端と用紙の端の間にマージンが残らないように、若干拡大されます。**【プリンタで自動】** を選択した場合、この拡大は自動的に行われます。**【アプリケーションで手動】** を選択した場合、印刷するページより若干大きいカスタム ページサイズを選択する必要があります。[78 ページのマージンなしで印刷する \(T1500 シリーズ\)](#) も参照してください。

取り付けられている用紙への印刷

プリンタにどの用紙が取り付けられていてもジョブを印刷するには：

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[用紙/品質] タブを選択します。次に、[用紙の種類] プルダウンメニューから**[プリンタ設定の使用]**を選択します。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合**：[用紙/品質] パネルを選択し、[用紙の種類] プルダウンメニューから**[任意]**を選択します。

 **注記**：これは、用紙の種類の選択のデフォルト値です。

印刷を拡大縮小する

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを拡大縮小 (大体は拡大) するように指定することができます。これは、次のような場合に便利です。

- 使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合。
- ファイルサイズが大きすぎてプリンタのメモリでは対応できない場合。この場合は、ソフトウェアで用紙サイズを小さくし、印刷時にフロントパネルのメニューを使用して拡大することができます。

プリンタでの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[レイアウト/出力] タブに移動して [サイズ変更オプション] セクションを確認します。
 - **[文書を印刷する用紙]** オプションを使用すると、選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージサイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
 - **[%(元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲 (ページからマージンをマイナスした範囲) を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript 以外のプリンタ)**：[用紙処理] パネルを選択し、次に **[出力用紙サイズ]** でイメージを拡大縮小する用紙サイズを選択します。イメージのサイズを大きくする場合には、**[縮小のみ]** ボックスのチェックがオフになっていることを確認します。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ)**：[仕上げ] パネルで **[文書を印刷する用紙]** を選択し、イメージサイズを調整する用紙サイズを選択します。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1500 シリーズ)**：[詳細設定] - [サイズ変更] を選択します。
 - **[標準]** オプションと **[カスタム]** オプションを使用すると、イメージサイズが、選択した標準またはカスタムの用紙サイズに調整されます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A4 サイズのイメージを印刷する場合、A2 サイズに合うようにイメージが拡大されます。用

紙サイズで ISO A3 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合は、A3 サイズに合うようにイメージが縮小されます。

- **[% (元のサイズに対する比率)]** オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲 (ページからマージンをマイナスした範囲) を指定した比率で拡大/縮小し、マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **フロントパネルを使用する場合：**  を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙オプション]-[サイズ変更]**。

1 枚の用紙に印刷する場合は、イメージをページ内に収めることができるかどうかを確認してください。イメージが途切れる可能性があります。

重なった線の処理方法を変更する

 **注記：** このトピックは HP-GL/2 ジョブを印刷する場合にのみ適用されます。

マージオプションでは、イメージ内での重なった線の処理方法を設定できます。以下の 2 種類の設定があります。

- オフ：線が交差している場合、前面の線の色のみが印刷されます。これはデフォルトの設定です。
- オン：線が交差している場合、2 つの線の色がマージされます。

マージ設定を [オン] にするには、フロントパネルに移動して、 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[印刷設定]-[HP-GL/2 の設定]-[マージ]** を選択します。一部のアプリケーションでは、ソフトウェアからマージオプションを設定できます。ソフトウェアの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。

印刷をプレビューする

画面上で印刷をプレビューすると、印刷前に印刷のレイアウトを確認できます。これにより、誤った印刷による用紙やインクの無駄を防ぐことができます。

- Windows では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
 - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
 - **[印刷プレビューの表示]** オプションをクリックします (T1500 シリーズの場合のみ)。このオプションは、ドライバの **[用紙/品質]** タブと **[レイアウト/出力]** タブにあります。プレビューは、使用するプリンタとプリンタ ドライバによって異なる方法で表示される場合があります。
- Mac OS X では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
 - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
 - アプリケーションの **[印刷]** パネルの左下にある **[PDF]** メニューを開きます。**[HP Print Preview]** オプションを選択すると、HP Print Preview アプリケーションが開き、印刷されるイメージの最終的な外観が表示されます。用紙のサイズ、用紙の種類、印刷品質を変更する機能や、イメージを回転する機能などの印刷機能は、その場で変更できます。
- T1500 シリーズで内蔵 Web サーバを使用して印刷をプレビューするには、**[基本設定]-[プレビュー待ち]** を選択します。

試し印刷をする

高速の試し品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：**【用紙/品質】タブに移動して【印刷品質】セクションを確認します。印刷品質のスライダを左端（[速度]）まで移動させます。
- **Mac OS X の【プリント】ダイアログの場合：**【用紙/品質】パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端（[速度]）まで移動させます。
- **内蔵 Web サーバの【ジョブの送信】ページの場合（T1500 シリーズ）：**【基本設定】-【印刷品質】-【標準オプション】-【速度】を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合：**  を押し、次に  を押して、【セットアップ】-【印刷設定】-【印刷品質】-【品質レベル】-【高速】を選択します。

以下の手順で Economode を使用して、さらに高速で試し品質の印刷を指定できます。これは、テキストや線画のみを含む文書を主に想定しています。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：**【用紙/品質】タブに移動して【印刷品質】セクションを確認します。【ユーザ定義オプション】を選択し、品質レベルを【高速】に設定して、【Economode】チェックボックスをオンにします。
- **Mac OS X の【プリント】ダイアログの場合：**【用紙/品質】パネルに移動して品質オプションを【ユーザ設定】に設定し、品質を【高速】に設定して【Economode】チェックボックスをオンにします。
- **内蔵 Web サーバの【ジョブの送信】ページの場合（T1500 シリーズ）：**【基本設定】-【印刷品質】-【カスタム】を選択します。【品質レベル】を【高速】に設定し、【Economode】を【オン】に設定します。
- **フロントパネルを使用する場合：**  を押し、次に  を押して、【セットアップ】-【印刷設定】-【印刷品質】-【エコノモード】を選択します。

 **注記：** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

高品質で印刷する

高品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：**【用紙/品質】タブに移動して【印刷品質】セクションを確認します。印刷品質のスライダを右端（[品質]）まで移動させます。
- **Mac OS X の【プリント】ダイアログの場合：**【用紙/品質】パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端（[品質]）まで移動させます。
- **内蔵 Web サーバの【ジョブの送信】ページの場合（T1500 シリーズ）：**【基本設定】-【印刷品質】-【標準オプション】-【品質】を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合：**  を押し、次に  を押して、【セットアップ】-【印刷設定】-【印刷品質】-【品質レベル】-【高品質】を選択します。

 **注記：** コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

 **ヒント** : フォト用紙に最高品質で印刷するには、[59 ページのスタッカが開いた状態での手動印刷](#)を参照してください。

高解像度のイメージがある場合

イメージがレンダリング解像度より大きい解像度である場合 (Windows では [ユーザ定義オプション] で確認可能)、**【高精細】** オプションを選択すると、印刷の鮮明度を増すことができます。このオプションは、フォト用紙に **【高品質】** 印刷品質で印刷する場合にのみ使用できます。

- **ドライバのダイアログ (Mac OS X の [プリント] ダイアログ) の場合** : [標準] 印刷品質ではなく [カスタム設定] を選択し、**【高精細】** ボックスをオンにします。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1500 シリーズ)** : [基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。**【品質レベル】** を **【高品質】** に、**【高精細】** を **【オン】** に設定します。
- **フロントパネルを使用する場合** :  を押し、次に  を押して、**【セットアップ】** - **【印刷設定】** - **【印刷品質】** - **【高精細】** を選択します。

 **注記** : **【高精細】** オプションを選択すると、フォト用紙の場合に印刷速度が遅くなりますが、使用するインク量が増えるわけではありません。

プリントヘッドに問題がある場合

プリントヘッドに詰まってしまったノズルが多数存在すると印刷上のバンディングや白い縞の原因になることがあります。この場合は、**【パスの拡張】** オプションを選択すると、印刷品質を改善できます。

- **ドライバのダイアログ (Mac OS X の [プリント] ダイアログ) の場合** : [標準] 印刷品質ではなく [カスタム] を選択し、**【パスの拡張】** ボックスをオンにします。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合** : [基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。**【品質レベル】** を **【高品質】** に、**【パスの拡張】** を **【はい】** に設定します。

 **注記** : **【パスの拡張】** オプションを選択すると、印刷速度が遅くなりますが、使用するインク量が増えるわけではありません。

 **ヒント** : このオプションを使用せずに、イメージ診断の印刷を使用して、問題の原因になっているプリントヘッドを特定してから、そのプリントヘッドをクリーニングまたは交換することを検討してください。[178 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。

グレー階調で印刷する

イメージのすべてのカラーを、グレースケールに変換できます。[101 ページのグレースケールで印刷](#)を参照してください。

マージンなしで印刷する (T1500 シリーズ)

マージンなしで (用紙の端まで) 印刷します。フチ無し印刷とも呼ばれます。フォト用紙のロールを使用する場合のみ実行できます。

マージンを残さずに印刷するために、用紙の端より少し外側まで印刷されます。用紙の外に付着したインクは、プラテンに取り付けられたスポンジに吸収されます。

マージンなしで印刷する設定は、以下の方法で行います。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：**【用紙/品質】タブを選択し、【マージン/レイアウト】ボタンをクリックします。次に【縁なし】を選択します。
- **Mac OS X の【ページ設定】ダイアログの場合 (T1500)：**「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、【プリント】ダイアログで【マージン/レイアウト】-【フチ無し】を選択します。

 **注記：**アプリケーションに【ページ設定】ダイアログがない場合は、【印刷】ダイアログを使用してください。

- **Mac OS X PostScript の【ページ設定】ダイアログの場合 (T1500 PS)：**「マージンなし」という文字列が含まれた用紙サイズ名を選択します。次に、【プリント】ダイアログで【マージン/レイアウト】-【フチ無し】を選択します。

 **注記：**アプリケーションに【ページ設定】ダイアログがない場合は、【印刷】ダイアログを使用してください。

- **内蔵 Web サーバの【ジョブの送信】ページの場合：**【詳細設定】-【用紙】-【レイアウト/マージン】-【縁なし】を選択します。

【縁なし】を選択する場合は、以下のいずれかのイメージ拡大オプションも選択する必要があります。

- **【プリンタにより自動的に】**を選択すると、プリンタは用紙のエッジを越えて印刷するために、自動的にイメージを僅かに (通常は、各方向に数 mm) 拡大します。
- **【アプリケーションにより手動で】**を選択した場合は、アプリケーション自体でイメージを拡大し、かつ、実際の用紙サイズより僅かに大きいカスタム用紙サイズを選択する必要があります。

 **注記：**用紙をプリンタに取り付けた後、最初の印刷ジョブがフチ無し印刷ジョブの場合、印刷前に用紙の先端がカットされます。

フチ無し印刷の最後に、通常、印刷がフチ無しになるように、印刷された用紙が画像エリアの少し内側までカットされます。イメージの残りが次の印刷に含まれないようにするために、用紙が再度カットされます。ただし、ジョブがキャンセルされた場合、またはイメージの下部に余白がある場合、用紙は1度だけカットされます。

切り取り線付きで印刷する (T1500 シリーズ)

切り取り線は、選択した用紙サイズまで縮めるにはどの位置で用紙をカットするべきかを示します。個々のジョブで自動的に切り取り線を印刷するには、以下の手順に従います。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：**【レイアウト/出力】タブを選択し、【切り取り線】を選択します。
- **Mac OS X の【プリント】ダイアログの場合：**【仕上げ】パネルを選択して、次に【切り取り線】を選択します。
- **内蔵 Web サーバの【ジョブの送信】ページの場合：**【詳細設定】-【ロール紙オプション】-【切り取り線の有効化】-【はい】を選択します。

または、以下の手順に従って、デフォルトで切り取り線を印刷する設定にすることもできます。

- 内蔵 Web サーバの場合: [セットアップ]-[プリンタ設定]-[ジョブ管理]-[印刷時に切り取り線を使用する]-[オン]を選択します。
- フロントパネルを使用する場合:  を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙オプション]-[切り取り線の有効化]-[オン]を選択します。

ネスティングしたジョブ ([80 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1500 シリーズ\)](#)を参照) で切り取り線を印刷するには、以下の異なるオプションを選択する必要があります。

- 内蔵 Web サーバの場合: [セットアップ]-[プリンタ設定]-[ジョブ管理]-[ネスティング有効時に切り取り線を使用する]-[オン]を選択します。
- フロントパネルを使用する場合:  を押し、次に  を押して、[セットアップ]-[ジョブ管理]-[ネスティングの設定]-[切り取り線の有効化]-[オン]を選択します。

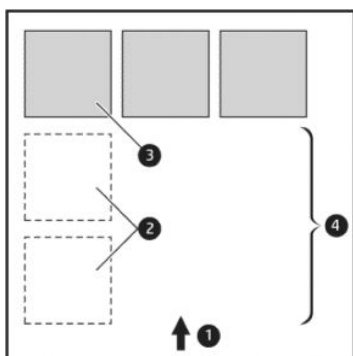
用紙を節約する

用紙を節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 比較的小さいイメージや文書ページを印刷する場合は、ネスティングを使用して、順々に印刷するのではなく並べて印刷できます。[80 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1500 シリーズ\)](#)を参照してください。
- 以下のオプションを選択すると、ロール紙を節約できます。
 - Windows ドライバのダイアログの場合: [レイアウト/出力] タブを選択し、[余白を削除]を選択し、必要に応じて [90°回転] または [自動回転] を選択します。
 - Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript 以外のプリンタ): [仕上げ] パネルを選択し、[余白を削除] を選択します。
 - Mac OS X PostScript の [プリント] ダイアログの場合 (PostScript プリンタ): [仕上げ] パネルを選択し、[余白を削除] または [90°回転] あるいはその両方を選択します。
 - 内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1500 シリーズ): [詳細設定]-[ロール紙オプション]-[上下の余白を削除] または [回転] あるいはその両方を選択します。
- 印刷前にコンピュータ上で印刷プレビューを確認することで、明らかな間違いのある印刷を避けることができ、用紙を節約できます。[76 ページの印刷をプレビューする](#)を参照してください。

ジョブをネスティングしてロール紙を節約する (T1500 シリーズ)

ネスティングとは、イメージまたは文書の複数のページを順々にではなく同じ用紙に並べて自動的に印刷することです。これにより、用紙を節約することができます。



1. 用紙が進む方向
2. ネスティング オフ
3. ネスティング オン
4. ネスティングで節約される用紙

プリンタがページをネスティングする場合

次の両方に当てはまる場合：

- プリンタに、カット紙ではなくロール紙が取り付けられている。
- プリンタの【ネスティング】オプションの設定がオンになっている。[25 ページのネスティング機能をオン/オフにする \(T1500 シリーズ\)](#)を参照してください。

ネスティングが可能なページ

ページが大きすぎてロール紙に横に並べて収まらない場合やページが多すぎてロール紙の残りの長さに収まらない場合を除いて、すべてのページをネスティングできます。ネスティングによって1つのグループになったページは、2つのロール紙間で分割できません。

ネスティングに適したページ

同じネスト内にページを入れるには、個々のページが次のすべてに当てはまる必要があります。

- すべてのページが、同じ印刷品質の設定 ([Economode]、[高速]、[標準]、または [高品質]) であること。
- すべてのページで [高精細] の設定が同じであること。
- すべてのページで [レイアウト/マージン] の設定が同じであること。
- すべてのページで同じ [左右反転] 設定であること。
- すべてのページで [レンダリング用途] 設定が同じであること。
- すべてのページで [カッター] の設定が同じであること。
- すべてのページのカラー調整が同じである。[100 ページのカラー調整オプション](#)を参照してください。
- ページはすべてカラーか、すべてグレースケールであること。つまり、一部がカラーで一部がグレースケールではないこと。

- すべてのページが次の 2 つのグループのいずれかに属している (2 つのグループは同じネストに混在できない)。
 - HP-GL/2、RTL、TIFF、JPEG
 - PostScript、PDF
- 解像度が 300dpi を超える解像度の JPEG および TIFF ページは、他のページとネスティングできない場合があります。

プリンタが別のファイルを待つ時間

プリンタはネスティングを最適化できるように、ファイルを受け取ってから待ち、その後続くページがファイルにネスティングされているか、またはすでにキューにあるページにネスティングされているかを確認します。この待ち時間はネスティング待ちと呼ばれ、デフォルトで 2 分に設定されています。これは、プリンタが最後のファイルを受け取ってから最後のネスティングを印刷するまで待機する最大時間が 2 分であることを意味します。プリンタのフロントパネルからこの待ち時間を変更できます。 を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[ジョブ管理]-[ネスティングの設定]-[待ち時間]** を選択します。使用可能な範囲は、1 ~ 99 分です。

プリンタがネスティングのタイムアウトまで待っている間、残り時間がフロントパネルに表示されます。

インクを節約する

インクを節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 試し印刷を行うには、普通紙を使用し、印刷品質スライダをスケールの左端 ([速度]) まで移動させます。さらに経済的にするには、ユーザ定義オプションを選択し、**[高速]** および **[Economode]** を選択します。
- プリントヘッドのクリーニングは必要な場合のみ行ってください。プリントヘッドのクリーニングは便利ですが、少量のインクを消費します。
- プリンタの電源を入れたままにしておくと、プリンタが自動的にプリントヘッドを良好な状態に維持します。このプリントヘッドの定期保守では少量のインクが使用されますが、この定期保守を行わない場合、プリントヘッドの状態を回復するために、より多くのインクが使用されます。
- 縦向きで印刷するより、横向きで印刷したほうがインクを節約できます。これは、プリントヘッドの保守の際にもインクが使用され、保守が行われる頻度がプリントヘッドの移動回数に連動しているためです。したがって、ジョブをネスティングすることで用紙を節約するとともにインクも節約できます ([80 ページのジョブをネスティングしてロール紙を節約する \(T1500 シリーズ\)](#) を参照)。

ロール紙を保護する (T1500 シリーズ)

ロール紙を保護すると、ロール紙番号またはロール紙に取り付けられる用紙の種類が明示的に指定されている場合にのみジョブがそのロール紙に印刷されます。これは、たとえば以下の場合に便利です。

- 重要でないジョブが高価な用紙に誤って印刷されないようにする場合。
- HP プリンタ ドライバを操作せずに AutoCAD から印刷するときに、特定のロール紙に印刷されないようにする場合。

ロール紙を保護するには、フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙オプション]-[ロールの保護]**。

 **注記：** ロール紙を保護し、後で現在のロール紙を取り外して新しいロール紙を取り付けた場合、新しいロール紙も保護され続けます。特定のロール紙ではなく、ロール紙番号を保護しているためです。そのロール紙番号は、保護をキャンセルするまで保護されたままになります。

 **ヒント：** ロール紙番号または用紙の種類を指定せずに印刷する場合は、保護されたどのロール紙にも印刷できません。

無人印刷/夜間印刷 (T1500 シリーズ)

このプリンタは、マルチロール機能、および信頼性の高い、一貫性のある印刷品質を提供し、長時間の無人印刷ジョブに最適です。

長い印刷ジョブのキューの処理を行う場合は、次の推奨事項を参考にしてください。

- スタッカを空にします。
- 可能であれば、新品の長いロール紙を使用します。
- 一部使用済みのロール紙に印刷する場合は、内蔵 Web サーバまたはフロントパネルで用紙の種類と残りの長さをチェックし、すべてのジョブを印刷できる十分な長さの用紙があることを確認できます。

 **注記：** 残りの長さに関する情報は、ロール紙を取り付けたときにその長さをプリンタに入力した場合、またはプリンタがロール紙に印刷されたバーコードからその長さを読み取った場合にのみ確認できます。

- ジョブに適している 2 つのロール紙を取り付けます。1 つのロール紙が終了したら、もう 1 つのロール紙に自動的に切り替えられます。
- すべてのジョブを印刷できる十分な幅の用紙があることを確認します。幅が広すぎるジョブは、用紙が一致しない場合の動作が **[ジョブを保留にする]** に設定されている場合、「一時停止する」ことがあります ([24 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照)。
- インクカートリッジのインク残量を確認します。
- 印刷ジョブを送信したら、遠隔地から内蔵 Web サーバを使用して、そのステータスを監視できます。
- **[乾燥時間]** を **[最適]** に設定する必要があります。
-  を押し、次に  を押して、**[セットアップ]-[印刷設定]-[用紙オプション]-[ロール紙切替オプション]-[ロール紙の変更を最小化]** または **[用紙の少ないロール紙を使用]** を選択します。

用紙および印刷の種類に応じて、以下の設定を推奨しています。

表 8-1 無人での印刷の推奨設定

印刷の種類	印刷品質	高精細	乾燥時間	用紙の種類
行	標準	オフ	最適	コート紙、普通紙、厚手コート紙、フォト用紙

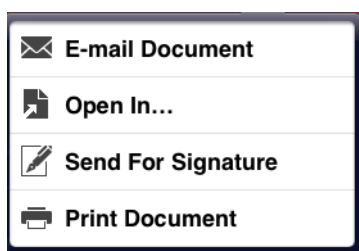
表 8-1 無人での印刷の推奨設定 (続き)

印刷の種類	印刷品質	高精細	乾燥時間	用紙の種類
線と塗りつぶし	標準	オン	最適	コート紙、普通紙、厚手コート紙、フォト用紙
地図	高品質	オン	最適	コート紙、厚手コート紙、フォト用紙
レンダリング、写真	高品質	オン	最適	コート紙、厚手コート紙、フォト用紙

AirPrint を使用した iOS からの印刷

AirPrint を使用すると、プリンタドライバがなくても印刷できますが、次の点に注意してください。

- 必ず、AirPrint を有効にします。プリンタのフロントパネルで  を押し、次に  を押し、**【セットアップ】-【接続】-【AirPrint 接続】-【AirPrint】** を選択します。
- デバイスは、プリンタと同じローカルネットワークの同じセグメントに存在する必要があります。Wi-Fi を使用している場合、Wi-Fi ネットワークはプリンタにより使用される有線ネットワークにブリッジする必要があります (ホーム オフィスやスモール オフィスのルータと同様です)。
- AirPrint デバイスから適切なプリンタを識別するには、プリンタのフロントパネルで  を押し、次に  を押して、Bonjour/AirPrint 名を書き留めます。
- 多くの iPhone アプリでは、A4 または US Letter サイズより大きいページを印刷できません。アプリ開発者に確認してください。
- 使用しているアプリから印刷できない場合は、別のアプリから印刷してみてください。



- 印刷するには、矢印を押し、次に【印刷】を押します。表示される一覧からお使いのプリンタの名前を選択します。



- 詳しい情報が必要な場合は、プリンタのフロントパネルで  を押し、次に  を押して、**【セットアップ】-【接続】-【AirPrint 接続】-【ヘルプ】** を選択します。

または、<http://www.hp.com/go/airprint> を参照してください。

9 モバイル印刷

プリンタは、Web に接続するとさまざまなメリットがあります。

- 自動ファームウェア アップデート ([144 ページの自動ファームウェア アップデート](#)を参照)
- ほとんどすべての場所から HP プリンタで印刷
- スマートフォン、タブレット、ラップトップなど、ほぼどのデバイスからでも HP 印刷で印刷

詳細については、<http://www.hp.com/go/designjetprinters> を参照してください。

Web サービスは、プリンタのセットアップ時に有効にできます。詳細については、[13 ページのモバイル印刷と Web サービス](#)または[セットアップ手順](#)を参照してください。

 **重要:** プリンタがネットワークに接続されている必要があります。有線接続の場合はイーサネットケーブルを選択し、ワイヤレス接続の場合は **[接続性]** メニューのワイヤレス ウィザードを開始します。[22 ページの Web サービスのセットアップ](#)を参照してください。

OS 内から印刷 (内部オペレーティングシステム)

iPhone、iPad

AirPrint™での印刷は簡単です。デバイスとプリンタが同じネットワーク上で動作していることを確認し、以下の手順に従うだけです。

1. コンテンツを選択します。印刷するドキュメントまたは写真を開き、共有ボタンをタップします。
2. 印刷アイコンを選択します。画面をスワイプして下部に印刷ボタンを表示し、印刷アイコンをタップします。
3. 印刷します。適切なプリンタと印刷設定が選択されていることを確認します。**印刷**をタップし、ドキュメントを回収します。

すべての Android

Android デバイスを使用した印刷は簡単です。モデルによっては、デバイスに印刷がプリロードされている場合があります。プリロードされていない場合、HP 印刷サービス プラグインを Google Play ストアからダウンロードするだけで始めることができます。

1. コンテンツを選択します。印刷するドキュメントまたは写真を開き、メニュー アイコンをタップして **【印刷】** を選択します。
2. プリンタを選択します。表示されたプリンタのリストから選択します。
3. 印刷します。適切なプリンタと印刷設定が選択されていることを確認します。印刷 をタップし、ドキュメントを回収します。

電子メールで印刷 (HP ePrint)

電子メールで送信できる場合は、それを印刷できます。PDF またはその他の印刷可能なファイルを電子メール メッセージに添付して、プリンタの専用アドレスに送信してください。

この方法では、プリンタ ドライバがなくてもインターネット接続を使用してどこからでも印刷できます。ただし、いくつか制限がある点に注意してください。

- 印刷する添付ファイルは PDF、JPEG、または TIFF 形式にする必要があります。
- 最大ファイル サイズは 10MB ですが、電子メール サーバ側の制限がそれより小さいことがあります。
- ファイルは、元のドキュメント サイズ (100% の倍率)、標準印刷、カラー、および通常は縦向き (一部のプリンタでは自動回転されます) で印刷されます。

モバイルの仕様

- モバイル デバイスには、インターネット接続と電子メール機能が必要です。
- スキャンとコピーをコントロールするには、モバイル デバイスとプリンタが同じワイヤレス ネットワークに存在するか、プリンタへのワイヤレス直接接続を持っている必要があります。
- 印刷するには、HP プリンタへのインターネット接続が必要です。
- iOS 7.0 以上または Android KitKat4.4 以上が必要です。

10 ジョブキューの管理 (T920 PS、T930、T930 PS、T1500 シリーズ)

- [はじめに](#)
- [フロントパネルのジョブキュー \(T920 PS および T1500 シリーズ\)](#)
- [内蔵 Web サーバまたは HP Utility のジョブキュー \(T1500 シリーズ\)](#)

はじめに

この章で説明するジョブキューの管理オプションは、次のプリンタで使用できます。

- T1500 シリーズ：この章のすべてのオプション
- T920 PS：フロントパネル オプションのみ
- T920：非常に制限されたジョブキュー管理

DesignJet T920 を使用している場合、フロントパネルで  を押して、最後に印刷されたジョブと USB フラッシュドライブまたは内蔵 Web サーバの保留中のジョブを確認できます。最後のジョブを再印刷したり、保留中のジョブをキャンセルしたりすることができます。

フロントパネルのジョブキュー (T920 PS および T1500 シリーズ)

フロントパネルでジョブキューを表示するには、ホーム画面で  を押します。

ジョブキューのページ

ジョブキューのページには、ジョブキューにあるすべてのジョブが表示されます。このページには、受信、解析、レンダリング、印刷されているジョブ、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。

各行に、ジョブの名前とそのステータスが表示されます。ジョブのプレビューを含む、特定のジョブについての詳細は、ジョブを示す行を押してください。

何らかの理由で完了できないジョブは、キューの最上部に表示されます。

ジョブのプレビュー

プリンタでは送信されてくる各ジョブについて、ジョブのプレビューとして表示可能な JPEG ファイルを生成します。ジョブのプレビューはジョブが処理されるたびに利用できます。

 **注記：**64 ページを超えるジョブをプレビューしないでください。ソフトウェアの問題が発生する可能性があります。

ジョブをプレビューするには、まず、ジョブキューにジョブの名前を入力します。フロントパネルに、ジョブについての情報のページと印刷プレビューが表示されます。

 **注記：**プレビューは、管理者によってブロックされる場合があります。その場合には表示できません。

プレビューが表示されたら、それを押して、拡大することができます。もう一度押すと、縮小することができます。

また、前のジョブをプレビューするには、 を押し、次のジョブをプレビューするには、 を押すこともできます。

キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する

 **注記：** [印刷の開始] オプションは、PostScript ジョブでは使用できません。

キュー内にあるファイルを印刷したい時点で選択できます。 を押し、次に  を押して、**[セットアップ] - [ジョブ管理] - [印刷の開始]** を選択します。

選択可能な3つのオプションがあります。

- **[処理後]** が選択される場合、プリンタはページ全体が処理され印刷が開始されるまで待機します。これは最も時間がかかる設定ですが、大量で複雑な印刷の場合に最高の印刷品質を保証します。
- **[すぐに]** が選択される場合、プリンタはページの処理時に印刷します。これは最速の設定ですが、プリンタはデータを処理するために、印刷の途中で終了する場合があります。この設定は、濃い色の複雑なイメージには推奨されません。
- **[最適化]** が選択される場合 (これはデフォルト設定です)、プリンタはページの印刷を開始する最適な時間を計算します。通常は、**[処理後]** および **[すぐに]** の設定間で最適な調整を行います。

キュー内の特定ジョブを優先させる

キュー内のジョブを選択して、次に印刷するジョブにすることができます。ジョブを選択したら、**[キューの先頭に移動する]** を押します。

ネスティングがオンになっている場合 (T1500 シリーズのみ)、優先されるジョブも他のジョブとネストされることがあります。このジョブをどうしても次に印刷する必要があり、他のジョブとネストしない場合は、まずネスティングをオフにして、前述の方法でキューの先頭にジョブを移動します。

以下の場合には、**[キューの先頭に移動する]** ボタンは表示されません。

- ジョブがすでにキューの先頭にある
- ジョブが保留状態にある：この場合には、代わりに、**[印刷の強制]** ボタンが表示されます。
- ジョブが終了している：この場合には、代わりに、**[印刷]** ボタンが表示されます。
- ジョブが何らかのエラー状態にある

キュー内のジョブを一時停止する

現在印刷中のキュー内のジョブを選択する場合、**[一時停止]** ボタンが表示され、これを押すと印刷を一時停止することができます。**[一時停止]** ボタンは **[印刷の強制]** ボタンに変わり、これを押すと印刷を再開することができます。

キューからジョブを再印刷する

すでに印刷されたジョブを再印刷するには、キューからジョブを選択して、次に **[印刷]** を選択します。

印刷ジョブを再印刷すると、ジョブがすでにラスタライズされているため、印刷設定を変更できません。

キューからジョブを削除する

通常的环境下、印刷後にキューからジョブを削除する必要はありません。これは、さらにファイルが送信されるとキューの末尾からジョブが消えていくためです。ただし、ファイルを間違えて送信し、それを印刷しないという場合は、ジョブを選択して、**【削除】**を押すことができます。

 **注記：** 管理者パスワードが設定されている場合は、管理者パスワードが必要です。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

ジョブが現在印刷中(ステータスが「**印刷しています**」)の場合は、**【キャンセル】**を押し、次に**【削除】**を押すことができます。

すべてのジョブを削除する

キュー内のすべてのジョブを削除するには、ジョブキュー画面の右上にある**【削除】**アイコンを押し、次に**【OK】**を押します。

 **注記：** 管理者パスワードが設定されている場合は、管理者パスワードが必要です。

ジョブのキューをオフにする

ジョブキューをオフにするには、 を押し、次に  を押して、**【セットアップ】**-**【ジョブ管理】**-**【キュー】**-**【オフ】**を選択します。

内蔵 Web サーバまたは HP Utility のジョブ キュー (T1500 シリーズ)

HP Utility は、内蔵 Web サーバのジョブ管理機能にアクセスする異なる方法を提供しますが、その機能は、内蔵 Web サーバまたは HP Utility のどちらを使用してもまったく同じです。

内蔵 Web サーバでキューを表示するには、HP Utility から **【ジョブセンター】** を選択します。

ジョブ キューのページ

デフォルトでは、すべてのユーザがジョブ キューにアクセスできます。管理者がパスワードを設定することによって、ユーザが次の操作を行う際にパスワードを必要とすることができます。

- ジョブのプレビューの表示
- ジョブのキャンセルまたは削除

ジョブ キューのページには、印刷キューにあるすべてのジョブが表示されます。印刷キューには、受信中、解析中、レンダリング中、印刷中、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。

内蔵 Web サーバでは、印刷ジョブごとに、以下の情報が表示されます。

- **【プレビュー:】** ジョブ プレビューを表示するにはこのアイコンをクリックします。ジョブのプレビューは、ジョブが処理されるたびに利用できます。
- **【ファイル名:】** ジョブのプロパティを表示するには、ファイル名をクリックします。
- **【ステータス:】** 現在のジョブ ステータスを表示します。
- **【ページ数:】** ジョブのページ数。
- **【部数:】** 印刷される部数。
- **【日付:】** プリンタがジョブを受信した日時。
- **【ユーザ:】** ユーザの名前。

キュー内のジョブは対応する列のタイトルをクリックして、(プレビューを除く) 任意の情報項目別にソートできます。キュー内の 1 つまたはすべてのジョブで以下の操作を実行できます。

- **【キャンセル:】** 選択したジョブをキャンセルします。ジョブがキャンセルされる前に確認するように要求されます。ジョブはプリンタに保存されたままですが、**【再印刷】** をクリックしない限り印刷は行われません。
- **【一時停止:】** **【続行】** をクリックして印刷を続行するまで、選択したジョブを保留します。
- **【続行:】** 保留状態にあるすべての選択したジョブが印刷を続行します。
- **【再印刷:】** ジョブのコピーをさらに印刷します。コピー部数 (デフォルトは 1、最大 99) を入力し、**【印刷】** をクリックします。
- **【キューの先頭に移動する:】** すべての選択したジョブをジョブ キューの先頭に送信します。
- **【削除:】** ジョブ キューから選択したジョブを削除します。ジョブが削除される前に確認するように要求されます。

 **注記：** [削除] 操作は、管理者によって無効にすることができます。

- **【更新：】** ページを更新し、情報がアップデートされていることを確認します。

 **注記：** ジョブ キュー ページは自動的にアップデートされません。

ジョブのプレビュー

プリンタでは送信されてくる各ジョブについて、ジョブのプレビューとして表示可能な JPEG ファイルを生成します。ジョブのプレビューはジョブが処理されるたびに利用できます。

 **注記：** 64 ページを超えるジョブをプレビューしないでください。ソフトウェアの問題が発生する可能性があります。

プレビュー ページにアクセスするには、虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはジョブ キュー ページの [プレビュー] 列に表示されます。プレビュー ページには、ジョブのサムネイル プレビューと共に、以下のジョブの詳細が表示されます。

- **【ファイル名：】** ジョブのファイル名。
- **【取り付けられている素材：】** プリンタに取り付けられている用紙の種類。
- **【ジョブの寸法：】** ジョブの寸法です。

より大きなジョブのプレビューを見るには、ジョブのサムネイルまたは虫めがねのアイコンをクリックします。虫めがねのアイコンはプリンタのイメージの右側に表示されます。

 **注記：** Adobe Flash プラグインが入っていないブラウザでは、ジョブのイメージが黄みがかって表示されます。Adobe Flash プラグインのバージョン 7 以上が入っているブラウザでは、プリンタに取り付けられている用紙にジョブのイメージが印刷された状態の高機能プレビューが表示されます。

キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する

 **注記：** [印刷の開始] オプションは、PostScript ジョブでは使用できません。

キュー内にあるファイルを印刷したい時点で選択できます。**【セットアップ】** タブを選択し、**【プリンタ設定】** - **【印刷の開始】** を選択します。

選択可能な 3 つのオプションがあります。

- **【処理後】** が選択される場合、プリンタはページ全体が処理され印刷が開始されるまで待機します。これは最も時間がかかる設定ですが、大量で複雑な印刷の場合に最高の印刷品質を保証します。
- **【すぐに】** が選択される場合、プリンタはページの処理時に印刷します。これは最速の設定ですが、プリンタはデータを処理するために、印刷の途中で終了する場合があります。この設定は、濃い色の複雑なイメージには推奨されません。
- **【最適化】** が選択される場合 (これはデフォルト設定です)、プリンタはページの印刷を開始する最適な時間を計算します。通常は、**【処理後】** および **【すぐに】** の設定間で最適な調整を行います。

キュー内の特定ジョブを優先させる

キュー内の任意のジョブを選択して、次に印刷するジョブにすることができます。ジョブを選択したら、**【再印刷】** をクリックします。

ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングされます。このジョブをどうしても次に印刷する必要があり、他のジョブとネストしない場合は、まずネスティングをオフにして、前述の方法でキューの先頭にジョブを移動します。

キューからジョブを削除する

通常的环境下、印刷後にキューからジョブを削除する必要はありません。これは、さらにファイルが送信されるとキューの末尾からジョブが消えていくためです。ただし、ファイルを間違えて送信し、それを印刷しないという場合は、ジョブを選択して、**【削除】**を選択することができます。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

ジョブが現在印刷中(ステータスが「**印刷しています**」)の場合は、**【キャンセル】**を押し、次に**【削除】**を選択することができます。

キュー内のジョブを再印刷またはコピーする

キュー内のジョブのコピーを再印刷または作成するには、内蔵 Web サーバでジョブを選択し、**【再印刷】**アイコンをクリックして、部数を指定します。ジョブはキューの先頭に移動されます。フロントパネルからキュー内でまだ印刷されていないジョブの印刷物を複数部作成するには、ジョブを選択し、**【部数】**を選択して、必要な部数を指定します。上記の設定は、ソフトウェアで指定された値より優先されます。

 **注記：**ファイル送信時に**【回転】**が**【オン】**になっている場合は、各コピーもすべて回転した状態で印刷されます。

 **注記：**この方法は、PCL3GUI ジョブでは使用できません。以前のジョブが PCL3GUI である場合、使用するオペレーティングシステムのプリンタ スプーラで再印刷できます。ただし、以前のジョブを保存するようスプーラを設定しておく必要があります。この機能は、使用するオペレーティングシステムによって異なります。

 **注記：**印刷ジョブを再印刷すると、ジョブがすでにラスタライズされているため、印刷設定を変更できません。

ジョブのステータス メッセージ

以下は、表示されるジョブのステータス メッセージです。メッセージはおおよそ、この順序で表示されます。

- **データを受信しています：**プリンタがコンピュータからジョブを受信しています
- **処理を待っています：**ジョブがプリンタで受信され、レンダリングを待っています (内蔵 Web サーバ経由で送信されたジョブのみ)
- **データを処理しています：**プリンタがジョブを解析およびレンダリングしています
- **印刷の準備を行っています：**プリンタがジョブの印刷前に出力システムのチェックを行っています
- **印刷待ち：**印刷エンジンが印刷に移行できるようになるのを待っています
- **ネスティング待ち：**プリンタでネスティングがオンに設定されているため、ネスティングが完了して印刷に移行するために他のジョブを待っています
- **一時停止しています：**ジョブが**【プレビュー待ち中】**オプション付きで送信され、保留中になっています

 **注記：**プレビューするページが 64 ページを超えるジョブを送信しないでください。ドライバソフトウェアがクラッシュする可能性があります。

 **注記：**ジョブの印刷中にプリンタが停止した場合、キュー機能がオンになっていると、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したときに、キューに「一時停止しています」と表示されます。ジョブを再開すると、中断したページから印刷が開始されます。

- **適当な用紙を待っています：**プリンタに適切な用紙が取り付けられていないため、ジョブを印刷できません。必要な用紙を取り付け ([48 ページの「用紙の取り扱い」](#)を参照)、**【続行】**をクリックしてジョブを再開します。
- **アカウントID情報を待機中：**プリンタがすべてのジョブにアカウント ID を要求しているため、ジョブを印刷できません。ジョブを再開するには、アカウント ID を入力して**【続行】**をクリックします。

 **ヒント：**アカウント ID を設定するには、[29 ページのアカウント ID を要求する \(T1500 シリーズ\)](#)を参照してください。

- **スタッカが原因で保留中：**スタッカは開いている、詰まっている、またはいっぱいになっています
- **手動モードを保留中：**フロントパネルに移動して手動モードを有効にする必要があります
- **印刷時**
- **乾燥中**
- **用紙をカットしています**
- **素材を排出しています**
- **キャンセルしています：**ジョブはキャンセルされますが、プリンタのジョブキューには残ります
- **削除しています：**ジョブをプリンタから削除しています
- **印刷済み**
- **キャンセル：**ジョブがプリンタによってキャンセルされました
- **ユーザの指示によりキャンセルしました**
- **ジョブがありません：**ジョブに印刷するものが含まれていません

保留中のジョブを再度有効にする

プリンタが保留中のジョブを置く場合、アラートを受信します ([191 ページのアラート](#)を参照)。これには、ジョブが保留中である理由が説明されています。画面に表示される指示に従って、保留を解除、印刷を続行します。

ジョブのキューをオフにする

ジョブキューをオフにするには、**【セットアップ】**タブを選択し、**【プリンタ設定】**-**【ジョブ管理】**-**【キュー】**を選択して**【オフ】**を選択します。

11 カラーマネジメント

- [はじめに](#)
- [色が表される仕組み](#)
- [カラーマネジメントプロセスの概要](#)
- [カラー キャリブレーション](#)
- [プリンタ ドライバからのカラーマネジメント](#)
- [プリンタ ドライバからのカラーマネジメント \(PostScript プリンタ\)](#)
- [内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント \(T1500 シリーズ\)](#)
- [フロントパネルからのカラーマネジメント](#)

はじめに

本プリンタは、先進のハードウェアとソフトウェアによって期待通りの信頼できる結果を約束します。

- 一貫した色を再現するためにカラーキャリブレーションを行います。
- 1つのグレー インクと2つのブラック インクにより、すべての種類の用紙で中間のグレーを再現します。
- フォト ペーパーに印刷するときは、フォトブラック インクが純粋な黒を再現します。
- 他の HP DesignJet プリンタのカラー エミュレーションを行います。

色が表される仕組み

カラーを表示するすべてのデバイスは、数値的な用語でカラーを再現するのにカラー モデルを使用します。ほとんどのモニタは RGB (Red-Green-Blue) カラー モデルを使用する一方、ほとんどのプリンタは CMYK (Cyan-Magenta-Yellow-black) カラー モデルを使用します。

イメージは、あるカラー モデルから別のカラー モデルに変換できます。ただし、一般に変換は完全ではありません。本プリンタは、RGB カラー モデルを使用しています。これは、モニタで使用されているものと同じカラー モデルです。

これにより、カラーのマッチングの問題は単純化されますが、完全に解決されるわけではありません。各デバイスは、たとえ同じカラー モデルを使用していても、他のデバイスとは少し異なるカラーを再現します。ただし、ソフトウェアから、特定のデバイスの特性に従ってイメージのカラーを調整できます。その際、正しい色を実現するためにデバイスのカラー プロファイルが使用されます。

カラーマネジメント プロセスの概要

正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。

1. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションはときどき行う必要があります ([97 ページのカラー キャリブレーション](#)を参照)。また、特に色再現が重要な印刷ジョブの前には、ただちにキャリブレーションを実行します。
2. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切なカラー プリセットを選択します。

カラー キャリブレーション

カラーキャリブレーションを行うことによって、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一することができます。カラー キャリブレーションを行うと、異なる場所にある2つのプリンタから同様の印刷物を出力することができます。

用紙の種類によってはキャリブレーションを行うことができない場合があります。それ以外の種類の用紙では、以下の状況の場合にキャリブレーションを行ってください。

- プリントヘッドを交換した場合
- 現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 環境条件(温度や湿度など)が大きく変化した場合

現在取り付けられている用紙のカラーキャリブレーションステータスは、いつでも確認できます。

 を押し、次に  を押して、**【画像品質のメンテナンス】-【キャリブレーションステータス】**を押します。ステータスは以下のいずれかになります。

- **推奨:** この用紙でキャリブレーションが実行されていません。

 **注記:** プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーションステータスは**推奨**にリセットされます。

- **失効:** この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、プリントヘッドが交換されて現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- **完了:** この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- **無効:** この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。

 **注記:** カラーキャリブレーションは、普通紙やすべての種類の透明紙では実行できません。

カラーキャリブレーションステータスは、HP Utility でも確認できます。

カラーキャリブレーションは、以下の方法で開始できます。

- HP DesignJet Utility (Windows) から：**【Color Center】-【用紙のキャリブレーション】**を選択し、キャリブレーションを実行する用紙を選択します。Color Center を使用できない場合は、**【サポート】**タブの印刷品質ツールボックスを使用してみてください。
- HP Utility (Mac OS X) から：**【HP Color Center】**グループから**【用紙プリセット管理】**を選択して、キャリブレーションを実行する用紙を選択し、 ボタンを押して**【用紙のキャリブレーション】**を選択します。
- フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**【イメージ品質の保守】-【カラー キャリブレーション】**を押します。

キャリブレーション処理は完全に自動化されています。A4、その他のより大きなサイズなど、キャリブレーションを行う種類の用紙を取り付けた後、無人で実行されます。ロールが2つ以上取り付けられている場合、どのロールをキャリブレーションに使用するかを確認する必要があります。

この処理には3~5分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーションチャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。



2. チャートは、インクが乾いてカラーが安定するまでプリンタに保持されます。この時間は用紙の種類によって異なります。

3. チャートがスキャンされ、計測されます。
4. 計測結果を基に、必要な修正要素が算出され、その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うために適用されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。

プリンタ ドライバからのカラーマネジメント

カラーマネジメントオプション

カラーマネジメントの目的は、あらゆるデバイスで色をできるだけ正確に再現することにあります。これによって、イメージを印刷するとき、モニタ上でそのイメージを見たときと限りなく近い色で印刷することができます。

プリンタのカラーマネジメントには2つの基本的な方法があります。

- **【アプリケーションで管理】**：この場合、アプリケーションプログラムで、イメージに埋め込まれた ICC プロファイルやプリンタおよび用紙の種類の ICC プロファイルを使用して、プリンタおよび用紙の種類のカラー空間に合わせてイメージの色が変換されます。
- **【プリンタで管理】**：この場合、アプリケーションプログラムではカラー変換が行われずにイメージがプリンタに送信され、プリンタでカラー空間に合わせて色に変換されます。このプロセスの詳細は、使用しているグラフィック言語によって異なります。
 - **PostScript (PostScript プリンタ)**：PostScript インタプリター モジュールでは、プリンタに保存されたプロファイルおよび PostScript ジョブと共に送信された追加のプロファイルを使用してカラー変換を実行します。この種のカラーマネジメントは、PostScript ドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに PostScript、PDF、TIFF または JPEG ファイルを直接送信した場合に実行されます。どちらの場合も、デフォルトとして使用するプロファイル(ジョブで指定されない場合に備えて)および適用するレンダリング用途を選択する必要があります。
 - **PostScript 以外 (PCL3GUI、HP-GL/2)**：カラーマネジメントは、保存されたカラーテーブルのセットを使用して実行されます。ICC プロファイルは使用されません。この方法は他の方法よりも用途が限られていますが、使いやすさや速さに優れ、標準的な HP の用紙の種類で良好な結果が得られます。この種のカラーマネジメントは、PostScript 以外のドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに PCL3GUI、HP-GL/2、または HP-GL/2 ファイルを直接送信した場合に実行されます。

 **注記**：プリンタに格納されているカラーテーブルでプリンタのカラー空間に変換できるカラー空間は、2つだけです (Windows の場合は Adobe RGB と sRGB、Mac OS X の場合は Adobe RGB と ColorSync)。

ColorSync は、Mac OS X に組み込まれたカラーマネジメントシステムです。ColorSync を選択すると、指定した用紙の種類の ICC プロファイルに基づいて、Mac OS X がカラーマネジメントを実行します。

ColorSync は、**【カラー マッチング】**パネルで選択します。

使用するアプリケーションのカラーマネジメントオプションの使用方法については、HP サポートセンター ([198 ページの HP サポートセンター](#)を参照) を参照することをお勧めします。

【アプリケーションで管理】および**【プリンタで管理】**を選択するには：

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** [カラー] タブを選択します。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：** [カラー オプション] パネルを選択します。
- **一部のアプリケーションの場合：** アプリケーションで選択できます。

プリンタ エミュレーション

特定のジョブが、HP DesignJet プリンタでどのような色で印刷されるか、およその色を確認したい場合は、プリンタのエミュレーション モードを使用します。

 **注記：** このオプションは、HP-GL/2、PostScript、または PDF ジョブを印刷する場合にのみ使用できます。正確さは、普通紙、コート紙、および厚手コート紙に印刷する場合にのみ保証されます。

- **Windows HP-GL/2 または PostScript ドライバのダイアログの場合：** [カラー] タブを選択し、[プリンタで管理] を選択し、[ソース プロファイル] リストの [プリンタのエミュレーション] を選択します。[エミュレートされるプリンタ] リストから選択します。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：** [カラー オプション] パネルを選択し、[プリンタのエミュレーション] リストから選択します。

カラー調整オプション

カラーマネジメントの目的は、正確な色を出力することにあります。カラーマネジメントを正しく実行すれば、手動のカラー調整を必要とせず、正確な色を出力することができるはずです。

ただし、以下の状況では手動での調整が便利です。

- カラーマネジメントが何らかの理由で正しく機能していない場合
- 正確さより主観的に好ましい色が求められる場合

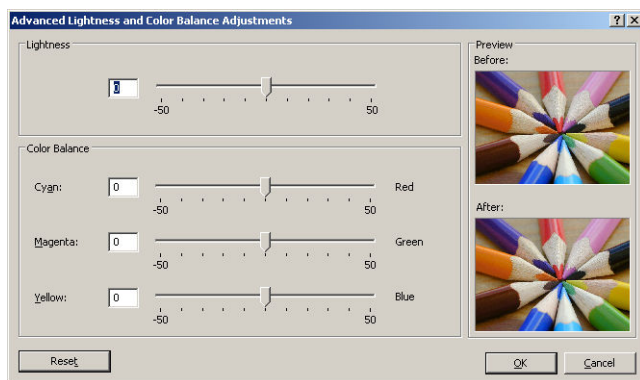
プリンタ ドライバは、カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかによって、異なる調整機能を提供します。純粋な白黒で印刷する場合、カラー調整オプションはありません。

カラーで印刷

印刷物の色を次のように調整することができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** [カラー] タブをクリックします。[カラー詳細調整] チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある [設定] ボタンをクリックします。

明度スライダと 3 つのカラー スライダーを使用して調整を行うことができます。



- 明度スライダは、単に印刷全体を明るくしたり、または暗くしたりします。
- カラー調整スライダは、印刷で各原色を弱めたり、強調したりするために使用できます。原色は、赤、緑、青です。または、イメージで使用されるカラーモデルによっては、シアン、マゼンタ、イエローです。

[リセット] ボタンをクリックすると、各スライダは既定の中央位置に戻ります。

グレースケールで印刷

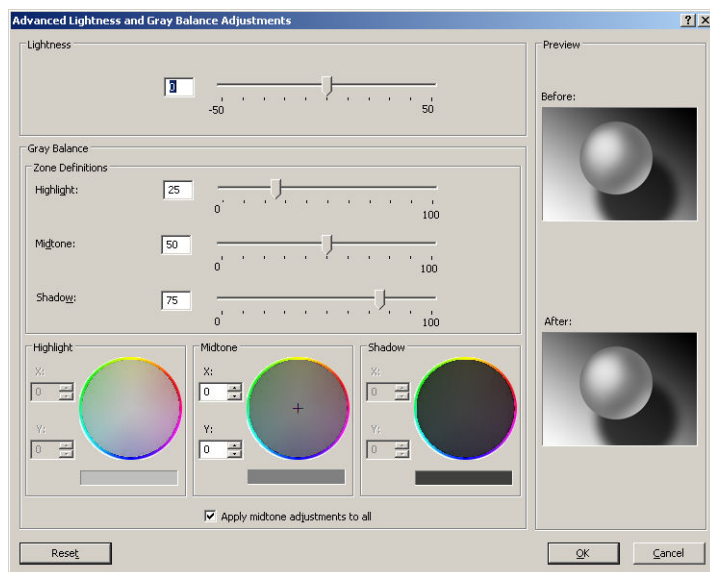
イメージのすべてのカラーを、以下の方法でグレースケールに変換できます。

- **アプリケーション プログラムでの場合：** 多くのプログラムにこのオプションが用意されています。
- **Windows ドライバのダイアログの場合：** [カラー] タブで [カラー オプション] セクションを確認します。[グレースケールで印刷] を選択します。グレイ階調なしの白と黒のみで印刷する場合は、[白と黒のみで印刷] を選択することもできます。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：** [カラー オプション] パネルに移動し、[Mode] (モード) プルダウンメニューから [グレースケール] を選択します。グレイ階調なしの白と黒のみで印刷する場合は、[白と黒のみで印刷] を選択することもできます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合 (T1500 シリーズ)：** [カラー] を選択し、[カラー/グレースケール] を [グレースケールで印刷] に設定します。グレイ階調なしの白と黒のみで印刷する場合は、[白と黒のみで印刷] を選択することもできます。

Windows では、印刷物のグレイ バランスを調整できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合：** [カラー] タブをクリックします。[カラー詳細調整] チェックボックスがオンになっていることを確認し、その近くにある [設定] ボタンをクリックします。

ハイライト、中間色、および影の別々のコントロールを使用して調整できます。



- 明度スライダは、単に印刷全体を明るくしたり、または暗くしたりします。このスライダは、他のグレースケール調整コントロールと同じウィンドウにあります。
- 領域定義スライダは、ハイライト、中間色、および影が示す内容を定義するために使用できます。
- ハイライト、中間色、および影の他のコントロールは、ハイライト、中間色、および影のそれぞれのグレースケールを調整するために使用できます。

[リセット] ボタンをクリックすると、各コントロールは既定の設定に戻ります。

 **ヒント:** 古い DesignJet プリンタからグレースケール印刷をエミュレーションするには、イメージ編集プログラムを使用して印刷するファイルをグレースケールに変換し、ドライバのカラー印刷と適切なエミュレーションを使用します。

プリンタ ドライバからのカラーマネジメント (PostScript プリンタ)

この機能は、PostScript ドライバを使用して印刷するときに使用できます。

HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション

イメージで特定の PANTONE カラーを使用すると、通常、アプリケーションによってそのカラーに近い CMYK または RGB カラーがプリンタに送信されます。ところが、アプリケーションではプリンタや用紙の種類が考慮されないため、PANTONE カラーに一般的に近いカラーが再現されるだけで、異なるプリンタや用紙では違う色に見えます。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] では、プリンタや用紙の種類の特徴を考慮に入れることによって、最も近いカラーを再現することができます。特定のプリンタで特定の用紙を使用して再現されるカラーは、元の PANTONE カラーと可能な限り同じように見えるようになります。この技術は、プリプレスのプロフェッショナルが手作業で設定したエミュレーションと同様のエミュレーションを実現することを目的としています。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を使用するには、この機能をオンにするだけです。通常は、デフォルトでオンになっています。

- **Windows PostScript ドライバのダイアログの場合：** [カラー] タブに移動し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。
- **Mac OS X PostScript の [プリント] ダイアログの場合：** [カラー オプション] パネルに移動し、[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を選択します。

カラー エミュレーション

お使いのプリンタでは、他のデバイス(モニタなどの RGB デバイス、印刷機やプリンタなどの CMYK デバイス)の色の作用をエミュレートできます。

カラー エミュレーションは、以下の方法で設定できます。

- **Windows PostScript ドライバのダイアログの場合：** [カラー] タブの [プリンタで管理] を選択します。
- **[Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合：**] [カラー オプション] パネルを選択し、カラー マネジメント リストから [プリンタのエミュレーション] を選択します。

適切なエミュレーションを実行するために、プリンタでは、これらのデバイスで再現できるカラーの仕様が必要があります。これらの情報をカプセル化するための標準的な方法は、ICC プロファイルです。この解決策の一部として、弊社では、さまざまなデバイスで最も共通性の高い標準規格を用意しました。

オプションは以下のとおりです。

CMYK カラー エミュレーション

従来の処理では、CMYK スペースでカラーが定義されます。最高の印刷結果を得るには、カラーをプリンタに合わせて調整する必要があります。これは、プリンタが変わると同じ CMYK データから異なるカラーが生成されるためです。印刷中のイメージファイルがプリンタに合わせて作成されていない場合は、プリンタから再調整を要求するメッセージが表示されます。再調整を行うには、プリンタの以下のオプションからいずれかを選択します。

- **[なし (ネイティブ)]** は、エミュレーションを行いません。プリンタは、デフォルト設定の内部変換を使用して CMYK を RGB に変換します。特定のカラー標準には準拠しません。これにより、結果の質が悪くなることを意味するわけではありません。
- **[ISO Coated 2-ECI]** は、国際規格の ISO 12647-2:2004/Amd 1 に従った次の参考印刷条件に適用される文字データセット FOGRA39L.txt に基づいています。商用および特殊オフセット、用紙の種類 1 および 2、光沢またはマットコート紙、ポジ刷板、トーン値上昇曲線 A (CMY) および B (K)、白色背景。
- **[Coated GRACoL 2006-ISO12647]** は、グレード 1 コート紙、ISO 12647-2 用紙の種類 1 に基づいた、GRACoL プルーフおよび印刷を提供します。
- **[PSO Uncoated ISO12647-EC]** は、国際規格の ISO 12647-2:2004 および ISO 12647-2:2004/Amd 1:2007 に従った次の参考印刷条件に適用される文字データセット FOGRA47L.txt に基づいています。商用および特殊オフセット、用紙の種類 4、白色普通紙、ポジ刷板、トーン値上昇曲線 C (CMY) および D (K)、白色背景。
- **[PSO LWC Improved-ECI]** は、国際規格の ISO 12647-2:2004 および ISO 12647-2:2004/Amd 1:2007 に従った次の参考印刷条件に適用される文字データセット FOGRA45L.txt に基づいています。商用および特殊オフセット、改良 LWC 紙 (軽量コード)、ポジ刷板、トーン値上昇曲線 B (CMY) および C (K)、白色背景。

- **[Web Coated SWOP 2006 Grade 3]** は、米国グレード 3 出版用コート紙に基づいた、SWOP®プルーフおよび印刷を提供します。
- **[Web Coated SWOP 2006 Grade 5]** は、米国グレード 5 出版用コート紙に基づいた、SWOP®プルーフおよび印刷を提供します。
- **[U.S. Sheetfed Coated 2]** は、インクの総使用量 350%、ネガ版、インクジェットオフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Sheetfed Uncoated 2]** は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Web Coated (SWOP) 2]** は、インクの総使用量 300%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[U.S. Web Uncoated 2]** は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製 インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[Euroscale Uncoated 2]** は、インクの総使用量 260%、ポジ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、Euroscale インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- **[Japan Web Coated (Ad)]** は、日本国内の雑誌/広告業界向けにイメージのデジタル プルーフ用として日本雑誌協会が作成した仕様に準拠しています。
- **[Japan Color 2001 Coated]** は、Japan Color 2001 のタイプ 3 (コート紙) の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量 350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Color 2001 Uncoated]** は、Japan Color 2001 のタイプ 4 (普通紙) の仕様に準拠します。これは、インクの総使用量 310%、ポジ版、普通紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Color 2002 Newspaper]** は、Japan Color 2002 新聞用に準拠しています。これは、インクの総使用量 240%、ポジ版、標準新聞紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[Japan Color 2003 WebCoated]** は、タイプ 3 コート紙用です。これは、ヒートセット Web オフセット印刷でのインクの総使用量 320%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、ISO に準拠した印刷の高品質の色分解を行うように設計されています。
- **[JMPA]** は、オフセット印刷機の日本標準です。
- **[Toyo]** は、高品質の色分解を行うための東洋インキ製造独自の仕様です。
- **[DIC]** は、高品質の色分解を行うための大日本インキ化学工業独自の仕様です。

 **注記：**これらのオプションは、アプリケーションが独自の CMYK スペースを定義している場合には影響しません。この独自の CMYK スペースは、「キャリブレーションされた CMYK」または PostScript の用語で「CIEBasedDEFG」と呼ばれます。

RGB カラー エミュレーション

お使いのプリンタには、以下のカラー プロファイルが用意されています。

- **[なし (ネイティブ)]** は、エミュレーションを行いません。カラー変換がアプリケーションまたはオペレーティングシステムによって行われ、データがすでにカラーマネジメントされた状態でプリンタに送られる場合に使用します。
- **[sRGB IEC61966-2.1]** は、一般的な PC モニタの特性をエミュレートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーから支持されており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア アプリケーションに標準装備されるカラー スペースになりつつあります。
- **[ColorMatch RGB]** は、Radius Pressview モニタ固有のカラー スペースをエミュレートします。このカラー スペースは、[Adobe RGB (1998)] よりも色域が狭く、印刷製作作業に使用することができます。
- **[Apple RGB]** は、一般的な Apple モニタの特性をエミュレートしており、さまざまな DTP アプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Apple モニタでファイルを表示する場合、または古い DTP ファイルを処理する場合に使用します。
- **[Adobe RGB (1998)]** は、RGB カラーの広い色域を再現します。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。

内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント (T1500 シリーズ)

[ジョブの送信] のオプション

内蔵 Web サーバの **[ジョブの送信]** ページを使用してプリンタにジョブを送信するとき、以下のカラーマネジメント オプションが使用できます。

オプションを **[デフォルト]** のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブに何も設定されていない場合は、プリンタのフロントパネルの設定が使用されます。

T1500 および T1500 PS のオプション

- **[カラー/グレースケール]** : カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するか、白黒で印刷するかを選択できます。
- **[デフォルト RGB ソース プロファイル]** : プリンタによって認識され、選択された RGB ソース プロファイルから選択できます。
- **[プリンタ エミュレーション]** : 他の HP DesignJet プリンタをエミュレートすることができます。デフォルト : **[オフ]** (プリンタ エミュレーションなし)。

T1500 PS オプション (PostScript または PDF ジョブの場合)

- **[デフォルト CMYK ソース プロファイル]** : プリンタによって認識され、選択された CMYK ソース プロファイルから選択できます。デフォルト : **[US Coated SWOP v2]**。
- **[レンダリング用途]** : レンダリング用途を選択できます。
- **[黒点補正]** : 黒点補正をオンまたはオフにすることができます。
- **[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]** : HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションをオンまたはオフにすることができます。

レンダリング用途

レンダリング用途とは、カラー変換を行う際に使用する設定の 1 つです。印刷するカラーの一部がプリンタで再現できない場合があります。レンダリング用途を使用すると、これらのいわゆる色域外の色を処理する 4 つの方法のいずれかを選択できます。

- **【彩度 (グラフィック)】**：明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- **【知覚的 (イメージ)】**：中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。カラーの全体的な見栄えは、可能な限り維持されます。
- **【相対カラーメトリック (ブルーフィング)】**：特定の色と調和させる場合に最適です。この方法は、主にブルーフィングに使用されます。正確にカラーを印刷できる状態では、正確なカラーが確実に印刷されます。これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現される場合もありますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。また、このオプションでは、入力カラースペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- **【絶対カラーメトリック (ブルーフィング)】**：【相対カラーメトリック】と同様ですが、白のマッピングは行われません。このレンダリングも主にブルーフに使用されますが、この場合のブルーフは、1 台のプリンタの出力のシミュレーション (白点を含む) を目的に行います。

黒点補正を行う

黒点補正オプションでは、カラースペース間でカラーを変換するときに、黒点の差異を調整するかどうかを設定します。このオプションを選択すると、完全なダイナミックレンジのソーススペースが、完全なダイナミックレンジのデスティネーションスペースにマップされます。このオプションにより、変換元スペースの黒点に変換先スペースの黒点より濃い場合に、暗い部分を保持することができます。このオプションは、レンダリング用途として **【相対カラーメトリック】** が選択されている場合 ([106 ページのレンダリング用途](#)を参照) にのみ使用できます。

フロントパネルからのカラーマネジメント

フロントパネルから  を押し、次に  を押して、**【イメージ品質の保守】**-**【カラー キャリブレーション】**を選択することによって、取り付けた用紙の種類のカラー キャリブレーションを行うことができます。[97 ページのカラー キャリブレーション](#)を参照してください。

フロントパネルにある他のカラー オプションはすべて、 を押し、次に  を押して、**【セットアップ】**-**【印刷設定】**-**【カラー オプション】**を選択すると表示できます。

 **注記**：フロントパネルでのこれらの設定は、プリンタ ドライバまたは (T1500 シリーズでは) 内蔵 Web サーバのジョブ送信設定よりも優先されます。

T920 シリーズと T1500 シリーズのオプション

- **【カラー/グレースケール】**：カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するか、白黒で印刷するかを選択できます。デフォルト：**【カラー印刷】**。
- **【RGB ソース プロファイルの選択】**：プリンタによって認識され、選択された RGB ソース プロファイルから選択できます。デフォルト：**【sRGB】**。
- **【プリンタのエミュレート】**：他の HP DesignJet プリンタをエミュレートすることができます。デフォルト：**【オフ】**(プリンタ エミュレーションなし)。

💡 **ヒント** : 他の HP DesignJet プリンタ用に作成された古い HP-GL/2 ファイルまたは PostScript ファイルがある場合、プリンタにそれを送信し、フロントパネルを使用して適切なエミュレーションモードをオンにすることができます。

T1500 PS オプション (PostScript または PDF ジョブの場合)

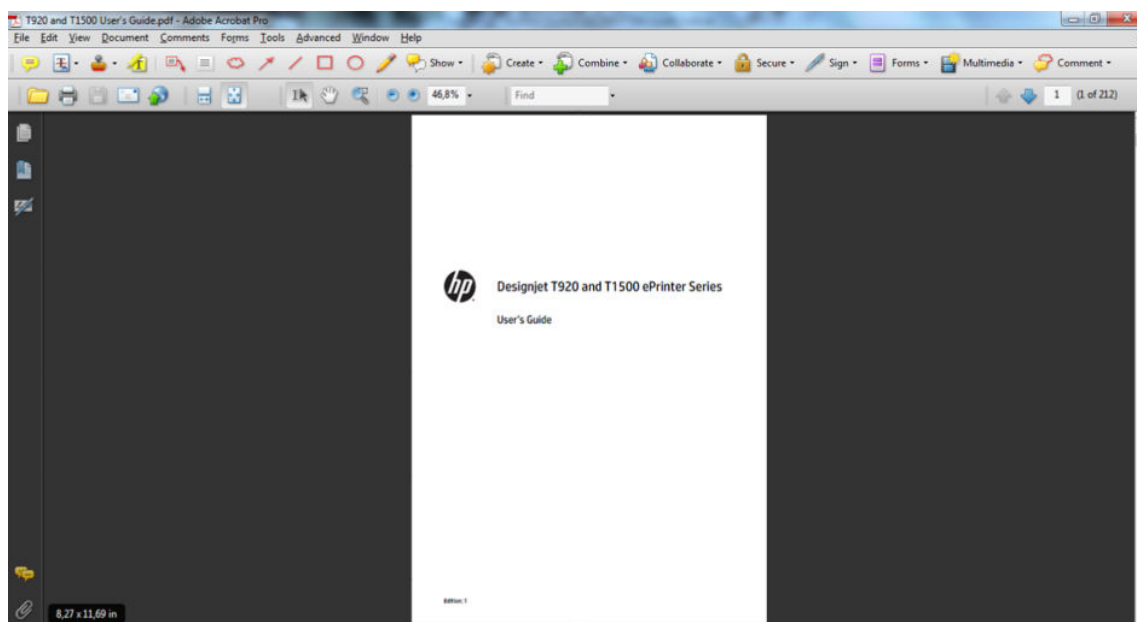
- **[CMYK ソース プロファイルの選択]** : プリンタによって認識され、選択された CMYK ソース プロファイルから選択できます。デフォルト : **[US Coated SWOP v2]**。
- **[レンダリング用途の選択]** : レンダリング用途を選択できます。デフォルト : **[コントラスト]**。
- **[黒点補正]** : 黒点補正をオンまたはオフにすることができます。デフォルト : **[オン]**。
- **[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション]** : HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションをオンまたはオフにすることができます。デフォルト : **[オン]**。

12 実際の印刷の例

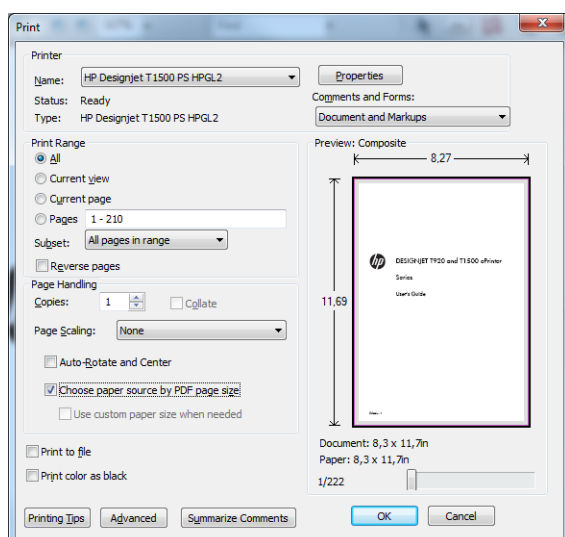
- [Adobe Acrobat からの印刷](#)
- [Autodesk AutoCAD からの印刷](#)
- [Adobe Photoshop からの印刷](#)
- [Microsoft Office からの印刷および拡大縮小](#)

Adobe Acrobat からの印刷

1. Acrobat のウィンドウで、マウスのカーソルをドキュメントウィンドウの左下隅まで移動して、ドキュメントサイズを表示します。

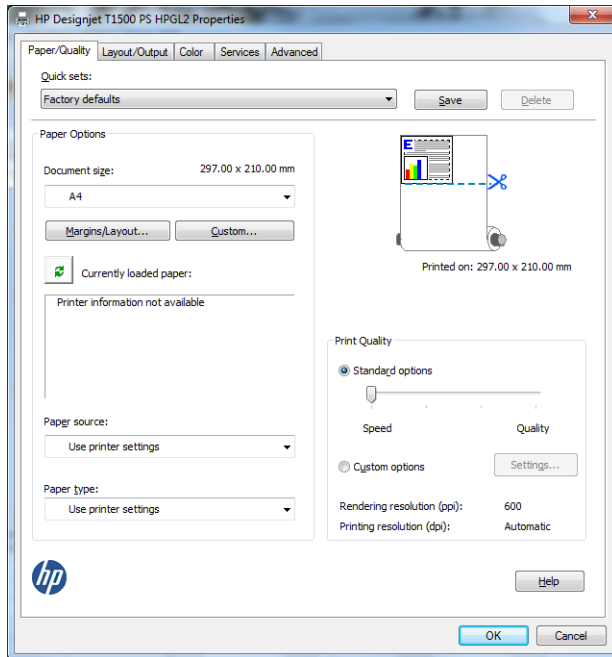


2. [ファイル]-[印刷]を選択し、[ページの拡大/縮小]が[なし]に設定されていることを確認します。

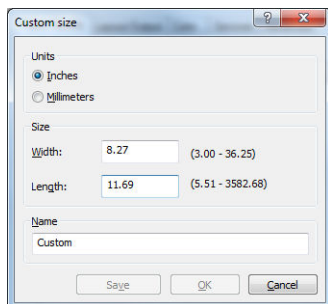


 **注記：** ページサイズは、ドキュメントサイズにより自動的に選択されるわけではありません。

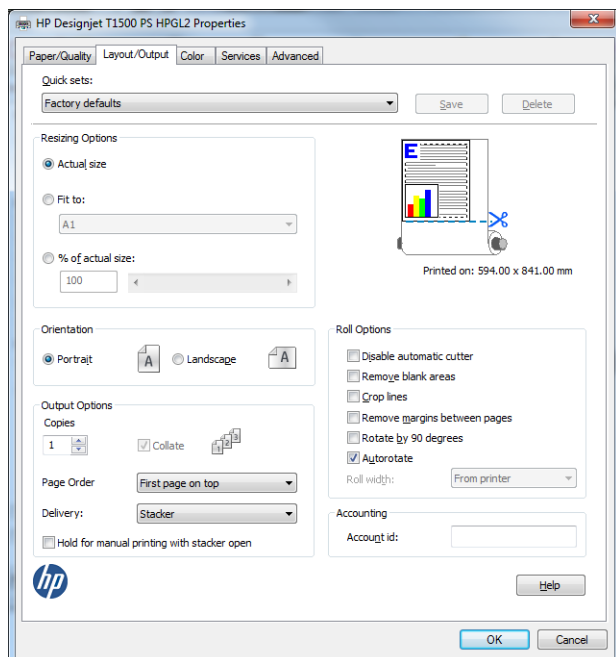
3. **【プロパティ】** ボタンをクリックし、**【用紙/品質】** タブを選択します。



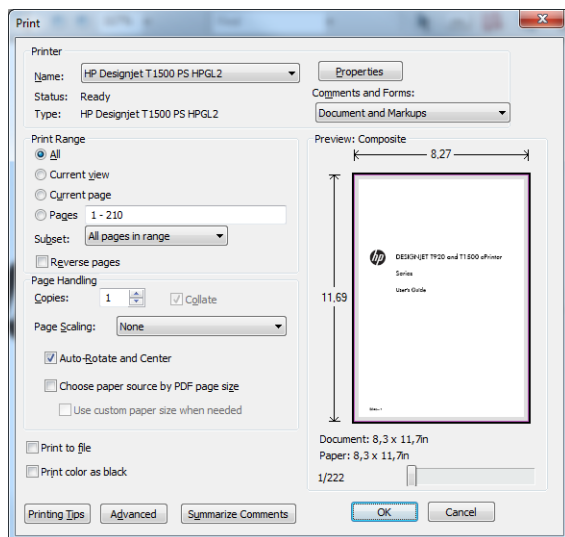
4. 使用する**【文書サイズ】**および**【印刷品質】**を選択します。新しいカスタム用紙サイズを定義する場合は、**【ユーザ定義】** ボタンをクリックします。



5. **【レイアウト/出力】**タブを選択し、**【自動回転】**を選択します。

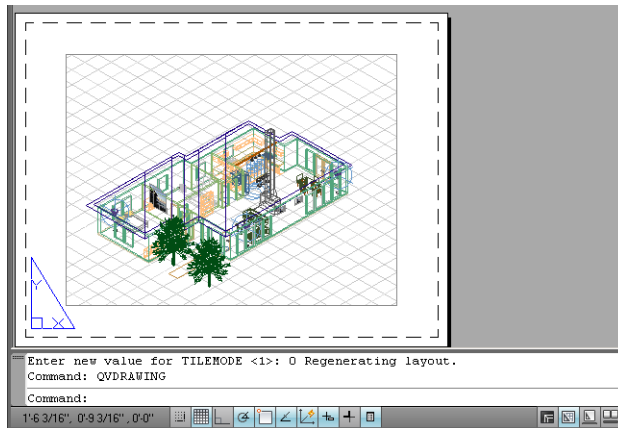


6. **【OK】**をクリックし、**【印刷】**ダイアログボックスの印刷プレビューが正しいことを確認します。

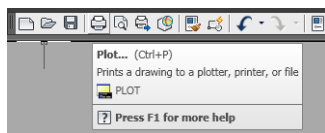


Autodesk AutoCAD からの印刷

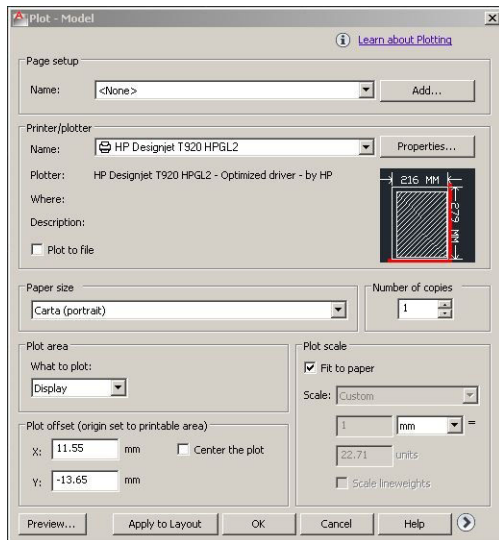
1. AutoCAD ウィンドウには、モデルやレイアウトを表示できます。通常は、モデルではなくレイアウトが印刷されます。



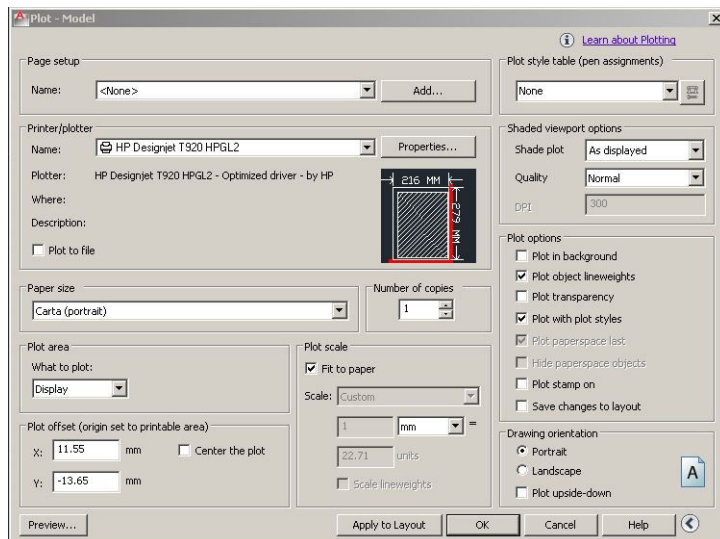
2. ウィンドウの上部の[プロット]アイコンをクリックします。



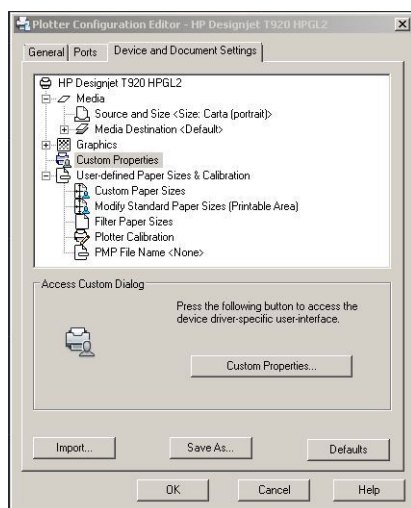
3. [プロット]ウィンドウが開きます。ウィンドウの右下隅の丸いボタンをクリックすることで、追加のオプションを表示できます。



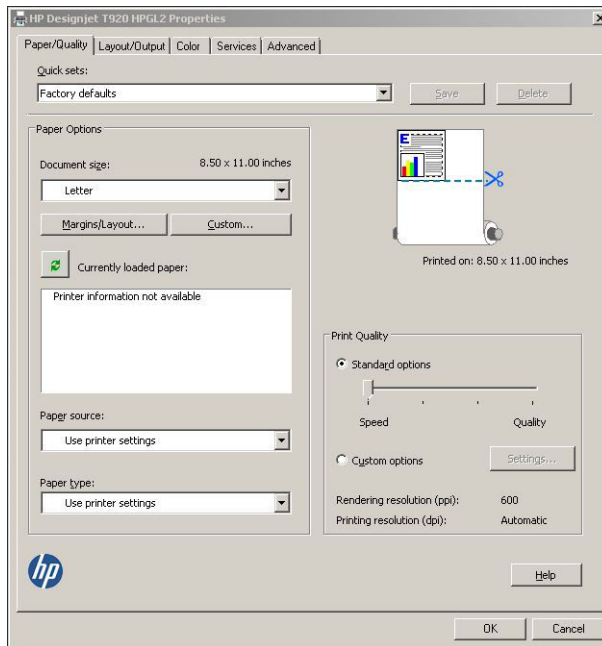
4. **【プロパティ】**ボタンをクリックします。



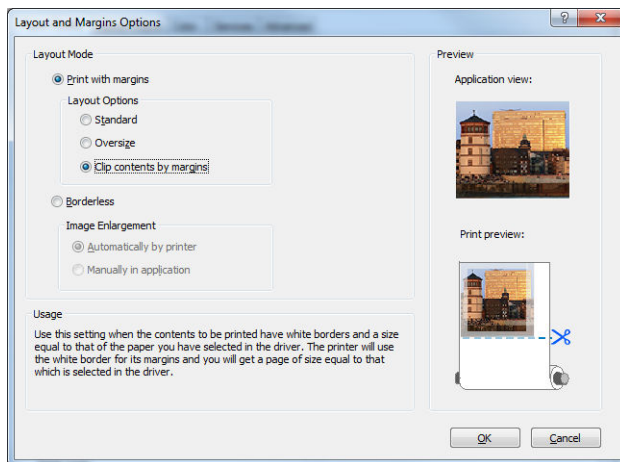
5. **【デバイスとドキュメントの設定】**タブを選択し、**【カスタム プロパティ】**ボタンをクリックします。



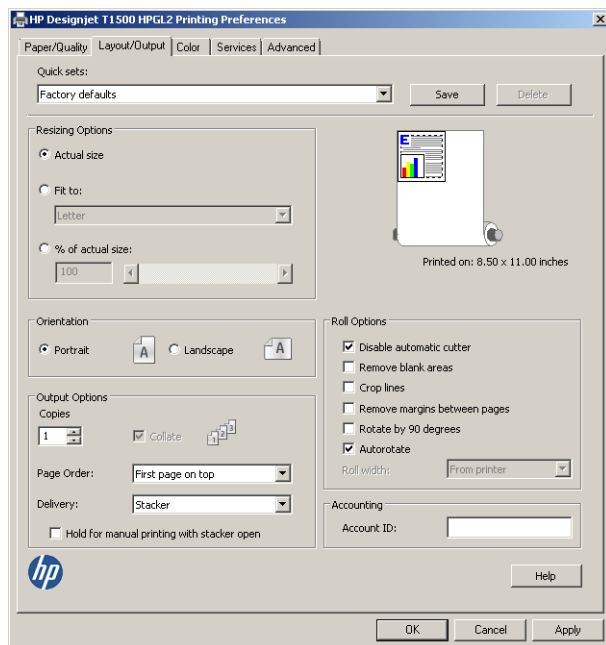
6. **【用紙/品質】**タブで、使用する予定の用紙の種類と、印刷品質 (高速か高品質を選択) を選択します。



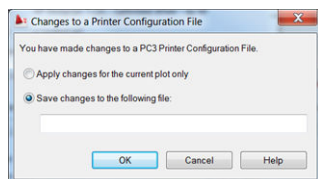
7. その他のレイアウト オプションを選択するには、**【マージン/レイアウト】** ボタンを押します。



8. ロール紙に印刷する場合は、プリンタが用紙をカットする場所を決定してください。[レイアウト/出力]タブで、[自動カッターを無効にする]オプションをオンまたはオフにし、[自動回転]オプションを選択すると、用紙の無駄を防ぐことができます。



9. [OK] ボタンをクリックし、PC3 ファイルに設定の変更を保存します。



プリンタ エミュレーションを使用する

プリンタ エミュレーションは[詳細設定]-[カラー]-[カラーマネジメント]-[プリンタで管理]-[プリンタのエミュレーション]を選択して呼び出すことができます。

[オフ](プリンタ エミュレーションを行わない)に設定したり、エミュレートするプリンタ モデル名を指定したりすることができます。

この設定では、ジョブに保存されるプリンタ エミュレーション設定を含まないジョブに適用されません。

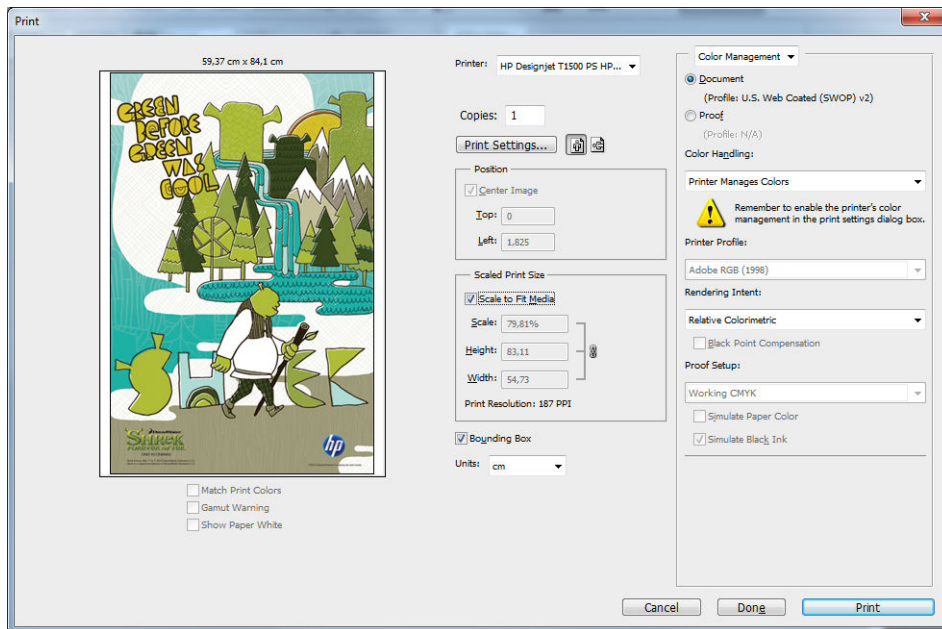
内容をマージンでクリップする

このマージン オプションは、[詳細設定]-[用紙/品質]-[マージン/レイアウト]-[マージンを含めて印刷]-[レイアウト]-[内容をマージンでクリップ]で選択できます。

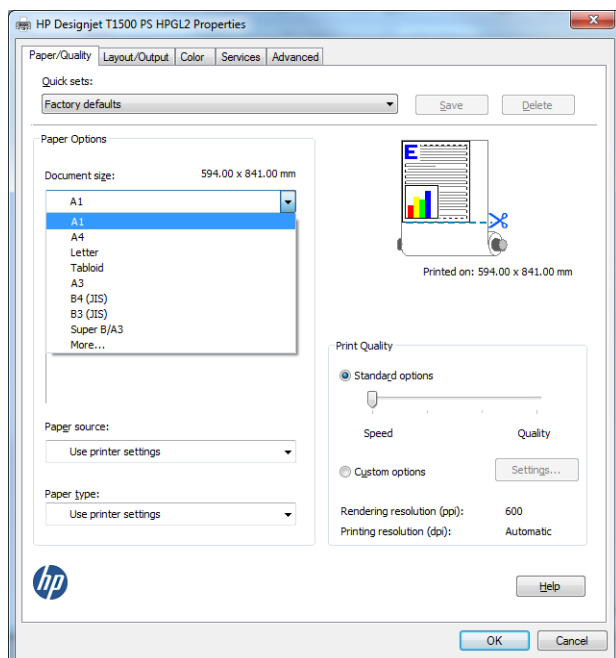
印刷する内容に白いフチがあり、サイズが選択した用紙サイズと同じ場合は、このオプションを使用します。白いフチはプリンタによってマージンとして使用され、ドライバで選択したページサイズと同じサイズのページが得られます。

Adobe Photoshop からの印刷

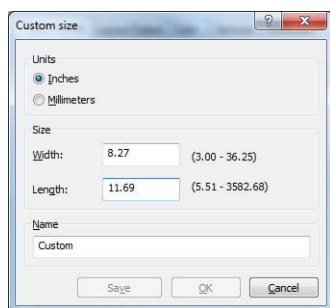
1. Photoshop CS5 で、【ファイル】-【印刷】を選択し、プリンタを選択して【印刷設定】を押します。



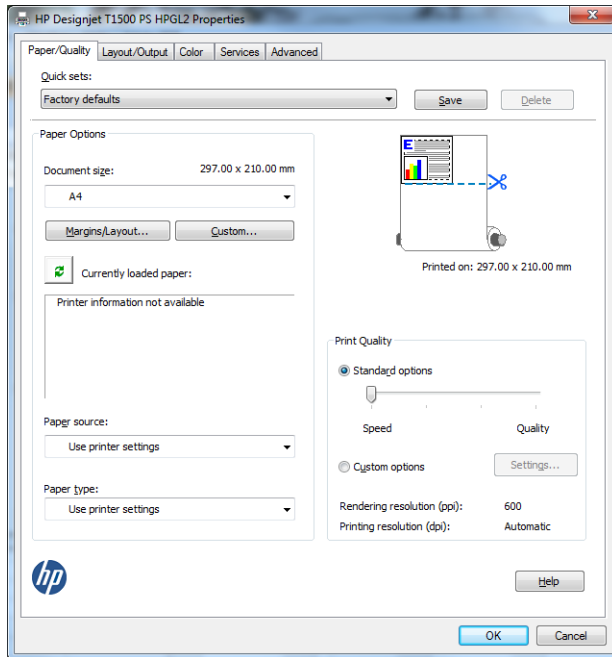
2. 使用できるドキュメントサイズから選択します。



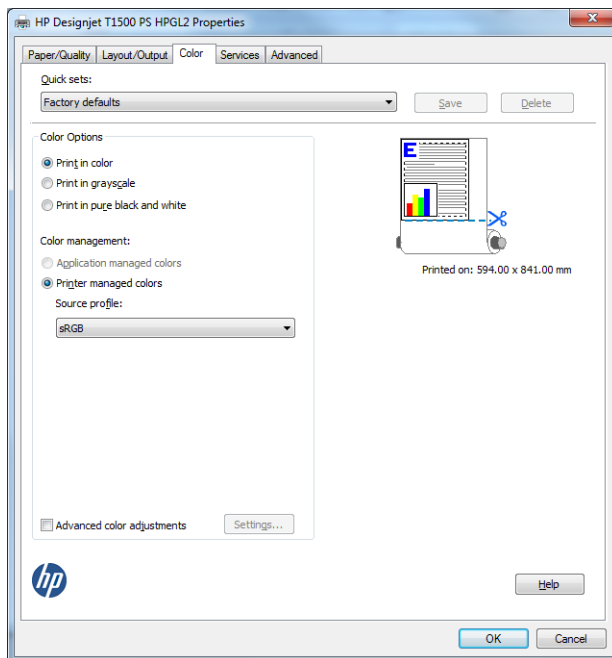
使用するサイズが見つからない場合は、**【カスタム】** ボタンを押します。カスタム サイズの幅、長さ、および名前を入力します。**【保存】** ボタンおよび **【OK】** ボタンをクリックします。



3. デフォルトの給紙方法、用紙の種類および印刷品質を変更できます。



4. Photoshop で【プリンタで管理】を選択しているため、【カラー】タブのカラー マネジメント オプションは、デフォルトの【プリンタで管理】が正しいオプションとなります。

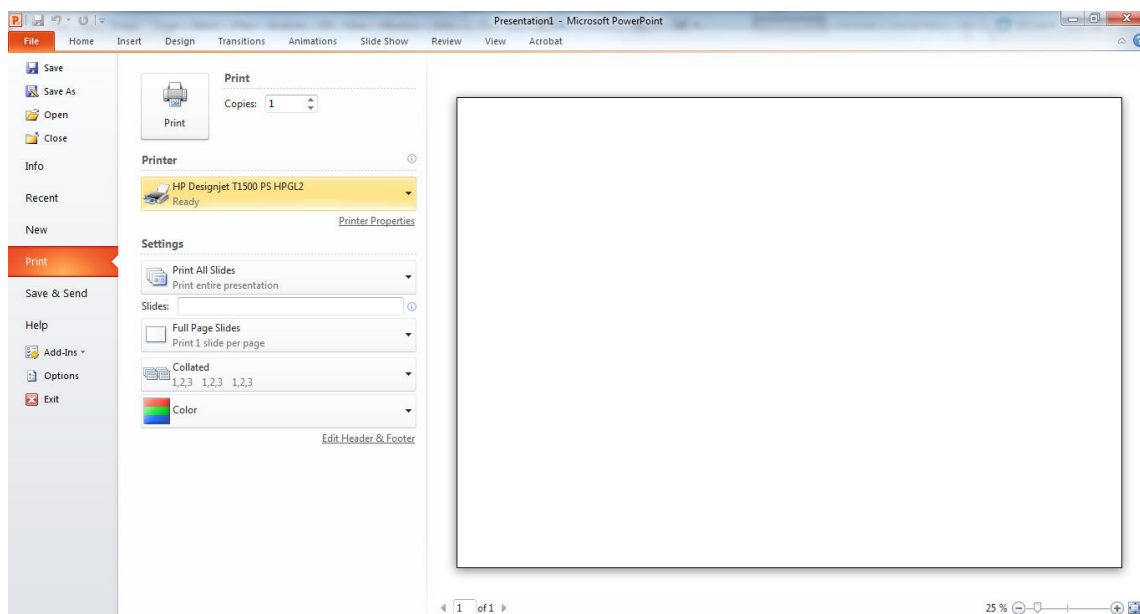


Microsoft Office からの印刷および拡大縮小

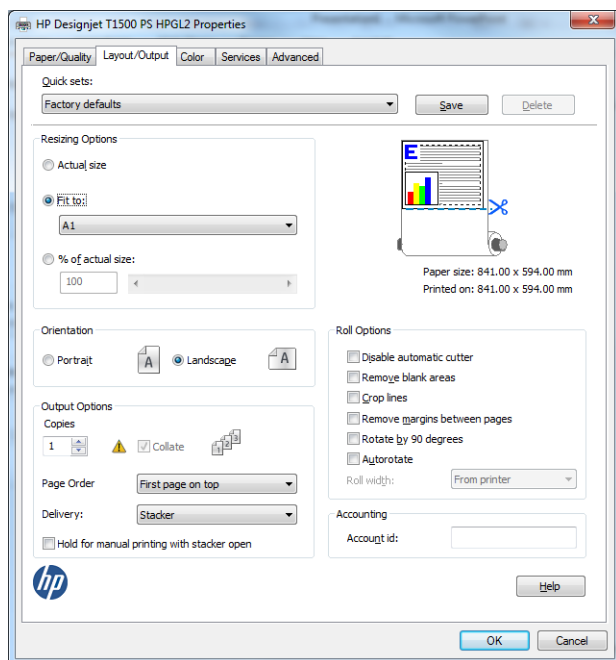
このセクションでは、Microsoft Office 2010 から印刷および拡大縮小する方法を示します。

PowerPoint を使用する

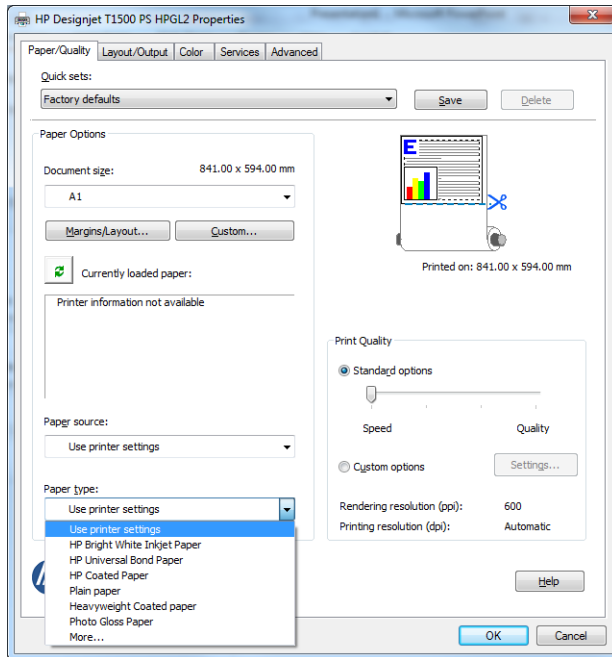
1. **【ファイル】**タブを選択し、次に**【印刷】**を選択し、プリンタの名前を選択します。



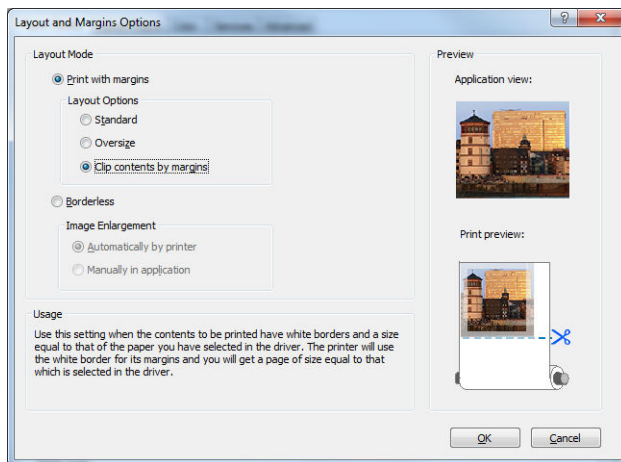
2. **【プリンタ プロパティ】-【レイアウト/出力】-【素材に合わせる】**を選択して、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。



3. **【用紙/品質】**タブを選択し、**【給紙方法】**および**【用紙の種類】**を選択します。

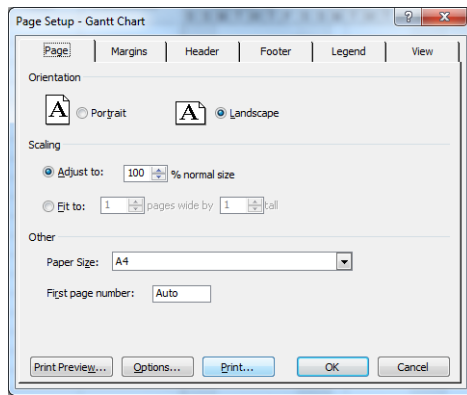


4. **【マージン/レイアウト】**ボタンをクリックし、**【内容をマージンでクリップ】**を選択して、サイズを維持します。

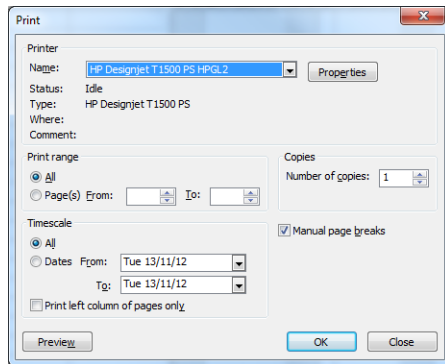


Project を使用する

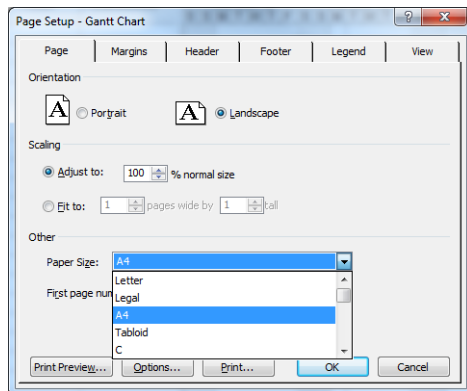
1. **【ファイル】-【ページ設定】-【印刷】**を選択します。



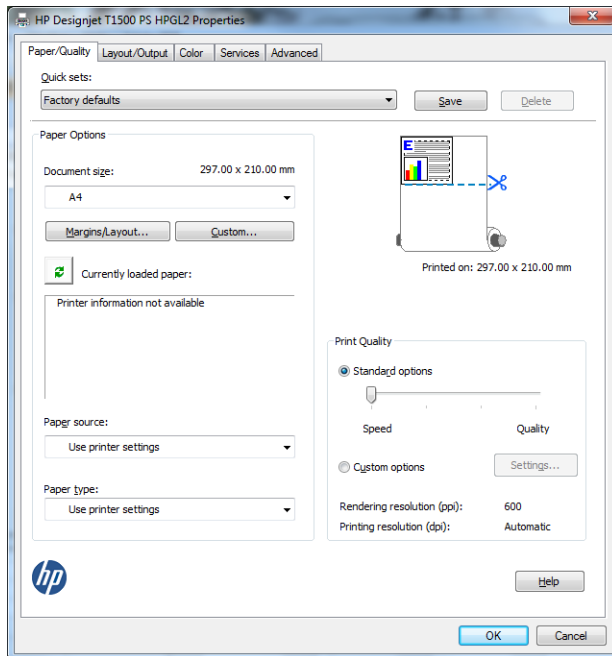
2. お使いのプリンタの名前を選択し、**【閉じる】**を選択します。



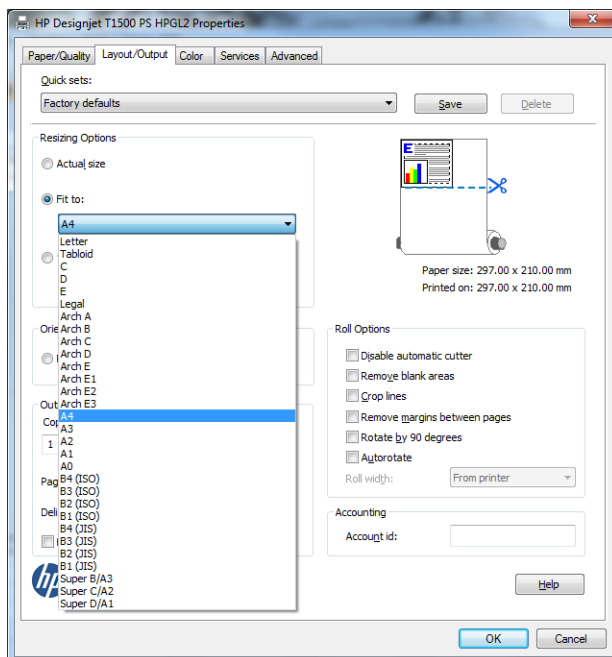
3. **【ページ設定】**を選択し、使用する**【用紙サイズ】**を選択します。



4. **【オプション】**を選択して、プリンタドライバに移動します。**【用紙/品質】**タブでは、多くの場合、デフォルトのオプションである、**【用紙トレイ】:【プリンタ設定の使用】**と**【用紙の種類】:【プリンタ設定の使用】**を選択します。

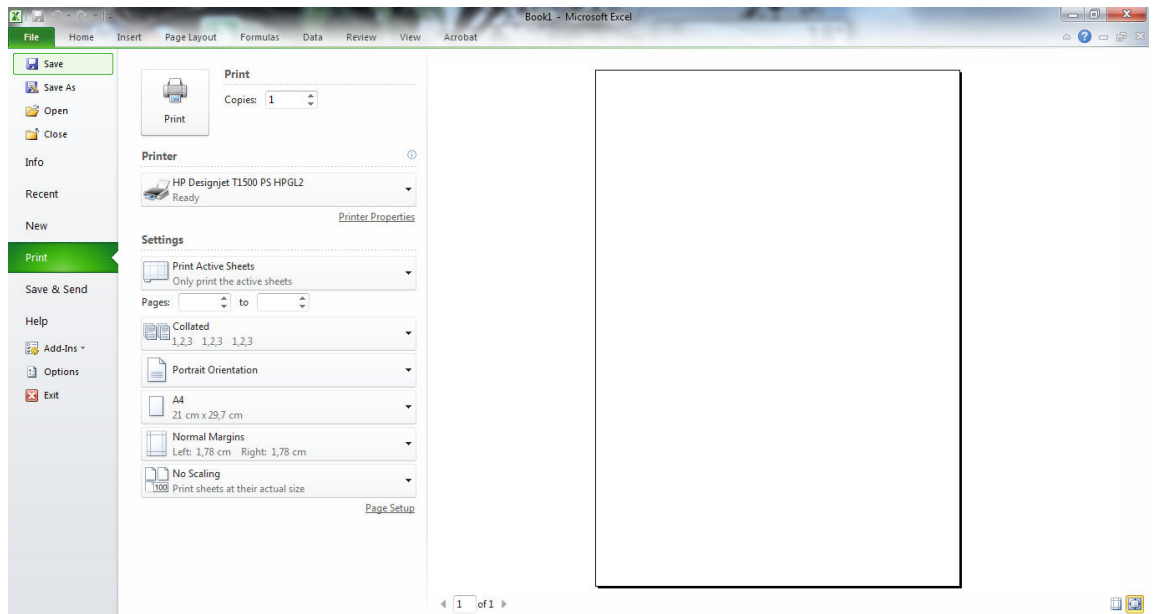


5. **【レイアウト/出力】-【素材に合わせる】**を選択して、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。代わりに、Project で文書を拡大縮小することもできます。

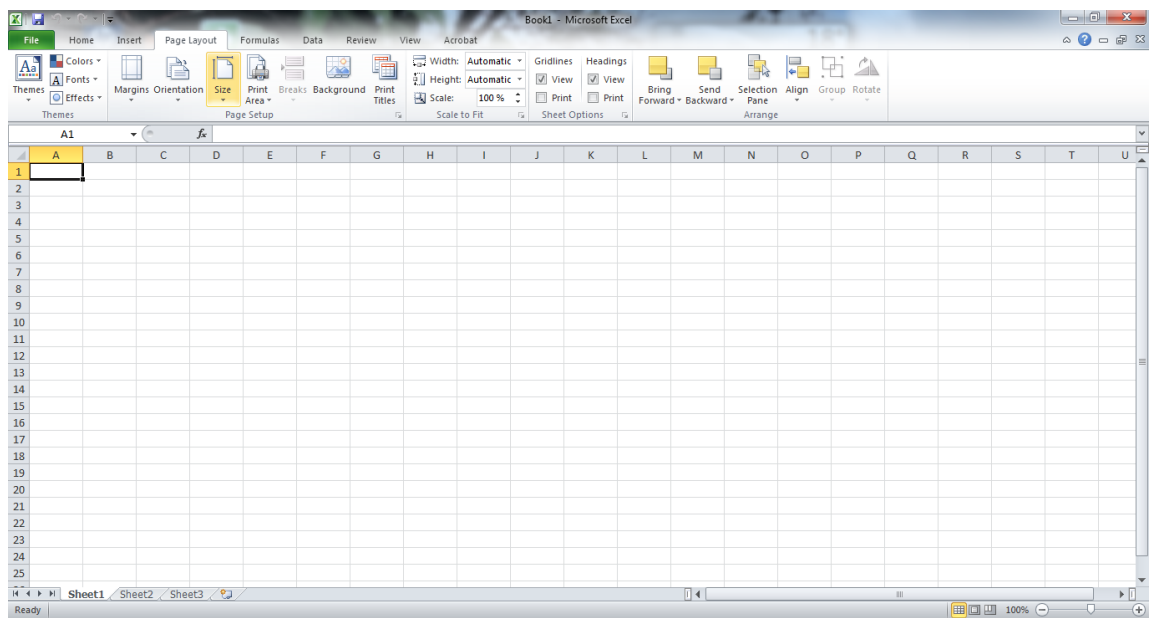


Excel を使用する

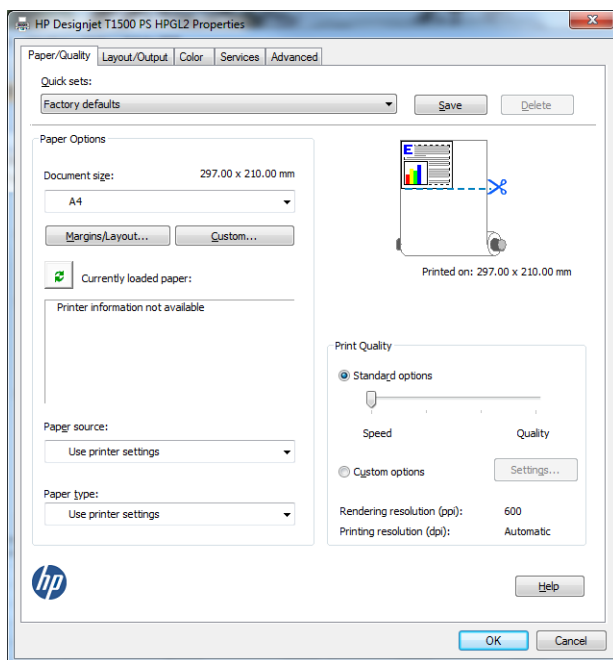
1. **【ページレイアウト】**タブを選択して**【サイズ】**を選択し、必要な用紙サイズを選択します。



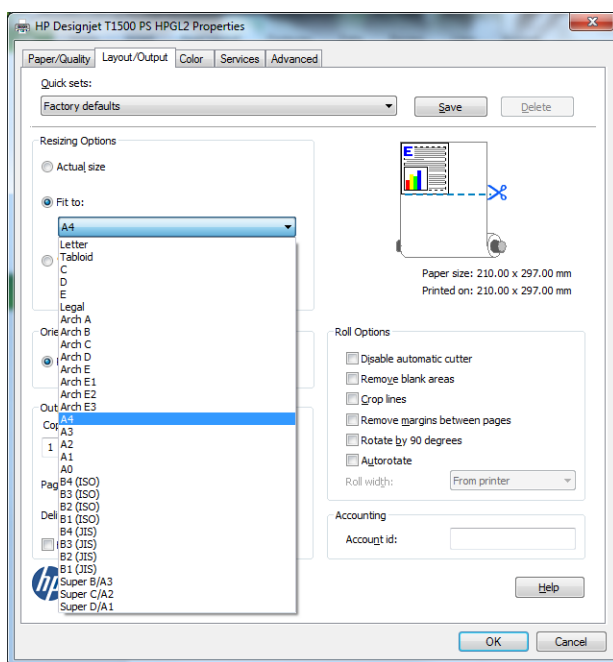
2. **【ファイル】**タブを選択し、次に**【印刷】**を選択し、プリンタの名前を選択します。



3. **【プリンタ プロパティ】**を選択して、プリンタ ドライバに移動します。**【用紙/品質】**タブを選択し、**【給紙方法】**、**【用紙の種類】**、および**【印刷品質】**を選択します。



4. **【レイアウト/出力】-【素材に合わせる】**を選択して、特定のサイズに合わせて文書を拡大縮小します。代わりに、Excel で文書を拡大縮小することもできます。



13 プリンタの使用状況に関する情報を取得する

- [プリンタのアカウンティング情報](#)
- [使用状況に関する情報を確認する](#)
- [ジョブの使用状況に関する情報を確認する](#)
- [電子メールによるアカウンティングデータの要求](#)

プリンタのアカウントティング情報

プリンタからアカウントティング情報を取得するには、さまざまな方法があります。

- プリンタの使用期間全体のプリンタの使用状況に関する情報を表示します ([126 ページの使用状況に関する情報を確認する](#)を参照)。
- HP Utility を使用することによって、最新のジョブのそれぞれのインクおよび用紙の使用状況を表示します ([127 ページのジョブの使用状況に関する情報を確認する](#)を参照)。HP Utility が利用できない場合は、[43 ページの HP Utility へのアクセス](#)を参照してください。
- 電子メールでアカウントティングデータを要求します。プリンタは、XML 形式のデータを指定された電子メールアドレスに定期的送信します。データは、サードパーティのアプリケーションで解釈されて要約されるか、Excel スプレッドシートで表示されます。[127 ページの電子メールによるアカウントティングデータの要求](#)を参照してください。
- インターネットを介してプリンタからプリンタ ステータス、プリンタの使用状況、またはジョブのアカウントティングデータを要求するには、サードパーティ アプリケーションを使用してください。プリンタは、必要に応じていつでもアプリケーションに XML でデータを提供します。HP では、そのようなアプリケーションの開発を促進するためにソフトウェア開発キットを提供しています。

使用状況に関する情報を確認する

プリンタの使用状況に関する情報を確認するには、さまざまな方法があります。

 **注記：** 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

内蔵 Web サーバから

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします ([43 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。
2. **【メイン】**タブに移動します。
3. **【履歴】 > 【使用状況】**を選択します。

HP Utility から

1. HP Utility にアクセスします ([43 ページの HP Utility へのアクセス](#)を参照)。
2. HP DesignJet Utility (Windows) で、**【管理者】**タブに移動して内蔵 Web サーバを開きます。次に、内蔵 Web サーバで **【使用状況】**タブに移動します。

HP Utility (Mac OS X) では、**【情報】 - 【プリンタ使用状況】**を選択し、**【検索】**ボタンを押します。

フロントパネルから

1.  を押します。
2.  を押します。
3. **【印刷メニュー】**を押します。

4. **【ユーザ情報の印刷】**を押します。
5. **【使用状況レポートの印刷】**を押します。

ジョブの使用状況に関する情報を確認する

特定のジョブの使用状況に関する情報を確認するには、2つの方法があります。

 **注記**：使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

HP Utility でのアカウントティング情報 (T1500 シリーズ)

1. HP Utility にアクセスします ([43 ページの HP Utility へのアクセス](#)を参照)。
2. 最新のジョブに関する情報を表示するには、**【ジョブセンター】**を選択します。
3. Windows では、内蔵 Web サーバを開いて**【アカウントティング】**リンクをクリックします。
Mac OS X では、**【ジョブアカウントティング】**を選択し、**【検索】**ボタンをクリックします。

内蔵 Web サーバでのアカウントティング情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします ([43 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)を参照)。
2. **【メイン】**タブに移動します。
3. **【履歴】**-**【アカウントティング】**を選択します。

電子メールによるアカウントティングデータの要求

1. IT 部門から、送信メールサーバ(SMTP)の IP アドレスを取得します。これは、電子メール メッセージの送信に必要です。
2. 送信メールサーバが、プリンタから送信される電子メール メッセージのリレーが可能になるように設定されていることを確認します。
3. Web ブラウザを開き、プリンタの内蔵 Web サーバに接続します。
4. **【セットアップ】**タブを選択します。
5. 左側列にある設定メニューから、**【日付と時刻】**を選択します。
6. プリンタの日付および時刻が正しく設定されていることを確認します。
7. 設定メニューから、**【電子メールサーバ】**を選択します。
8. 送信メールサーバ(SMTP)の IP アドレスを入力します。
9. プリンタの電子メールアドレスを指定します。後者は、有効な電子メールアドレスである必要はありません。ただし、電子メールアドレスの形式は保つ必要があります。これは、電子メールメッセージが送信された際に、プリンタを特定するのに役立ちます。[26 ページの使用状況に関する情報をオン/オフにする](#)を参照してください。
10. 設定メニューから、**【プリンタ設定】**を選択します。

11. アカウンティング セクションで、**[アカウント ID の要求]**を**[オン]**に設定している場合は、印刷ジョブをプリンタに送信するたびに、アカウント ID を指定する必要があります。例えば、自分が所属する部門に対応する ID または特定のプロジェクトまたはクライアントに対応する ID など。アカウント ID を提供しないでジョブを送信する場合、プリンタはその特定されないジョブをアカウント ID が提供されるまで印刷せずにキューに保留にします。

[アカウント ID の要求]を**[オフ]**に設定している場合、プリンタはアカウント ID を持っているか否かにかかわらず、すべてのジョブを印刷します。

12. **[アカウンティング ファイルの送信]**を有効に設定します。
13. **[アカウンティング ファイルの送信先]**をアカウンティング情報を送信したい電子メールアドレス (単一または複数) に設定します。これは、プリンタが自動的に生成したメッセージを受信するように特別に作成したアドレスでもかまいません。
14. **[アカウンティング ファイルの送信頻度]**を、情報を送信してほしい頻度に設定し、特定の日数または印刷数を選択します。
15. アカウンティング メッセージに個人情報が含まれないように、**[電子メール アカウントの個人情報の保護]**を**[オン]**に設定できます。このオプションが**[オフ]**の場合、ユーザ名、ジョブ名、アカウント ID の情報が含まれます。

上記の手順を完了すると、アカウンティング データが電子メールにより指定した頻度でプリンタから送信されます。データは XML で提供され、サードパーティ製のプログラムで簡単に解釈できます。各印刷ジョブで提供されたデータには、ジョブの送信日、ジョブの印刷日、印刷時刻、画像の種類、ページ数、コピー部数、用紙の種類およびサイズ、使用された各色のインク量およびジョブの他のさまざまな属性が含まれます。

XML データをスプレッドシートの形式でより読みやすく表示する Excel のテンプレートを HP の Web サイト (<http://www.hp.com/go/designjet/accounting>) からダウンロードできます。

アカウンティング データを分析することで、顧客へのより正確な請求およびプリンタのより柔軟な利用が可能になります。例えば、以下が可能です。

- 各顧客に、特定の期間に使用したインクおよび用紙の総量を請求する。
- 各顧客に、ジョブごとに別々の請求をする。
- 各顧客に、ジョブ単位に分けられたプロジェクトごとに別々の請求をする。

 **注記：**状況によっては、Excel により数値の小数点が削除されたり、間違って配置される可能性があります。たとえば、数値 5.1806 は 51806 と間違って解釈されたり、51,806 と表示されることがあります。これは、HP では解決できない Excel の問題です。

14 インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い

- [インクカートリッジについて](#)
- [インクカートリッジのステータスを確認する](#)
- [インクカートリッジを取り外す](#)
- [インクカートリッジを挿入する](#)
- [セーフモード](#)
- [プリントヘッドについて](#)
- [プリントヘッドのステータスを確認する](#)
- [プリントヘッドを取り外す](#)
- [プリントヘッドを挿入する](#)
- [匿名の使用状況に関する情報の格納](#)

インクカートリッジについて

インクカートリッジにはインクが収められており、用紙にインクを噴射するプリントヘッドに接続されています。追加のカートリッジの購入については、[148 ページの「サプライ品とアクセサリ」](#)を参照してください。

⚠ 注意：インクカートリッジは静電気放電敏感性デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です ([207 ページの用語集](#)を参照)。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

インクカートリッジのステータスを確認する

インクカートリッジのインク量を表示するには、フロントパネルの  を押し、次に  を押します。希望する場合には、インク情報ページに **【インクカートリッジの交換】** オプションがあります ([130 ページのインクカートリッジを取り外す](#)も参照)。

インクカートリッジの詳細を表示するには、情報を確認するカートリッジの色を押します。

HP Utility から情報を取得することもできます。

インクカートリッジのステータス メッセージの詳細は、[183 ページのインクカートリッジのステータス メッセージ](#)を参照してください。

HP Utility の手順

- HP DesignJet Utility (Windows) では、**【サプライ品】** タブに移動します。
- HP Utility (Mac OS X) では、[情報] グループの **【プリンタ ステータス】** を選択します。

インクカートリッジを取り外す

インクカートリッジの取り外しが必要になる場合は、次の 3 点があげられます。

- カートリッジのインクが僅かで、無人印刷を実行するために満杯のカートリッジに交換する必要がある場合 (元のカートリッジは都合のよいときに使い切ることができます)
- インクカートリッジが空になったまたは問題があり、印刷を続行するために交換する場合。
- プrintヘッドを交換するが、インクカートリッジ内に残ったインクが足りないためプリントヘッド交換プロセスを完了できない場合 (この場合、カートリッジが空でなければもう一度使用することができます)

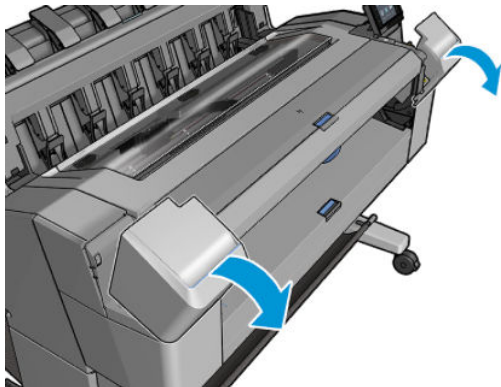
⚠ 注意：印刷中はインクカートリッジを取り外さないでください。

注意：インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

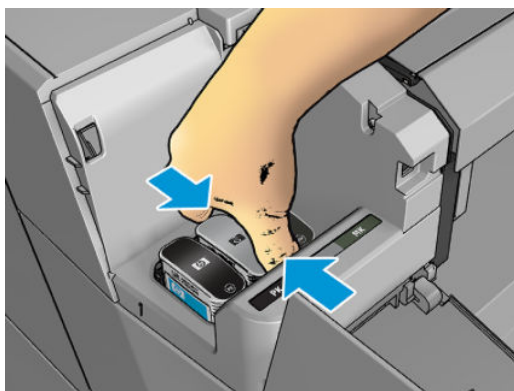
注意：プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

📝 注記：カートリッジがインク切れになると、現在のジョブは自動的にキャンセルされます。手動でキャンセルした場合を除いて、空のカートリッジを交換すると印刷が再開されます。カートリッジの交換が遅れると、印刷物にバンディングが入ることがあります。

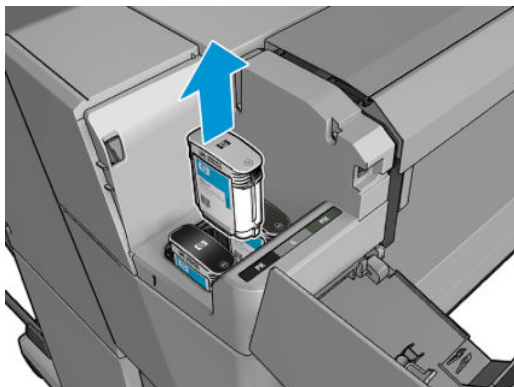
1. フロントパネルから、 を押し、次に  を押して、**【インクカートリッジの交換】**。
または、 を押し、次に  を押して、**【インク】-【インクカートリッジの交換】** を選択します。
2. プリンタの左側または右側にあるインクカートリッジカバーを開きます。



3. 取り外すカートリッジをつかみます。



4. カートリッジを真上に引き上げます。



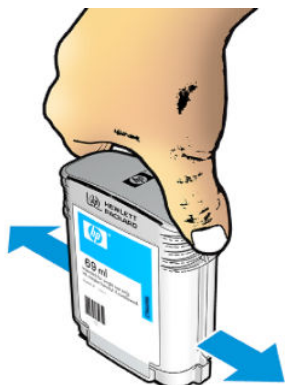
 **注記：** プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着している場合があります。

 **注記：** 一部使用済みのインクカートリッジは保管しないようにしてください。

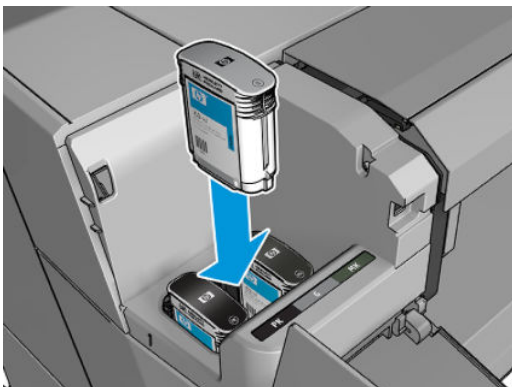
5. フロントパネルに、インクカートリッジが取り付けられていないことが表示されます。

インクカートリッジを挿入する

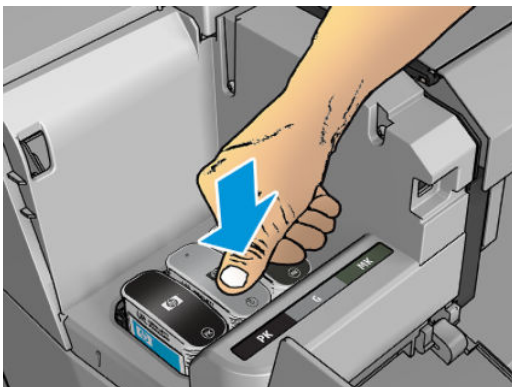
1. インクカートリッジは、袋から取り出す前によく振ります。



2. 新しいインクカートリッジを取り出し、ラベルを参照してインクの色を確認します。空いたスロットに印された文字 (このイラストの場合、マゼンタを意味する M) と、カートリッジのラベルの文字が同じであることを確認します。
3. インクカートリッジをスロットに取り付けます。フォトブラック、グレー、マットブラックを左側に、シアン、マゼンタ、イエローを右側に取り付けます。

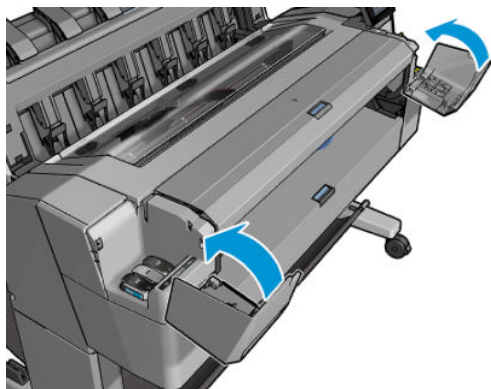


4. 音がして固定されるまでカートリッジをスロットに押し込みます。カートリッジが取り付けられると、ブザーが鳴り、確認メッセージが表示されます。



取り付けにくい場合は、[183 ページのインクカートリッジを挿入できない](#)を参照してください。

5. すべてのカートリッジを取り付けたら、カバーを閉めます。



6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されます。

HP 製品以外のインクカートリッジを使用できますが、以下の重大な欠点があります。インク量またはインクカートリッジの再利用、補充、または偽造のステータスを確認できない場合があります。結果としてサービスや修理が必要となった場合は、保証の対象とはなりません。システムのインクのフラッシング、カラーキャリブレーション、およびプリントヘッドの位置合わせが推奨されます。印刷品質の問題が発生する場合は、HP 純正インクへの変更をお勧めします。

セーフモード

環境仕様外でのプリンタの動作などの特定の条件の下や、使用済み、補充または偽造インクカートリッジが検出された場合、プリンタは「セーフ」モードで動作します。HP は、環境使用外で動作する印刷システムや、使用済み、補充または偽造インクカートリッジが取り付けられた印刷システムのパフォーマンスは保証できません。セーフモードは、プリンタとプリントヘッドを予期しない条件による損傷から保護するためのモードであり、プリンタのフロントパネルと内蔵 Web サーバに  アイコンが表示されているときはセーフモードで動作しています。パフォーマンスを最大限に高めるため、HP 純正インクカートリッジを使用してください。HP 純正インクとプリントヘッドを含む HP DesignJet 印刷システムは、どのような印刷でも妥協のない印刷品質、一貫性、パフォーマンス、耐久性、および価値を実現できるようにセットで設計されています。

プリントヘッドについて

プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、用紙にインクを噴射します。

△ 注意： プリントヘッドは静電気放電敏感性デバイスであるため、取り扱いには注意が必要です (207 ページの用語集を参照)。ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。

プリントヘッドのステータスを確認する

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

1. フロントパネルで、 を押し、 を押します。
2. フロントパネルには以下の情報が表示されます。

- カラー
- 製品名
- 製品番号
- シリアル番号
- ステータス (193 ページの「フロントパネル エラー メッセージ」を参照)
- 使用済みインク量
- 保証期限

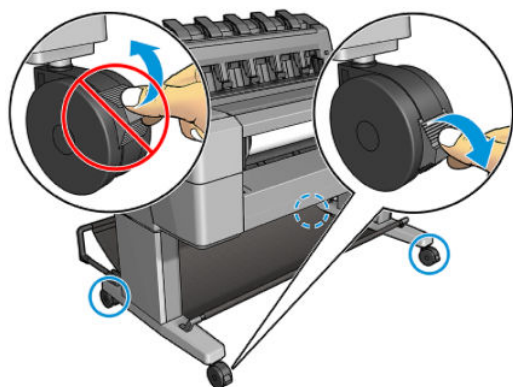
HP Utility からこの情報の一部を取得できます。

プリントヘッドのステータス メッセージの詳細は、[185 ページのプリントヘッドのステータス メッセージ](#)を参照してください。

保証期限が「保証に関する注記を参照」の場合は、期限切れのインクが使用されていることを示します。保証期限が「保証対象外」の場合は、HP 製以外のインクが使用されていることを示します。保証の詳細は、プリンタに付属している限定保証書を参照してください。

プリントヘッドを取り外す

⚠ 注意： プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。



⚠ 注意： プrintヘッドの交換は、プリンタの電源を入れた状態で行ってください。

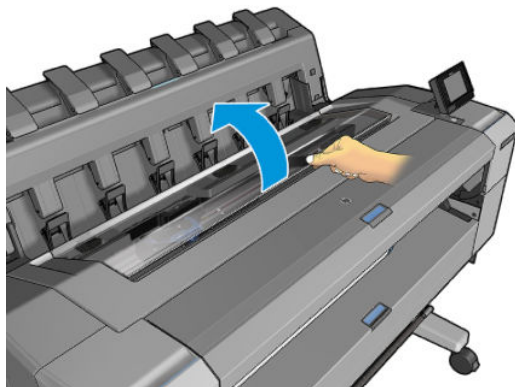
1. フロントパネルから、 を押し、次に  を押して、**[プリントヘッドの交換]** を押します。

または、 を押し、次に  を押して、**[インク]-[プリントヘッドの交換]** を押します。

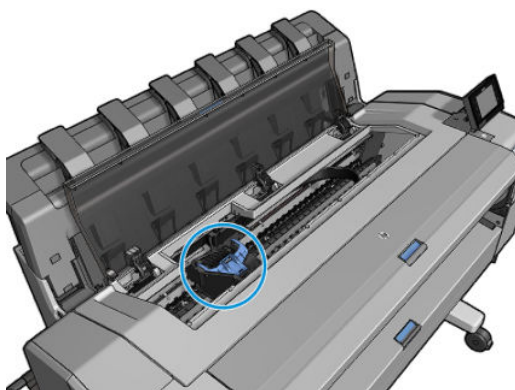
フロントパネルに、交換用のプリントヘッドが新品か中古品かを確認するメッセージが表示されることがあります。

📝 注記： このプロセスは、 を押すことでいつでもキャンセルできます。

2. フロントパネルにウィンドウを開くように要求するメッセージが表示されます。

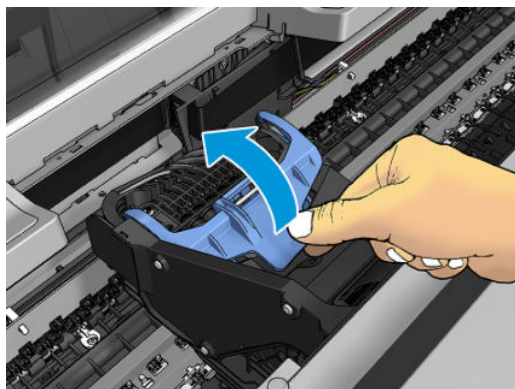


3. キャリッジが自動的にプリンタの左端に移動します。

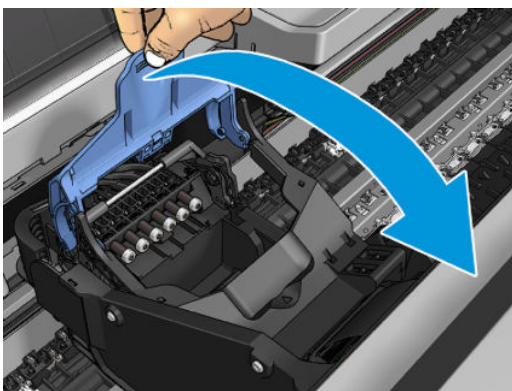
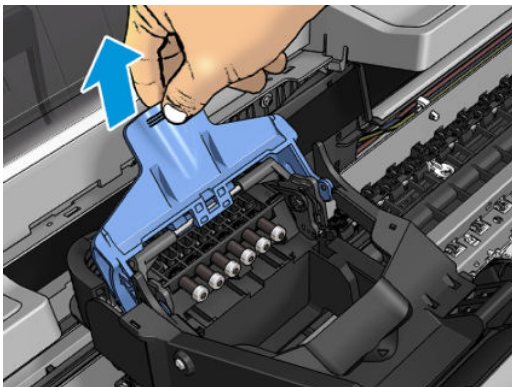


△ 注意： キャリッジは、取り外し位置に移動してからプリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに3分以上放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

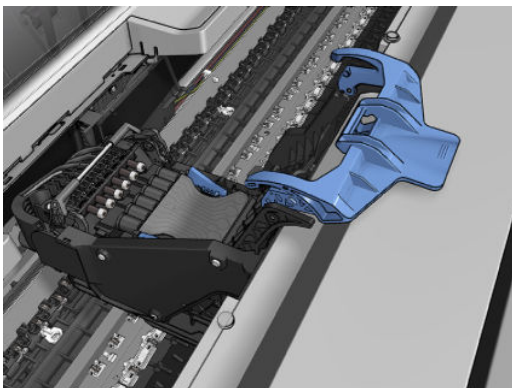
4. 青のプリントヘッドカバーを引き上げます。



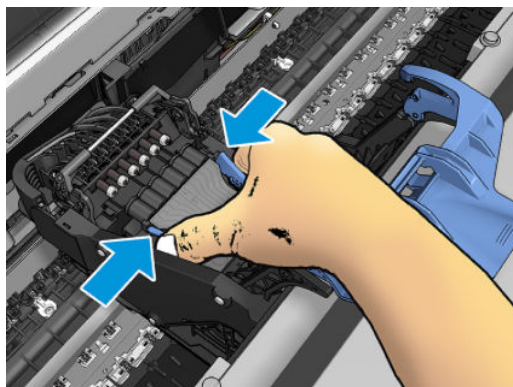
5. 青のカバーを手前に引き戻し、取り付けられている黒の部品を持ち上げます。



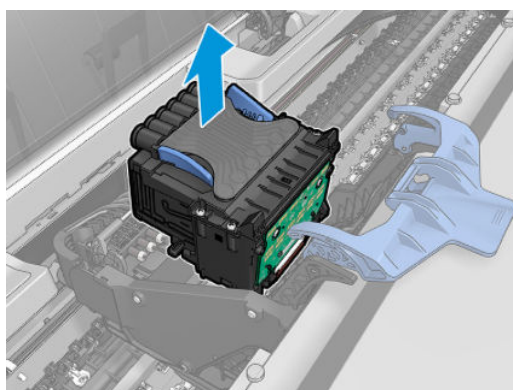
6. 黒の部品をほぼ垂直方向のままにします。



7. プリントヘッドの両側の青の部品をつかみます。



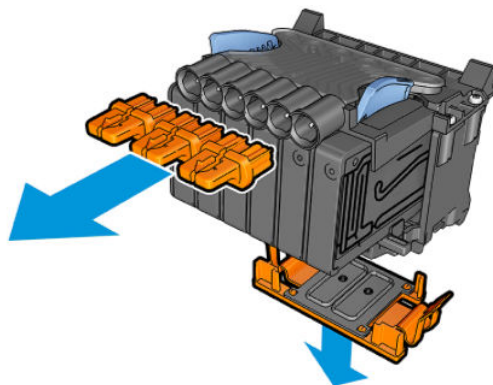
8. プリントヘッドをカートリッジから持ち上げます。



プリントヘッドを挿入する

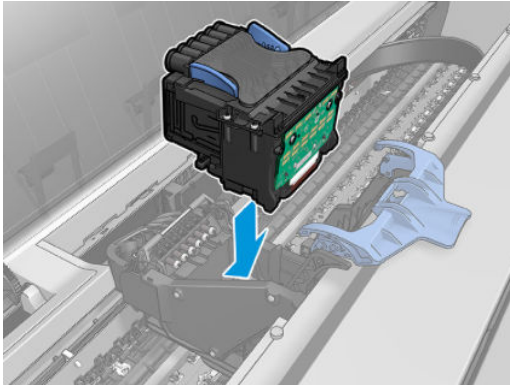
 **注記：** 装着されたインクカートリッジにプリントヘッド交換プロセスを完了するのに必要なインクがない場合、新しいプリントヘッドを正常に取り付けることができません。この場合は、インクカートリッジを交換してから、新しいプリントヘッドを取り付けてください。インクが少し残っている場合は、古いカートリッジを後で使用することができます。

1. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。

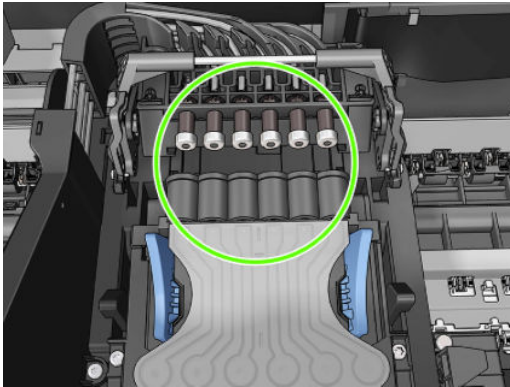


2. 新しいプリントヘッドを取り付けます。

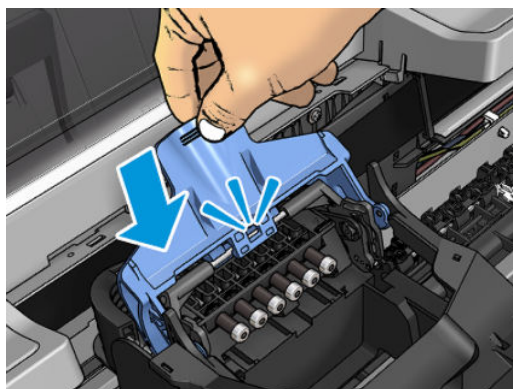
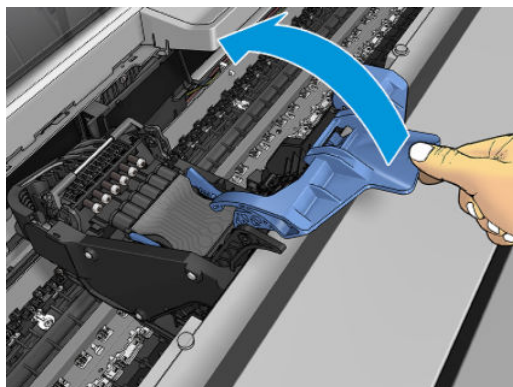
⚠ **注意：** プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。



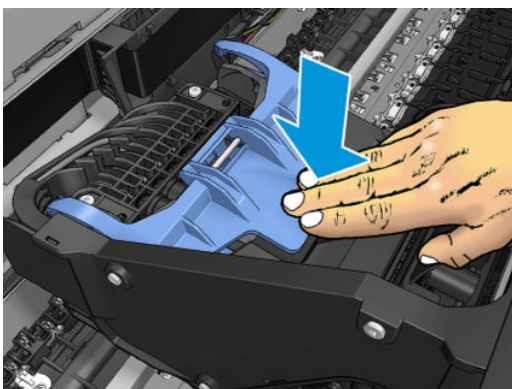
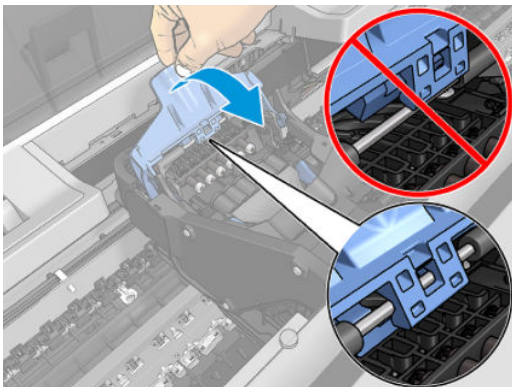
3. プリントヘッドがインクコネクタと正しく合っていることを確認します。



4. 黒の部品をプリントヘッドの上に下げます。



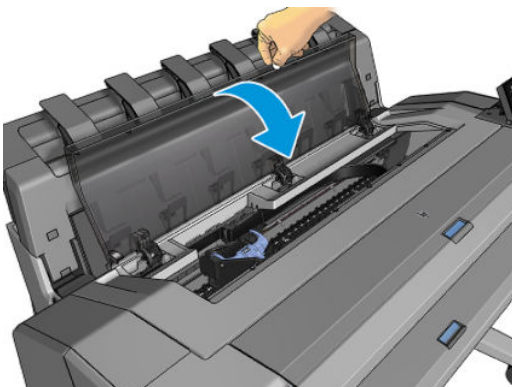
5. 青のカバーを閉じ、正しく閉じていることを確認します。



プリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

 **注記：** プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに[交換して下さい]というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

6. ウィンドウを閉じます。



7. フロントパネルに、プリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示されます。プリントヘッドの確認と準備が開始されます。デフォルトの準備プロセスには 10 分かかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、この処理に最大で 45 分ほどかかることがあります。用

紙が取り付けられていれば、プリントヘッドの確認と準備の終了後に、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。[184 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

8. 新しいプリントヘッドを取り付けたら、カラー キャリブレーションを実行することをお勧めします。[97 ページのカラー キャリブレーション](#)を参照してください。

匿名の使用状況に関する情報の格納

各インクカートリッジには、プリンタの操作を支援するメモリチップが含まれます。また、このメモリチップはプリンタの使用状況について、限定された内容の匿名情報(カートリッジが最初に取り付けられた日、カートリッジが最後に使用された日、カートリッジを使用した印刷部数、印刷適用範囲、印刷頻度、使用された印刷モード、発生した印刷エラー、製品モデルなど)を格納します。この情報は、お客様の印刷に関するニーズに対応する今後の製品の設計に役立ちます。

メモリチップから収集された情報には、カートリッジやプリンタのお客様やユーザの特定に利用可能な情報は含まれていません。

HP は、HP の無料回収およびリサイクルプログラムで回収されたインクカートリッジのメモリチップの一部を収集しています(このプログラムは、HP Planet Partners と呼ばれています：

<http://www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/>など)。今後の HP 製品の改善のため、収集されたメモリチップを読み取り、研究しています。

インクカートリッジのリサイクルを支援する HP のパートナーも、この情報にアクセスすることができます。カートリッジを保有する任意の第三者が、メモリチップ上の匿名情報にアクセスできる可能性もあります。この情報へのアクセスを希望されない場合、チップを動作不能にすることもできます。ただし、メモリチップを動作不能にした後で、そのカートリッジを HP プリンタに使用することはできません。

この匿名情報の提供を望まれない場合は、メモリチップに情報が保存されないようにプリンタを設定できます。これを行うには、内蔵 Web サーバにアクセスし、**[セットアップ]-[匿名の使用状況に関する情報の格納]**を選択します。これにより、その他の点でカートリッジの正常な動作が妨げられることはありません。ただし、後で工場出荷時のデフォルト設定に戻し、プリンタの使用状況に関する情報の収集を再開することもできます。

15 プリンタを保守する

- [プリンタ ステータスを確認する](#)
- [プリンタ外観のクリーニング](#)
- [インクカートリッジをメンテナンスする](#)
- [プリンタを移動または保管する](#)
- [ファームウェアをアップデートする](#)
- [ソフトウェアをアップデートする](#)
- [プリンタ保守キット](#)
- [安全なファイル消去](#)
- [ディスク拭取り](#)

プリンタ ステータスを確認する

プリンタのステータスは、以下のさまざまな方法で確認できます。

- HP Utility を起動して、使用するプリンタを選択すると、プリンタ、用紙、インク サプライ品のステータスが記述されたページが表示されます。
- 内蔵 Web サーバにアクセスすると、プリンタの全般的なステータスに関する情報が表示されます。【メイン】タブの【サプライ品】ページに、用紙およびインク サプライ品のステータスが表示されます。
- 用紙、インク容量、インクカートリッジ、およびプリントヘッドに関する情報を表示するには、フロントパネルで、 を押します。現在問題がある場合には、最も緊急な問題がある領域が自動的に表示されます。

現在アラートがある場合には、ホーム画面の上部行に、優先度が最も高いアラートが表示されます。アラート メッセージを押すと、このアラートが表示されているタブが表示され、問題を解決できます。アラートの一覧を表示するには、 と  を押します。

プリンタ外観のクリーニング

プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分のクリーニングには、湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹸など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用します。

⚠ 警告 ! 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

⚠ 注意 : プリンタに研磨剤入りクリーナーを使用しないでください。

インクカートリッジをメンテナンスする

インク カートリッジは、通常の使用期間内であれば特別なメンテナンスは必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。カートリッジが使用期限に達すると、プリンタのフロントパネルに表示されます。

カートリッジの使用期限はいつでも確認できます。[143 ページのプリンタ ステータスを確認する](#)を参照してください。

[129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)も参照してください。

プリンタを移動または保管する

プリンタを移動したり、保管したりする必要がある場合は、損傷を防ぐために適切な準備作業を行ってください。プリンタの準備作業を行うには、以下の手順に従います。

1. インクカートリッジ、プリントヘッドは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。
3. プリンタがアイドル状態であることを確認します。

4. ネットワークやコンピュータにプリンタを接続しているすべてのケーブルを取り外します。
5. プリンタが出入口を通るときスタッカが邪魔になりそうな場合は、2本のねじを取り外すことで折りたたむことができます。

長期間プリンタの電源をオフのままにする必要がある場合は、以下の追加手順を実行します。

1. フロントパネルの電源ボタンを押して、電源をオフにします。
2. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
3. プリンタの電源ケーブルを取り外します。

 **注意：**プリンタを逆さにすると、プリンタ内部にインクが漏れてプリンタに重大な故障が発生することがあります。

電源ケーブルを再度接続するときは、必ずケーブルを背面のガッタに沿ってきれいに配線してください。

プリンタの電源を入れ直すと、プリンタの初期化、およびプリントヘッドの確認と準備に約3分かかります。プリントヘッドの準備は、通常、1分強かかります。ただし、プリンタを6週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大45分かかることがあります。

 **注意：**プリンタの電源を6週間以上オフのままにしておいた場合、プリントヘッドが使用できなくなる可能性があります。この場合、プリントヘッドを交換する必要があります。

 **ヒント：**プリントヘッドの準備と除去では時間とインクが消費されるので、プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンタの電源を常にオン、またはスリープモードにしておくことを強くお勧めします。どちらの場合も、随時プリンタは自動的に起動し、プリントヘッドが保守されます。そのため、プリンタを使用する前に、準備処理に長い時間をかけずに済みます。

ファームウェアをアップデートする

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のファームウェアによって制御されています。

ファームウェアのアップデートは、随時、HP から入手することができます。これらのアップデートによって、プリンタの機能が強化されます。小さい問題が修正されることもあります。

 **重要：**最新の開発機能を活用するため、ファームウェアを定期的に更新することを強く推奨します。

ファームウェアのアップデートをダウンロードおよびインストールするには、下記のようなさまざまな方法があります。最も便利な方法を選択できます。自動アップデートと手動アップデートの2つのカテゴリに分けることができます。

 **注記：**ファームウェアには、最も一般的に使用される用紙プリセットが含まれています。追加の用紙プリセットは、別途ダウンロードできます。[62 ページの用紙プリセット](#)を参照してください。

自動ファームウェア アップデート

自動ファームウェア アップデートは、Web に接続したプリンタで使用するすると便利です。プリンタで最新のファームウェア リリースを自動的にダウンロードし、インストールすることができます。

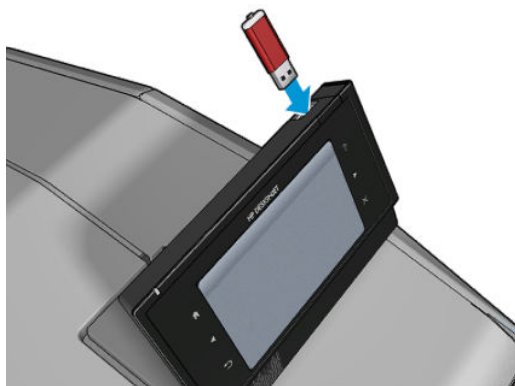
重要な注意事項

- プリンタがインターネットに接続されている必要があります。[22 ページの Web サービスのセットアップ](#)を参照してください。
- 自動ファームウェアアップデートを設定するには、フロントパネルまたは内蔵 Web サーバを使用します。[22 ページの Web サービスのセットアップ](#)を参照してください。
- 管理者パスワードが設定されている場合は、以下の設定を変更する必要があります。
- ファームウェアアップデートのパッケージサイズが大きい可能性があります。ネットワーク接続またはインターネット接続に何らかの影響を与えないかどうかを検討してください。
- ファームウェアアップデートはバックグラウンドでダウンロードされます。プリンタは、同時に印刷することができます。ただし、バックグラウンドでインストールすることはできません。印刷を停止する必要があります。

手動ファームウェアアップデート

手動ファームウェアアップデートは、以下のいずれかの方法で実行できます。

- 内蔵 Web サーバを使用して、**[セットアップ]** タブを選択し、**[保守]-[ファームウェアのアップデート]**を選択します。**[今すぐ確認]**を押して、新しいファームウェアが入手可能かどうかを確認します。新しいファームウェアが入手可能な場合は、そのファームウェアに関する情報が表示されるので、必要に応じて、ダウンロードしてインストールすることができます。
- Windows で HP DesignJet Utility を使用して、**[管理者]**タブを選択し、**[ファームウェアのアップデート]**を選択します。
- Mac OS X で HP Utility を使用して [Information and Support] (情報とサポート) グループの**[ファームウェアのアップデート]**を選択します。
- HP Web Jetadmin を使用して、ファームウェアのアップデートを手動で行うことができます。また、自動アップデートを要求することもできます。
- USB フラッシュドライブを使用して、<http://www.hp.com/go/T920/firmware> または <http://www.hp.com/go/T1500/firmware> (プリンタ モデルによって異なります) から USB フラッシュドライブにファームウェアファイルをダウンロードし、それをフロントパネルにある高速 USB ホストポートに挿入します。ファームウェアのアップデートアシスタントがフロントパネルに表示され、アップデート処理手順を説明します。



ソフトウェアをアップデートする

プリンタのプリンタ ドライバおよび他のソフトウェアをアップデートするには、
<http://www.hp.com/go/T920/drivers> または <http://www.hp.com/go/T1500/drivers> を参照してください。

- Windows では、HP Software Update によってソフトウェアのアップデートが定期的に行われます。HP DesignJet Utility が再起動されたときに、自動アップデートが行われることもあります。
- Mac OS X では、Apple SW Update によりソフトウェア アップデート (利用可能な場合) が行われます。

プリンタ保守キット

プリンタには 2 種類の保守キットが用意されており、長期間使用したコンポーネントを交換できます。コンポーネントの交換が必要なときは、フロントパネルにメッセージが表示されるか、HP Utility によってメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたときは、HP サポート ([200 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照) までお問い合わせの上、保守キットを入手してください。キットをインストールできるのは、サービスエンジニアだけです。

安全なファイル消去

プリンタのハード ディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。[安全なファイル消去]では、ハード ディスクから一時ファイルを消去して、権限のないアクセスから保護できます。有効にするとすぐに消去されますが、すでにハード ディスク上にあった古い一時ファイルがさかのぼって消去されることはありません。古いファイルも消去する場合は、[147 ページのディスク拭取り](#)を参照してください。

[安全なファイル消去]機能では、次の 3 つのセキュリティ レベルを設定できます。

- **非セキュア**：情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハード ディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータ システムでファイルが消去される通常の方法です。最も高速ですが、最も安全性が低くなります。
- **セキュア高速消去(1 パス)**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。[非セキュア]よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気的痕迹を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。
- **セキュアサニタイジング消去(5 パス)**：情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュアサニタイジング消去は、米国国防総省の、ディスク メディアの消去およびサニタイジングの要件(5220-22.m)に適合しています。安全なファイル消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティ レベルです。

ファイルの消去中は、プリンタのパフォーマンスに影響が及ぶ可能性があります。

安全なファイル消去は、HP から無料で提供されている Web ベースの印刷管理ソフトウェア Web JetAdmin の機能の 1 つです。<http://www.hp.com/go/webjetadmin> を参照してください。

Web JetAdmin から安全なファイル消去を使用するときに問題が発生した場合は、HP サポートにお問い合わせください。[200 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照してください。

安全なファイル消去の設定は、Web JetAdmin または内蔵 Web サーバから変更できます(**[セットアップ]** > **[セキュリティ]**)。

ディスク拭取り

ディスク拭取りは、安全なファイル消去と同じですが([146 ページの安全なファイル消去](#)を参照)、古い一時ファイルを含むすべての一時ファイルが消去される点が異なります。

ファイル拭取りの設定は、Web JetAdmin または内蔵 Web サーバから変更できます(**[セットアップ]** > **[セキュリティ]**)。

 **注記：** ハードディスク全体を消去すると、処理中に何度かプリンタの再起動を要求される場合があります。この処理は、安全なファイル消去では約 6 時間、セキュアサニタイジング消去では約 24 時間かかります。

16 サプライ品とアクセサリ

- [サプライ品およびアクセサリ](#)
- [アクセサリ](#)

サプライ品およびアクセサリ

サプライおよびアクセサリの注文方法には、以下の2通りの方法があります。

- <http://www.hp.com> にアクセスし、プリンタを選択して、アクセサリ ボタンをクリックします。
- HP サポート ([200 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照) に問い合わせ、必要なものがお住まいの地域で入手可能であることを確認する

以下は、本書の執筆時点でご利用いただけるサプライおよびアクセサリと製品番号のリストです。

インク サプライの注文

このプリンタ対応のインク サプライ品は以下のとおりです。

表 16-1 インクカートリッジ

カートリッジ	製品番号
HP 727 130ml シアン DesignJet インク カートリッジ	B3P19A
HP 727 130ml マゼンタ DesignJet インクカートリッジ	B3P20A
HP 727 130ml イエロー DesignJet インクカートリッジ	B3P21A
HP 727 130ml フォトブラック DesignJet インクカートリッジ	B3P22A
HP 727 130ml グレー DesignJet インクカートリッジ	B3P23A
HP 727 300ml マットブラック DesignJet インクカートリッジ	C1Q12A
HP 727 300ml シアン DesignJet インク カートリッジ	F9J76A
HP 727 300ml マゼンタ DesignJet インクカートリッジ	F9J76A
HP 727 300ml イエロー DesignJet インクカートリッジ	F9J77A
HP 727 300ml マットブラック DesignJet インクカートリッジ	F9J78A
HP 727 300ml フォトブラック DesignJet インクカートリッジ	F9J79A
HP 727 300ml グレー DesignJet インクカートリッジ	F9J80A

表 16-2 プリントヘッド

プリントヘッド	製品番号
HP 727 プリントヘッド	B3P06A

用紙について

プリンタでは、さまざまな用紙を使用できます。プリンタでサポートされる用紙の最新情報については、www.hpmedia.com を確認してください。

アクセサリの注文

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

商品名	製品番号
HP DesignJet PostScript®/PDF のアップグレードキット	C0C66A
HP DesignJet 3 インチ スピンドル アダプタ キット	CN538A
HP DesignJet 36 インチ スピンドル	L4R66A
HP HD Pro 42 インチ スキャナ	G6H51B
HP SD Pro 44 インチ スキャナ	G6H50B

アクセサリ

PostScript アップグレード

PostScript アップグレードを使用すると、T920 または T1500 は、T920 PS または T1500 PS と同じファイルの種類 (PDF ファイルや PostScript ファイルなど) を印刷できます。PostScript アップグレードは、プリンタの USB ホストに接続できます。永続的に接続したままにする必要はありません。一度接続するだけで、プリンタは無期限にアップグレードされます。

スピンドル

追加のスピンドルがあれば、用紙の種類をすばやく変更できます。

3 インチ スピンドル アダプタ キット

このアダプタがあれば、ロール紙の直径がプリンタの仕様内に収まっていれば、3 インチ芯のロール紙を使用することができます。

17 用紙に関するトラブルシューティング

- [用紙が正しく取り付けられない](#)
- [用紙の種類が一覧に含まれていない](#)
- [プリンタが間違った用紙の種類に印刷した](#)
- [「一時停止しています」というメッセージが表示される](#)
- [用紙が印刷プラテンに詰まっている](#)
- [用紙がスタッカに詰まっている](#)
- [プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される](#)
- [印刷物がバスケットにきちんと排出されない](#)
- [印刷が完了した後も印刷物がプリンタに残る](#)
- [カッターで正しくカットされない](#)
- [ロール紙がスピンドルでたるむ](#)

用紙が正しく取り付けられない

- 用紙が取り付けられていないことを確認します。
- 用紙がプリンタの奥まで取り付けられていることを確認します。プリンタに用紙が固定される感触があるはずです。
- 用紙がしわになっている、歪んでいる、または曲がっている可能性があります。

ロール紙の取り付けに失敗する

- 用紙が取り付けられない場合、用紙の先端が曲がっているかまたは汚れており、切り揃える必要があります。ロール紙の先端の 2cm を切り取ってもう一度試してください。新しいロール紙の場合でもこの処理が必要な場合があります。
- スピンドルが正しく挿入されていることを確認します。
- 用紙がスピンドルに正しく取り付けられていて、ロール紙がスタッカに向いていることを確認します。
- ロール紙の端の接続部がすべて取り除かれていることを確認します。
- 用紙がロールにしっかりと巻き取られていることを確認します。
- 位置合わせの処理中は、ロール紙または用紙に触れないでください。
- ロール紙を 2 ロール プリンタに取り付けるときは、閉じるように要求するメッセージがフロントパネルに表示されるまで、ロールカバーを開いたままにする必要があります。
- ロール紙の位置が合っていない場合、フロントパネルにやり直しを指示するエラーメッセージが表示されます。用紙の取り付けをやり直すには、フロントパネルで処理をキャンセルし、ロール紙の端がプリンタから外れるまで、スピンドルの端からロール紙を巻き戻します。

 **注記：** ロール紙が芯の周りでゆるくなっていると、プリンタに用紙を取り付けることができません。

カット紙の取り付けに失敗する

- 抵抗を感じるまでカット紙を押したままにします。プリンタが用紙を引き込み始めてブザーが鳴るまで、カット紙を離さないでください。
- 特に厚手の用紙の場合は、プリンタが最初にカット紙を給紙するときにカット紙の位置を揃えます。
- カット紙がロールカバー (2 ロール プリンタ) または給紙トレイ (1 ロール プリンタ) の基準線に合っていることを確認します。
- フロントパネルに指示が表示されない限り、用紙の取り付けの処理中にカット紙をまっすぐにしなないでください。
- はさみなどを使用して切ったカット紙 (形が不揃いである可能性があります) は使用せず、購入したカット紙のみを使用します。

問題が発生した場合は、フロントパネルディスプレイに表示される指示に従ってください。

用紙の取り付けをやり直す場合は、フロントパネルで処理をキャンセルします。カット紙がプリンタ内にある場合は、スタッカに排出されます。

用紙の取り付けのエラー メッセージ

用紙の取り付けに関連するフロントパネル メッセージと、推奨する処理の一覧を以下に示します。

フロントパネル メッセージ	推奨する処理
用紙の取り付けが完了したらロール カバーを閉じてください	用紙の取り付けが完了したらロール カバーを閉じます。
用紙が検出されませんでした	用紙の取り付け中に、用紙が検出されませんでした。用紙が完全に取り付けられており、透明ではないことを確認します。
用紙の取り付け中にロール カバーが閉じました	フロントパネルに指示が表示されるまで、ロール カバーを閉じないでください。
カット紙が小さすぎます	カット紙の取り付け中に、カット紙の幅が狭すぎるか、長さが短すぎるものが検出されたため、プリンタに取り付けることができません。  を押して、用紙の取り付けを中止します。 203 ページの機能の仕様 を参照してください。

用紙の種類が一覧に含まれていない

ドライバまたはフロントパネルの一覧に表示されない用紙を使用するには、一覧から他のいずれかの用紙を選択することができます。ただし、少なくとも同じ種類の用紙 (透明か半透明か、フォト用紙か普通紙か、コート紙かテクニカル用紙か) を選択してください。

 **注記：** フォト用紙の場合、プリンタがフォト用紙のインクの使用を調整するため、フォト用紙の種類を選択することが重要です。

透明または半透明のフィルム

透明フィルム (例：OHP フィルム) を使用する場合は、用紙の種類に【フィルム】-【クリアフィルム】を選択します。

透明な用紙またはフィルム (例：テクニカル用紙) を使用する場合は、用紙の種類に【フィルム】-【マットフィルム】を選択します。

フォト用紙

フォト用紙を使用する場合は、【フォト用紙】カテゴリを使用します。光沢のある用紙または非常に光沢のある用紙の場合は、用紙の種類として【光沢フォト用紙】を選択します。セミグロス、半光沢、パール、または光沢仕上がりの場合は、用紙の種類として【セミグロス/半光沢フォト用紙】を選択します。

フォト用紙で色域を拡張するには、仕上げに応じて【HP ユニバーサル光沢フォト用紙】または【HP ユニバーサルサテンフォト用紙】を選択します。

普通紙、コート紙、またはテクニカル用紙

一般的な用紙に選択する用紙の種類は、用紙のインク吸収能力によって異なります。

- 薄い用紙 (<90g/m²) (たとえば、普通紙またはインクジェット普通紙) の場合は、用紙の種類として **【普通紙とコート紙】-【普通紙】** を選択します。**【リサイクル普通紙】** を選択することもできます。
- 薄いコート紙 (<110g/m²) を使用する場合は、用紙の種類に、**【普通紙とコート紙】-【HP コート紙】** を選択します。
- 厚手コート紙 (<200g/m²) を使用する場合は、用紙の種類に、**【普通紙とコート紙】-【厚手コート紙】** を選択します。

触ると、黒インクが簡単に落ちる

これは、使用している用紙にマット ブラック インクとの互換性がない場合に起こります。最適化されたインクの組み合わせを使用するには、用紙の種類として **【フォト用紙】-【光沢フォト用紙】** を選択します。

印刷後、用紙がしわになるか、インクが多すぎる

インクの量を減らすか、厚手の用紙を使用します。マット紙のカテゴリを薄いものから順に並べると次のようになります。

- 普通紙
- コート紙
- 厚手コート紙
- プラス スーパー厚手マット紙

 **ヒント**：選択した用紙の種類よりわずかに厚手の用紙を取り付けた場合、取り付けられた用紙に通常使用される量よりインクが少なくなります。

その他の印刷品質の問題については、[162 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。

プリンタが間違った用紙の種類に印刷した

意図した用紙を取り付ける前にジョブが印刷されてしまう場合は、プリンタ ドライバで **【用紙の種類】** に **【任意】** または **【プリンタ設定の使用】** が選択されていることがあります。この場合、プリンタではどのような用紙が取り付けられていても、即座に印刷が実行されます。意図した用紙を取り付け ([48 ページの「用紙の取り扱い」](#) を参照)、ドライバで用紙の種類を具体的に選択します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：**【用紙/品質】** タブを選択し、**【用紙の種類】** リストで用紙の種類を選択します。
- **Mac OS X の【プリント】ダイアログの場合**：**【用紙/品質】** パネルを選択し、**【用紙の種類】** リストで用紙の種類を選択します。

 **注記**：ドライバのデフォルトは、Mac OS では **【任意】** で、Windows では **【プリンタ設定の使用】** です。どちらも結果は同じです。

「一時停止しています」というメッセージが表示される

2 ロールプリンタへのジョブの送信時に設定可能な条件 ([24 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照) の設定に基づいて、取り付けられているどのロール紙がジョブの印刷により適しているかをプリンタが判断します。どの条件にも合致するロール紙がない場合、プリンタはジョブを一時停止させます。手動でジョブを再開すると、当初指定した用紙とは異なる用紙に強制的に印刷できます。それ以外の場合は、一時停止されたままになります。

どのロール紙にジョブが印刷されるかを決定するのにどの基準が使用されますか？

ユーザはジョブの送信時に、必要な用紙の種類をドライバまたは内蔵 Web サーバで設定することができます。プリンタはジョブを、選択した用紙の種類のロール紙、および描画が途切れない十分な大きさのあるロール紙に印刷します。ジョブを印刷できるすべての基準を満たしているロール紙が複数ある場合、設定によってロール紙が選択されます。これらは、フロントパネルから設定できます。[24 ページのロール紙切替オプション \(T1500 シリーズ\)](#)を参照してください。

ジョブはいつ一時停止しますか？

用紙が一致しない場合の動作が **[ジョブを保留にする]** に設定されていると ([24 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照)、ジョブは以下の場合に一時停止します。

- ユーザが選択した用紙の種類が、指定されたロールに (または、ロールが指定されていない場合はどちらのロールにも) 現在取り付けられていない。
- ユーザが選択した用紙の種類が、指定されたロールに取り付けられているが、描画が大きすぎてそのロール紙に (または、ロールが指定されていない場合はどちらのロール紙にも) 収まらない。

新しいロール紙を取り付けた場合、一時停止しているジョブは自動的に印刷されますか？

はい。新しいロール紙が取り付けられるたびに、取り付けられたロール紙で印刷可能なジョブがあるかどうかプリンタによって確認されます。

ジョブを一時停止させたくありません。この動作を防ぐことはできますか？

はい、フロントパネルから行うことができます。[24 ページの用紙が一致しない場合の動作](#)を参照してください。

[用紙が一致しない場合の動作] を [そのまま印刷をする] に設定しましたが、それでもジョブが一時停止するときがあります (Windows ドライバのみ)。

[印刷プレビューの表示] オプションがドライバまたは内蔵 Web サーバで選択されていると、プレビューを確認してジョブを再開するまでジョブは一時停止します。**[印刷プレビューの表示]** オプションのチェックボックスがドライバでオンになっていないこと、および確認待ちになっている保留中のプレビューウィンドウがないことを確認して、印刷を続行してください。

ジョブの幅はプリンタに取り付けられているロール紙の幅とまったく同じですが、それでもジョブが一時停止します。

マージンを管理する方法はファイルの種類によりさまざまです。

- HP-GL/2 および HP RTL ファイルの場合、デフォルトでは、マージンは描画の内側に含まれます。したがって、914mm の HP-GL/2 および HP RTL ファイルは 914mm のロール紙で印刷でき、一時停止しません。
- ただし、PostScript、PDF、TIFF、または JPEG などその他のファイル形式の場合、描画の外側にマージンを追加する必要があるとプリンタによってみなされます (通常、これらのファイル形式は写真やその他のマージンを含まないイメージで使用されます)。これは、914 mm の TIFF を印刷するには、プリンタがマージンを追加する必要があり、描画を印刷するには 925 mm の用紙が必要であることを意味します。このため、プリンタに取り付けられている用紙の幅が 914 mm しかない場合、ジョブが保留になる可能性があります。

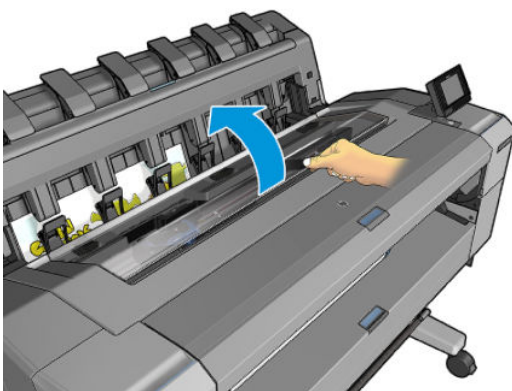
描画の外側にマージンを余分に追加しないでこれらのファイル形式を印刷する場合、**【内容をマージンでクリップ】**オプションが使用できます。このオプションによって、マージンは描画の内側に設定されます。したがって、914mm の TIFF は 914mm のロール紙に一時停止することなく印刷できます。ただし、描画の境界線に余白が含まれていない場合、マージンによって内容の一部が印刷されない可能性があります。

 **注記：** **【完全に同じサイズ】**オプションを選択した場合、ジョブの幅と完全に一致する幅の用紙にのみジョブが印刷されます。

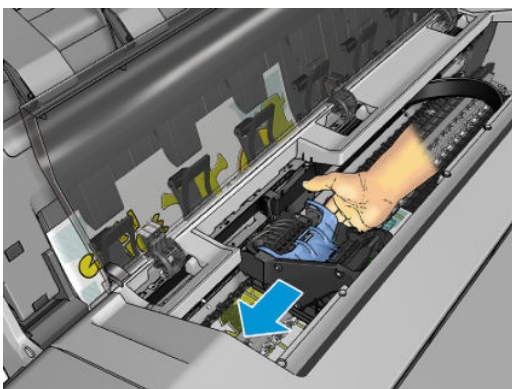
用紙が印刷プラテンに詰まっている

紙詰まりが発生した場合、通常は「紙づまりの可能性あります」というメッセージがフロントパネルディスプレイに表示され、システムエラー 81:01 または 86:01 が表示されます。

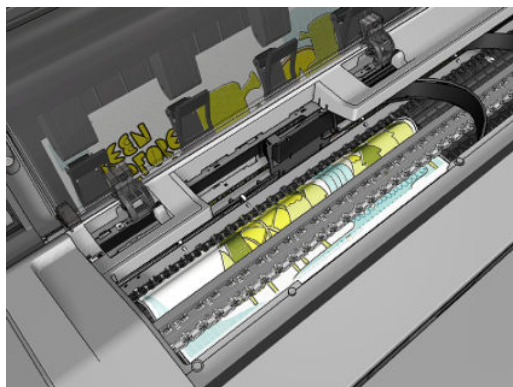
1. ウィンドウを開きます。



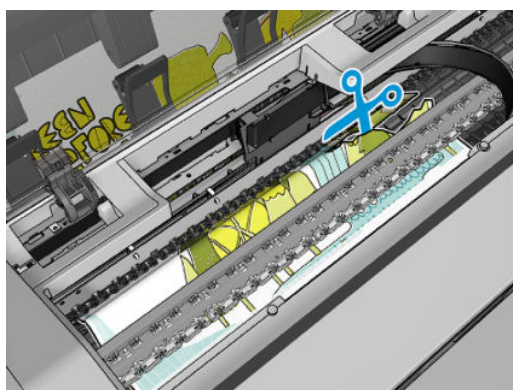
2. 可能な場合は、キャリッジをプリンタの左側に手動で移動します。



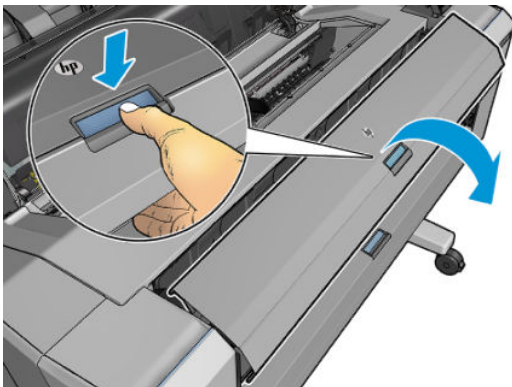
3. 用紙経路を確認します。



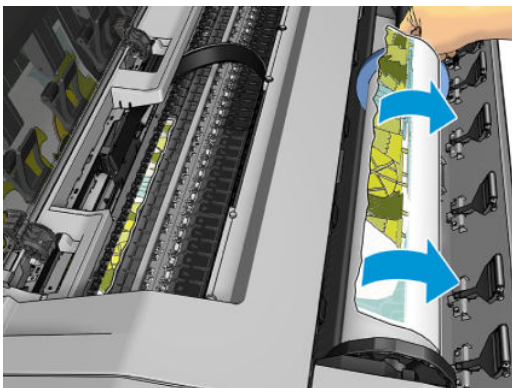
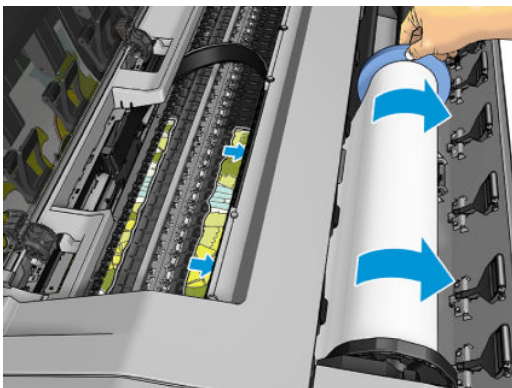
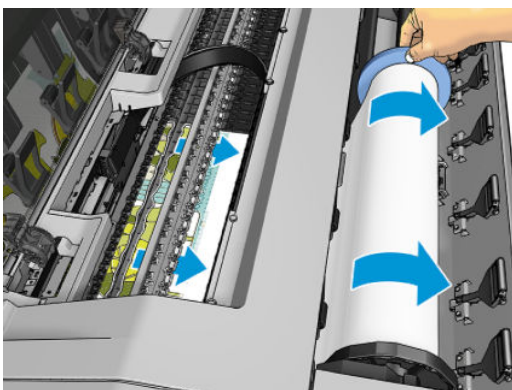
4. はさみで用紙を切り取ります。



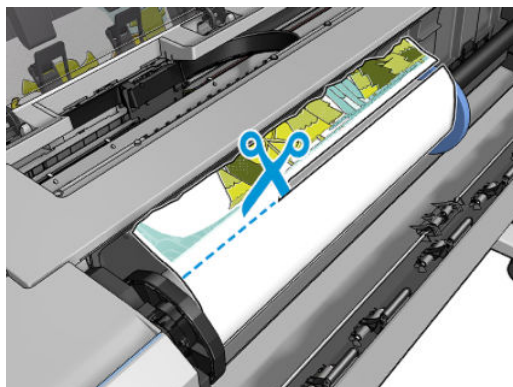
5. ロールカバーを開きます。



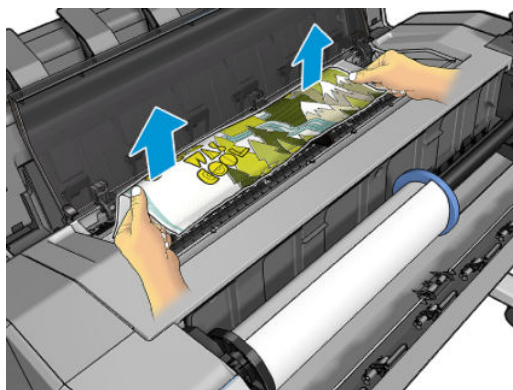
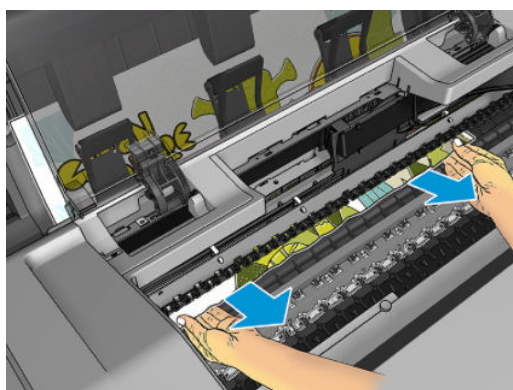
6. 用紙を手動でロールに巻き戻します。



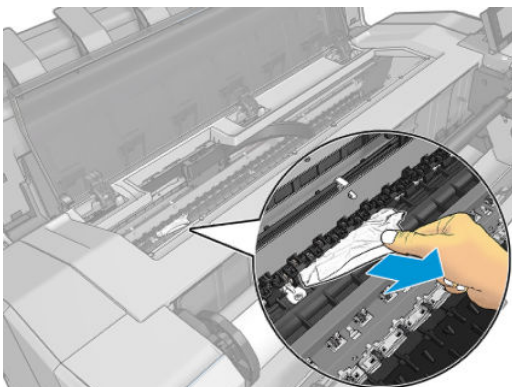
7. 用紙の先端がぼろぼろになっている場合は、はさみで丁寧に整えます。



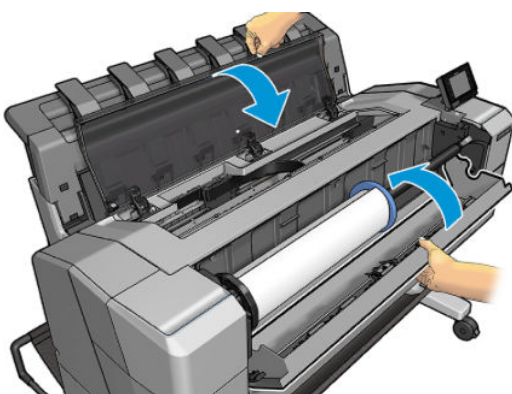
8. プリンタに残っている用紙を取り除きます。



9. 用紙の断片がすべて取り除かれたことを確認します。



10. ウィンドウとロールカバーを閉じます。



11. 電源ボタンを数秒間押したままにするか、背面の電源スイッチをオフにしてからオンにしてプリンタを再起動します。
12. ロール紙を取り付け直すか、新しいカット紙を取り付けます (48 ページの「[用紙の取り扱い](#)」を参照)。

 **注記：** プリンタ内に障害の原因となる用紙がまだ残っている場合は、作業をやり直し、用紙の切れ端すべてを慎重に取り除きます。

用紙がスタッカに詰まっている

スタッカの紙詰まりが検出されると、印刷が一時停止し、フロントパネルにスタッカカバーを開いて、用紙を引き出すことで紙詰まりを取り除くように勧めるメッセージが表示されます。

スタッカカバーを閉じたときに、紙詰まりが検出されない場合、印刷を続行するかどうかの確認を求めるメッセージがフロントパネルに表示されます。

プリンタに用紙があるときに用紙切れと表示される

ロール紙が芯の周りでゆるくなっている場合、プリンタで正しく給紙されず、用紙が取り付けられません。可能であれば、用紙を芯にしっかりと巻きつけるか、新しいロール紙を取り付けます。

印刷物がバスケットにきちんと排出されない

- ネットワーク ケーブルと電源ケーブルが邪魔になっていないことを確認します。
- バスケットが正しく取り付けられていることを確認します。
- バスケットが開いていることを確認します。
- バスケットが満杯になっていないことを確認します。
- 用紙が詰まっていないことを確認します。
- 用紙は最後の部分でカールすることが多いため、出力の問題が発生します。新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。

「続行するには、バスケットから用紙を取り出して[OK]を押してください」というメッセージが表示された場合、バスケットを空にし、バスケットへの経路に用紙がないことを確認して[OK]を押します。問題が解決されたかどうかプリンタにより確認されます。

印刷が完了した後も印刷物がプリンタに残る

印刷物を乾かすため、カット紙は印刷後プリンタに保持されます ([63 ページの乾燥時間を変更する](#)を参照)。乾燥時間が過ぎても用紙の一部分しか排出されない場合、用紙をゆっくりとプリンタから引き出します。

カッターで正しくカットされない

デフォルトでは、プリンタはジョブごとに用紙を自動的にカットするよう設定されています。

カッターの使用がオンになっていても正しくカットされない場合は、カッター レールに汚れや障害物がないことを確認します。

ロール紙がスピンドルでたるむ

ロール紙を交換するか、取り付け直す必要があります。

18 印刷品質に関するトラブルシューティング

- [一般的なヒント](#)
- [印刷品質のトラブルシューティングウィザード](#)
- [用紙送りのキャリブレーションを行う](#)
- [イメージに横線 \(バンディング\) が見られる](#)
- [描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない](#)
- [線画が段状またはギザギザに表示される](#)
- [線画が二重または間違った色で印刷される](#)
- [線が不連続になる](#)
- [線がぼやけている](#)
- [線の長さが不正確](#)
- [イメージ全体がぼやけているかざらついている](#)
- [用紙が平らになっていない](#)
- [印刷が擦り切れる、または傷がつく](#)
- [用紙にインクが残る](#)
- [印刷部に触れると黒インクが擦れる](#)
- [オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない](#)
- [オブジェクトの端が予期したよりも暗い](#)
- [カット紙の端に横線が印刷される](#)
- [異なる色の縦線が印刷される](#)
- [印刷物に白色の点がある](#)
- [色が正確に再現されない](#)
- [カラーの色あせ](#)
- [イメージが不完全 \(下部の一部が印刷されない\)](#)

- [イメージの一部が印刷されない](#)
- [一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない](#)
- [PDF ファイルの一部やオブジェクトが印刷されない](#)
- [イメージ診断の印刷](#)
- [問題が解決されない場合](#)

一般的なヒント

印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP 純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する用紙についての詳細は、[149 ページの用紙について](#)を参照してください。
- フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください([61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照)。同時に、使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認します。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認します。

⚠ **注意：**誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。

- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します([67 ページの「印刷時」](#)を参照)。印刷品質の低下が起こりやすいのは、[印刷品質]のスライダを[速度]の端に移動させるか、またはカスタムの印刷品質レベルを【高速】に設定した場合です。
- 環境状況(温度、湿度)が推奨する範囲内にあることを確認します。[206 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
- インクカートリッジおよびプリントヘッドが使用期限を超過していないことを確認します。[143 ページのインクカートリッジをメンテナンスする](#)を参照してください。

最新情報については、<http://www.hp.com/go/T920/support> または <http://www.hp.com/go/T1500/support> を参照してください。

印刷品質のトラブルシューティング ウィザード

印刷品質のトラブルシューティング ウィザードは、以下の問題の解決に役立ちます。

- イメージに横線(バンディング)が見られる
- イメージ全体がぼやけているかざらついている
- 描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない
- 色が正確に再現されない

ウィザードを起動するには、以下の手順に従います。

- **HP DesignJet Utility (Windows) から：** [サポート] タブに移動し、[印刷品質ツールボックス] を選択します。
- **HP Utility (Mac OS X) から：** [サポート] グループの [印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。
- **埋め込み Web サーバから：** [サポート] タブに移動し、[印刷品質のトラブルシューティング] を選択します。
- **フロントパネルで**  を押し、次に  を押して、[イメージ品質の保守] を選択します。

ウィザードを使用しない場合や、印刷品質に関する他の問題が発生している場合は、引き続きこの章をお読みください。

用紙送りのキャリブレーションを行う

正確な拡張精度は、用紙に対して適切にドットを配置するための制御要素の一つであるため、優れたイメージ品質を得るのに重要です。プリントヘッドが通過する間に用紙が適当な距離で送られない場合、明るいまたは暗い帯が印刷に現われ、イメージの粒状感が増える場合があります。

プリンタは、フロントパネルに表示されるすべての用紙で用紙が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている用紙の種類を選択すると、印刷中に用紙を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、用紙のデフォルトのキャリブレーションに満足できない場合、用紙を送る間隔を再度キャリブレーションする必要があります。拡張精度のキャリブレーションによって問題が解決できるかどうかを判断する手順については、[162 ページの「印刷品質に関するトラブルシューティング」](#)を参照してください。

現在取り付けられている用紙の拡張精度キャリブレーションステータスは、フロントパネルからいつでも確認できます。 を押し、次に  を押して、**[画像品質のメンテナンス]-[キャリブレーションステータス]** を押します。ステータスは以下のいずれかになります。

- **デフォルト**：キャリブレーションが実行されていない用紙が取り付けられた場合に、このステータス画面が表示されます。フロントパネルに表示される HP 用紙はデフォルトで最適化されているため、印刷したイメージにバンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生していない限り、再度、拡張精度のキャリブレーションをすることは推奨しません。
- **OK**：このステータスは、取り付けた用紙に対するキャリブレーションがこれまでに実行されたことがあることを示します。ただし、バンディングや粒状感などイメージ品質の問題が発生しているときは、キャリブレーションを再度実行する必要があります。

 **注記**：プリンタのファームウェアを更新した場合は、拡張精度キャリブレーション値は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます ([144 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照)。

 **注意**：透明紙やフィルムは、 を押し、次に  を押して、**[画像品質のメンテナンス]-[拡張精度キャリブレーション]-[拡張精度の調整]** で、下記手順 4 の拡張精度のキャリブレーションを再度行う必要があります。

拡張精度のキャリブレーションを再度行う

1. フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**[画像品質のメンテナンス]-[拡張精度キャリブレーション]-[拡張精度のキャリブレーション]** を押します。プリンタにより自動的に拡張

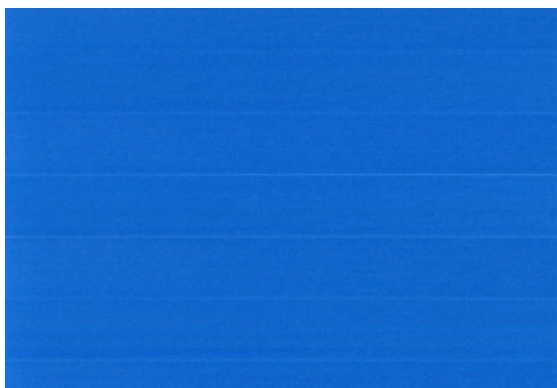
張精度のキャリブレーションが再度行われ、拡張精度のキャリブレーションイメージが印刷されます。

2. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

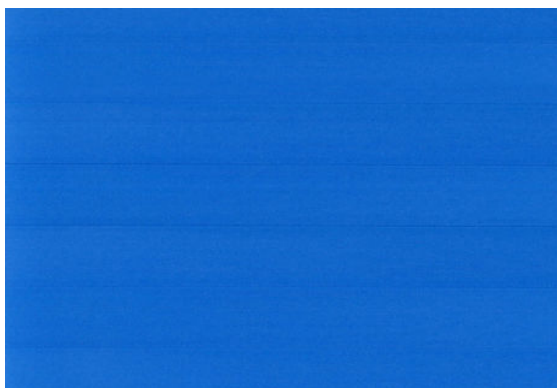
 **注記**：再キャリブレーションの処理には、約3分間かかります。拡張精度のキャリブレーションイメージの印刷結果は気にする必要はありません。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

満足できる印刷結果が得られた場合、用紙の種類に合わせて引き続きこのキャリブレーションを使用します。印刷品質に改善が見られる場合、手順3に進みます。満足できる再キャリブレーションの結果が得られない場合は、デフォルトのキャリブレーションに戻します ([167 ページのデフォルトのキャリブレーションに戻す](#)を参照)。

3. キャリブレーションを微調整したり、透明紙を使用している場合は、 を押し、次に  を押して、[画像品質のメンテナンス]-[拡張精度キャリブレーション]-[拡張精度の調整]を選択します。
4. -100% ~ +100%の間で選択します。明るいバンディングを修正する場合は、パーセントを小さくします。



暗いバンディングを修正する場合は、パーセントを大きくします。



5. フロントパネルの【OK】ボタンを押して値を保存します。
6. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度印刷します。

デフォルトのキャリブレーションに戻る

デフォルトのキャリブレーションに戻すと、拡張精度のキャリブレーションで行ったすべての補正が0に設定されます。デフォルトの拡張精度のキャリブレーション値に戻す場合は、キャリブレーションをリセットする必要があります。

1. フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**【画像品質のメンテナンス】-【拡張精度キャリブレーション】-【拡張精度のリセット】**を選択します。
2. フロントパネルに作業が正常に終了したことが表示されるまで待ちます。

イメージに横線 (バンディング) が見られる

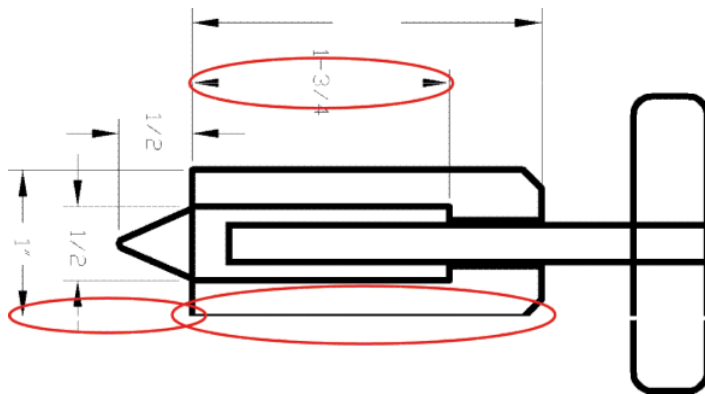
以下のように、印刷イメージに横線が現れる場合 (色は異なる場合があります) は、下の手順に従います。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。 [61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([67 ページの「印刷時」](#)を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、**【印刷品質】**のスライダを**【速度】**に設定している場合は、**【品質】**に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
3. **【イメージ診断の印刷】**を印刷します。 [178 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
4. プリントヘッドが正しく機能している場合は、フロントパネルで  を押して  を押し、**【画像品質のメンテナンス】-【キャリブレーションステータス】**を選択して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが**【デフォルト】**の場合、拡張精度のキャリブレーションを実行します。 [165 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

描画/テキストが太すぎるか細すぎる、または印刷されない

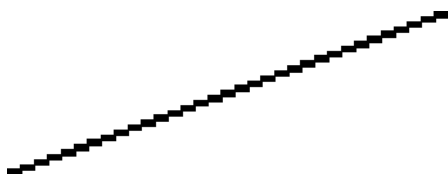


1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します ([67 ページの「印刷時」](#)を参照)。ドライバのダイアログでカスタム印刷の品質オプション (使用できる場合) を選択し、**【高精細】**オプションをオンにします。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
3. イメージの解像度が印刷解像度よりも高い場合、線品質が低下する場合があります。Windows で PCL3GUI または HP-GL/2 ドライバを使用している場合、**【アプリケーションの最大解像度】**オプションは、Windows ドライバダイアログの **【詳細設定】** タブで、**【ドキュメントのオプション】**-**【プリンタの機能】**の下に表示されます。このオプションを変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. 線画が細すぎる、または印刷されない場合は、**【イメージ診断の印刷】**を印刷します。[178 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
5. 問題が解決しない場合は、フロントパネルで  を押し、 を押し、**【画像品質のメンテナンス】**-**【キャリブレーションステータス】**を選択してプリントヘッドの軸合わせのステータスを確認します。ステータスが**【ペンディング】**になっている場合、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。[184 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
6. フロントパネルで  を押し、 を押し、**【画像品質のメンテナンス】**-**【キャリブレーションステータス】**を選択して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが**【デフォルト】**になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。[165 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

線画が段状またはギザギザに表示される

印刷時にイメージの線が段状になる場合、またはギザギザになる場合は、以下の手順に従ってください。

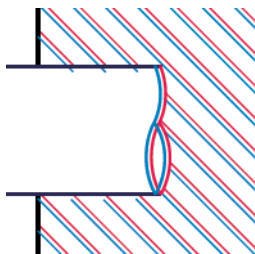


1. イメージ自体に問題がある場合もあります。イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させます。
2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[67 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
3. ドライバのダイアログでカスタム印刷の品質オプション (使用できる場合) を選択し、**【高精細】**オプションをオンにします。

線画が二重または間違った色で印刷される

この問題では、以下のようなさまざまな症状が現れる場合があります。

- 色付きの線画が別の色で二重に印刷される。



- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。



この問題を修正するには、以下の手順に従います。

1. プリントヘッドを取り外し、再度取り付けます。[134 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[137 ページのプリントヘッドを挿入する](#)を参照してください。
2. プリントヘッドを調整します。[184 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線が不連続になる

以下の図のように、線が不連続になる場合は、以下の手順に従います。



1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。[67 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
2. プリントヘッドを取り外し、再度取り付けます。[134 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[137 ページのプリントヘッドを挿入する](#)を参照してください。
3. プリントヘッドを調整します。[184 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線がぼやけている



湿度は、インクのにじみや線がぼやけて不鮮明になる原因となります。以下の操作を行います

1. 環境状況 (温度、湿度) が高品質の印刷に適しているかどうかを確認します。[206 ページの動作環境の仕様](#)を参照してください。
2. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうかを確認します。[61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
3. HP 厚手コート紙または HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
4. 取り付けた用紙よりわずかに薄い用紙の種類を選択します。これにより、プリンタが使用するインクの量が減ります。用紙の種類を薄い順に並べると、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。
5. フォト用紙を使用している場合は、別の種類のフォト用紙に変更してみてください。
6. プリントヘッドを調整します。[184 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。

線の長さが不正確

印刷した線の長さを測定して、長さが正確でなかった場合は、次の方法で長さの正確さを向上できる場合があります。

1. HP マットフィルムに印刷します。この場合、プリンタで印刷する線の長さの精度を指定できません。[203 ページの機能の仕様](#)を参照してください。

ポリエステルフィルムは、大きさの精度が通常の用紙よりも約 10 倍ほど安定しています。ただし、HP マットフィルムより厚いフィルムや、薄いフィルムでは、線の長さの正確さが低下します。
2. [印刷品質] のスライダを **【品質】** に合わせます。
3. 室温を常に 10 ~ 30°C (50 ~ 86°F) に保ちます。
4. フィルムのロールを取り付け、5 分以上経ってから印刷を行います。
5. それでも満足のいく結果が得られなかった場合は、拡張精度のキャリブレーションをやり直してください。[165 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

イメージ全体がぼやけているかざらついている



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください ([67 ページの「印刷時」](#)を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質] のスライダを **【速度】** に設定している場合は、**【品質】** に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. フロントパネルで  を押して  を押し、**【画像品質のメンテナンス】**-**【キャリブレーションステータス】**を選択してプリントヘッドの軸合わせのステータスを確認します。ステータスが **【ペンディング】** になっている場合、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。[184 ページのプリントヘッドの軸合わせ](#)を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
5. フロントパネルで  を押して  を押し、**【画像品質のメンテナンス】**-**【キャリブレーションステータス】**を選択して拡張精度のキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが **【デフォルト】** になっている場合は拡張精度のキャリブレーションを実行します。[165 ページの用紙送りのキャリブレーションを行う](#)を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

用紙が平らになっていない

プリンタから排紙されるときに、用紙が浅く波打って平らになっていない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が起こることがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い用紙を使用した場合に発生することがあります。



1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. HP 厚手コート紙または HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
3. 取り付けた用紙よりわずかに薄い用紙の種類を選択します。これにより、プリンタが使用するインクの量が減ります。用紙の種類を薄い順に並べると、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。
4. 横方向にすじが付いた場合、同じジョブを回転して印刷してみてください。こうすると、すじが見えにくくなる場合があります。

印刷が擦り切れる、または傷がつく

黒の顔料は、指やペンなどで触れると、擦り切れたり傷がついたりします。これは特に、コート紙の場合にみられます。

使用するインク量や印刷時の環境状況により、フォト用紙はバスケットやその他の印刷直後に触れるものに対して非常に敏感な場合があります。

擦り切れや傷のリスクを減らすには、以下のことに従います。

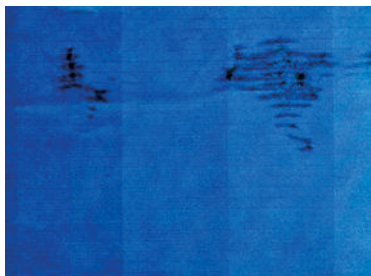
- 印刷物を慎重に取り扱ってください。
- 印刷された用紙がカットされたらすぐに取り出し、バスケットに入らないようにします。または、別のカット紙をバスケットに入れたままにしておき、新たに印刷されたカット紙がバスケットに直接触れないようにします。

用紙にインクが残る

この問題は、いくつかの原因によって発生します。

コート紙の表面に水平方向の汚れがある

普通紙およびコート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れます。この問題は、通常、カットされた紙でのみ発生します（ロール紙では発生しません）。



この問題に気付いたら、直ちに印刷ジョブをキャンセルしてください。❌を押して、コンピュータアプリケーションのジョブをキャンセルします。インクが付着した用紙によってプリントヘッドが破損することがあります。

この問題を解決するには、以下の推奨方法を実行します。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
2. 推奨する用紙の種類 ([149 ページの用紙について](#)を参照) および正しい印刷設定を使用します。
3. カット紙を使用している場合、用紙を 90 度回転させます。用紙の繊維方向が品質に影響します。
4. HP 厚手コート紙または HP プラス スーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
5. 取り付けた用紙よりわずかに薄い用紙の種類を選択します。これにより、プリンタが使用するインクの量が減ります。用紙の種類を薄い順に並べると、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。
6. ソフトウェアアプリケーションを使用してイメージをページの中央に移動させ、マージン設定を広くしてみてください。

用紙の裏にインクが付着する

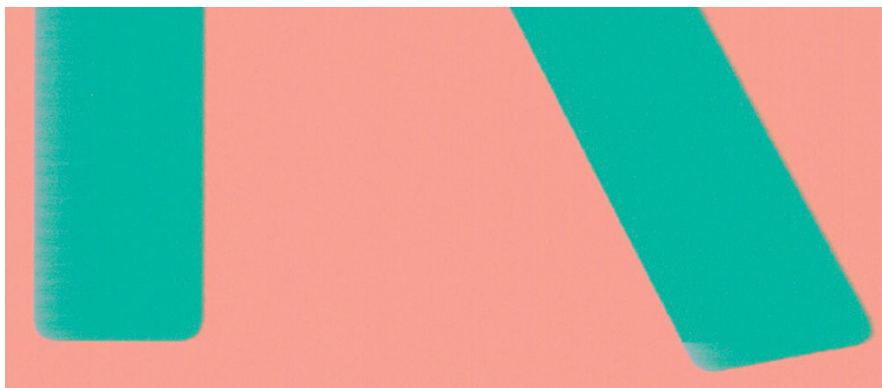
これは、特に標準ではない用紙サイズでフチ無し印刷を大量に行った後に発生する可能性があります。プラテンに残ったインクが用紙の裏に付着する場合があります。

柔らかい布でプラテンのクリーニングを行います。リブの間の発泡体に触れずにそれぞれのリブのクリーニングを行います。

印刷部に触れると黒インクが擦れる

問題の原因として、フォト用紙にマットブラック インクで印刷したことが考えられます。このプリンタでは、用紙にマットブラック インクが乗らないことがわかると、マットブラック インクは使用されません。マットブラック インクを使用しないようにするには、用紙の種類で（フォト用紙カテゴリにある）光沢フォト用紙を選択します。

オブジェクトの端が段状になっているかまたは鮮明ではない



オブジェクトや線画の端がぼやけている、濃度が明るい、および【印刷品質】のスライダをドライバのダイアログで既に【品質】に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、品質レベルを標準に設定してみてください。[67 ページの「印刷時」](#)を参照してください。

オブジェクトの端が予期したよりも暗い



オブジェクトの端が予期したよりも暗く、【印刷品質】のスライダをドライバのダイアログで既に【品質】に設定している場合は、カスタムの印刷品質オプションを選択し、品質レベルを標準に設定してみてください。[67 ページの「印刷時」](#)を参照してください。

カット紙の端に横線が印刷される

用紙の端から約 30mm 以内の、印刷の最後の部分にのみ不具合が発生することがあります。極細の横線が印刷物に少し見られる場合があります。

この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. [イメージ診断の印刷] を印刷します。[178 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。
2. ロール紙で印刷します。
3. イメージの周囲のマージンを大きくします。

異なる色の縦線が印刷される

印刷の周囲に異なる色の縦線が帯状に表示される場合は、以下の手順に従います。

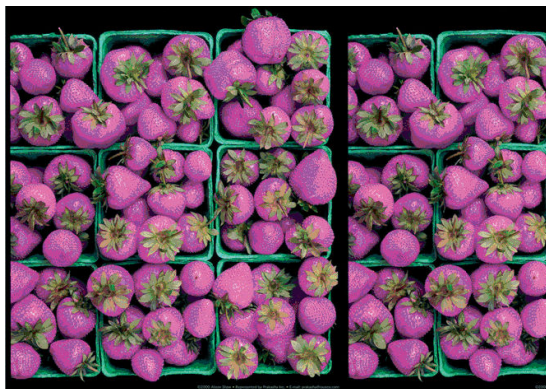
1. HP 厚手コート紙や HP スーパー厚手コート紙など、推奨する用紙の種類から厚手の用紙を選択して使用します。[149 ページの用紙について](#)を参照してください。
2. 印刷品質のレベルを上げて使用します ([67 ページの「印刷時」](#)を参照)。たとえば、[印刷品質]のスライダを **[速度]** に設定している場合は、**[品質]** に設定します。

印刷物に白色の点がある

印刷に白色の点が見られる場合があります。これはおそらく、用紙の繊維やほこりによるものか、用紙のコーティングが落ちやすいことが原因です。この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. 印刷前にブラシを使用して用紙を手動でクリーニングし、繊維や紙粉を取り除きます。
2. プリンタのカバーは常に閉じておきます。
3. ロール紙やカット紙は、袋または箱に保存して保護します。

色が正確に再現されない



印刷物の色が予期したものとは一致しない場合、以下の方法を試してください。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。[61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。さらに、を押して  を押し、**[画像品質のメンテナンス]**-**[キャリブレーションステータス]**を選択してカラーキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが**[ペンディング]**または**[失効]**の場合、カラーキャリブレーションを実行する必要があります。[97 ページのカラーキャリブレーション](#)を参照してください。変更を加えて問題が解決した場合、ジョブを再印刷する必要があります。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください ([67 ページの「印刷時」](#)を参照)。**[速度]**または**[高速]**オプションを選択した場合、最も正確な色が得られない場合があります。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. アプリケーションカラーマネジメントを使用している場合、選択した用紙の種類および印刷品質設定に合ったカラープロファイルを使用しているかどうか確認してください。使用するカラー設定が不明の場合、[96 ページの「カラーマネジメント」](#)を参照してください。

5. 問題が印刷物とモニタ間でのカラーの差異による場合、HP Color Center の「ディスプレイのキャリブレーション方法」セクションの手順に従ってください。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
6. [イメージ診断の印刷] を印刷します。 [178 ページのイメージ診断の印刷](#) を参照してください。
7. 必要なカラーを生成するカラー調整オプションを使用します。 [100 ページのカラー調整オプション](#) を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

ページレイアウトアプリケーションで EPS または PDF イメージを使用した場合のカラー精度

Adobe InDesign や QuarkXPress などのページレイアウトアプリケーションは EPS、PDF、またはグレースケールファイルのカラーマネジメントをサポートしません。

このようなファイルを使用する必要がある場合は、Adobe InDesign または QuarkXPress で使用するのと同じカラースペースに、EPS、PDF、またはグレースケールイメージがすでにあることを確認します。たとえば、最終的な目的がジョブを SWOP 規格に準拠した印刷機で印刷することである場合、ジョブの作成時にイメージを SWOP に変換します。

カラーの色あせ

速乾性フォト用紙に印刷した場合は、短期間で色あせします。2 週間以上用紙を保存する場合には、ラミネート加工しておけば色あせを防ぐことができます。

膨張しやすいコート紙に印刷した場合は、色あせしにくくなります。ただし、用紙の種類にかかわらず、ラミネート加工しておけば色あせを防ぐことができます (色あせしやすさはラミネートの種類によって異なります)。詳しくは、ラミネートの業者にお問い合わせください。

イメージが不完全 (下部の一部が印刷されない)

- プリンタがすべてのデータを受信する前に、 を押した可能性があります。その場合は、データの転送が終了しているため、ページを再度印刷する必要があります。
- コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある可能性があります。ネットワークケーブルを確認します。
- ソフトウェアの設定が、現在使用しているページサイズ (長尺印刷など) に対して正しいかどうかを確認してください。
- ネットワークソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうかを確認してください。

イメージの一部が印刷されない

イメージの欠落は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで認識されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。多くの場合、印刷をプレビューすることにより、この問題を印刷前に確認することができます ([76 ページの印刷をプレビューする](#) を参照)。

- 取り付けられた用紙サイズの実際の印刷可能領域を確認します。

印刷可能領域 = 用紙サイズ - マージン

- ソフトウェアが認識する印刷可能な領域（「印刷領域」または「印刷可能領域」とも呼ばれます）を確認します。たとえば、ソフトウェアアプリケーションによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- マージンがきわめて狭いカスタム ページを定義した場合、プリンタ自体により最小マージンが上書きされ、イメージが少し途切れる場合があります。より大きい用紙サイズを使用するか、フチ無し印刷を検討してください（[74 ページのマージン オプションを選択する](#)を参照）。
- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、**[内容をマージンでクリップ]**を使用することによって正常に印刷できることがあります（[74 ページのマージン オプションを選択する](#)を参照）。
- ロール紙を使用して長いイメージを印刷する場合、ソフトウェアがそのサイズのイメージに対応しているかどうかを確認してください。
- 用紙サイズの幅が足りない場合、用紙の向きを縦から横に変更するように要求されることがあります。
- 必要に応じて、ソフトウェアアプリケーションでイメージやドキュメントのサイズを小さくして、マージン間にぴったり収まるようにします。

イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAW などのアプリケーションは、16 ビットの内部座標系を使用するため、32,768 ピクセルを超えるイメージを処理できません。

 **注記：**ドライバで[高品質]または[品質]を選択した場合、32,768 ピクセルの長さの画像は 1.39m となり、[高速]、[標準]、または[速度]を選択した場合、2.78m となります。

これらのアプリケーションから、これより大きいイメージを印刷すると、イメージの下部がクリップされる可能性があります。イメージ全体を印刷するには、以下の推奨方法を実行します。

- PostScript プリンタ ドライバでジョブを印刷したことがない場合は、それを試してみます。
- Windows の HP-GL/2 ドライバのダイアログには、**[アプリケーションの最大解像度]**というオプションがあり、このような状況で正しく印刷することができます。デフォルトの設定は**[自動]**で、通常は変更する必要はありません。ただし、このオプションは、**[詳細設定]**タブで**[ドキュメントのオプション]-[プリンタの機能]**の下に表示されます。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。
- RIP を使用してファイルを印刷します。

一部のオブジェクトがイメージ内に印刷されない

高品質で大判の印刷ジョブを印刷するには大量のデータが必要になるため、特定のワークフローでは、一部のオブジェクトが出力されなくなる問題が発生することがあります。この問題を防ぐための推奨方法は、次のとおりです。

- PostScript プリンタ ドライバでジョブを印刷したことがない場合は、それを試してみます。
- ドライバまたはフロントパネルで、希望する最終ページサイズに応じてより小さいページサイズを選択します。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のアプリケーションで開きます。

- RIP を使用してファイルを印刷します。
- お使いのアプリケーションでビットマップ イメージの解像度を下げます。
- 印刷されるイメージの解像度を下げるために、より低い印刷品質を選択します。

 **注記：** Mac OS X 上で作業している場合は、上記のどのオプションも使用できません。

上記のオプションはトラブルシューティングのために提案されているものであり、最終的な出力品質や、プリント ジョブを生成するために必要な時間に影響する場合があります。したがって、上記の設定でも問題を解決できなかった場合は、オプションを無効にしてください。

PDF ファイルの一部やオブジェクトが印刷されない

古いバージョンの Adobe Acrobat や Adobe Reader では、HP-GL/2 ドライバを使用して高解像度で印刷すると、大判の PDF ファイルの一部が印刷されなかったり、オブジェクトが印刷されない場合があります。このような問題を解決するために、Adobe Acrobat または Adobe Reader ソフトウェアを最新バージョンにアップデートします。これらの問題は、バージョン 7 以降では解決されています。

イメージ診断の印刷

イメージ診断の印刷では、プリントヘッドの信頼性の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。プリントヘッドのパフォーマンスを確認し、目詰まりや他の問題の影響を受けているかどうかを確認することができます。

「イメージ診断の印刷」を印刷するには、以下の手順を実行します。

1. 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. 選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。[61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
3. プリンタのフロントパネルで、 を押し、次に  を押して、**[画像品質のメンテナンス]-[診断画像を印刷]** を選択します。

「イメージ診断の印刷」の印刷には 2 分ほどかかります。

印刷は 2 つの部分に分かれており、両方でプリントヘッドのパフォーマンスがテストされます。

- パート 1 (上部) は純粋なカラーの長方形から構成され、それぞれのカラーは各インクに対応しています。このパートは、各カラーから得られる印刷品質を表しています。
- パート 2 (下部) は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。このパートはパート 1 を補完するものであり、特に、各プリントヘッドの問題のあるノズルの個数を検出することを目的としています。

印刷を注意深く確認してください。カラーの名前が長方形の上と破線パターンの左に表示されます。



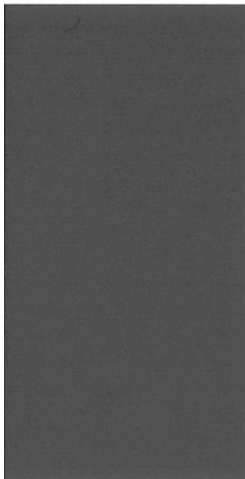
最初に印刷の上部を見てください(パート1)。各カラーの長方形の色は、水平の線がなく均一である必要があります。

次に、印刷の下部を見てください(パート2)。各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

パート1に水平の線が表示されていて、パート2で同じ色の破線の一部が印刷されていない場合は、関連するカラーグループを選択してプリントヘッドをクリーニングする必要があります。ただし、長方形が塗りつぶされている場合は、パート2の破線の一部が印刷されなくても気にする必要はありません。ノズルが多少目詰まりを起こしてもプリンタで補正されるため、問題はありません。

以下は、良い状態のグレーのプリントヘッドの印刷例です。

G



以下は、悪い状態の同じプリントヘッドの印刷例です。

G



解決のための処置

1. 必要な場合は、プリントヘッドをクリーニングします ([184 ページのプリントヘッドをクリーニングする](#)を参照)。次に、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてから、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを手動でクリーニングしてみてください ([184 ページのプリントヘッドをクリーニングする](#)を参照)。印刷がうまくいく場合は、現在の印刷ジョブを再印刷することもできます。
4. 問題がまだ解決しない場合は、プリントヘッドを交換するか ([129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」](#)を参照)、HP サポートにお問い合わせください ([200 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照)。

問題が解決されない場合

この章のヒントを適用しても印刷品質の問題が解決しない場合は、次のいずれかを実行してください。

- 印刷品質オプションのレベルを上げます。[67 ページの「印刷時」](#)を参照してください。
- 印刷に使用しているドライバを確認します。HP 製以外のドライバをご使用の場合、ドライバベンダーにお問い合わせの上、問題についてご確認ください。可能であれば、適切な HP ドライバを試します。最新の HP ドライバは <http://www.hp.com/go/T920/drivers> または <http://www.hp.com/go/T1500/drivers> からダウンロードできます。
- HP 製以外の RIP を使用している場合、RIP の設定が正しくない可能性があります。RIP に収録されているマニュアルを参照してください。
- プリンタのファームウェアが最新のものであるかどうかを確認します。[144 ページのファームウェアをアップデートする](#)を参照してください。
- ソフトウェアアプリケーションの設定が正しいかどうかを確認します。

19 インクカートリッジとプリントヘッドに関するトラブルシューティング

- [インクカートリッジを挿入できない](#)
- [インクカートリッジのステータス メッセージ](#)
- [プリントヘッドを取り付けられない](#)
- [フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される](#)
- [プリントヘッドをクリーニングする](#)
- [プリントヘッドの軸合わせ](#)
- [プリントヘッドのステータス メッセージ](#)

インクカートリッジを挿入できない

1. 正しいカートリッジ(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか、カートリッジのラベルを示す文字や文字列の右側が上になっていて読み取れるかどうかを確認します。

⚠ **注意** : インクカートリッジスロットの内部はクリーニングしないでください。

インクカートリッジのステータス メッセージ

表示されるインクカートリッジのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **OK** : カートリッジは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です** : カートリッジがまったく取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **低** : インク残量が少なくなっています。
- **残量が僅かです** : インク残量がとても少なくなっています。
- **インクがありません** : インクがありません。
- **再度取付けて下さい** : カートリッジを一旦取り外してから、再度取り付けてください。
- **交換して下さい** : 新しいカートリッジと交換することをお勧めします。
- **使用期限切れ** : カートリッジの使用期限が切れました。
- **異常** : カートリッジは、このプリンタと互換性がありません。メッセージには、互換性のあるカートリッジの一覧が表示されます。
- **HP 製以外** : 使用済み、補充、または偽造されたカートリッジです。

プリントヘッドを取り付けられない

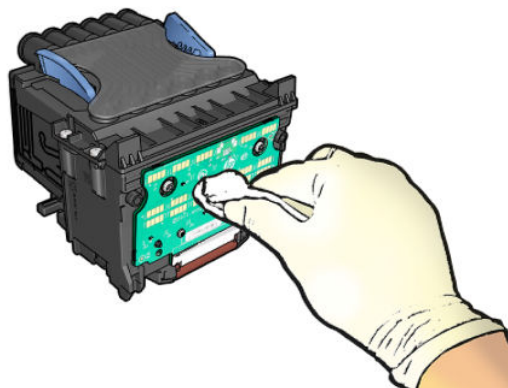
1. 正しいプリントヘッド(モデル番号)を使用しているかどうかを確認します。
2. プリントヘッドから7つのオレンジ色の保護キャップを取り外したかどうかを確認します。
3. プリントヘッドの向きが正しいことを確認します。
4. プリントヘッドのカバーが正しく閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。
[137 ページのプリントヘッドを挿入する](#)を参照してください。

フロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される

1. プリントヘッドを取り外します ([134 ページのプリントヘッドを取り外す](#)を参照)。

2. プリントヘッドの裏面にある電極部分を、糸くずの出ない布でクリーニングします。付着物の除去に水分が必要な場合、刺激が少ない消毒用アルコールを注意しながら使用します。水は使用しないでください。

⚠ **注意** : デリケートな処理のため、プリントヘッドが破損する場合があります。プリントヘッドの底面のノズルは、特にアルコールで触れないようにしてください。



3. プリントヘッドを再度取り付けます ([137 ページのプリントヘッドを挿入する](#)を参照)。
4. フロントパネルのメッセージを確認します。問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを取り付けてみてください。

プリントヘッドをクリーニングする

プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的に自動クリーニングが実行されます。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止し、印刷品質が保たれます。印刷品質に問題がある場合は、続行する前に[178 ページのイメージ診断の印刷](#)を参照してください。

プリントヘッドをクリーニングするには、フロントパネルで  を押して  を押し、**【画像品質のメンテナンス】-【プリントヘッドのクリーニング】**を選択して、クリーニングが必要なカラーが含まれるカラーグループを選択します (**【すべてクリーニング】**、**【MK-Y のクリーニング】**、**【C-M-PK-G のクリーニング】**)。

プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッドの正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラーグラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。

紙詰まりが発生した後や、印刷品質の問題が生じている場合、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があることがあります。

1. 使用する用紙を取り付けます ([48 ページの「用紙の取り扱い」](#)を参照)。ロール紙またはカット紙を使用できます。白い普通紙が推奨されます。

⚠ **注意** : プリントヘッドの軸合わせの際は、透明または半透明な用紙は使用しないでください。

2. ウィンドウが閉じられていることを確認します。プリントヘッドの軸合わせ中に強い光源がプリンタの近くにあると、軸合わせが影響を受けることがあります。

3. フロントパネルで  を押し、**[画像品質のメンテナンス]-[プリントヘッドの軸合わせ]**。

 **注記：** プリントヘッドの軸合わせは、内蔵 Web サーバ (**[サポート]-[印刷品質のトラブルシューティング]**)、または HP Utility (Windows : **[サポート]-[印刷品質のトラブルシューティング]**、Mac OS X : **[情報と印刷品質]-[位置調整]**) から開始することもできます。

4. 十分な用紙が取り付けられている場合、プリンタによって軸合わせが実行され、軸合わせのパターンが印刷されます。
5. この処理には 5 分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

プリンタがプリントヘッドの軸合わせを正常に完了できない場合は、プリントヘッドのクリーニングをもう一度行うように求められることがあります。

プリントヘッドのステータス メッセージ

表示されるプリントヘッドのステータス メッセージには、以下のものがあります。

- **OK** : プリントヘッドは問題なく正常に動作しています。
- **未装着です** : プリントヘッドが取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
- **再度取付けて下さい** : プリントヘッドを一旦取り外してから、再度取り付けてください。メッセージが消えない場合は、電極部分をクリーニングします ([183 ページのフロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される](#)を参照)。それでもメッセージが消えない場合は、新しいプリントヘッドと交換します。([134 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[137 ページのプリントヘッドを挿入する](#)を参照)。
- **交換して下さい** : プリントヘッドに問題があります。動作するプリントヘッドと交換します ([134 ページのプリントヘッドを取り外す](#)および[137 ページのプリントヘッドを挿入する](#)を参照)。
- **交換が不完全** : プリントヘッド交換プロセスが正常に完了しませんでした。交換プロセスを再度行って、完全に完了してください。
- **取り外して下さい** : プリントヘッドが印刷用途に適していません。
- **HP 製以外のインク** : 使用済み、補充、または偽造されたインクカートリッジからのインクがプリントヘッドを通過しました。保証の詳細は、プリンタに付属している限定保証書を参照してください。

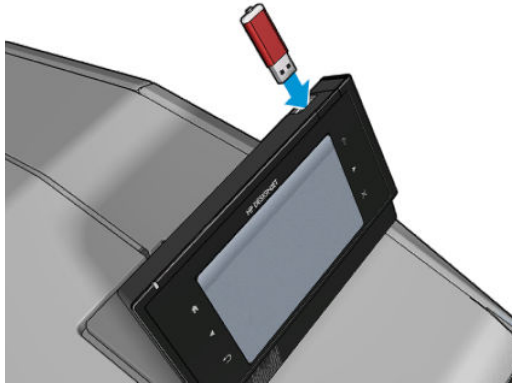
20 一般的なプリンタに関するトラブルシューティング

- [プリンタが起動しない](#)
- [プリンタで印刷ができない](#)
- [プリンタの印刷が遅い](#)
- [プリンタがビジー状態である](#)
- [コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある](#)
- [HP Utility にアクセスできない](#)
- [内蔵 Web サーバにアクセスできない](#)
- [インターネットに接続できない](#)
- [モバイル印刷のトラブルシューティング](#)
- [ファイルシステムの自動確認](#)
- [アラート](#)

プリンタが起動しない

プリンタが起動しない場合は、次の方法でファームウェアを置き換えることをお勧めします。

1. HP サポート センターにアクセスして ([198 ページの HP サポート センター](#)を参照)、ファームウェアをダウンロードします。
2. ファームウェアを USB フラッシュ ドライブに保存します。可能であれば、USB フラッシュ ドライブは空にし、FAT ファイル システムでフォーマットしてください。
3. プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。USB フラッシュ ドライブをフロントパネルの高速 USB ホスト ポートに接続し、プリンタの電源をオンにします。



4. プリンタがファームウェア ファイルを読み取るのに約 1 分かかり、USB フラッシュ ドライブを取り外すよう求めるメッセージが表示されます。
5. プリンタに新しいファームウェアが自動的にインストールされ、再起動します。

プリンタで印刷ができない

すべてが正常な状態であっても (用紙およびインクを正しく装着し、ファイルのエラーがない状態)、コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合があります。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルに何も表示されない場合は、電源ケーブルが正しく接続され、ソケットに電源が供給されているかどうかを確認してください。
- ネスティングがオンになっているため (T1500 シリーズのみ)、適切なネスティングを計算する前に、指定のネスティング待ち時間を待機しています。このような場合は、フロントパネルにネスティングまでの残り時間が表示されます。
- グラフィック言語の設定が間違っている場合は、[46 ページのグラフィック言語の設定を変更する](#)を参照してください。
- プリンタに適したドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。セットアップ手順を参照してください。
- カット紙に印刷する場合は、プリンタ ドライバで手差しを給紙方法として指定する必要があります。
- 用紙情報やアカウンティング情報 ([94 ページのジョブのステータス メッセージ](#)を参照) が指定されるまでジョブが保留されている可能性があります (T1500 シリーズのみ)。

- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります (T1500 シリーズのみ)。プレビューは、イメージが目的のイメージになっているかどうかを確認するための機能です。この場合、プレビューは画面に表示されるため、**【印刷】** ボタンをクリックして印刷を開始する必要があります。
- 手動モードを使用している場合以外は、スタッカを閉じたことを確認してください。
- ジョブに手動モードを選択した場合は、ジョブ キューを開いてジョブを選択し、手動モードで印刷する必要があります。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの **電源** ボタンを押してプリンタの電源を切り、電源コードを抜き、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。

プリンタの印刷が遅い

次のような原因が考えられます。

- 印刷品質を **【高品質】** または **【高精細】** に設定している場合。[高品質] および [高精細] での印刷は時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。用紙の種類によっては、さらに長い印刷時間が必要です。プリンタに現在設定されている用紙の種類を確認するには、[61 ページの用紙に関する情報を表示する](#)を参照してください。
- ネットワーク上のすべてのコンポーネント (ネットワーク インタフェースカード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル) が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- フロントパネルで乾燥時間を **【長い】** に設定している場合。乾燥時間を **【最適】** に変更してみてください。

プリンタがビジー状態である

プリンタで予期しない動作が発生する場合は、フロントパネルから大部分のプリンタ設定を工場出荷時のデフォルト値に復元することができます。 を押し、次に  を押して、**【セットアップ】** - **【リセット】** - **【工場出荷時の設定に戻す】** を選択します。

基本的なネットワーク設定またはネットワーク セキュリティ設定はリセットされません。

- 基本的なネットワーク設定は、 を押し、次に  を押して、**【接続】** - **【ネットワーク接続】** - **【詳細設定】** - **【工場出荷時の設定に戻す】** を選択してリセットできます。
- ネットワーク セキュリティ設定は、 を押し、次に  を押して、**【接続】** - **【ネットワーク接続】** - **【ギガビットイーサネット】** - **【設定の変更】** - **【セキュリティのリセット】** を選択してリセットできます。

コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。

- プリンタに画像を送信しても、フロントパネルのディスプレイに**受信中**というメッセージが表示されない。
- 印刷しようすると、コンピュータにエラー メッセージが表示される。
- 通信が確立された状態で、コンピュータまたはプリンタのいずれかがハングしている(アイドル状態)。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する(線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題を解決するには、以下の処理を実行します。

- アプリケーションで正しいプリンタを選択していることを確認します ([67 ページの「印刷時」](#)を参照)。
- 問題が起きているアプリケーションとは別のアプリケーションで印刷した場合に、プリンタが正しく動作することを確認します。
- 大判印刷の場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチ ボックス、バッファ ボックス、ケーブル アダプタ、ケーブル コンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェース ケーブルを別のものに変えて試してみます。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します ([46 ページのグラフィック言語の設定を変更する](#)を参照)。

HP Utility にアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず [43 ページの HP Utility へのアクセス](#)をお読みください。

プリンタ ドライバが使用でき、HP DesignJet Utility (Windows) で正しく機能することを確認します。

フロントパネルから、 を押し、 を押し、**[接続]**-**[ネットワーク接続]**-**[詳細設定]**-**[Web サービス]**-**[プリンタ ユーティリティ ソフトウェア]**を選択して、有効になっていることを確認します。無効になっている場合は、HP Utility の一部が適切に動作していない可能性があります。

内蔵 Web サーバにアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず [43 ページの内蔵 Web サーバにアクセスする](#)をお読みください。

フロントパネルから、 を押し、次に  を押し、**[接続]**-**[ネットワーク接続]**-**[詳細設定]**-**[内蔵 Web サーバ]**-**[内蔵 Web サーバを使用]**-**[オン]**を選択します。

プロキシ サーバを使用している場合は、プロキシ サーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer を使用している場合は、**[ツール]**-**[インターネット オプション]**-**[接続]**-**[LAN の設定]**をクリックし、**[ローカル アドレスにはプロキシ サーバを使用しない]**チ

チェックボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、**【詳細設定】**ボタンをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを例外の一覧に追加します。

- Mac OS X の Safari を使用している場合は、**【Safari】-【環境設定】-【詳細】**をクリックし、**【プロキシ：設定の変更】**ボタンをクリックします。プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスまたはドメイン名を**【プロキシ設定を使用しないホストとドメイン】**の一覧に追加します。

まだ接続できない場合は、フロントパネル上の**【電源】**キーを使ってプリンタの電源を入れ直します。

インターネットに接続できない

プリンタのインターネットへの接続が困難な場合、接続ウィザードが自動的に起動される場合があります。必要な場合にいつでもウィザードを手動で開始することもできます。

- フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**【接続】-【接続ウィザード】**を選択します。
- フロントパネルで  を押し、次に  を押して、**【内部印刷】-【サービス情報の印刷】-【接続設定の印刷】**を選択します。この場合、結果が印刷されます。

 **注記：**印刷される結果は、接続ウィザードの前回実行時から取得されるため、結果を得るには接続ウィザードをすでに実行している必要があります。

接続ウィザードは一連のテストを自動的に実行します。テストの実行は個別に選択することもできます。フロントパネルから、 を押し、次に  を押して、**【接続】-【診断およびトラブルシューティング】**を選択します。以下のオプションから選択できます。

- **【すべてのテスト】**
- **【ネットワーク接続テスト】：**プリンタのローカルエリアネットワークへの接続を確認します。
- **【インターネット接続テスト】：**プリンタのインターネットへの接続を確認します。
- **【HP ePrint Center の接続テスト】：**プリンタが HP ePrint Center に接続されるかどうかを確認します。
- **【ファームウェアアップデートテスト】：**プリンタの HP のファームウェアアップデートサーバへの接続を確認します。
- **【電子メールサーバテスト】：**プリンタの設定済み電子メールサーバへの接続を確認します。
- **【顧客の貢献プログラムテスト】：**プリンタの顧客の貢献プログラムへの接続を確認します。

別の方法として、内蔵 Web サーバからこれらのテストを開始することもできます。**【サポート】>【接続のトラブルシューティング】**を選択します。

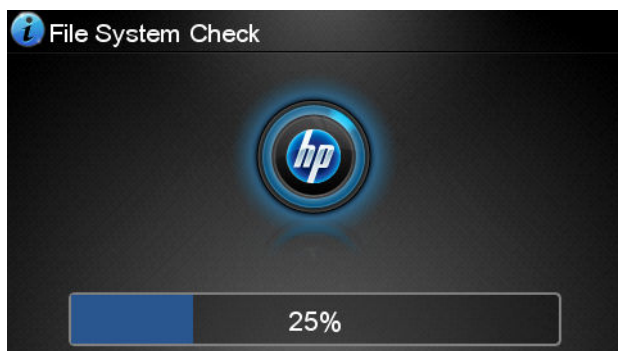
いずれかのテストが失敗した場合、プリンタは問題および推奨される解決方法を示します。

モバイル印刷のトラブルシューティング

HP ePrint の問題については、HP Connected を参照してください：<http://www.hpconnected.com> の HP サポートにお問い合わせください。

ファイルシステムの自動確認

プリンタの電源を入れると、フロントパネルに以下のような表示が現れることがあります。



ファイルシステムの確認が実行されます。これには最大 40 分かかることがあります。完了するまでお待ちください。

△ 注意： ファイルシステムの確認が完了する前にプリンタの電源を切ると、ファイルシステムに重大な損傷が発生し、ハードディスクが使用できなくなることがあります。いずれにせよ、再びプリンタの電源を入れると、ファイルシステムの確認が最初から開始されます。

ファイルシステムの確認は、ハードディスクのファイルシステムの完全性を維持するため、90 日ごとに実行されるようにスケジュールされています。

📋 注記： プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約 3 分かかります。しかし、プリンタが長期間使用されておらず、プリントヘッドの準備にさらに時間がかかるなど、状況によっては最大で 40 分かかることがあります。

アラート

このプリンタは、次の 2 種類のアラートを発信します。

- **エラー：** 主に、プリンタが正常に動作できないことを警告します。ただしプリンタドライバでは、プリンタで印刷が可能な場合でも、イメージの途切れなど、印刷結果を損なう状態についても警告します。
- **警告：** キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインク残量が少なくなったなど、要注意の状態である場合に警告します。

アラートはさまざまな方法で受信することができます。

- **フロントパネル表示：** フロントパネルには、関連性が最も高い警告のみが表示されます。警告の場合は時間が経過すると表示されなくなります。プリンタがアイドル状態になる場合や、より重大な警告がない場合は、「カートリッジのインク残量が少なくなっています」など、常時表示される警告が再表示されます。

💡 ヒント： フロントパネルの画面から、用紙の不一致のアラートを設定することができます (24 ページの [用紙適合性オプション](#) を参照)。

- **内蔵 Web サーバ：** 内蔵 Web サーバのウィンドウの右上隅には、プリンタのステータスが表示されます。プリンタ内に警告がある場合、警告内容がステータスに表示されます。

- **[HP DesignJet Utility (Windows) :**] HP DesignJet Utility のタスクバー アイコンから**[アラート設定]**を選択し、自動的に表示されるアラートの種類を確認します。
- **HP プリンタ モニタ (Mac OS X) :** HP Utility をインストールした場合、HP プリンタ モニタによりアラートが直接 Dock に表示されます。まだお読みでない場合は、まず[27 ページのアラートをオン/オフにする](#)をお読みください。

デフォルトでは、印刷中にのみアラートが表示されます。アラートが有効になっている状態でジョブの完了を妨げる問題が発生すると、ポップアップウィンドウが表示され、問題の理由が説明されます。必要な結果を得るには、指示に従って操作します。

 **注記 :** 双方向通信をサポートしない環境があります。そのような場合は、ジョブを実行したユーザにアラートが到着しません。

21 フロントパネルエラー メッセージ

フロントパネルの画面に、以下のメッセージのいずれかが表示される場合があります。その場合は、[推奨] 列のヒントに従ってください。

ここに示されていないエラー メッセージが表示され、適切な対応が不明な場合、または推奨された解決方法で問題が解決しない場合は、まずプリンタを再起動してみてください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。[200 ページの HP のサポートに問い合わせる](#)を参照してください。

表 21-1 テキスト メッセージ

メッセージ	推奨
[カラー]カートリッジが変更されました	カートリッジを確認してください。
[カラー]カートリッジの使用期限が切れています	カートリッジを交換してください。 129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー]カートリッジのインク残量が少なくなっています	同じカラーの新しいカートリッジの準備ができているかどうかを確認します。
[カラー]カートリッジがありません	該当するカラーのカートリッジを取り付けてください。 129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー]カートリッジが HP 製ではありません	システムのパフォーマンスを最大限に引き出すには、HP 純正インク システムを取り付けることをお勧めします。
[カラー]カートリッジがインク切れです	カートリッジを交換してください。 129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー]カートリッジのインク残量が僅かです	同じカラーの新しいカートリッジの準備ができているかどうかを確認します。
プリントヘッドエラー：取り付けられていません	プリントヘッドを取り付けてください。 129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
プリントヘッドエラー：交換	機能していないプリントヘッドを取り外し、新しいプリントヘッドを取り付けてください。 129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。

表 21-1 テキスト メッセージ (続き)

メッセージ	推奨
プリントヘッドエラー：取り付け直し	プリントヘッドを取り外してから同じプリントヘッドを取り付け直すか、電極部分のクリーニングを行います。必要に応じて、新しいプリントヘッドを取り付けます。 183 ページのフロントパネルにプリントヘッドを取り付け直す、または交換するようにメッセージが表示される を参照してください。
保証期限を過ぎたプリントヘッド	試用期間の長さ、インク消費量、HP 製以外のインクがシステムで使用されたことのいずれかが原因で、プリントヘッドの保証期間が切れました。限定保証ドキュメントを参照してください。
プリントヘッドの交換が不完全です。再度行ってください。	プリントヘッドの交換処理を再度行ってください。
[カラー]カートリッジを交換して下さい	カートリッジを交換してください。 129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
間違った [カラー] カートリッジを交換してください	カートリッジを交換してください。サポートされるインクカートリッジを確認し、 129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。
[カラー]カートリッジを再度取り付けて下さい	カートリッジを取り外し、同じカートリッジを再度取り付けてください。 129 ページの「インクカートリッジとプリントヘッドの取り扱い」 を参照してください。

表 21-2 数値エラー コード

エラー コード	推奨
05.5:10	プリンタの BIOS をアップデートしてください。
08:04	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、プリンタのファームウェアのアップデートを行ってください。 144 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
08:08	試してきた操作をもう一度行ってみてください。再度失敗する場合は、プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、プリンタのファームウェアのアップデートを行ってください。 144 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
39.1:01	ロール 1 が予期せずに取り外されました。ロールを再取り付けします。
39.2:01	ロール 2 が予期せずに取り外されました。ロールを再取り付けします。
61:01	ファイル形式が間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。 - フロントパネルの 電源 ボタンを押して、プリンタの電源をオフにします。 - 背面にある電源スイッチを切ります。 - 電源コードを外します。 - 電源コードを元のように差し込み、プリンタの電源を入れます。 - 同じジョブをもう一度プリンタに送信します。 - プリンタのファームウェアが最新バージョンのものか確認します。144 ページのファームウェアをアップデートするを参照してください。

表 21-2 数値エラー コード (続き)

エラー コード	推奨
61:04.1、61:04.2	プリンタのファームウェアをアップデートしてください。 144 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
61:08	ジョブをもう一度送信します。
61:08.1	ジョブがパスワード保護されているため、印刷できません。
61:08.2	ジョブにエラーがあるため、印刷できません。内蔵 Web サーバからジョブを再送信してください。
61:09	ジョブをもう一度送信します。
63:10	- フロントパネルの 電源 ボタンを押して、プリンタの電源をオフにします。 - 背面にある電源スイッチを切ります。 - 電源コードを外します。 - 電源コードを元のように差し込み、プリンタの電源を入れます。 - ネットワーク ケーブルが正しく差し込まれていることを確認してください。 - プリンタのファームウェアが最新バージョンのものか確認します。144 ページのファームウェアをアップデートするを参照してください。
63:20	ネットワーク インタフェースで潜在的な問題が検出されました。 - フロントパネルの 電源 ボタンを押して、プリンタの電源をオフにします。 - 背面にある電源スイッチを切ります。 - 電源コードを外します。 - 電源コードを元のように差し込み、プリンタの電源を入れます。 - 同じジョブをもう一度プリンタに送信します。 - プリンタのファームウェアが最新バージョンのものか確認します。144 ページのファームウェアをアップデートするを参照してください。
71.03、71.08	メモリ不足です。この問題を解消するには、HP-GL/2 ドライバで [詳細設定] タブを選択して、 [ビットマップ形式でジョブを送信する] を選択します。
74.01	ファームウェア アップデート ファイルのアップロード中にエラーが発生しました。 - フロントパネルの 電源 ボタンを押して、プリンタの電源をオフにします。 - 背面にある電源スイッチを切ります。 - 電源コードを外します。 - 電源コードを元のように差し込み、プリンタの電源を入れます。 - プリンタにファームウェアのアップデート ファイルを再ロードします。144 ページのファームウェアをアップデートするを参照してください。
74.1:04	もう一度ファームウェアのアップデートを実行してみてください。アップデートの処理中は、コンピュータを使用しないでください。
74.8:04	ファームウェア アップデートが失敗しました。ファームウェア ファイルが間違っている可能性があります。もう一度ダウンロードしてみてください。144 ページのファームウェアをアップデートするを参照してください。

表 21-2 数値エラー コード (続き)

エラー コード	推奨
75.11:10	予防保守キット 1 が推奨されます。 200 ページの HP のサポートに問い合わせる を参照してください。
75.21:10	予防保守キット 2 が推奨されます。 200 ページの HP のサポートに問い合わせる を参照してください。
76:03	プリンタのハードディスクがいっぱいです。ディスク拭取りを使用してディスク領域を解放できます。 147 ページのディスク拭取り を参照してください。
78:08	フチなし印刷を行うことができません。設定が無視されます。取り付けられている用紙でフチなし印刷がサポートされていることを確認します。
79:03、79:04	プリンタのファームウェアのアップデート。 144 ページのファームウェアをアップデートする を参照してください。
81:01	プリンタのウィンドウを開け、ドライブローラーの動きを妨げるものがないことを確認します。用紙が詰まっている場合は、フロントパネルの指示に従って障害物を取り除きます。
86:01	プリンタのウィンドウを開け、プリントヘッドのキャリッジの動きを妨げるものがないことを確認します。用紙が詰まっている場合は、フロントパネルの指示に従って障害物を取り除きます。
94, 94.1	カラーキャリブレーションを再度行ってください。 97 ページのカラーキャリブレーション を参照してください。

システム エラー ログ

このプリンタは以下の方法でアクセス可能なシステム エラーのログを保存します。

USB フラッシュ ドライブを使用する

1. USB フラッシュ ドライブで「**pdipu_enable.log**」という名前の空のファイルを作成します。
2. USB フラッシュ ドライブは、フロントパネルの高速 USB ホスト ポートに挿入します。ログが自動的にドライブにコピーされます。

内蔵 Web サーバを使用する

1. ご使用の Web ブラウザで、<http://プリンタのIPアドレス/hp/device/webAccess/log.html> に移動します。
2. 内蔵 Web サーバから、システム エラー ログを含む「**log.tar.gz**」という名前のファイルが送信されます。

または、**[サポート]** タブを選択し、**[サービス サポート]** - **[診断パッケージのダウンロード]** を選択します。

22 HP カスタマー・ケア

- [はじめに](#)
- [HP プロフェッショナル サービス](#)
- [HP プロアクティブ サポート](#)
- [カスタマー セルフ リペア](#)
- [HP のサポートに問い合わせる](#)

はじめに

HP Customer Care は、その優れたサポート内容が評価され、受賞経験もあります。お使いの HP DesignJet から常に最高の結果を得られるようなサポートをご提供します。弊社は、サポートに関する幅広く信頼性の高い専門知識をもち、常に新しい技術を効果的に使用することで、細かなサポートをご提供します。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HP カスタマー・ケアの詳細については、<http://www.hp.com/go/graphic-arts> をご覧ください。または電話でお問い合わせください (200 ページの [HP のサポートに問い合わせる](#) を参照)。

 **ヒント:** ほんの数分間のご登録時間をいただければ、HP を使用した作業が改善され、より効果的なサポートを受けることができます。開始するには、<http://register.hp.com/> をクリックしてください。また、製品の修正プログラムおよび拡張を含む、HP DesignJet アップデートに接続するには、<http://www.hp.com/go/alerts> をクリックしてください。

HP プロフェッショナル サービス

HP サポートセンター

専用のサービスとリソースを十分にご活用いただくことで、HP DesignJet プリンタおよびソリューションに関して最高のパフォーマンスを実現することができます。

HP サポートセンターの HP コミュニティにご登録ください。大判印刷に携わる方々のコミュニティでは以下のリソースをいつでもご利用になれます。

- マルチメディア チュートリアル
- 使用方法に関する手順書
- ダウンロード：プリンタの最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プリセットなど
- 技術サポート：オンラインのトラブルシューティング、HP カスタマー・ケアへのご連絡など
- 特定のソフトウェア アプリケーションからさまざまな印刷作業を完了させるためのワークフローおよび詳細なヒント
- HP の専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です。
- 最新の製品情報：プリンタ、サブライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど。
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサブライ センター

ご使用のプリンタの HP サポートセンターは、それぞれ次の場所で参照できます。

- <http://www.hp.com/go/T920/support>
- <http://www.hp.com/go/T1500/support>

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

HP スタートアップキット

HP スタートアップキットは、プリンタに同梱されている DVD です。プリンタのソフトウェアとマニュアルへのリンクが含まれています。

HP Care Pack および保証期間の延長

HP Care Pack および保証期間の延長により、標準期間を超えてプリンタの保証を延長できます。

HP Care Pack および保証期間の延長には、リモートサポートが含まれます。必要に応じて、2つの対応時間のオプションをお選びいただけるオンサイト サービスもご提供します。

- 翌営業日
- 同日営業日の4時間以内 (一部の国ではご利用いただけません)

HP Care Pack の詳細は、弊社 Web サイト (<http://www.hp.com/go/printservices>) をご覧ください。

HP インストレーション

HP インストレーション サービスでは、プリンタを箱から取り出してセットアップし、接続します。

これは、HP Care Pack サービスの一部です。詳しくは、<http://www.hp.com/go/printservices> を参照してください。

HP プロアクティブ サポート

HP プロアクティブ サポートによってプリンタの問題が顕在化する前に問題の識別、診断、および解決ができ、プリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。HP プロアクティブ サポート ツールは、サポートにかかるコストを削減しながら生産性を最大限発揮できるよう、あらゆる規模のビジネスをお手伝いします。すべての操作はマウスのクリックだけで行えます。

HP イメージング&プリンティング サービススイートのコンポーネントのひとつであるプロアクティブ サポートは、投資価値の最大化、プリンタ稼働時間の拡大、およびプリンタ管理コストの削減に明確に焦点を当てた、印刷環境の管理を支援するサービスです。

HP では、プロアクティブ サポートを今すぐ有効化して時間を節約し、問題を未然に防ぐようお勧めしています。これによってプリンタの休止時間がもたらす損失を低減します。またプロアクティブ サポートは、診断を実行してソフトウェアとファームウェアのアップデートをチェックします。

Windows では HP DesignJet Utility を、Mac OS X では HP プリンタ モニタをそれぞれ有効化でき、コンピュータと HP の Web サーバとの接続の頻度、および診断チェックの頻度を指定できます。また、診断チェックは手動で実行することもできます。これらの設定を変更するには、以下の手順に従います。

- HP DesignJet Utility (Windows) では、**【ツール】メニュー、【HP プロアクティブ サポート】**(HP DesignJet Utility 1.0 では利用不可) を選択します。
- HP プリンタ モニタ (Mac OS X) では、**【環境設定】-【監視】-【HP プロアクティブ サポートの有効化】**を選択します。

プロアクティブ サポートによって潜在的な問題が発見された場合は、アラートで通知され、問題の説明と共に解決方法が推奨されます。解決方法が自動的に適用される場合があります。問題を解決するための手順を実行するように求められる場合もあります。

カスタマーセルフリペア

HP のカスタマーセルフリペアプログラムは、お客様に保証または契約に基づく最も迅速なサービスを提供します。このプログラムでは、HP が交換部品をお客様(エンドユーザ)に直接お送りし、お客様が部品を交換できます。このプログラムを使用すれば、お客様の都合のよいときに部品を交換できます。

便利、簡単に使用できる

- HP のサポート担当者は、不具合のあるハードウェアコンポーネントに対処するために交換部品が必要であるかどうかを判断します。
- 交換部品は速達で送られ、多くの在庫部品は HP に連絡したその日に発送されます。
- 現在保証期間中または契約対象になっているほとんどの HP 製品にてご利用いただけます。
- ほとんどの国でご利用いただけます。

カスタマーセルフリペアの詳細については、<http://www.hp.com/go/selfrepair> を参照してください。

HP のサポートに問い合わせる

HP サポートはお電話またはインスタントメッセージングでご利用いただけます。お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 関連ドライバのマニュアルを参照してください。
- サードパーティ製のソフトウェアドライバおよび RIP をインストールしている場合は、それぞれのマニュアルを参照してください。
- 弊社にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
 - お使いの製品の情報 (製品の背面のラベルに記載されている、製品番号とシリアル番号)
 - フロントパネルにエラーコードが表示される場合は、エラーコードをメモに取り、[193 ページの「フロントパネルエラーメッセージ」](#)を参照
 - 製品のサービス ID: フロントパネルで、 を押し、 を押して、 を押します。
 - お使いのコンピュータ
 - お使いの特別な機器やソフトウェア (スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェアドライバなど)
 - お使いのケーブル (製品番号) とケーブルの購入場所
 - 現在使用中のソフトウェアの名前とバージョン
 - 可能な場合は、フロントパネルから次のレポートを印刷してください。設定、使用状況レポート、サービス情報の「上のページすべて」を、サポートセンターまで FAX または電子メールで送信するように求められる場合があります ([14 ページのプリンタの印刷メニュー](#)を

参照)。または、内蔵 Web サーバで、[サポート]-[サービス サポート]-[プリンタ情報]-[すべてのページ]を選択します。

HP サポートへの問い合わせ方法

<http://www.hp.com/go/getsupport> では、製品に関連する最新情報を参照し、チャットによるサポートをご利用いただけます。

HP サポートセンターのモバイルアプリを使用して、スマートフォンでチャットによるサポートをご利用いただくこともできます：http://www8.hp.com/us/en/products/smart-phones-handhelds-calculators/mobile-apps/app_details.html?app=tcn:245-1163163&platform=tcn:245-1163163。

HP サポートの電話番号は、Web で提供しています。http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html をご覧ください。

23 プリンタの仕様

- [機能の仕様](#)
- [モバイル印刷の仕様](#)
- [物理的仕様](#)
- [メモリの仕様](#)
- [電源の仕様](#)
- [動作環境の仕様](#)
- [動作音に関する仕様](#)

機能の仕様

表 23-1 HP No.727 インク サプライ品

プリントヘッド	プリントヘッドx1 (マットブラック用の二重ノズル付き)
インクカートリッジ	40ml のインクが入っているカートリッジ: グレー、フォトブラック、マットブラック、イエロー、マゼンタ、シアン 130ml のインクが入っているカートリッジ: グレー、フォトブラック、マットブラック、イエロー、マゼンタ、シアン

表 23-2 用紙サイズ

	最小	最大
ロール紙の幅	279mm	914mm
ロール紙の長さ		91m
ロールの直径		140 mm
ロールの重量		11.9kg
カット紙の幅	210mm	914mm
カット紙の長さ	279mm	1676mm
ロール紙の厚さ		0.5 mm
カット紙の厚さ		0.5 mm
用紙の重さ	60g/m ²	328g/m ²

* 手動モードでは出力スタック トレイに最大 0.6mm まで印刷可能。

表 23-3 印刷解像度

印刷品質	高精細	グラフィック言語	レンダリング解像度(ppi)	印刷解像度(dpi)
高品質 (フォト用紙*)	オン	HP-GL/2、HP PCL3GUI	1200 × 1200	2400 × 1200
		PostScript	600 × 600	2400 × 1200
	オフ	任意	600 × 600	1200 × 1200
高画質 (その他の用紙)	オフ	任意	600 × 600	1200 × 1200
標準	オフ	HP-GL/2	600 × 600	1200 × 1200
		HP PCL3GUI、PostScript	300 × 300	1200 × 1200
高速 (厚手コート紙、フォト用紙)	オフ	HP-GL/2	600 × 600	1200 × 1200
		HP PCL3GUI、PostScript	300 × 300	1200 × 1200

表 23-3 印刷解像度 (続き)

印刷品質	高精細	グラフィック言語	レンダリング解像度(ppi)	印刷解像度(dpi)
高速 (普通紙、コート紙、ナチュラルトレーシングペーパー)	オフ	HP-GL/2	600 × 600	600 × 1200
		HP PCL3GUI、PostScript	300 × 300	600 × 1200
エコノモード	オフ	任意	300 × 300	600 × 1200

*サポートされている用紙については、[149 ページの用紙について](#)を参照してください。

表 23-4 マージン

上左右のマージン	5 mm
下マージン (下端)	5mm (ロール紙)
	22mm (カット紙)

表 23-5 機構的な精度

指定ベクトル長 $\pm 0.1\%$ または $\pm 0.2\text{mm}$ (いずれか大きい方)、気温 23°C、相対湿度 50 ~ 60%、E/A0 サイズの印刷物に [高品質] または [標準] で HP マットフィルム ロールフィードを使用して印刷。

表 23-6 サポートされているグラフィック言語

HP DesignJet	言語
T920	HP PCL3GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CALS G4、TIFF、JPEG、URF
T920 PS	HP PCL3GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CALS G4、TIFF、JPEG、URF、Adobe PDF 1.7、Adobe PostScript 3
T1500	HP PCL3GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CALS G4、TIFF、JPEG、URF
T1500 PS	HP PCL3GUI、HP-GL/2 および HP RTL、CALS G4、TIFF、JPEG、URF、Adobe PDF 1.7、Adobe PostScript 3

モバイル印刷の仕様

表 23-7 モバイル印刷

モバイル印刷	はい。AirPrint を使用して iOS から直接、および HP 印刷サービス プラグインを使用して Android から直接
HP モバイル印刷によりサポートされるモバイルデバイス	スマートフォンとタブレット
サポートされるオペレーティングシステム	iOS、Android、Windows
OS のバージョン	iOS 7.0 以降、Android 4.4 以降、すべての Windows
接続要件	プリンタとモバイル デバイスは、同じネットワークを使用する必要があります。
サポートされているファイル形式	PDF、JPEG

表 23-8 電子メール印刷

サポートされているモバイルデバイス	スマートフォン、タブレット、PC
サポートされるオペレーティングシステム	電子メールに対応しているものすべて
接続要件	クラウド接続
クラウド機能	電子メールを通じたりモート印刷
サポートされているファイル形式	PDF、JPEG、TIFF
最大ファイルサイズ	10MB

物理的仕様

表 23-9 プリンタの物理的仕様

	HP DesignJet T920 シリーズ	HP DesignJet T1500 シリーズ
重量	87kg	88kg
幅	1399mm	1399mm
奥行き	916mm (スタッカとバスケットが開いた状態) 693 mm (スタッカとバスケットが閉じた状態)	916mm (スタッカとバスケットが開いた状態) 693 mm (スタッカとバスケットが閉じた状態)
高さ	1110mm (スタッカとフロントパネルを展開した状態) 950mm (スタッカとフロントパネルを折りたたんだ状態)	1110mm (スタッカとフロントパネルを展開した状態) 950mm (スタッカとフロントパネルを折りたたんだ状態)

メモリの仕様

表 23-10 メモリの仕様

HP DesignJet	物理 DRAM	専用のファイル処理メモリ	ハードディスク
T920 シリーズ	1 GB	64 GB	320 GB
T1500 シリーズ	1 GB	128 GB	320 GB

電源の仕様

表 23-11 プリンタの電源の仕様

ソース	100 ~ 240V AC $\pm 10\%$ 、自動判別
周波数	50 ~ 60Hz
現在	< 4.2A
消費電力	< 330W

動作環境の仕様

表 23-12 プリンタの動作環境の仕様

動作温度	5 ~ 40°C
推奨動作温度	15 ~ 35°C (用紙の種類により変動)
保管温度	-25 ~ 55°C
推奨動作湿度	20 ~ 80% RH (用紙の種類により変動)
保管湿度	0 ~ 95% RH

動作音に関する仕様

プリンタの動作音に関する仕様 (ISO 9296 に準拠)

表 23-13 プリンタの動作音に関する仕様

アイドル状態の騒音出力レベル	< 5.0 B (A)
動作時の騒音出力レベル	6.3 B (A)
アイドル状態のバイスタンダ位置での音圧	< 32 dB (A)
動作時のバイスタンダ位置での音圧	46 dB (A)

用語集

AirPrint

iPod、iPhone、iPad、（およびオプションとして）Mac OS X 10.7 以降で使用されているテクノロジー。プリンタ固有のドライバがなくても同じネットワーク上のプリンタですぐに印刷することが可能です。

AppleTalk

Apple Computer が 1984 年に開発したコンピュータ ネットワーク用のプロトコル ツール。Apple は、現在では TCP/IP および Bonjour ネットワークを推奨しています。HP DesignJet プリンタは AppleTalk をサポートしていません。

Bonjour

IETF のゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関する Apple Computer 株式会社の商標で、Apple の Mac OS X バージョン 10.2 以降で使用されているコンピュータ ネットワーク技術。ローカルエリアネットワークで使用可能なサービスを検索するために使用され、当初は Rendezvous と呼ばれていました。

色の精度

元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

色の一貫性

大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

カラー モデル

RGB または CMYK など、数値でカラーを想定したシステム。

カラー スペース

各カラーが一連の固有の数値で表されるカラー モデル。また、複数のカラー スペースで同じカラー モデルを使用することもできます。例えば、通常、モニタは RGB カラー モデルを使用しますが、特定の RGB 数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー スペースを持ちます。

カッター

プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

ESD

静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れた時に火花を発生させたり、衣服を張り付けたりします。制御された静電気には役に立つ用途がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害のひとつとなります。したがって、破損を防ぐには、プリンタを設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなることがあります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の 1 つは、静電気放電に敏感なデバイス（プリントヘッドまたはインクカートリッジなど）を扱う前に、プリンタの接地した箇所（主に金属部分）に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーベットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

イーサネット

ローカル エリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

ファストイーサネット

最大 0.1 ギガビット/秒でデータを転送できるイーサネット ネットワーク。ファストイーサネット インタフェースは、より古いイーサネット デバイスとの互換性のために必要に応じて、より低速なネゴシエートが可能です。

ファームウェア

プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます(アップデート可能)。

ガモット

プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能な色および濃度値の範囲。

ギガビットイーサネット

最大 1 ギガビット/秒でデータを転送できるイーサネット ネットワーク。ギガビットイーサネット インタフェースは、より古いイーサネット デバイスとの互換性のために必要に応じて、より低速なネゴシエートが可能です。

高速 USB

USB のバージョンの 1 つで、USB 2.0 と呼ばれる場合があります。元の USB よりも 40 倍高速に実行できますが、元の USB と互換性があります。ほとんどのパーソナルコンピュータは現在、高速 USB を使用しています。

HP-GL/2

HP Graphics Language 2 : HP 社が定義するベクトル グラフィック描画用の言語。

HP RTL

HP Raster Transfer Language : HP 社が定義するラスタ(ビットマップ)グラフィック描画用の言語。

I/O

入出力 : デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

ICC

カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体である、国際カラーコンソーシアムの略称です。

インクカートリッジ

取り外し可能なプリンタ コンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

IP アドレス

IPv4 アドレス(最も一般的)または IPv6 アドレスを指します。

IPSec

ネットワーク上でノード間に送信される IP パケットを認証し、暗号化することによって、ネットワーク セキュリティを提供する高度なメカニズム。各ネットワーク ノード(コンピュータまたはデバイス)には IPSec が設定されています。アプリケーションは通常、IPSec が使用されているか否かを認識しません。

IPv4 アドレス

IPv4 ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。IPv4 アドレスは、4 組の整数から構成され、各組はピリオドで区切られています。世界中のほとんどのネットワークは、IPv4 アドレスを使用しています。

IPv6 アドレス

IPv6 ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。IPv6 アドレスは最大 8 グループの 16 進数字で構成され、それぞれがコロンで区切られています。各グループには最大 4 つの 16 進数字が含まれます。世界中のごく少数の新たなネットワークで、IPv6 アドレスを使用しています。

LED

発光ダイオード : 電氣的な刺激が与えられると発光する半導体デバイスです。

MAC アドレス

Media Access Control address (メディア アクセス コントロール アドレス)の略。ネットワーク上で、特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。IP アドレスよりも下位レベルの識別子であり、デバイスは MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を持つ場合があります。

ネットワーク

ネットワークはコンピュータとデバイス間でデータのやり取りをする接続セットです。あらゆるデバイスは、同じネットワークの他のすべてのデバイスと通信できます。これにより、データがコンピュータとデバイス間を移動することができ、プリンタのようなデバイスを多くのコンピュータ間で共有することができます。

ノズル

プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

用紙

書くため、または印刷用に作られた薄くて平らな物質。通常は繊維をパルプ化し、乾燥させ、プレスして作られます。

プラテン

プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

プリンタ ドライバ

生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

プリントヘッド

取り外し可能なプリンタ コンポーネント。対応するインクカートリッジから 1 つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。

スピンドル

印刷に使用されるロール紙を支えるための棒。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol: インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

USB デバイス ポート

USB デバイス上にある四角い USB ソケット。それを介してコンピュータがデバイスを制御することができます。コンピュータが USB 接続を使用してプリンタに印刷するには、コンピュータがプリンタの USB デバイス ポートに接続されている必要があります。

USB ホスト ポート

コンピュータ上のソケットのような長方形の USB ソケット。プリンタはこのようなポートに接続される USB デバイスを制御できます。プリンタには 2 つの USB ホスト ポートがあり、アクセサリや USB フラッシュ デバイスを制御するために使用します。

USB

Universal Serial Bus (ユニバーサル シリアル バス) の略。コンピュータに接続するために設計された標準シリアルバスです。このプリンタは高速 USB をサポートしています (USB 2.0 と呼ばれる場合があります)。

索引

- A**
アクセス制御 28
アクセサリ
 注文 149
アカウント ID [T1500]
 要求する 29
電子メールによるアカウントイン
 グデータ 127
アカウントティング 126
動作音に関する仕様 206
Acrobat、印刷元 109
アラート
 エラー 191
 オン/オフにする 27
 警告 191
AutoCAD、印刷元 111
自動オフ 44
- B**
バンディングの問題 165
バスケット 61
 排出の問題 161
白黒 101
黒点補正 106
ぼやけた線 170
フロントパネルの明るさ 45
- C**
キャリブレーション
 カラー 97
用紙を取り付けられない 152
プラテンのクリーニングを行う
 173
プリンタをクリーニングする
 143
下部の一部が印刷されない 176
一部のイメージ 176
- カラーマネジメント
 ドライバから 99
 EWS から [T1500] 105
 フロントパネルから 106
 PS ドライバから 102
 オプション 99
 プロセス 97
カラー
 調整オプション 100
 利点 97
 キャリブレーション 97
 CMYK 97
 エミュレーション 103
 色あせ 176
 正確に再現されない 175
 プリンタ エミュレーション
 100
 プロファイル 97
 RGB 97
通信ポート 9
プリンタのコンポーネント 7
コンピュータの通信
 コンピュータとプリンタ間の通
 信問題 188
設定する 45
プリンタを接続する
 一般的 17
 Mac OS X ネットワーク 19
 Windows ネットワーク 18
切り取り線 [T1500] 79
カスタマー・ケア 198
カスタマーセルフリペア 200
カッター
 オン/オフ 64
- D**
DHCP の設定 35
ディスク拭取り 147
- DNS の設定 36
試し印刷 77
ドライバの環境設定 29
乾燥時間
 変更する 63
- E**
節約
 インク 82
 用紙 80
電子メール通知 26
電子メール印刷 87
 有効化 13
電子メール印刷 205
内蔵 Web サーバ
 アクセス 43
 アクセスできない 189
 ジョブのプレビュー 93
 ジョブキュー 92
 言語 44
 ジョブ単位の使用状況 127
 使用状況に関する情報 126
動作環境の仕様 206
ファイルを安全に消去 146
エラーメッセージ
 フロントパネル 193
 ログ 196
- F**
カラーの色あせ 176
プリンタの機能 6
ファイル消去、安全 146
ファイルシステムの確認 191
ファイアウォールの状態 38
ファームウェアのアップデート
 144
 手動設定 23
 セットアップ 22

- フロントパネル オプション
 - 用紙送りの調整 165, 166
 - プリントヘッドの軸合わせ 185
 - 内蔵 Web サーバを使用 189
 - 自動オフ 45
 - 黒点補正 107
 - カラーキャリブレーション 98
 - 用紙送りをキャリブレーションする 166
 - キャリブレーション ステータス 98
 - プリントヘッドのクリーニング グ 184
 - CMYK 入力プロファイル 107
 - カラー/グレースケール 106
 - 接続ウィザード 22, 190
 - カッター 64
 - 表示の明るさ 45
 - 乾燥時間 63
 - エコノモード 77
 - プリンタのエミュレート 106
 - 切り取り線の有効化 80
 - 排紙およびカット 64
 - インターネット接続 22
 - 言語 43
 - 高精細 78
 - マージ 76
 - 設定の変更 46
 - 用紙の移動 63
 - ネスティングの設定 25
 - PANTONE エミュレーション 107
 - 用紙が一致しない場合の動作 24
 - 用紙サイズ 72
 - 接続設定の印刷 190
 - イメージ診断の印刷 178
 - プリンタ ユーティリティ ソフトウェア 189
 - プリントヘッド情報 133
 - 用紙情報の印刷 63
 - 印刷品質 72
 - レンダリング用途 107
 - インクカートリッジの交換 131
 - プリントヘッドの交換 134
 - 用紙送りのリセット 167
- サイズ変更 76
- 取り出し時間 64
- RGB 入力プロファイル 106
- ロールの保護 83
- ロール紙切替オプション 24
- グラフィック言語の選択 47
- スリープモード待ち時間 44
- スピーカ音量 45
- 単位の選択 45
- 用紙の取り外し 56
- 待ち時間 82
- フロントパネル 9
 - 明るさ 45
 - ジョブのプレビュー 89
 - ジョブキュー 89
 - 言語 43
 - 単位 45
- 前面図 7
- 機能の仕様 203
- G**
 - 粒状感 171
 - グラフィック言語 204
 - グレー階調 101
- H**
 - ハードディスクの仕様 206
 - HP Care Pack 199
 - HP Connected
 - 無効化 29
 - HP カスタマー・ケア 198
 - HP Designjet モバイル印刷 86
 - HP-GL/2 46
 - HP インストール 199
 - HP プロアクティブサポート 199
 - HP スタートアップキット DVD 3
 - HP スタートアップキット 199
 - HP サポート センター 198
 - HP サポート 200
 - HP Utility
 - アクセス 43
 - アクセスできない 189
 - 言語 44
- I**
 - イメージ診断の印刷 178
 - イメージの問題
 - 下部の一部が印刷されない 176
- 一部のイメージ 176
- 印刷されないオブジェクト 177
- PDF の問題 178
- インクカートリッジ
 - 詳細 130
 - 挿入できない 183
 - 取り付ける 132
 - メンテナンス 143
 - 注文 149
 - 取り外す 130
 - 仕様 203
 - ステータスメッセージ 183
 - ステータス 130
- インク
 - 節約して使用 82
 - 使用状況 127
- 印刷メニュー 14
- インターネット接続
 - 手動設定 22
 - セットアップ 22
 - トラブルシューティング 190
- IP アドレス 36, 44
- IPSec 18
- IPSEC ステータス 38
- IPv6 17
- IPv6 の設定 36
- J**
 - ジョブのプレビュー
 - 内蔵 Web サーバ 93
 - フロントパネル 89
 - ジョブキュー
 - 内蔵 Web サーバ 92
 - フロントパネル 89
- L**
 - 言語 43
 - 線の長さの正確さ 170
 - 線の太さ 168
 - リンク速度 39
 - 用紙の取り付けの問題 152
 - 用紙の取り付け
 - 取り付けられない 152
 - 一般的なヒント 49
 - 一覧に含まれない用紙 153
 - ロール紙が取り付けられない 152
 - プリンタへの取り付け 52

スピンドルへの取り付け 50
カット紙が取り付けられない
152
カット紙 57
スピーカ音量 45

M

保守キット 146
マージン 74
ナシ [T1500] 78
仕様 204
高精細 78
機構的な精度 204
メモリの仕様 206
Microsoft Office、印刷元 118
色がずれる 169
モバイル印刷と Web サービス
はじめに 13
モバイル印刷の仕様 205
モバイル印刷 13, 86, 205
モバイル印刷のトラブルシューテ
ィング 190
モデル、プリンタ 4
バスの拡張 78
プリンタを移動する 143
マルチロール プリンタ [T1500]
65

N

ネスティング [T1500] 80
オン/オフにする 25
ネットワーク設定 30
ネットワーク設定 45
ネットワーク
リンク速度 39
プロトコル 35
セキュリティ設定 38
ネットワークのトラブルシューテ
ィング 32

O

適当な用紙を待っています
有効/無効 155
メッセージ 155
注文
アクセサリ 149
インクカートリッジ 149
用紙 149
プリントヘッド 149

重なった線 76
夜間印刷 [T1500] 83

P

ページサイズ 72
PANTONE エミュレーション 102
用紙が一致しない場合の動作 24
一覧に含まれない用紙 153
用紙適合性 24
用紙の種類 149
用紙
送り 64
用紙送りのキャリブレーション 165
取り付けられない 152
情報を表示する 62
プリセットのダウンロード 62
節約して使用 80
送ってカット 64
用紙がない 160
プラテンの紙詰まり 156
スタッカの紙詰まり 160
取り付けのエラー メッセー
ジ 153
メンテナンス 63
移動 63
正しくカットされない 161
平らになっていない 172
バスケットへの排出の問題
161
一覧に含まれない用紙 153
プリセット 62
間違った用紙への印刷 154
取り付けられている用紙への印
刷 75, 154
プリンタ別に保持 161
スピンドルでロール紙がたる
む 161
種類の選択 75
サイズ (最大と最小) 203
サイズ 72
使用状況 127
情報の表示 61
PDF の一部が印刷されない 178
PDF 内のオブジェクトが印刷され
ない 178
Photoshop、印刷元 116
物理的仕様 205

プラテンのクリーニング 173
コネクタ 9
PostScript アップグレード 150
電源の仕様 206
電源
オン/オフ 13
環境設定、Windows ドライバ 29
印刷をプレビューする 76
電子メールから印刷する 87
プリンタの主なコンポーネント 7
プリンタの主な機能 6
プリンタが印刷しない 187
プリンタ モデル 4
プリンタ セキュリティ 47
プリンタ ソフトウェア 12
Mac OS X でのアンインストール 20
Windows でのアンインストール 19
プリンタ ステータス 143
プリンタが起動しない 187
AirPrint を使用した iOS からの印
刷 84
印刷元
内蔵 Web サーバ [T1500] 69
HP Utility [T1500] 69
プリンタドライバ 71
USB フラッシュドライブ 68
プリントヘッドクリーナ
仕様 203
プリントヘッド
詳細 133
軸合わせ 184
挿入できない 183
クリーニング; パージ 184
取り付ける 137
注文 149
取り外す 134
交換する、取り付け直す 183
仕様 203
ステータスメッセージ 185
ステータス 133
印刷解像度 203
印刷 67
印刷ジョブ
ネスティング [T1500] 80
印刷プレビュー 76

印刷品質の問題

- バンディング 167
- 黒インクが擦れる 173
- ぼやけた線 170
- 印刷物の下部 174
- 連続していない線 169
- 端が予期したよりも暗い 174
- 端が段状になっているかまたは鮮明ではない 174
- 一般的 164
- 粒状感 171
- 横線 167
- 不正確な線の長さ 170
- インクが残る 172
- 線の太さ 168
- 色がずれる 169
- 用紙が平らになっていない 172
- 傷がつく 172
- 擦り切れる 172
- 段状の線画 168
- 異なる色の縦線が印刷される 174
- 白色の点 175
- ウィザード 164

印刷品質

- 選択 71

Proactive Support 199

ロール紙を保護する [T1500] 82

プロトコル、ネットワーク 35

プロキシサーバの設定 38

Q

品質、高い 77

R

背面図 8

リモート印刷

- 環境設定 23

レンダリング用途 106

印刷を拡大縮小する 75

取り出し時間

- 変更する 64

ロール紙

- 取り付け 52
- スピンドルの取り付け 50
- 取り外す 55

ロール保護 [T1500] 82

ロール紙切替オプション [T1500]
24

S

セーフモード 133

安全に関する注意事項 2

印刷を拡大縮小する 75

傷がついた印刷 172

擦り切れた印刷 172

安全なファイル消去 146

セキュリティ 28

ネットワーク設定 38

カット紙

取り付け 57

スリープモード待ち時間 44

スリープモード 12

印刷が遅い 188

ソフトウェアアップデート 146

ソフトウェア 12

仕様

動作音 206

電子メール印刷 205

動作環境 206

機能 203

グラフィック言語 204

ハードディスク 206

インクサプライ 203

マージン 204

機構的な精度 204

メモリ 206

モバイル印刷 205

携帯電話 205

用紙サイズ 203

物理的 205

電源 206

印刷解像度 203

スピンドルアダプタキット 150

スピンドル 150

ロール紙の取り付け 50

スタッカ 58

情報

インクカートリッジ 130

ジョブ単位の使用状況 127

使用状況 126

段状の線画 168

プリンタを保管する 143

サポート サービス

HP Care Pack 199

HP カスタマー・ケア 198

HP プロアクティブ サポート
199

HP スタートアップキット
199

HP サポート センター 198

HP サポート 200

プリンタのインストール 199

保証期間の延長 199

T

TCP/IP 設定 35

電話番号 201

2本のロール紙 [T1500] 65

U

無人印刷 [T1500] 83

用紙の取り外し

ロール紙 55

使用状況に関する情報

オン/オフにする 26

このガイドの使用方法 3

V

音量調整 45

W

保証期間の延長 199

Web サービス

セットアップ 22